

平成 26 年度

河川水辺の国勢調査結果

〔河川版〕

(河川空間利用実態調査編)

平成 28 年 2 月

国 土 交 通 省
水 管 理 ・ 国 土 保 全 局
河 川 環 境 課

目 次

I. 河川空間利用実態調査について	1
II. 平成26年度全国の河川空間利用実態調査の概要	2
1. 調査概要	2
1-1. 河川編	2
(1) 調査対象河川と調査実施日	2
(2) 調査方法	2
2. 調査結果の概要	5
2-1. 各調査日の利用者数	5
2-2. 平成26年度年間河川空間利用者総数	8
(1) 全国での利用者総数	8
(2) 利用形態別利用状況	10
(3) 利用場所別利用状況	14
(4) 河川空間利用者総数の多い水系	17
III. 水系別河川空間利用実態	26
III-1. 北海道地方の河川空間利用実態	26
(1) 北海道地方の河川空間利用実態の概要	26
(2) 北海道地方における河川空間利用実態の状況	27
(3) 北海道地方における各水系の河川空間利用実態	28
1. 天塩川	28
2. 渚滑川	29
3. 湧別川	30
4. 常呂川	31
5. 網走川	32
6. 留萌川	33
7. 石狩川	34
8. 尻別川	35
9. 後志利別川	36
10. 鶴川	37
11. 沙流川	38
12. 釧路川	39
13. 十勝川	40

Ⅲ－２．東北地方の河川空間利用実態	41
(1) 東北地方の河川空間利用実態の概要	41
(2) 東北地方における河川空間利用実態の状況	42
(3) 東北地方における各水系の河川空間利用実態	43
14. 岩木川	43
15. 高瀬川	44
16. 馬淵川	45
17. 北上川	46
18. 鳴瀬川	47
19. 名取川	48
20. 阿武隈川	49
21. 米代川	50
22. 雄物川	51
23. 子吉川	52
24. 最上川	53
25. 赤川	54
Ⅲ－３．関東地方の河川空間利用実態	55
(1) 関東地方の河川空間利用実態の概要	55
(2) 関東地方における河川空間利用実態の状況	56
(3) 関東地方における各水系の河川空間利用実態	57
26. 久慈川	57
27. 那珂川	58
28. 利根川	59
28-1. 利根川本川	60
28-2. 常陸利根川	61
28-3. 小貝川	62
28-4. 鬼怒川	63
28-5. 江戸川	64
28-6. 中川・綾瀬川	65
28-7. 渡良瀬川	66
28-8. 烏川・神流川	67
29. 荒川	68
30. 多摩川	69
31. 鶴見川	70
32. 相模川	71
33. 富士川	72

Ⅲ－４．北陸地方の河川空間利用実態	73
(1) 北陸地方の河川空間利用実態の概要	73
(2) 北陸地方における河川空間利用実態の状況	74
(3) 北陸地方における各水系の河川空間利用実態	75
34. 荒川	75
35. 阿賀野川	76
36. 信濃川	77
37. 関川	78
38. 姫川	79
39. 黒部川	80
40. 常願寺川	81
41. 神通川	82
42. 庄川	83
43. 小矢部川	84
44. 手取川	85
45. 梯川	86
Ⅲ－５．中部地方の河川空間利用実態	87
(1) 中部地方の河川空間利用実態の概要	87
(2) 中部地方における河川空間利用実態の状況	88
(3) 中部地方における各水系の河川空間利用実態	89
46. 狩野川	89
47. 安倍川	90
48. 大井川	91
49. 菊川	92
50. 天竜川	93
51. 豊川	94
52. 矢作川	95
53. 庄内川	96
54. 木曾川	97
54-1. 木曾川本川	98
54-2. 長良川	99
54-3. 揖斐川	100
55. 鈴鹿川	101
56. 雲出川	102
57. 櫛田川	103
58. 宮川	104

Ⅲ－ 6． 近畿地方の河川空間利用実態	105
(1) 近畿地方の河川空間利用実態の概要	105
(2) 近畿地方における河川空間利用実態の状況	106
(3) 近畿地方における各水系の河川空間利用実態	107
59. 由良川	107
60. 淀川	108
60-1. 淀川本川・桂川	109
60-2. 猪名川・藻川	110
60-3. 木津川	111
60-4. 瀬田川	112
60-5. 野洲川	113
61. 大和川	114
62. 円山川	115
63. 加古川	116
64. 揖保川	117
65. 紀の川	118
66. 新宮川	119
67. 九頭竜川	120
68. 北川	121
Ⅲ－ 7． 中国地方の河川空間利用実態	122
(1) 中国地方の河川空間利用実態の概要	122
(2) 中国地方における河川空間利用実態の状況	123
(3) 中国地方における各水系の河川空間利用実態	124
69. 千代川	124
70. 天神川	125
71. 日野川	126
72. 斐伊川	127
73. 江の川	128
74. 高津川	129
75. 吉井川	130
76. 旭川	131
77. 高梁川	132
78. 芦田川	133
79. 太田川	134
80. 小瀬川	135
81. 佐波川	136

Ⅲ－ 8． 四国地方の河川空間利用実態	137
(1) 四国地方の河川空間利用実態の概要	137
(2) 四国地方における河川空間利用実態の状況	138
(3) 四国地方における各水系の河川空間利用実態	139
82. 吉野川	139
83. 那賀川	140
84. 土器川	141
85. 重信川	142
86. 肱 川	143
87. 物部川	144
88. 仁淀川	145
89. 渡 川	146
Ⅲ－ 9． 九州地方の河川空間利用実態	147
(1) 九州地方の河川空間利用実態の概要	147
(2) 九州地方における河川空間利用実態の状況	148
(3) 九州地方における各水系の河川空間利用実態	149
90. 遠賀川	149
91. 山国川	150
92. 筑後川	151
93. 矢部川	152
94. 松浦川	153
95. 六角川	154
96. 嘉瀬川	155
97. 本明川	156
98. 菊池川	157
99. 白 川	158
100. 緑 川	159
101. 球磨川	160
102. 大分川	161
103. 大野川	162
104. 番匠川	163
105. 五ヶ瀬川	164
106. 小丸川	165
107. 大淀川	166
108. 川内川	167
109. 肝属川	168

IV. 資料編	169
1. 各調査実施日の利用者数一覧表	170
2. 年間の河川利用者数一覧表	180
3. 全国一級水系年間利用者数順位表	183
〈参考資料〉	191
・「河川水辺の国勢調査」実施要領	193
・平成16年度版 河川水辺の国勢調査マニュアル（案）	
河川空間利用実態調査編（抄）	195

・河川空間利用実態調査について

国土交通省では、国が管理する一級河川（水系）並びに国及び独立行政法人水資源機構が管理するダム湖において、環境に関する基礎情報の収集整備を図ることを目的とし、河川・ダム湖に生息する生物の調査、河道の瀬と淵の調査、河川及びダム湖の利用実態等の調査を行う「河川水辺の国勢調査」を平成2年度から実施している。

「河川水辺の国勢調査（河川版）」は、図 I.1 に示すように、基本調査としての生物調査（6項目）及び河川環境基図作成調査と、河川空間利用実態調査等の調査項目から構成されている。

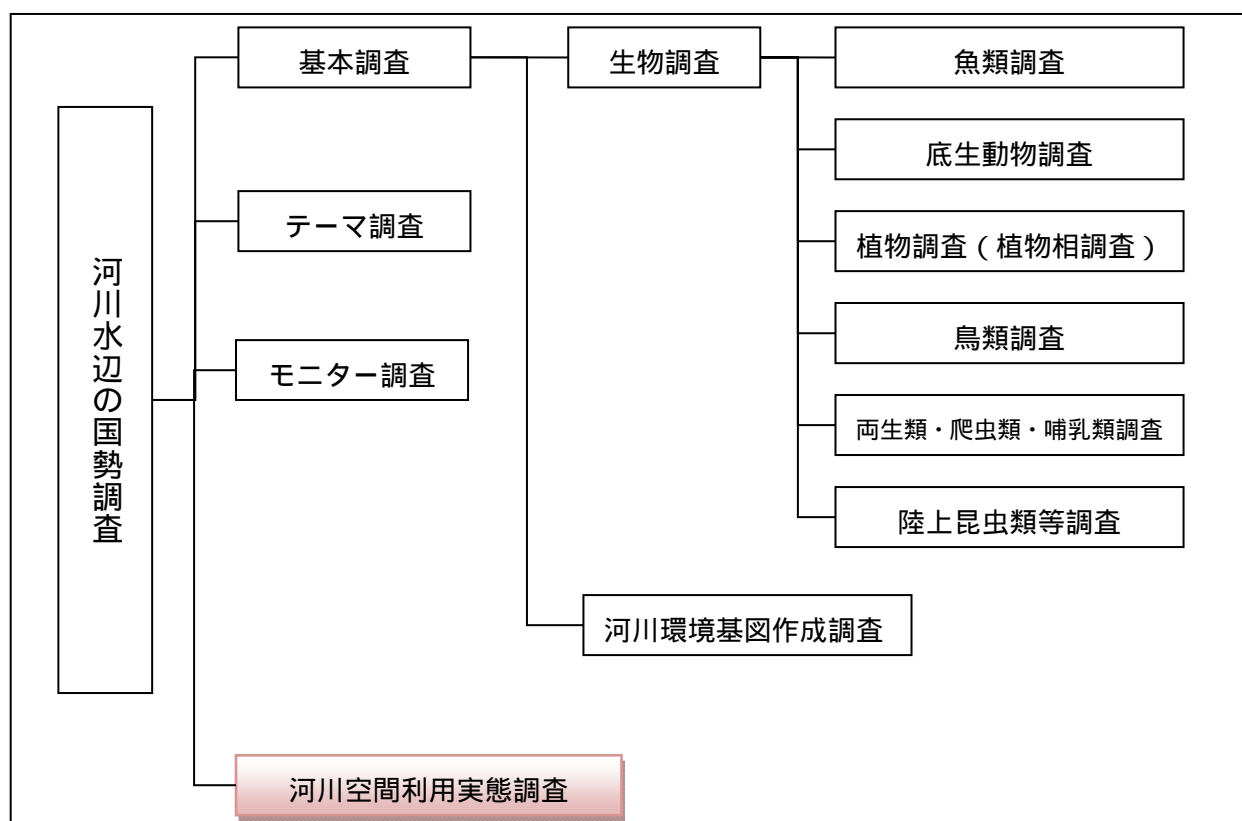


図 .1 河川水辺の国勢調査体系

このうち、河川空間利用実態調査は、河川空間の利用状況の実態を把握し良好な河川空間の保全・整備に資することを目的に実施するもので、当初は概ね3年に1回、平成22年度からは5年に1回、調査実施している。

河川は地域の身近な自然空間であり、うるおいのある自然環境を提供し、散策やスポーツ、イベントなどのレクリエーションの場として多くの国民に利用されるとともに、昔から地域社会の歴史、文化、産業を育んでおり、地域共有の公共財産となっている。近年は、環境教育の場、高齢化社会に向けた健康増進の場、市民団体活動の拠点の場等、様々な利用形態、利用目的があり、こうした要請に対して良好な河川空間の保全、整備が求められている。

このような要請に対応するため、定期的・継続的に河川空間利用実態調査を行い、地域が望んでいる河川空間の把握を行い、良好な河川空間の保全、整備を図っていきたいと考えている。

平成26年度全国の河川空間利用実態調査の概要

1. 調査概要

1-1. 河川編

(1) 調査対象河川と調査実施日

調査水系は、図Ⅱ.1.1、表Ⅱ.1.2に示す全国一級水系であり、そのうちの国土交通省直轄管理区間（ダム湖区間を除く、約8,784.2km）を対象として実施している。

河川空間利用者数調査は、四季を通じた休日5日・平日2日の合計7日（原則として表Ⅱ.1.1に示す日）に実施した。ただし、一部の河川については、天候等の事情により、調査実施日が若干ずれている。具体的な実施日については、資料編に記載している。

表 Ⅱ.1.1 調査実施日

	休 日	平 日
春季	平成26年4月29日（昭和の日） 平成26年5月5日（こどもの日）	平成26年5月19日（月） （5月第3月曜日）
夏季	平成26年7月26日（日） （7月最終日曜日）	平成26年7月27日（月） （7月最終日曜日の翌日）
秋季	平成26年11月3日（文化の日）	
冬季	平成27年1月12日（成人の日）	

※ 一部の水系において、天候等の事情により、調査実施日を若干ずらしている。

(2) 調査方法

調査の方法は以下のとおりである。詳細は参考資料に示す『平成16年度版 河川水辺の国勢調査マニュアル（案）河川空間利用実態調査編』（p.195～203）を参照されたい。

〈調査の手順〉

- ①各河川を数ブロックに分割する。
- ②ブロック内を自然的利用区域と施設利用区域に区分する。
- ③各ブロックの利用区域毎に平均的利用状況を代表する定点（1km程度の距離）を設定する。
- ④定点観測：定点において、日の出から日没までの間を2時間毎に利用者数の観測を行う。
利用者の平均滞在時間を2時間と考えて、定点での1日の利用者総数を各観測時刻の利用者数の合計とする。
- ⑤区間観測：定点以外の区間については、1日1回、調査員が移動しながら観測する。定点とその他の区間との1日の利用者数の時間区分が同じと考え、区間観測した時刻と同時刻帯の定点観測の値との比より区間観測1日の利用者総数を推計する。
- ⑥その他、他の区域に比べて、特に利用者の多い特定利用区域や有料施設区域についてはそれぞれ1日の利用者数を集計する。
- ⑦以上の定点観測、区間観測等の調査結果の値を合計し、各ブロック各河川の利用者数を求める。

表 1.1 調査対象水系・河川の諸元

地方	水系名 (河川名)	沿川市区 町村人口	調査対象河川 区域面積 (ha)	直轄管理 区間延長 (km)	地方	水系名 (河川名)	沿川市区 町村人口	調査対象河川 区域面積 (ha)	直轄管理 区間延長 (km)
北海道	1 天塩川	66,160	9,390	284	近畿	59 由良川	216,396	1,050	56.4
	2 渚滑川	26,504	800	24.5		60 淀川	5,848,475	69,360	225.4
	3 湧別川	31,142	1,290	31.5		60-1 淀川本川・桂川	3,705,458	6,950	-
	4 常呂川	130,663	2,850	93.6		60-2 猪名川・藻川	1,332,858	363	-
	5 網走川	72,252	4,360	65.7		60-3 木津川	218,000	61,320	-
	6 留萌川	22,740	330	31.3		60-4 瀬田川	341,893	120	-
	7 石狩川	2,488,107	19,920	807		60-5 野洲川	250,266	607	-
	8 尻別川	5,015	578	24.2		61 大和川	4,610,000	890	48.3
	9 後志利別川	14,819	4,360	51		62 円山川	82,462	1,190	40.5
	10 鶴川	10,293	1,280	42.9		63 加古川	536,233	1,093	41.4
	11 沙流川	18,512	1,050	20.8		64 揖保川	699,914	992	66.7
	12 釧路川	218,808	4,360	102.8		65 紀の川	613,100	2,617	68.4
	13 十勝川	569,900	14,040	268.4		66 新宮川	41,063	270	12.7
14 岩木川	331,125	4,849	80.6	67 九頭竜川	380,219	1,540	42.1		
15 高瀬川	183,108	6,441	40.1	68 北川	98,103	190	16.5		
16 馬淵川	237,927	196	10	中国	69 千代川	193,045	870	40.4	
17 北上川	1,263,609	10,179	336.5	70 天神川	87,361	809	41.9		
18 鳴瀬川	259,199	1,800	82.4	71 日野川	176,102	565	27.9		
19 名取川	436,963	629	18.9	72 斐伊川	638,264	19,754	127.9		
20 阿武隈川	1,071,021	4,990	183.7	73 江の川	136,496	2,249	164.2		
21 米代川	172,131	2,714	75.6	74 高津川	49,494	460	20		
22 雄物川	559,607	5,726	146.4	75 吉井川	850,812	1,575	36.6		
23 子吉川	82,000	119	26.4	76 旭川	715,074	1,034	30.4		
24 最上川	995,367	7,738	283.8	77 高梁川	551,579	2,516	35.4		
25 赤川	248,832	1,140	37.5	78 芦田川	933,505	1,133	48.9		
26 久慈川	390,000	1,401	47.8	79 太田川	1,112,979	2,120	121.4		
27 那珂川	530,000	2,849	99.5	80 小瀬川	172,007	210	13.4		
28 利根川	14,022,961	61,553	789.3	81 佐波川	257,057	570	27.9		
28-1 利根川本川	4,140,584	25,070	-	四国	82 吉野川	616,968	6,578	114.5	
28-2 常陸利根川	785,897	21,063	-	83 那賀川	76,000	95	28.7		
28-3 小貝川	839,154	2,240	-	84 十器川	130,068	434	10.5		
28-4 鬼怒川	1,347,322	5,977	-	85 重信川	641,912	720	28.5		
28-5 江戸川	3,409,041	2,860	-	86 肱川	46,200	511	39.7		
28-6 中・綾瀬川	2,025,398	380	-	87 物部川	112,068	350	24.5		
28-7 渡良瀬川	949,600	2,033	-	88 仁淀川	402,588	940	20.5		
28-8 烏・神流川	525,965	1,930	-	89 渡川	35,347	1,190	18.9		
29 荒川	7,263,340	10,008	144.3	90 遠賀川	590,137	2,312	133.8		
30 多摩川	5,104,592	2,770	78.6	91 山国川	243,000	371	29		
31 鶴見川	5,173,359	369	22.7	92 筑後川	1,009,997	52,774	198.8		
32 相模川	542,522	375	6.6	93 矢部川	225,371	537	23.2		
33 富士川	1,218,157	5,102	122.1	94 松浦川	234,765	710	60.5		
34 荒川	26,819	855	19.2	95 六角川	203,731	532	56.9		
35 阿賀野川	1,128,863	4,080	79.6	96 嘉瀬川	281,869	580	18.7		
36 信濃川	2,939,266	14,199	310.2	97 本明川	138,460	164	18.3		
37 関川	200,179	206	13.8	98 菊池川	210,085	14,743	79.1		
38 姫川	45,840	406	11	99 白川	589,220	384	17.3		
39 黒部川	68,214	682	20.7	100 緑川	814,880	1,159	55.2		
40 常願寺川	449,700	1,100	21.5	101 球磨川	268,710	2,046	100.3		
41 神通川	419,607	1,520	48.1	102 大分川	478,500	565	26.8		
42 庄川	320,531	1,290	26.1	103 大野川	478,500	1,135	32.3		
43 小矢部川	302,486	730	37.4	104 番匠川	58,288	620	33.8		
44 手取川	165,286	793	17.3	105 五ヶ瀬川	118,000	793	28.5		
45 梯川	108,433	137	11.2	106 小丸川	26,726	372	12.7		
46 狩野川	621,690	660	36.8	107 大淀川	596,104	2,290	86.1		
47 安倍川	705,754	1,602	31.6	108 川内川	179,148	2,300	113.2		
48 大井川	420,581	2,161	24.8	109 肝属川	126,613	535	51.1		
49 菊川	165,395	335	36.8						
50 天竜川	1,595,776	6,090	221.8						
51 豊川	613,120	917	39.1						
52 矢作川	1,228,776	1,502	43.6						
53 庄内川	3,057,119	1,662	69.5						
54 木曾川	2,572,784	17,470	250.9						
54-1 木曾川本川	1,289,926	7,290	-						
54-2 長良川	736,027	4,380	-						
54-3 揖斐川	546,831	5,800	-						
55 鈴鹿川	553,809	970	41.2						
56 雲出川	446,329	765	28.5						
57 榑田川	203,410	641	24.4						
58 宮川	184,871	915	22.6						

※沿川市区町村人口 本調査様式D-4
 調査対象河川区域面積 (ha) 本調査様式D-4
 直轄管理区間延長 (km) 直轄河川管理施設現況 (平成27年3月末現在)

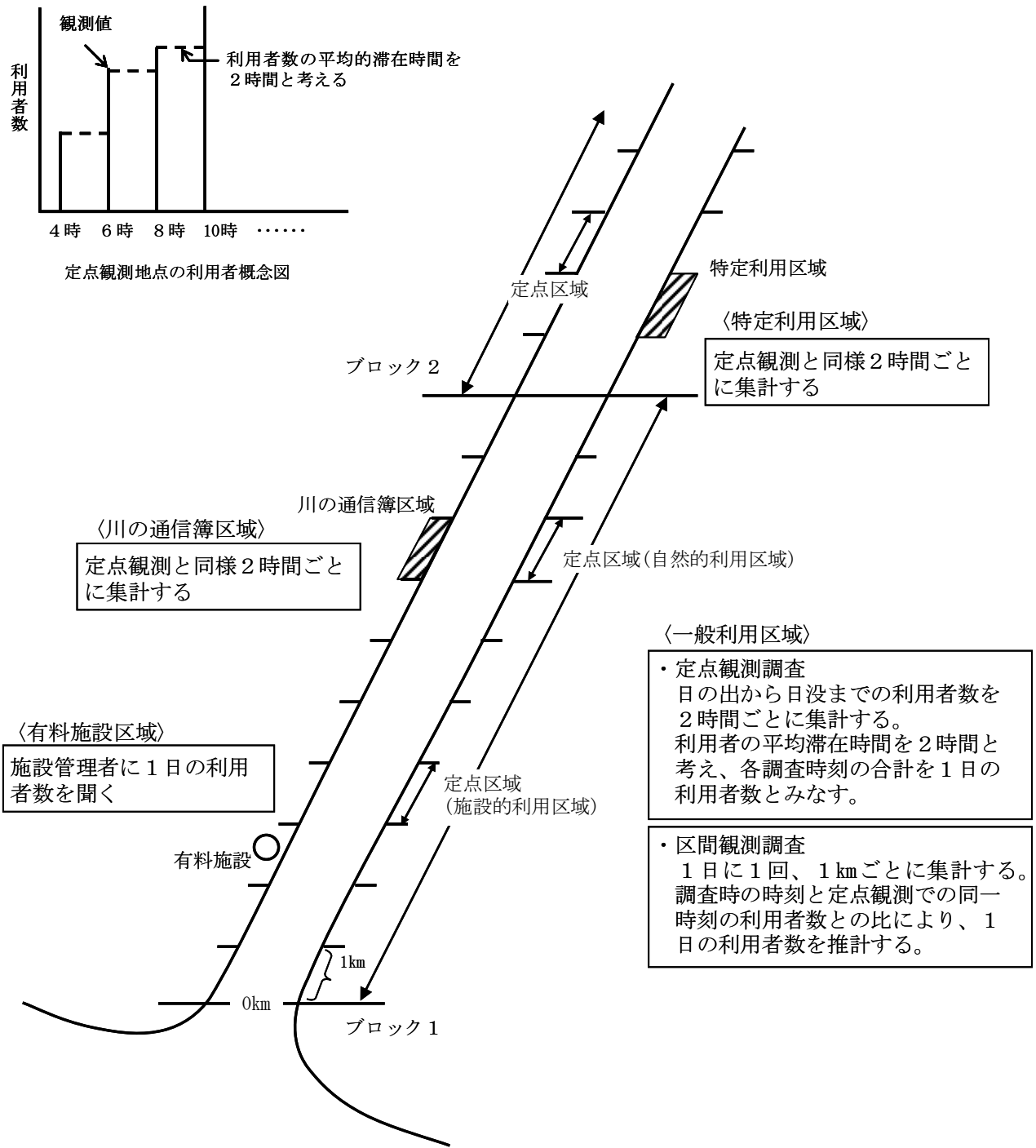


図 1.1.2 調査方法概要

2. 調査結果の概要

2-1. 各調査日の利用者数

全国的に見ると平成26年度の調査日の中では、夏季休日(7月27日)の約98万人が最も多い。
この時の利用形態別内訳では、スポーツが約44%、散策等が約41%を占めている。

表 .2.1 各調査日の地方別利用者数(人)

表 .2.1 各調査日の地方別利用者数(H5年度、H9年度、H12年度、H15年度、H18年度、H21年度、H26年度) (単位:人)

		北海道	東北	関東	北陸	中部	近畿	中国	四国	九州	全国	
H5年度	春季	休日(4/29)	30,034	74,978	520,379	21,055	52,936	80,251	38,888	6,600	72,991	898,112
		休日(5/5)	42,717	65,281	671,366	65,250	161,621	307,626	77,191	34,012	65,042	1,490,106
		平日(5/17)	27,932	31,037	145,487	25,076	37,299	78,585	12,437	4,093	26,367	388,313
	夏季	休日(7/25)	102,135	68,339	534,905	73,690	151,147	182,625	38,465	16,598	68,494	1,236,398
		平日(7/26)	27,515	17,093	243,525	22,582	33,011	66,853	30,795	5,285	33,727	480,386
	秋季	休日(11/3)	16,827	45,821	574,734	49,628	105,654	327,123	64,910	23,184	72,682	1,280,563
冬季	休日(1/15)	4,563	7,198	208,124	7,416	56,538	112,199	35,260	10,952	50,427	492,677	
H9年度	春季	休日(4/29)	49,054	139,764	735,852	79,000	176,997	225,356	45,920	41,187	71,616	1,564,746
		休日(5/5)	42,319	73,309	760,806	88,261	235,314	239,296	63,322	51,671	71,510	1,625,808
		平日(5/19)	37,903	35,877	117,473	29,561	40,923	74,767	11,919	10,886	40,848	400,157
	夏季	休日(7/27)	89,231	88,875	500,704	72,675	229,892	190,558	87,318	39,061	79,765	1,378,079
		平日(7/28)	34,756	29,041	155,369	34,580	74,996	50,887	28,582	7,862	50,419	466,492
	秋季	休日(11/3)	27,828	62,996	607,096	52,837	135,370	201,549	52,563	39,083	74,418	1,253,740
冬季	休日(1/15)	5,327	5,113	214,443	2,273	13,872	29,306	7,763	3,925	24,997	307,019	
H12年度	春季	休日(4/29)	22,387	112,867	578,717	48,866	140,959	262,499	95,604	27,874	67,817	1,357,590
		休日(5/5)	57,002	84,653	640,557	89,245	219,459	318,423	67,347	34,852	61,534	1,573,072
		平日(5/15)	10,990	34,635	120,112	19,138	38,047	54,632	26,627	7,927	30,455	342,563
	夏季	休日(7/30)	71,361	96,779	415,314	58,152	241,838	129,611	88,169	32,092	102,181	1,235,498
		平日(7/31)	34,805	30,354	163,089	21,999	49,931	55,231	29,060	9,549	24,318	418,336
	秋季	休日(11/3)	21,958	28,055	319,289	25,895	88,778	154,766	48,136	23,426	56,365	766,668
冬季	休日(1/8)	4,496	4,721	117,574	1,872	41,307	74,050	29,175	8,198	27,068	308,461	
H15年度	春季	休日(4/29)	31,324	139,215	516,494	78,535	159,082	273,553	64,314	37,208	67,279	1,367,004
		休日(5/5)	56,093	97,064	536,300	84,179	205,604	256,092	69,033	34,534	65,914	1,404,813
		平日(5/19)	40,824	33,666	66,285	35,659	37,184	37,749	22,722	13,954	29,564	317,607
	夏季	休日(7/27)	108,822	102,960	571,298	81,207	303,653	212,802	81,836	38,248	95,005	1,595,831
		平日(7/28)	38,077	46,883	234,969	31,149	55,635	62,499	39,987	12,553	31,771	553,523
	秋季	休日(11/3)	25,713	49,269	397,685	31,557	35,302	114,579	25,119	10,036	55,700	744,960
冬季	休日(1/12)	2,584	21,372	231,455	21,611	62,581	126,392	29,614	20,651	38,497	554,757	
H18年度	春季	休日(4/29)	70,593	123,919	386,877	74,596	160,458	262,033	58,444	23,952	85,339	1,246,211
		休日(5/5)	38,922	92,312	467,197	89,190	217,053	239,272	73,324	36,147	81,036	1,334,453
		平日(5/15)	48,225	37,327	135,899	35,282	54,363	76,601	30,718	9,561	40,565	468,541
	夏季	休日(7/30)	130,197	89,398	413,909	67,035	195,129	174,385	73,831	35,960	70,442	1,250,286
		平日(7/31)	37,489	34,568	172,000	37,863	47,424	45,761	32,837	9,921	28,588	446,451
	秋季	休日(11/3)	20,545	53,427	384,599	56,568	135,119	223,388	50,436	20,539	74,184	1,018,805
冬季	休日(1/8)	1,066	9,329	222,159	4,636	40,603	91,717	28,429	10,867	28,420	437,226	
H21年度	春季	休日(4/29)	51,649	76,434	843,862	85,372	179,318	190,977	86,924	35,939	62,605	1,613,079
		休日(5/5)	62,028	92,401	404,598	70,388	107,024	176,626	74,236	24,971	69,314	1,081,586
		平日(5/18)	29,094	20,110	154,035	28,231	53,741	51,742	27,419	13,371	29,678	407,422
	夏季	休日(7/26)	45,727	146,218	483,877	70,368	125,507	157,188	42,268	23,814	47,215	1,142,182
		平日(7/27)	29,141	22,305	175,415	21,602	35,715	29,896	30,377	12,799	30,117	387,368
	秋季	休日(11/3)	26,298	22,353	429,205	23,348	105,672	130,646	58,066	24,035	54,054	873,677
冬季	休日(1/11)	2,824	13,207	236,484	21,877	93,672	107,584	35,431	19,003	37,281	567,363	
H26年度	春季	休日(4/29)	39,915	81,970	422,770	49,407	90,336	35,750	21,303	12,989	63,658	818,097
		休日(5/5)	68,524	42,965	449,946	36,543	57,576	129,813	33,153	17,391	44,348	880,258
		平日(5/19)	28,801	23,833	151,502	28,920	50,341	59,303	18,054	12,148	28,477	401,379
	夏季	休日(7/27)	27,234	67,174	409,344	56,996	154,517	118,151	53,797	27,071	67,292	981,576
		平日(7/28)	39,160	26,819	207,795	32,437	40,602	37,215	30,259	9,441	31,874	455,601
	秋季	休日(11/3)	20,236	13,971	428,493	19,652	105,256	133,442	40,110	16,309	44,856	822,325
冬季	休日(1/12)	1,932	7,429	220,625	4,010	83,311	89,800	25,295	12,555	39,576	484,533	

本調査結果(~)では、過去の調査について誤りが判明した河川の修正結果を反映しており、過去の調査結果と一部不整合がある。

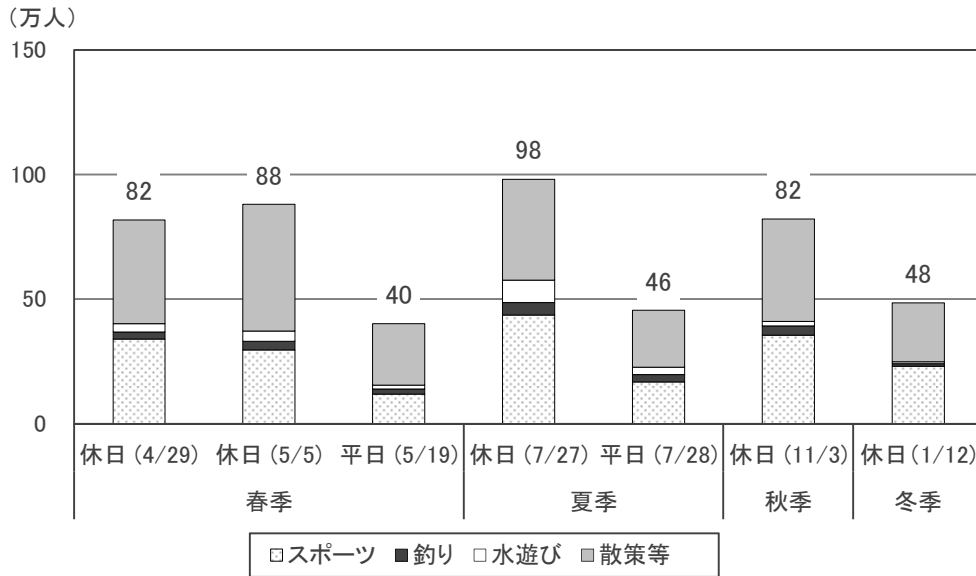


図 .2.1 各調査日の利用形態別内訳 (H26年度)(人数)

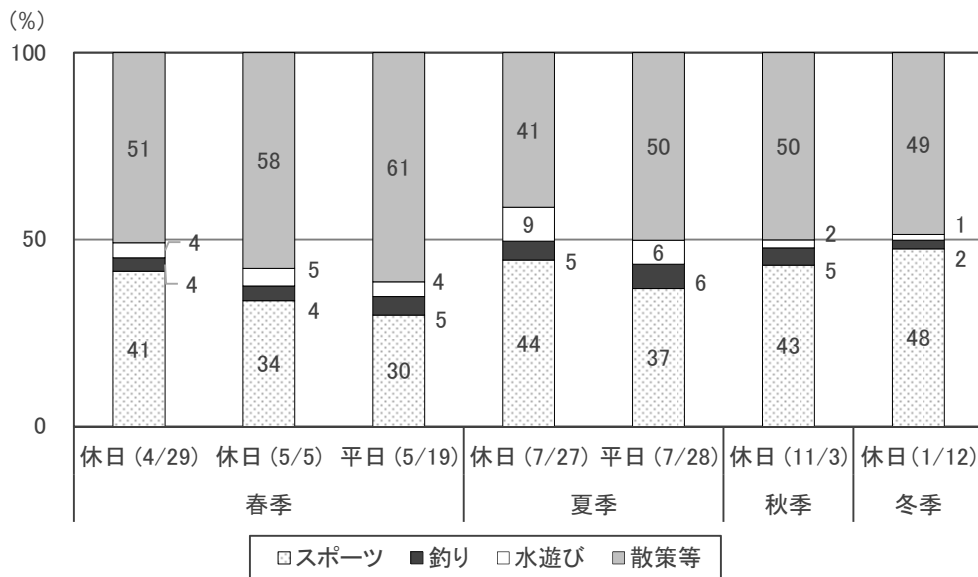


図 .2.2 各調査日の利用形態別内訳 (H26年度)(割合)

表示桁数の関係で割合の合計値が100%にならない場合があります。

2 - 2 . 平成26年度年間河川空間利用者総数

平成26年4月から平成27年1月にかけて実施した7回の調査結果をもとに、平成26年度1年間の年間河川空間利用者総数の推計を行った。

(1) 全国での利用者総数

年間河川空間利用者総数は1億7,484万人、沿川市区町村人口1人当り年間1.94回利用している推計となった。これは平成26年における国民1人当たりの国内宿泊観光旅行回数1.3回（速報値）（平成27年版観光白書より）を上回る値である。

前回調査の平成21年度と比較すると、年間河川空間利用者総数は約724万人減少し、沿川市区町村人口1人当り年間利用回数は0.05回減少した（平成21年度：1.99回/人）。

減少の理由として、調査日の天候不良や調査日のイベントの有無により、利用者数が減少したことに加え、一年を通じて雨の日数が多かったことも一因としてあげられる。加えて東北地方では、平成23年3月の東日本大震災により河川施設が被災し、平成26年度にも一部の河川施設が利用できない箇所があったことも利用者数減少の要因として考えられる。

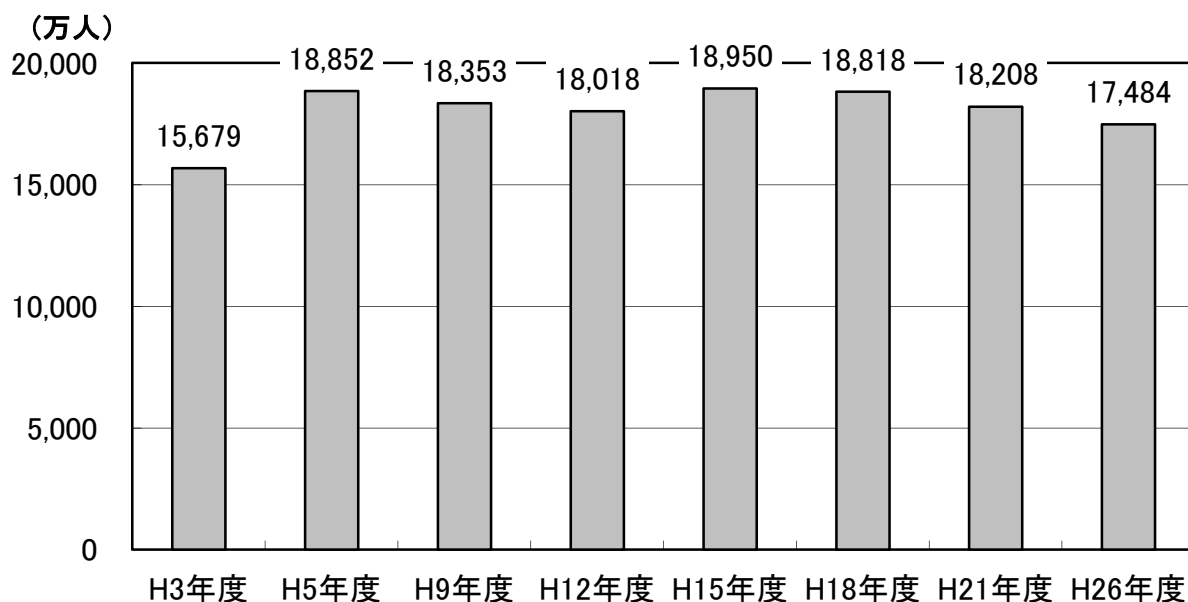


図 .2.3 全国の年間河川空間利用者総数（経年）

地域別では、年度ごとに変動があるものの、平成18年度～平成26年度で見ると、中部地方で増加傾向が見られる一方、北海道地方や東北地方、関東地方、近畿地方では減少傾向が見られる。

前回調査の平成21年度と比較して、大きく増加している地域（100万人以上）は九州地方、大きく減少している地域（100万人以上）は東北地方、北陸地方、中国地方、四国地方である。

増加が見られた九州地方は、「平成21年7月中国・九州北部豪雨」（7月19日～7月26日）の影響で平成21年度調査では利用者数が減少したと考えられるが、平成26年度は特に大きな災害などもなかったことから、利用者数が戻ったと推測される。

減少が見られた東北地方、北陸地方、中国地方、四国地方では、調査日の天候不良や調査日のイベントの有無により、利用者数が減少したことに加え、一年を通じて雨の日数が多かったことも一因としてあげられる。加えて東北地方では、平成23年3月の東日本大震災により河川施設が被災し、平成26年度にも一部の河川施設が利用できない箇所があったことも利用者数減少の要因として考えられる。

その他の地域では大きな増減は見られなかったが、河川ごとに見ると、利用者数が増加した河川、減少した河川がそれぞれ見られた。

表 .2.2 年間河川空間利用者総数（万人）

	北海道	東北	関東	北陸	中部	近畿	中国	四国	九州	全国
平成 3年度	540	716	8,184	462	1,589	2,171	468	325	1,226	15,679
平成 4年度	930	753	10,864	610	1,528	2,971	974	382	990	20,001
平成 5年度	635	928	8,347	777	1,728	3,699	1,118	448	1,171	18,852
平成 9年度	848	1,200	8,250	914	2,353	2,392	828	473	1,094	18,353
平成12年度	614	994	7,356	608	2,799	3,080	1,079	386	1,103	18,018
平成15年度	914	1,188	7,628	1,080	2,223	3,307	850	481	1,280	18,950
平成18年度	1,049	1,204	7,560	978	2,091	3,063	1,069	400	1,402	18,818
平成21年度	1,006	1,038	7,485	1,210	2,212	2,236	1,389	528	1,106	18,208
平成26年度	934	813	7,455	1,031	2,231	2,226	1,047	375	1,373	17,484

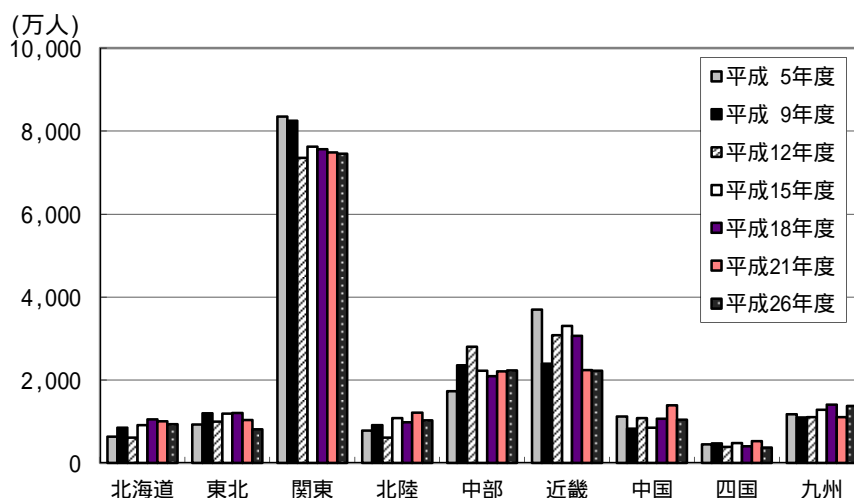


図 .2.4 地方別の年間河川空間利用者総数（経年）

(2) 利用形態別利用状況

図Ⅱ.2.4に年間利用者の利用形態別内訳を示す。利用形態別では「散策等」が常に半数以上を占めている。また、「スポーツ」は増加傾向で、「釣り」、「水遊び」は減少傾向にある。

前回と比較すると、利用形態別の割合はほぼ同じであった。一方、利用形態別の人数は、「釣り」と「スポーツ」で減少し、「水遊び」と「散策等」はほぼ同じであった。

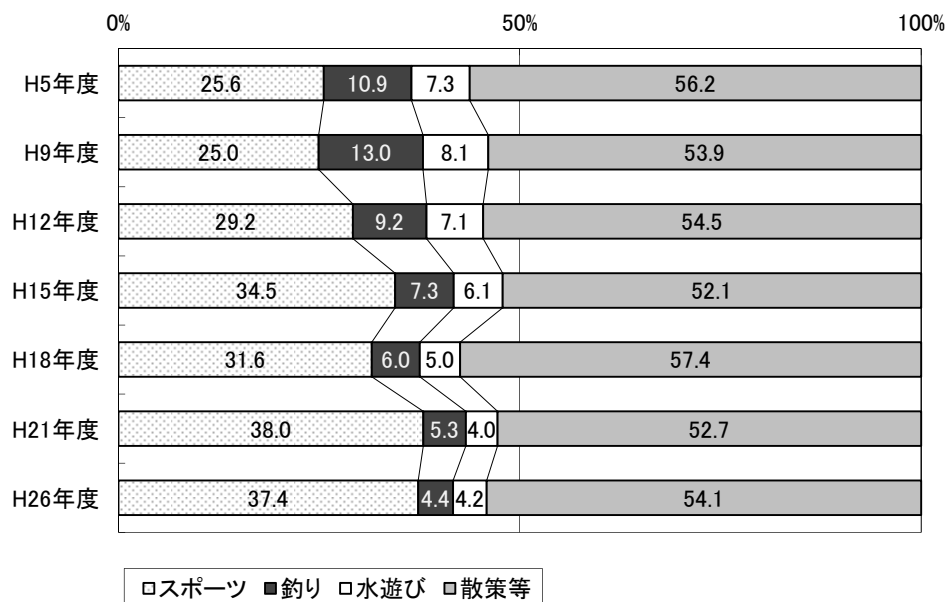


図 2.5 年間利用者数の利用形態別内訳（割合）

表示桁数の関係で割合の合計値が100%にならない場合があります。

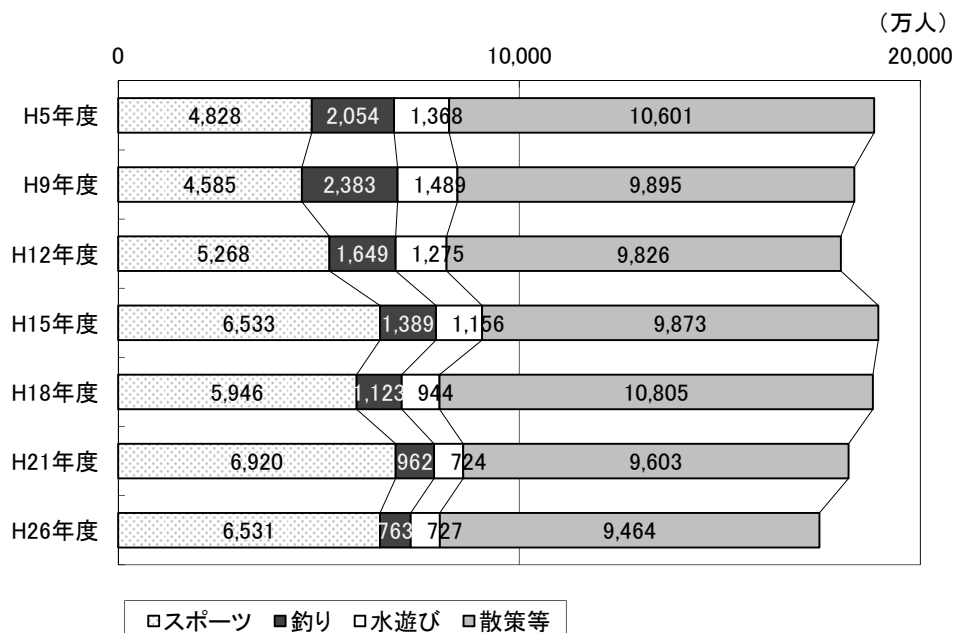


図 2.6 年間利用者数の利用形態別内訳（人数）

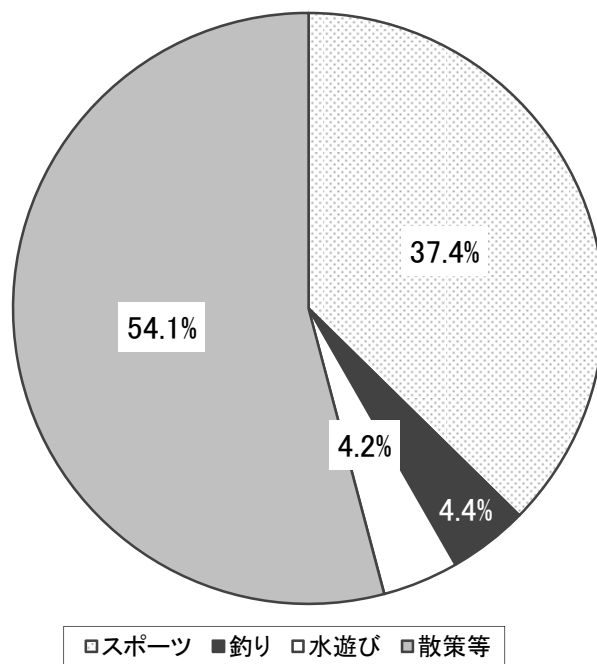


図 2.7 平成26年度の利用形態別内訳(全国平均)
表示桁数の関係で割合の合計値が100%にならない場合があります。

図Ⅱ.2.7、図Ⅱ.2.8に平成26年度の季節ごと^(注)の利用形態別の内訳を示す。年間を通して「散策等」の利用割合が多く、春から冬に向けて「スポーツ」の利用割合が増加しており、冬には「スポーツ」と「散策等」の利用割合はほぼ等しくなっている。

河川利用は、「散策等」と「スポーツ」が中心となっている。

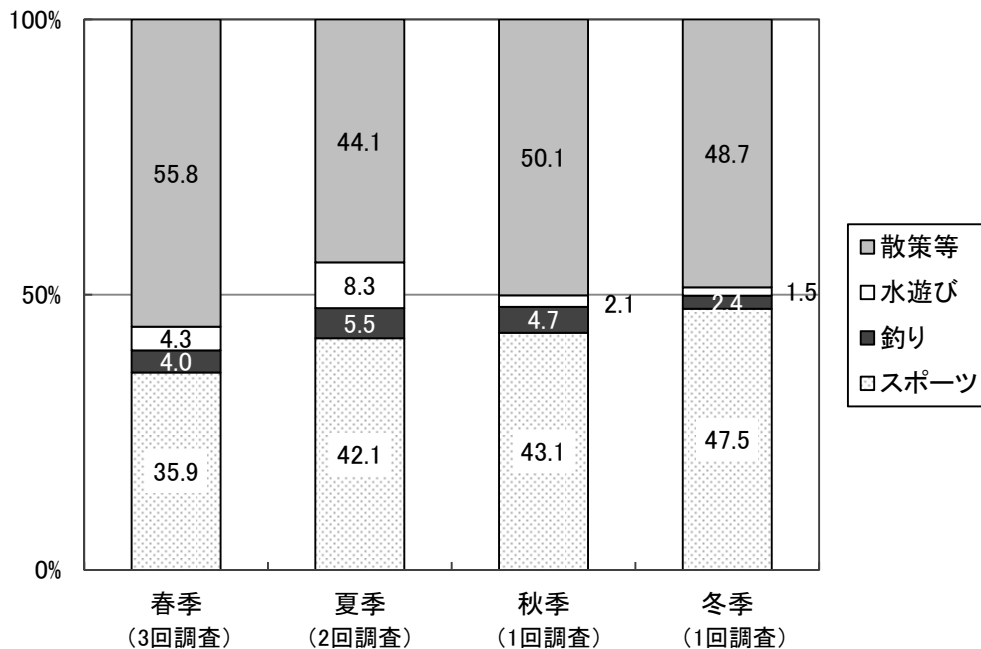


図 Ⅱ.2.8 平成26年度の季節ごと^(注)の利用形態別内訳（割合）
表示桁数の関係で割合の合計値が100%にならない場合があります。

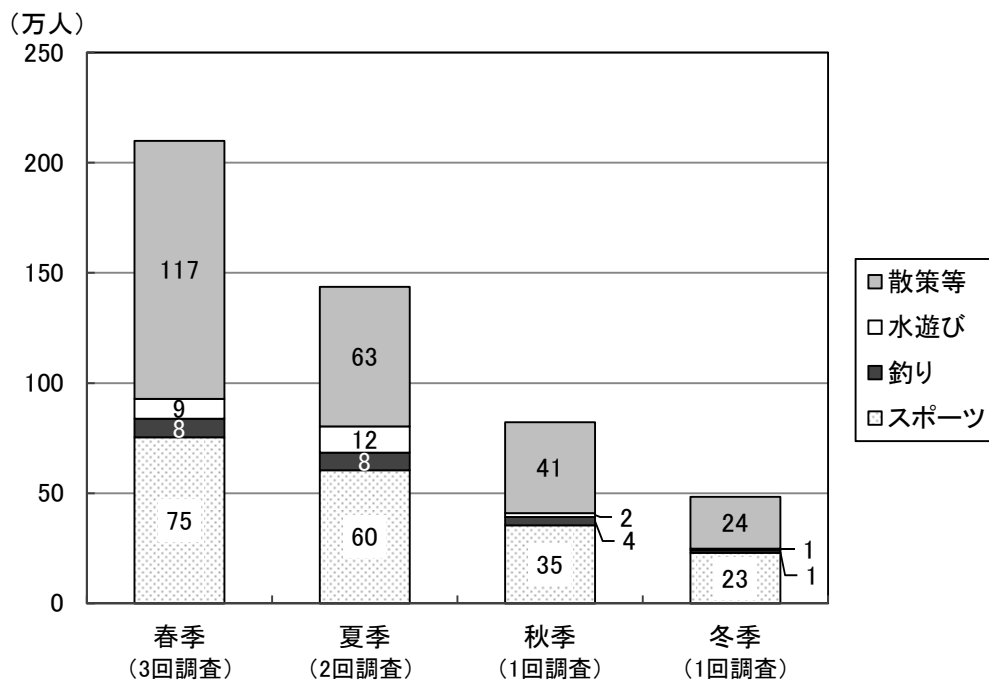


図 Ⅱ.2.9 平成26年度の季節ごと^(注)の利用形態別内訳（人数）

(注) 春季は春季の調査日3日間、夏季は夏季の調査日2日間、秋季及び冬季は秋季、または冬季の調査日1日における利用形態別の利用者数の合計を割合で示したものです。

表 2.3 年間利用者数の利用形態別内訳（万人）

地方	年度	合計	利用形態別内訳							
			スポーツ		釣り		水遊び		散策等	
北海道	平成5年度	635	196	31%	32	5%	33	5%	374	59%
	平成9年度	848	293	35%	45	5%	40	5%	470	55%
	平成12年度	614	211	34%	28	4%	35	6%	340	55%
	平成15年度	914	511	56%	28	3%	31	3%	343	38%
	平成18年度	1,049	416	40%	22	2%	38	4%	574	55%
	平成21年度	1,006	441	44%	28	3%	12	1%	525	52%
	平成26年度	934	543	58%	22	2%	12	1%	357	38%
東北	平成5年度	928	153	16%	91	10%	101	11%	583	63%
	平成9年度	1,200	123	10%	110	9%	100	8%	867	72%
	平成12年度	994	118	12%	77	8%	103	10%	696	70%
	平成15年度	1,188	138	12%	96	8%	105	9%	849	71%
	平成18年度	1,204	199	17%	62	5%	70	6%	874	73%
	平成21年度	1,038	197	19%	53	5%	80	8%	708	68%
	平成26年度	813	171	21%	36	4%	56	7%	550	68%
関東	平成5年度	8,347	2,152	26%	906	11%	402	5%	4,887	59%
	平成9年度	8,250	2,462	30%	1,146	14%	398	5%	4,244	51%
	平成12年度	7,356	2,719	37%	735	10%	251	3%	3,651	50%
	平成15年度	7,628	3,496	46%	563	7%	331	4%	3,238	42%
	平成18年度	7,560	2,838	38%	471	6%	225	3%	4,026	53%
	平成21年度	7,485	3,298	44%	392	5%	231	3%	3,564	48%
	平成26年度	7,455	3,176	43%	290	4%	188	3%	3,802	51%
北陸	平成5年度	777	196	25%	88	11%	40	5%	453	58%
	平成9年度	914	238	26%	127	14%	72	8%	477	52%
	平成12年度	608	112	18%	73	12%	55	9%	368	61%
	平成15年度	1,080	341	32%	79	7%	46	4%	615	57%
	平成18年度	978	296	30%	52	5%	42	4%	589	60%
	平成21年度	1,210	326	27%	68	6%	40	3%	775	64%
	平成26年度	1,031	420	41%	76	7%	35	3%	500	48%
中部	平成5年度	1,728	517	30%	160	9%	220	13%	831	48%
	平成9年度	2,353	610	26%	190	8%	389	17%	1,164	49%
	平成12年度	2,799	815	29%	146	5%	440	16%	1,397	50%
	平成15年度	2,223	738	33%	116	5%	261	12%	1,108	50%
	平成18年度	2,091	639	31%	103	5%	182	9%	1,168	56%
	平成21年度	2,212	1,083	49%	65	3%	95	4%	968	44%
	平成26年度	2,231	893	40%	77	3%	116	5%	1,145	51%
近畿	平成5年度	3,699	902	24%	383	10%	220	6%	2,194	59%
	平成9年度	2,392	455	19%	331	14%	145	6%	1,461	61%
	平成12年度	3,080	761	25%	275	9%	79	3%	1,965	64%
	平成15年度	3,308	725	22%	192	6%	128	4%	2,263	68%
	平成18年度	3,063	926	30%	180	6%	89	3%	1,868	61%
	平成21年度	2,236	751	34%	106	5%	62	3%	1,317	59%
	平成26年度	2,226	751	34%	114	5%	114	5%	1,247	56%
中国	平成5年度	1,118	264	24%	162	14%	156	14%	536	48%
	平成9年度	828	110	13%	180	22%	132	16%	406	49%
	平成12年度	1,079	196	18%	80	7%	123	11%	681	63%
	平成15年度	850	116	14%	80	9%	82	10%	572	67%
	平成18年度	1,069	213	20%	85	8%	111	10%	660	62%
	平成21年度	1,389	447	32%	79	6%	87	6%	776	56%
	平成26年度	1,047	209	20%	39	4%	85	8%	713	68%
四国	平成5年度	448	144	32%	32	7%	104	23%	168	38%
	平成9年度	473	119	25%	44	9%	96	20%	214	45%
	平成12年度	386	108	28%	46	12%	75	20%	157	41%
	平成15年度	481	116	24%	33	7%	77	16%	255	53%
	平成18年度	400	93	23%	23	6%	69	17%	215	54%
	平成21年度	528	156	30%	29	5%	40	8%	302	57%
	平成26年度	375	87	23%	19	5%	47	13%	222	59%
九州	平成5年度	1,171	304	26%	200	17%	92	8%	575	49%
	平成9年度	1,094	175	16%	210	19%	117	11%	592	54%
	平成12年度	1,103	229	21%	189	17%	115	10%	570	52%
	平成15年度	1,280	353	28%	201	16%	96	8%	631	49%
	平成18年度	1,402	326	23%	125	9%	120	9%	832	59%
	平成21年度	1,106	219	20%	142	13%	77	7%	668	60%
	平成26年度	1,373	281	20%	90	7%	74	5%	928	68%
全国	平成5年度	18,852	4,828	26%	2,054	11%	1,368	7%	10,601	56%
	平成9年度	18,353	4,585	25%	2,383	13%	1,489	8%	9,895	54%
	平成12年度	18,018	5,268	29%	1,649	9%	1,275	7%	9,826	55%
	平成15年度	18,950	6,533	34%	1,389	7%	1,156	6%	9,873	52%
	平成18年度	18,818	5,946	32%	1,123	6%	944	5%	10,805	57%
	平成21年度	18,208	6,920	38%	962	5%	724	4%	9,603	53%
	平成26年度	17,484	6,531	37%	763	4%	727	4%	9,464	54%

表示桁数の関係で内訳の合計値と合計が一致しない、割合の合計値が100%にならない場合があります。

(3) 利用場所別利用状況

図Ⅱ.2.7に年間利用者数の利用場所別内訳を示す。利用場所別では「高水敷」が最も多く、全体の約60%を占めている。平成26年度は、「高水敷」が約64.5%と最も多く、次いで「堤防」、「水際」、「水面」の順となった。前回と比較すると、利用形態別の割合は「堤防」で増加、「高水敷」で減少し、「水際」や「水面」はほぼ同じであった。

一方、利用形態別の人数は、「水面」と「堤防」で増加し、「水際」と「高水敷」で減少した。

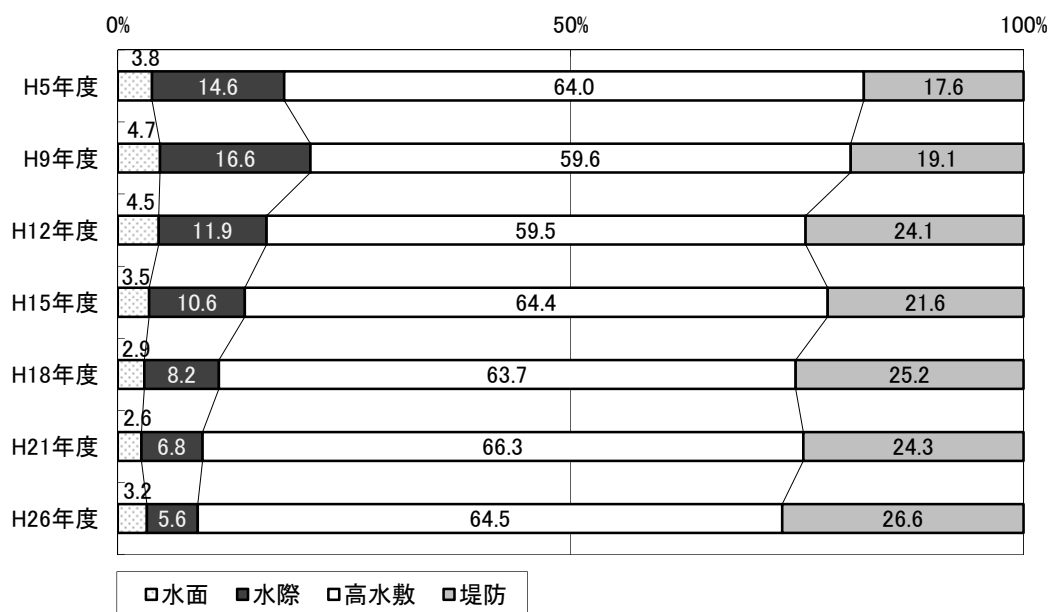


図 .2.10 年間利用者数の利用場所別内訳（割合）

表示桁数の関係で割合の合計値が100%にならない場合があります。

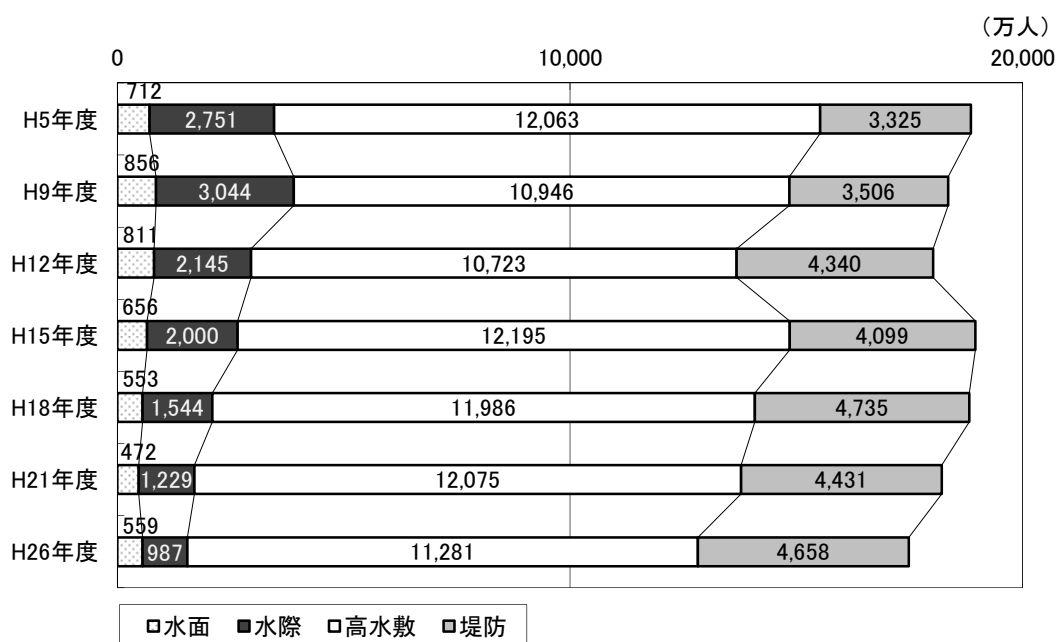
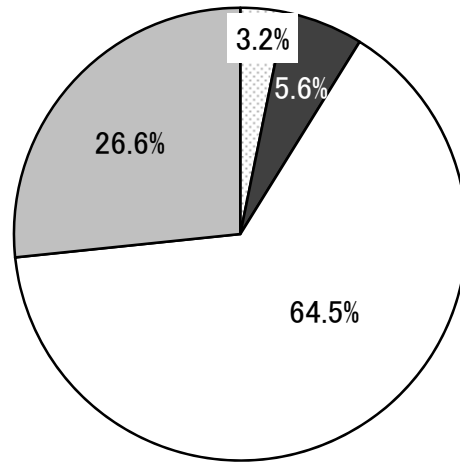


図 .2.11 年間利用者数の利用場所別内訳（人数）



□水面 ■水際 □高水敷 □堤防

図 2.12 平成26年度の場所別内訳(全国平均)
表示桁数の関係で割合の合計値が100%にならない場合があります。

表 2.4 年間利用者数の利用場所別内訳（万人）

地方	年度	合計	利用場所別内訳							
			水面		水際		高水敷		堤防	
北海道	平成5年度	635	14	2%	52	8%	441	69%	128	20%
	平成9年度	848	24	3%	61	7%	618	73%	145	17%
	平成12年度	614	14	2%	49	8%	392	64%	159	26%
	平成15年度	914	20	2%	50	5%	696	76%	148	16%
	平成18年度	1,049	13	1%	46	4%	810	77%	180	17%
	平成21年度	1,006	13	1%	27	3%	756	75%	211	21%
	平成26年度	934	11	1%	23	2%	790	85%	109	12%
東北	平成5年度	928	103	11%	109	12%	525	57%	191	21%
	平成9年度	1,200	68	6%	140	12%	747	62%	245	20%
	平成12年度	994	68	7%	113	11%	582	59%	230	23%
	平成15年度	1,188	60	5%	141	12%	728	61%	258	22%
	平成18年度	1,204	44	4%	89	7%	851	71%	221	18%
	平成21年度	1,038	39	4%	96	9%	738	71%	166	16%
	平成26年度	813	51	6%	58	7%	531	65%	172	21%
関東	平成5年度	8,347	216	3%	1,092	13%	5,614	67%	1,425	17%
	平成9年度	8,250	230	3%	1,314	16%	5,052	61%	1,654	20%
	平成12年度	7,356	193	3%	794	11%	4,567	62%	1,801	24%
	平成15年度	7,628	165	2%	747	10%	5,255	69%	1,460	19%
	平成18年度	7,560	116	2%	586	8%	4,800	63%	2,058	27%
	平成21年度	7,485	143	2%	485	6%	4,927	66%	1,930	26%
	平成26年度	7,455	139	2%	348	5%	4,864	65%	2,105	28%
北陸	平成5年度	777	23	3%	106	14%	582	75%	66	8%
	平成9年度	914	54	6%	145	16%	605	66%	110	12%
	平成12年度	608	37	6%	91	15%	374	61%	106	18%
	平成15年度	1,080	36	3%	88	8%	744	69%	211	20%
	平成18年度	978	29	3%	66	7%	691	71%	192	20%
	平成21年度	1,210	47	4%	61	5%	793	66%	308	25%
	平成26年度	1,031	60	6%	52	5%	730	71%	189	18%
中部	平成5年度	1,728	149	9%	231	13%	1,133	66%	215	12%
	平成9年度	2,353	173	7%	431	18%	1,423	60%	326	14%
	平成12年度	2,799	207	7%	396	14%	1,728	62%	469	17%
	平成15年度	2,223	150	7%	304	14%	1,509	68%	260	12%
	平成18年度	2,091	124	6%	176	8%	1,442	69%	349	17%
	平成21年度	2,212	63	3%	99	4%	1,765	80%	284	13%
	平成26年度	2,231	95	4%	98	4%	1,669	75%	368	16%
近畿	平成5年度	3,699	70	2%	533	14%	2,401	65%	695	19%
	平成9年度	2,392	109	5%	372	16%	1,393	58%	518	22%
	平成12年度	3,080	68	2%	289	9%	1,837	60%	887	29%
	平成15年度	3,307	50	2%	273	8%	1,967	59%	1,018	31%
	平成18年度	3,063	60	2%	213	7%	1,909	62%	882	29%
	平成21年度	2,236	30	1%	144	6%	1,478	66%	583	26%
	平成26年度	2,226	66	3%	179	8%	1,391	63%	590	27%
中国	平成5年度	1,118	61	5%	258	23%	443	40%	356	32%
	平成9年度	828	77	9%	234	28%	308	37%	209	25%
	平成12年度	1,079	66	6%	137	13%	490	45%	387	36%
	平成15年度	850	58	7%	104	12%	305	36%	383	45%
	平成18年度	1,069	75	7%	122	11%	511	48%	361	34%
	平成21年度	1,389	55	4%	110	8%	764	55%	459	33%
	平成26年度	1,047	55	5%	69	7%	398	38%	525	50%
四国	平成5年度	448	31	7%	105	23%	267	60%	45	10%
	平成9年度	473	43	9%	97	21%	277	59%	56	12%
	平成12年度	386	46	12%	78	20%	205	53%	56	15%
	平成15年度	481	37	8%	75	16%	274	57%	95	20%
	平成18年度	400	25	6%	68	17%	220	55%	87	22%
	平成21年度	528	20	4%	50	9%	293	55%	165	31%
	平成26年度	375	28	7%	39	10%	213	57%	96	26%
九州	平成5年度	1,171	45	4%	265	23%	657	56%	204	17%
	平成9年度	1,094	78	7%	250	23%	523	48%	243	22%
	平成12年度	1,103	113	10%	198	18%	549	50%	244	22%
	平成15年度	1,280	80	6%	217	17%	717	56%	266	21%
	平成18年度	1,402	68	5%	178	13%	752	54%	405	29%
	平成21年度	1,106	62	6%	157	14%	560	51%	326	29%
	平成26年度	1,373	54	4%	121	9%	694	51%	504	37%
全国	平成5年度	18,852	712	4%	2,751	15%	12,063	64%	3,325	18%
	平成9年度	18,353	856	5%	3,044	17%	10,946	60%	3,506	19%
	平成12年度	18,018	811	4%	2,145	12%	10,723	60%	4,340	24%
	平成15年度	18,950	656	3%	2,000	11%	12,195	64%	4,099	22%
	平成18年度	18,818	553	3%	1,544	8%	11,986	64%	4,735	25%
	平成21年度	18,208	472	3%	1,229	7%	12,075	66%	4,431	24%
	平成26年度	17,484	559	3%	987	6%	11,281	65%	4,658	27%

表示桁数の関係で内訳の合計値と合計が一致しない、割合の合計値が100%にならない場合があります。

(4) 河川空間利用者総数の多い水系

《平成26年度の利用状況》

年間利用者数が最も多かったのは、荒川水系（東京都等）となった。次いで利根川水系（茨城県等）、多摩川水系（東京都等）、淀川水系（大阪府等）、木曾川水系（岐阜県等）であった。調査開始以来、1位から4位までは順位の変動はあるものの同じ水系となっている。また、安倍川水系（静岡県）が調査を開始してから初めてベスト10に入った。

沿川市区町村人口からみた年間平均利用回数は、地方部の水系である尻別川水系、番匠川水系、小丸川水系、肱川水系、渡川水系で多く、これらの水系では、1人あたり1年間に約8～18回程度河川空間を利用していることとなる。なお、年間平均利用回数は、利用者が沿川市区町村の人間であると想定し、水系ごとの年間利用者数を沿川市区町村人口で除して算出した値である。

調査対象河川区域面積あたりの年間利用者数は、鶴見川水系、多摩川水系、荒川水系（関東）、太田川水系、相模川水系で多かった。

直轄管理区間延長（ダム湖区間を除く）あたりの年間利用者数は、多摩川水系、鶴見川水系、荒川水系（関東）、相模川水系で多かった。

調査対象河川区域面積あたりの年間利用者数や直轄管理区間延長（ダム湖区間を除く）あたりの年間利用者数の上位は、大都市及びその近郊を貫流する水系が上位を占めている。

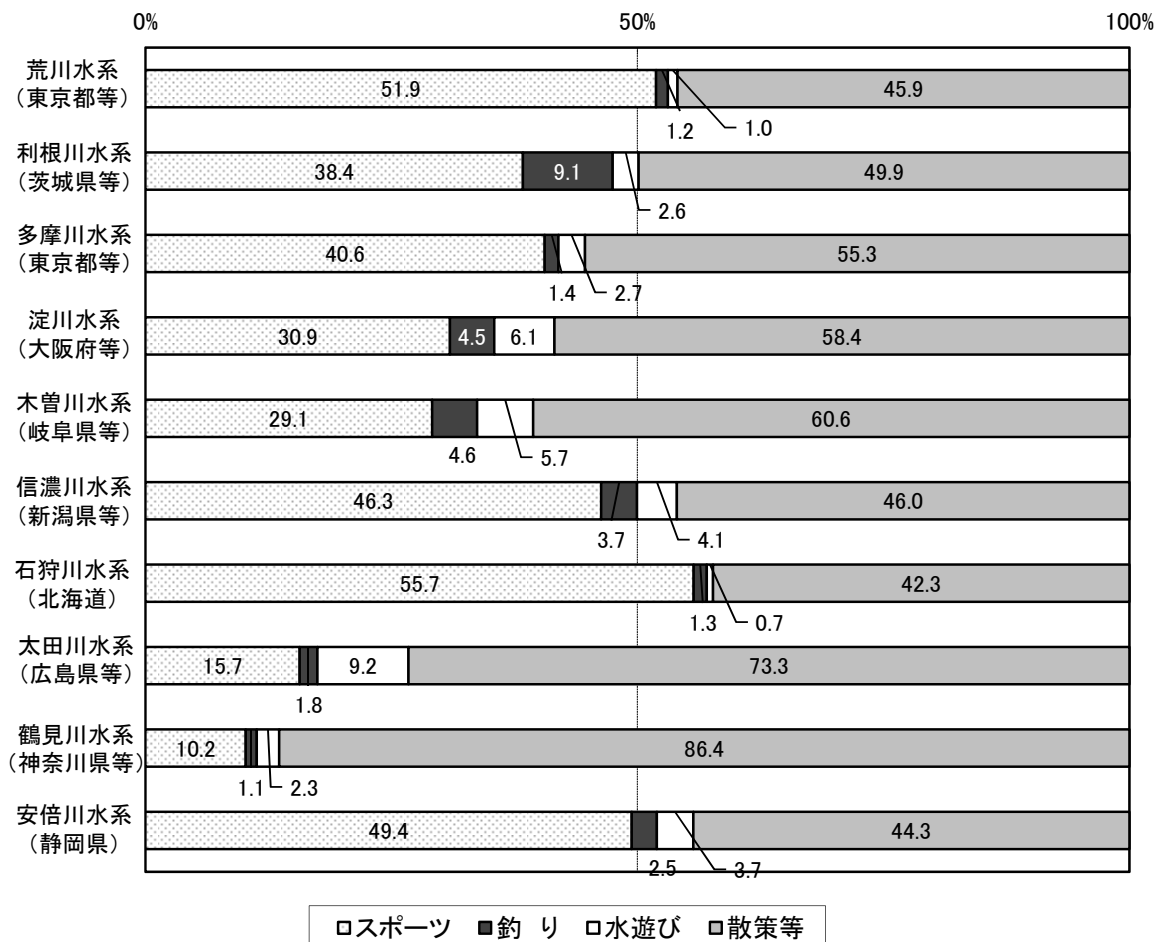


図 2.13 平成26年度年間利用者数ベスト10水系の利用形態別内訳（割合）

表示桁数の関係で割合の合計値が100%にならない場合があります。

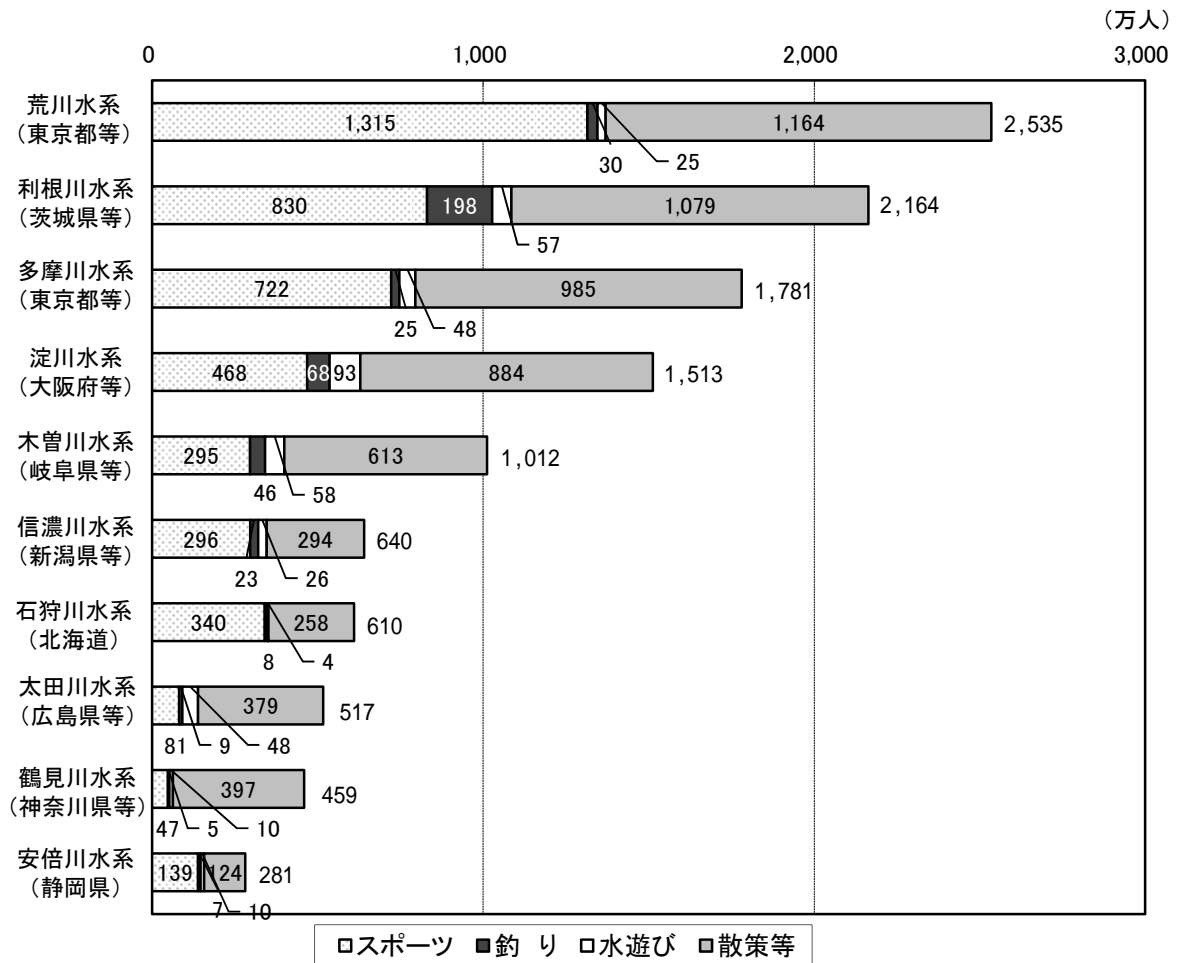


図 2.14 平成26年度年間利用者数ベスト10水系の利用形態別内訳 (人数)

表Ⅱ.2.5(1) 平成26年度年間利用者数ベスト10

(万人/年)

順位	平成4年度		平成5年度		平成9年度		平成12年度		平成15年度		平成18年度		平成21年度		平成26年度									
	総合		総合		総合		総合		総合		総合		総合		総合	散策等	スポーツ	釣り	水遊び					
1	荒川(関東)	5,458	荒川(関東)	3,366	利根川	2,791	荒川(関東)	2,532	利根川	3,305	利根川	2,733	利根川	2,423	荒川(関東)	2,535	荒川(関東)	1,164	荒川(関東)	1,315	利根川	198	澁川	93
2	利根川	2,953	澁川	3,089	荒川(関東)	2,588	澁川	2,409	澁川	2,572	荒川(関東)	2,440	荒川(関東)	2,327	利根川	2,164	利根川	1,079	利根川	830	澁川	68	木曾川	58
3	澁川	2,586	利根川	2,927	多摩川	2,090	利根川	2,165	荒川(関東)	2,353	澁川	2,172	多摩川	1,857	多摩川	1,781	多摩川	985	多摩川	722	木曾川	46	利根川	57
4	多摩川	1,603	多摩川	1,384	澁川	1,757	多摩川	1,707	多摩川	1,334	多摩川	1,607	澁川	1,705	澁川	1,513	澁川	884	澁川	468	荒川(関東)	30	多摩川	48
5	石狩川	566	木曾川	673	木曾川	811	木曾川	888	信濃川	689	木曾川	796	木曾川	862	木曾川	1,012	木曾川	613	石狩川	340	多摩川	25	太田川	48
6	木曾川	559	太田川	593	北上川	479	富士川	516	木曾川	687	石狩川	754	信濃川	779	信濃川	640	鶴見川	397	信濃川	296	信濃川	23	信濃川	26
7	太田川	460	信濃川	367	石狩川	445	矢作川	475	石狩川	552	信濃川	545	石狩川	657	石狩川	610	太田川	379	木曾川	295	神通川	21	荒川(関東)	25
8	富士川	295	石狩川	344	庄内川	393	太田川	471	太田川	423	北上川	420	太田川	453	太田川	517	信濃川	294	庄内川	176	那珂川	21	仁淀川	22
9	信濃川	277	天竜川	317	信濃川	383	北上川	357	北上川	398	太田川	361	北上川	440	鶴見川	459	石狩川	258	富士川	162	大淀川	18	高瀬川	19
10	庄内川	272	北上川	293	阿武隈川	310	石狩川	313	大淀川	291	紀の川	334	鶴見川	328	安倍川	281	北上川	193	安倍川	139	庄川	16	最上川	18
全国合計	20,001		18,852		18,353		18,018		19,104		18,818		18,208		17,484		9,464		6,531		763		727	
全国水系平均	183		173		168		165		177		173		167		160		87		60		7		7	

表Ⅱ.2.5(2) 平成26年度1人あたりの年間利用回数ベスト10

(回/人)

順位	平成4年度		平成5年度		平成9年度		平成12年度		平成15年度		平成18年度		平成21年度		平成26年度									
	総合		総合		総合		総合		総合		総合		総合		総合	散策等	スポーツ	釣り	水遊び					
1	網走川	23.0	肱川	22.7	後志利別川	24.4	尻別川	11.1	渡川	15.5	渡川	9.7	渡川	9.2	尻別川	18.1	尻別川	15.7	大井川	3.2	尻別川	1.5	渡川	2.5
2	肱川	10.7	円山川	11.8	円山川	13.2	渡川	10.6	肱川	10.4	肱川	8.8	番匠川	8.2	番匠川	11.4	番匠川	8.6	常呂川	3.2	小丸川	1.2	番匠川	2.2
3	円山川	10.6	小丸川	10.1	肱川	11.3	荒川(北陸)	9.3	網走川	7.4	小丸川	8.4	肱川	7.5	小丸川	9.5	肱川	7.1	小丸川	2.9	渡川	1.0	高瀬川	1.0
4	小丸川	9.5	四万十川	7.6	小丸川	10.2	大井川	8.8	小丸川	7.4	尻別川	5.9	大井川	7.4	肱川	8.6	小丸川	5.0	十勝川	2.3	五ヶ瀬川	0.7	肱川	0.8
5	荒川(関東)	9.0	鶴川	7.5	網走川	9.6	五ヶ瀬川	7.6	天塩川	7.2	荒川(北陸)	5.9	小丸川	6.4	渡川	7.9	五ヶ瀬川	4.1	黒部川	2.1	庄川	0.5	天塩川	0.6
6	尻別川	6.9	尻別川	7.3	荒川(北陸)	8.6	肱川	6.6	尻別川	7.0	天塩川	5.6	高梁川	5.9	五ヶ瀬川	5.4	渡川	3.7	安倍川	2.0	神通川	0.5	宮川	0.5
7	四万十川	5.6	網走川	6.7	湧別川	8.4	小丸川	6.4	番匠川	6.9	紀の川	5.3	網走川	5.7	太田川	4.6	太田川	3.4	加古川	2.0	那珂川	0.4	仁淀川	0.5
8	天塩川	4.4	番匠川	5.9	渡川	8.0	湧別川	6.1	後志利別川	6.0	川内川	5.2	天塩川	5.7	大井川	4.4	嘉瀬川	3.4	紀の川	1.9	網走川	0.4	太田川	0.4
9	太田川	4.2	荒川(関東)	5.6	常呂川	7.0	沙流川	5.8	那賀川	6.0	仁淀川	5.2	那賀川	4.8	常呂川	4.0	留萌川	2.5	土器川	1.8	手取川	0.4	小丸川	0.4
10	仁淀川	4.1	太田川	5.4	番匠川	6.4	円山川	5.8	大淀川	5.7	大井川	5.1	鶴川	4.5	安倍川	4.0	木曾川	2.4	荒川(関東)	1.8	肱川	0.3	球磨川	0.4
全国水系平均	2.3		2.5		2.8		2.6		2.5		2.2		2.0		1.9		1.0		0.7		0.1		0.1	

表Ⅱ 2.5(3) 平成26年度調査対象河川区域面積あたりの年間利用者数ベスト10

(万人/年・Km²)

順位	平成4年度		平成5年度		平成9年度		平成12年度		平成15年度		平成18年度		平成21年度		平成26年度									
	総合		総合		総合		総合		総合		総合		総合		総合	散策等	スポーツ	釣り	水遊び					
1	荒川(関東)	54.4	鶴見川	62.3	鶴見川	91.1	鶴見川	65.9	鶴見川	53.5	鶴見川	64.8	鶴見川	89.0	鶴見川	124.4	鶴見川	107.5	多摩川	26.1	梯川	1.9	相模川	4.0
2	多摩川	53.3	多摩川	46.0	多摩川	69.2	多摩川	53.0	多摩川	45.1	多摩川	58.0	多摩川	67.0	多摩川	64.3	多摩川	35.6	荒川(関東)	13.1	揖保川	1.6	鶴見川	2.8
3	鶴見川	46.8	淀川	33.7	十勝川	52.5	矢作川	31.6	白川	33.8	相模川	36.8	那賀川	39.6	荒川(関東)	25.3	小瀬川	18.3	鶴見川	12.7	鶴見川	1.4	仁淀川	2.3
4	相模川	30.2	荒川(関東)	33.5	荒川(関東)	25.8	相模川	27.6	大和川	25.4	狩野川	25.5	相模川	28.5	太田川	24.4	太田川	17.9	庄内川	10.6	神通川	1.4	太田川	2.3
5	淀川	28.2	太田川	30.7	庄内川	23.6	荒川(関東)	25.2	荒川(関東)	23.4	荒川(関東)	24.4	荒川(関東)	23.3	相模川	20.0	嘉瀬川	16.3	加古川	9.6	庄川	1.3	子吉川	2.2
6	太田川	23.8	肱川	23.5	狩野川	22.9	太田川	24.4	相模川	22.9	大和川	22.2	重信川	22.3	小瀬川	19.9	狩野川	13.2	安倍川	8.7	相模川	1.3	番匠川	2.1
7	狩野川	23.1	大和川	20.1	白川	19.5	大和川	21.1	太田川	21.9	太田川	18.7	太田川	21.4	嘉瀬川	18.3	大和川	12.8	相模川	8.1	五ヶ瀬川	1.0	多摩川	1.7
8	庄内川	18.1	天竜川	20.0	大和川	18.2	白川	18.2	矢作川	17.9	嘉瀬川	17.9	狩野川	17.6	安倍川	17.5	大分川	11.9	大井川	6.2	子吉川	1.0	那賀川	1.5
9	大和川	16.4	白川	18.1	相模川	17.6	安倍川	15.5	馬淵川	16.4	安倍川	16.1	庄内川	17.2	大和川	16.8	荒川(関東)	11.6	土器川	5.5	旭川	1.0	小瀬川	1.2
10	白川	12.6	庄内川	17.6	豊川	16.5	旭川	14.8	安倍川	15.9	旭川	15.4	関川	16.9	加古川	16.4	那賀川	11.2	紀の川	4.3	多摩川	0.9	宮川	1.1
全国水系平均	5.9		6.3		7.2		6.5		6.2		4.1		3.9		3.8		2.0		1.4		0.2		0.2	

表Ⅱ 2.5(4) 平成26年度直轄管理区間延長あたりの年間利用者数ベスト10

(万人/年・km)

順位	平成4年度		平成5年度		平成9年度		平成12年度		平成15年度		平成18年度		平成21年度		平成26年度									
	総合		総合		総合		総合		総合		総合		総合		総合	散策等	スポーツ	釣り	水遊び					
1	荒川(関東)	37.8	荒川(関東)	23.3	多摩川	26.6	多摩川	21.7	多摩川	17.0	相模川	20.9	多摩川	23.6	多摩川	22.7	鶴見川	17.5	多摩川	9.2	相模川	0.7	相模川	2.3
2	多摩川	20.4	多摩川	17.6	荒川(関東)	17.9	荒川(関東)	17.5	荒川(関東)	16.2	多摩川	20.4	相模川	16.2	鶴見川	20.2	多摩川	12.5	荒川(関東)	9.1	庄川	0.6	仁淀川	1.1
3	相模川	18.8	淀川	13.3	鶴見川	12.8	相模川	17.1	相模川	12.9	荒川(関東)	16.9	荒川(関東)	16.1	荒川(関東)	17.6	荒川(関東)	8.1	大井川	5.4	神通川	0.4	多摩川	0.6
4	淀川	11.1	相模川	10.9	相模川	10.9	矢作川	11.0	淀川	11.8	鶴見川	10.5	鶴見川	14.5	相模川	11.4	嘉瀬川	5.1	相模川	4.6	手取川	0.3	渡川	0.5
5	鶴見川	6.6	鶴見川	8.8	淀川	7.5	淀川	10.3	安倍川	8.0	淀川	9.3	大井川	12.7	安倍川	8.9	安倍川	3.9	安倍川	4.4	旭川	0.3	高瀬川	0.5
6	重信川	4.2	太田川	4.9	安倍川	7.1	大井川	9.8	白川	7.5	安倍川	8.2	高梁川	9.1	大井川	7.5	淀川	3.9	加古川	2.5	多摩川	0.3	鶴見川	0.5
7	狩野川	3.9	肱川	4.7	常願寺川	6.2	鶴見川	9.3	鶴見川	7.1	大井川	5.8	重信川	7.8	淀川	6.7	相模川	3.8	庄内川	2.5	淀川	0.3	宮川	0.4
8	利根川	3.9	利根川	3.9	庄内川	5.3	安倍川	7.8	矢作川	6.2	嘉瀬川	5.5	淀川	7.6	嘉瀬川	5.7	太田川	3.1	土器川	2.3	五ヶ瀬川	0.3	淀川	0.4
9	名取川	3.9	白川	3.7	白川	4.3	旭川	5.0	大井川	5.9	旭川	5.2	安倍川	6.1	加古川	4.3	小瀬川	2.9	淀川	2.1	利根川	0.3	太田川	0.4
10	太田川	3.8	大和川	3.7	大井川	4.2	富士川	4.2	大和川	4.7	常願寺川	5.1	旭川	4.7	太田川	4.3	大分川	2.5	鶴見川	2.1	小丸川	0.2	番匠川	0.4
全国水系平均	2.0		1.9		2.1		2.1		2.0		2.2		2.1		2.0		1.1		0.7		0.1		0.1	

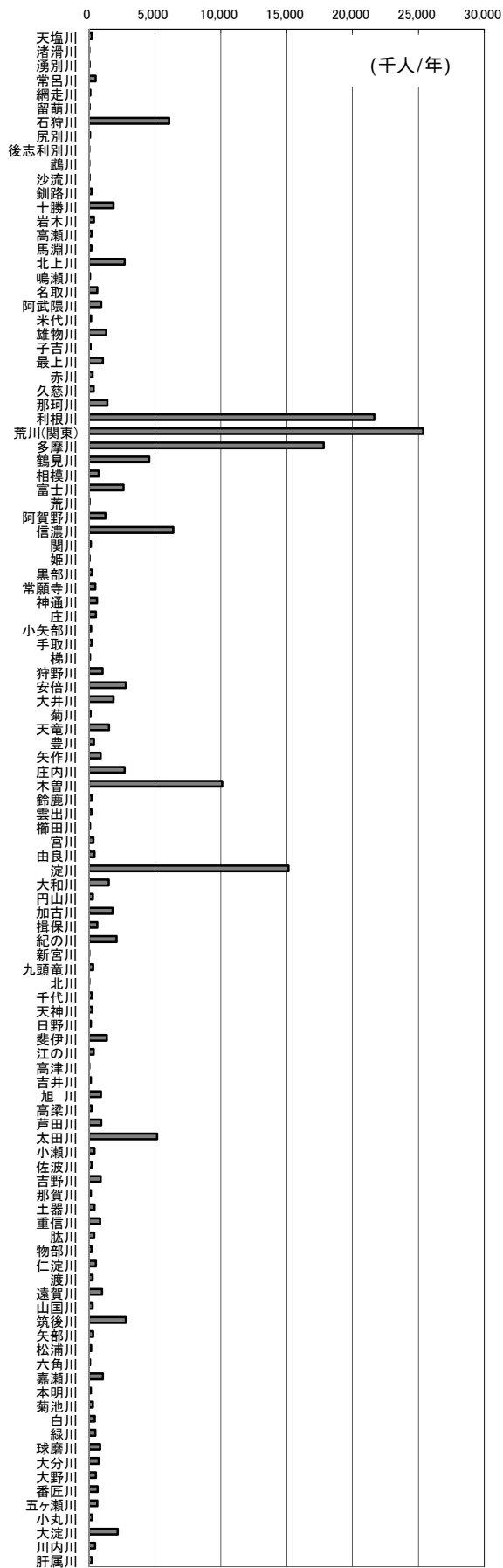


図 .2.15(1) 各水系の利用者数(年間利用者総数)

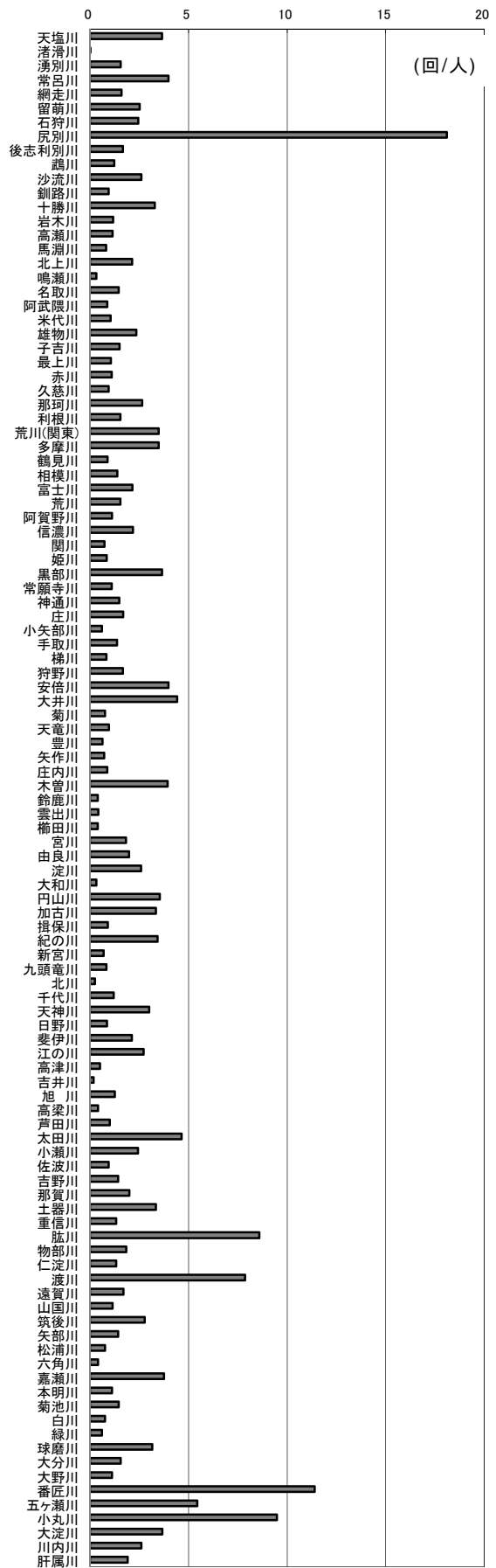


図 .2.15(2) 各水系の利用者数(1人あたりの年間利用回数)

《水辺の代表的な活動》

水辺に近づき、川自体を利用するという水辺の代表的な活動としては、「水遊び」や「釣り」があげられる。これらに着目し、水辺の代表的な活動がよく行われている水系を抽出した。

水遊び利用について

a. 夏の水遊び

川を利用する形態としては、夏における「水遊び」が代表格であるが、その利用者数を見ると、木曾川水系（岐阜県等）が最も多く、以下、2位・淀川水系（大阪府等）、3位・利根川水系（茨城県等）、4位・多摩川水系（東京都等）、5位・太田川水系（広島県）と続く。

直轄管理区間延長（ダム湖区間を除く）あたりの利用者数をみると、第1位は相模川水系（神奈川県等）となった。相模川水系は過去3回の調査において上位に入っている。

表 .2.6(1) 夏の水遊びの利用者数（人）

順位	平成18年度調査		平成21年度調査		平成26年度調査	
1位	利根川（茨城県等）	14,369	利根川（茨城県等）	10,793	木曾川（岐阜県等）	14,044
2位	網走川（北海道）	11,082	多摩川（東京都等）	10,584	淀川（大阪府等）	13,260
3位	木曾川（岐阜県等）	10,407	高瀬川（青森県）	8,877	利根川（茨城県等）	8,648
4位	多摩川（東京都等）	9,330	荒川（東京都等）	6,313	多摩川（東京都等）	7,191
5位	遠賀川（福岡県）	8,945	淀川（大阪府等）	6,302	太田川（広島県）	6,258

全て水系名

表 .2.6(2) 直轄管理区間延長あたりの夏の水遊びの利用者数（人/km）

順位	平成18年度調査		平成21年度調査		平成26年度調査	
1位	仁淀川（高知県）	198	高瀬川（青森県）	221	相模川（神奈川県等）	351
2位	網走川（北海道）	169	相模川（神奈川県等）	155	仁淀川（高知県）	303
3位	相模川（神奈川県等）	152	多摩川（東京都等）	135	高瀬川（青森県）	154
4位	物部川（高知県）	152	太田川（広島県）	50	旭川（岡山県）	103
5位	多摩川（東京都等）	119	荒川（東京都等）	44	多摩川（東京都等）	91

全て水系名

b.年間を通した水遊び

年間を通した「水遊び」の利用が最も多かったのは、淀川水系（大阪府等）であり、以下、2位・木曾川水系（岐阜県等）、3位・利根川水系（岐阜県等）、4位・多摩川水系（東京都等）、5位・太田川水系（広島県等）と続く。

淀川水系の「水遊び」の年間利用者数は、平成21年度から2倍以上となった。

直轄管理区間延長（ダム湖区間を除く）あたりの利用者数をみると、第1位は相模川水系（神奈川県等）であった。相模川水系の直轄管理区間延長あたりの利用者数は、前回よりも増加した。相模川水系や仁淀川水系、多摩川水系は、過去3回の調査において上位に入っている。

表 .2.7(1) 水遊びの年間利用者数（万人）

順位	平成18年度調査		平成21年度調査		平成26年度調査	
1位	利根川（茨城県等）	79.1	多摩川（東京都等）	74.2	淀川（大阪府等）	92.7
2位	多摩川（東京都等）	68.4	利根川（茨城県等）	69.4	木曾川（岐阜県等）	57.9
3位	木曾川（岐阜県等）	64.6	荒川（東京都等）	50.8	利根川（茨城県等）	57.1
4位	天竜川（静岡県等）	44.1	淀川（大阪府等）	42.1	多摩川（東京都等）	48.0
5位	淀川（大阪府等）	43.1	木曾川（岐阜県等）	33.3	太田川（広島県等）	47.8

全て水系名

表 .2.7(2) 直轄管理区間延長あたりの水遊びの年間利用者数（万人/km）

順位	平成18年度調査		平成21年度調査		平成26年度調査	
1位	相模川（神奈川県等）	1.1	相模川（神奈川県等）	1.4	相模川（神奈川県等）	2.3
2位	多摩川（東京都等）	0.9	多摩川（東京都等）	0.9	仁淀川（高知県）	1.1
3位	仁淀川（高知県）	0.8	高瀬川（青森県）	0.6	多摩川（東京都等）	0.6
4位	矢作川（愛知県等）	0.5	高梁川（岡山県）	0.5	渡川（高知県）	0.5
5位	物部川（高知県）	0.5	仁淀川（高知県）	0.4	高瀬川（青森県）	0.5

全て水系名

釣りについて

「釣り」の利用が最も多い水系は利根川水系（茨城県等）であり、以下、2位・淀川水系（大阪府等）、3位・木曾川水系（岐阜県等）、4位・荒川水系（東京都等）、5位・多摩川水系（東京都等）と続く。前回調査と同様、都市部を流れる河川が上位に入っている。

ただ、利根川水系、淀川水系など上位の水系は、前回調査でも、今回調査でも、釣りの利用者数は減少傾向にある。

直轄管理区間延長（ダム湖区間を除く）あたりの利用者数をみると、第1位は相模川水系（神奈川県等）であった。

相模川水系は、「水遊び」の直轄管理区間延長（ダム湖区間を除く）あたりの利用者数でも第1位となっており、水辺の代表的な活動が最も盛んな川と言える。

表 .2.8(1) 釣りの年間利用者数（万人）

順位	平成18年度調査		平成21年度調査		平成26年度調査	
1位	利根川（茨城県等）	278	利根川（茨城県等）	254	利根川（茨城県等）	198
2位	淀川（大阪府等）	96	淀川（大阪府等）	72	淀川（大阪府等）	68
3位	荒川（東京都等）	78	多摩川（東京都等）	48	木曾川（岐阜県等）	46
4位	多摩川（東京都等）	50	荒川（東京都等）	42	荒川（東京都等）	30
5位	紀の川（和歌山県等）	47	信濃川（新潟県等）	37	多摩川（東京都等）	25

全て水系名

表 .2.8(2) 直轄管理区間延長あたりの釣りの年間利用者数（万人/km）

順位	平成18年度調査		平成21年度調査		平成26年度調査	
1位	相模川（神奈川県等）	1.4	相模川（神奈川県等）	1.0	相模川（神奈川県等）	0.7
2位	紀の川（和歌山県等）	0.7	多摩川（東京都等）	0.6	庄川（岐阜県等）	0.6
3位	多摩川（東京都等）	0.6	五ヶ瀬川（宮崎県等）	0.4	神通川（富山県等）	0.4
4位	荒川（東京都等）	0.5	庄川（岐阜県等）	0.4	手取川（石川県）	0.3
5位	安倍川（静岡県）	0.5	高梁川（岡山県）	0.4	旭川（岡山県）	0.3

全て水系名

・水系別河川空間利用実態

- 1 . 北海道地方の河川空間利用実態

(1) 北海道地方の河川空間利用実態の概要

北海道地方の水系では、各調査日の利用者数をみると、春季5月5日(こどもの日)の68,524人が最も多く、次いで春季4月29日(昭和の日)が39,915人と多かった。

平成21年度と比較すると、夏季7月27日(日)で大きく減少した。この主な要因として、多くの河川で天候不良であったことがあげられる。

年間河川空間利用者総数(推計)は、約934万人であり、沿川市区町村人口(約367万人)からみた年間平均利用回数は約2.54回/人であった。平成21年度と比較して、約72万人の減少となった。主な要因として、夏季から冬季の調査日において、多くの河川で天候不良であったため、利用者数が少なくなり、年間利用者数の減少につながったと考えられる。

利用形態別では、「スポーツ」が58%(全国平均約37%)と最も高く、次いで「散策等」の38%(同54%)、「釣り」3%(同4%)、「水遊び」1%(同4%)であった。また利用場所別では、「高水敷」が85%(全国平均約65%)と最も高く、次いで「堤防」の12%(同27%)、「水際」2%(同6%)、「水面」1%(同3%)と続いた。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態では「スポーツ」が増加し、「散策等」が減少した。利用場所では「高水敷」で増加し、「堤防」で減少した。

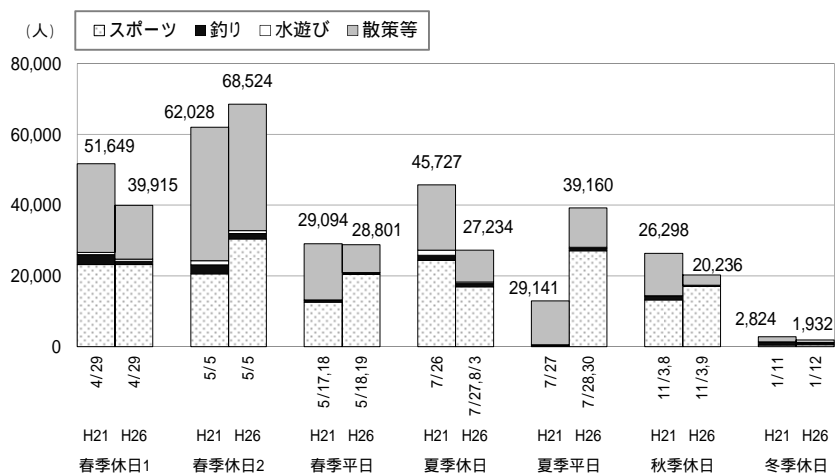


図 . 各調査日の利用者数

表 . 北海道地方の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態	スポーツ	4,415	5,432	44%	58%
	釣り	280	216	3%	3%
	水遊び	117	122	1%	1%
	散策等	5,250	3,568	52%	38%
別合計	10,061	9,338			
利用場所	水面	130	111	1%	1%
	水際	267	228	3%	2%
	高水敷	7,558	7,905	75%	85%
	堤防	2,105	1,095	21%	12%
別合計	10,061	9,338			

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

(2) 北海道地方における河川空間利用実態の状況

北海道地方における各水系の年間利用者数をみると、平成 21 年度調査と比較して、13 水系のうち 5 水系（常呂川、留萌川、尻別川、沙流川、十勝川）が増加し、8 水系（天塩川、渚滑川、湧別川、網走川、石狩川、後志利別川、鶴川、釧路川）が減少した。

北海道地方における利用形態別の利用は、「スポーツ」の利用が多い。北海道では、運動場などでのスポーツに加え、パークゴルフが盛んである。

各水系の特徴として、高水敷に公園、運動場等の河川利用施設が整備されていない渚滑川、高水敷が狭隘で利用可能な面積が少ない留萌川では「散策等」の利用が多い。それらと尻別川や鶴川を除く、その他の河川では、「スポーツ」の利用が多い。また、網走川では冬季のワカサギ釣りで「釣り」の利用が多い。

北海道地方における利用場所別の特徴は、「スポーツ」の利用が多いため、「高水敷」の利用が多い。一方、留萌川の高水敷は狭隘で利用可能な面積が少ないため、「堤防」の利用が大部分を占めている。

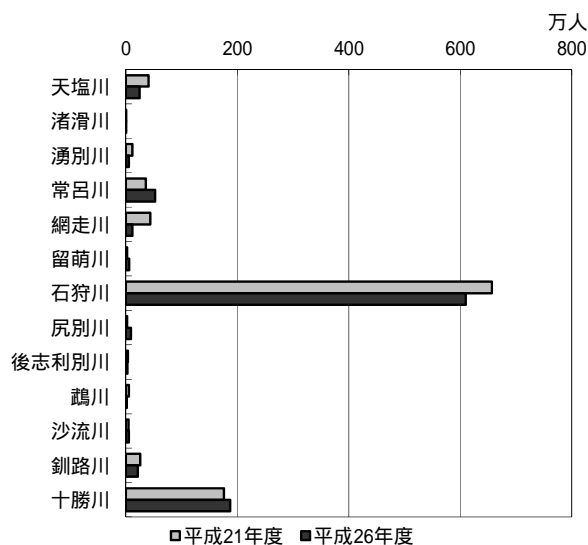


図 - 1. 年間推計値の対比 (平成21・26年度)

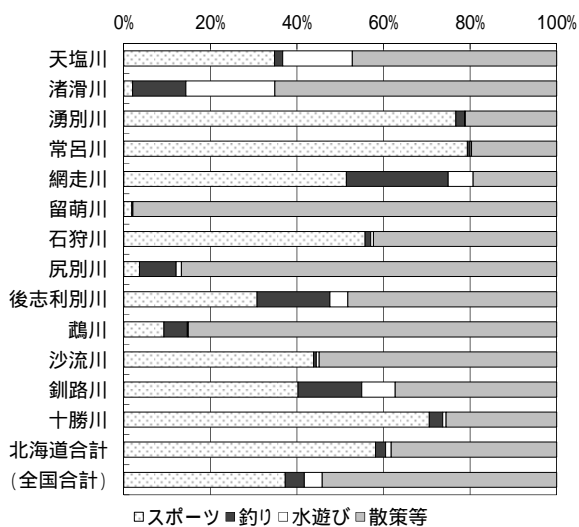


図 - 2. 利用形態別グラフ (平成26年度)

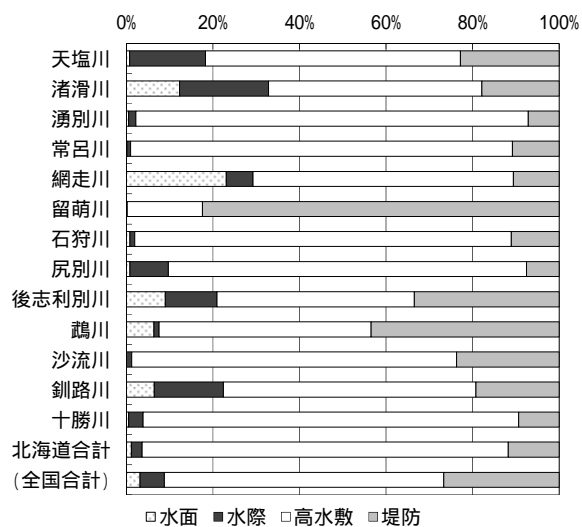


図 - 3. 利用場所別グラフ (平成26年度)

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

(3) 北海道地方における各水系の河川空間利用実態

1. 天塩川(てしおがわ)

天塩川における各調査日の利用者数をみると、夏季7月28日(平日)に1,243人が河川利用しており、最も多かった。尚、冬季は調査を実施していない。

天塩川における河川利用形態は、上流から下流にかけて「散策等」が最も多く、次いで「スポーツ」の利用であった。特に名寄市(152km付近)・士別市(175km付近)の公園・運動場に集中していた。天塩川全域、支流の名寄川にはパークゴルフ場があり、幅広い年齢層に利用されている。

平成26年度の天塩川における年間河川空間利用者総数(推計)は約24.2万人であり、沿川市区町村人口(約6.6万人)からみた年間平均利用回数は約3.7回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数(推計)は約16.2万人の減少となった。

利用形態別では、「散策等」が47%と最も多く、次いで「スポーツ」の35%、「水遊び」16%、「釣り」2%であった。中でも「スポーツ」はパークゴルフ、サッカー、野球、ジョギングが盛んであった。利用場所別では、「高水敷」が59%と最も多く、次いで「堤防」の23%、「水際」17%、「水面」1%であった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態では「水遊び」が増加し、「散策等」「スポーツ」が減少した。利用場所では「水際」で増加し、「高水敷」や「堤防」で減少した。

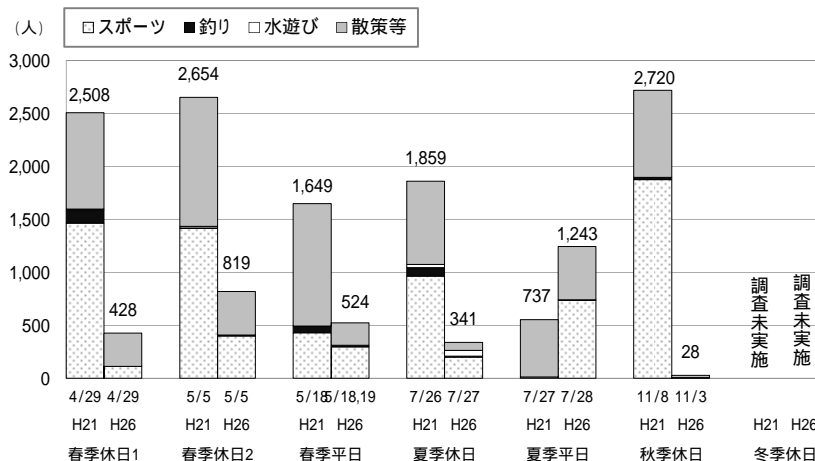


図 .1 各調査日の利用者数

表 .1 天塩川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態別	スポーツ	179	84	44%	35%
	釣り	8	4	2%	2%
	水遊び	2	39	1%	16%
	散策等	215	114	53%	47%
合計	404	242			
利用場所別	水面	4	2	1%	1%
	水際	7	43	2%	17%
	高水敷	266	143	66%	59%
	堤防	128	55	31%	23%
	合計	404	242		

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

2. 渚滑川（しょこつがわ）

渚滑川における各調査日の利用者数をみると、春季 5 月 5 日（こどもの日）に 38 人が河川利用しており、最も多かった。夏季以降は 0 人であった。

河川利用実態は、春季の各調査日とも「堤防」の「散策等」または、「水際」の「水遊び」であった。

渚滑川は、沿川市町村の市街地からは離れた山際を流れていることに加え、河川敷に公園等の河川利用施設がなく、積極的な利用があまりみられない河川である。そのため、時折散策や水遊びがみられる程度の利用であった。

平成 26 年度の渚滑川における年間河川空間利用者総数（推計）は 415 人であり、沿川市区町村人口（約 2.7 万人）からみた年間平均利用回数は約 0.02 回 / 人であった。

平成 21 年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約 4 千人の減少となった。

利用形態別では、「散策等」が 65% と最も多く、次いで「水遊び」の 21%、「釣り」12%、「スポーツ」2% であった。利用場所別では、「高水敷」が 49% と最も多く、次いで「水際」の 21%、「堤防」18%、「水面」12% であった。

利用状況の割合を平成 21 年度と比較すると、利用形態では「水遊び」が増加し、「散策等」が減少した。利用場所では「高水敷」で増加し、「堤防」で減少した。

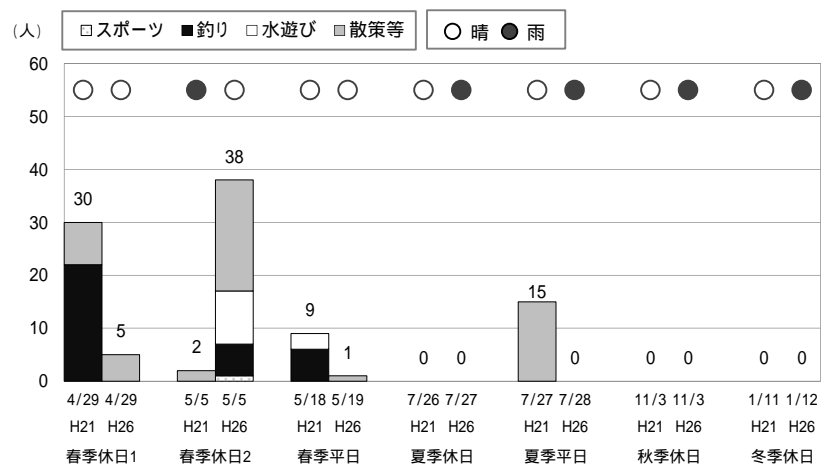


図 2 各調査日の利用者数

表 2 渚滑川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(百人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態別	スポーツ	0	0	0%	2%
	釣り	6	1	16%	12%
	水遊び	2	1	5%	21%
	散策等	31	3	79%	65%
合計	40	4			
利用場所別	水面	1	1	3%	12%
	水際	7	1	17%	21%
	高水敷	1	2	3%	49%
	堤防	31	1	77%	18%
	合計	40	4		

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

3. 湧別川（ゆうべつがわ）

湧別川における各調査日の利用者数をみると、春季 4 月 29 日（昭和の日）に 691 人が河川利用しており、最も多かった。

夏季から冬季の調査日は、天候が不良であったため、利用者数が少なかった。

春季から夏季の調査日は、ゴルフ場と運動公園での「スポーツ」利用が多いが、秋季は利用者が少なくなり、冬季は除雪がされていないため利用者は 0 人であった。

湧別川における河川利用実態は、グラウンドやゴルフ場における「スポーツ」が主たる利用であり、次いでせせらぎ公園や堤防上での「散策等」が多かった。「釣り」や「水遊び」はほとんどみられなかった。

湧別川は、直轄区間の上流部で遠軽町の市街地を貫流し、高水敷も運動公園やせせらぎ公園等が整備されていることから河川利用者数は多いが、その他はゴルフ場を除いて利用者はあまり多くなかった。

平成 26 年度の湧別川における年間河川空間利用者総数（推計）は約 4.9 万人であり、沿川市区町村人口（約 3.1 万人）からみた年間平均利用回数は約 1.6 回 / 人であった。

平成 21 年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約 6.9 万人の減少となった。

利用形態別では、「スポーツ」が 77%と最も多く、次いで「散策等」の 21%、「釣り」2%、「水遊び」0%であった。

利用場所別では、「高水敷」が 91%と最も多く、次いで「堤防」の 7%、「水際」2%、「水面」0%であった。

利用状況の割合を平成 21 年度と比較すると、利用形態では「スポーツ」が増加し、「散策等」が減少した。利用

場所では「堤防」で減少した。

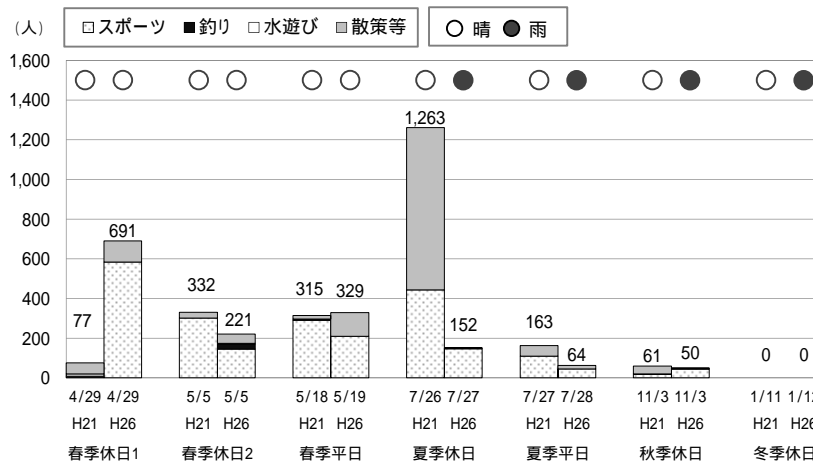


図 .3 各調査日の利用者数

表 .3 湧別川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態	スポーツ	64	37	54%	77%
	釣り	1	1	1%	2%
	水遊び	0	0	0%	0%
	散策等	53	10	45%	21%
別合計	117	49			
利用場所	水面	0	0	0%	0%
	水際	1	1	0%	2%
	高水敷	102	44	87%	91%
	堤防	15	3	13%	7%
別合計	117	49			

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

4. 常呂川（ところがわ）

常呂川における各調査日の利用者数をみると、春季5月5日（こどもの日）に4,289人が河川利用しており、最も多かった。

夏季から冬季の調査日は、天候が不良であったため、利用者数が少なかった。

常呂川における河川利用実態は、冬季を除く各調査日とも50km右岸をはじめとするパークゴルフ場での利用者が非常に多く、北見市の市街地近辺のグラウンドでの「スポーツ」や堤防上の「散策等」が多くみられた。一方で「釣り」や「水遊び」はほとんどみられなかった。

常呂川・無加川は中流部でオホーツク圏最大の都市である北見市の市街地を流下し、市街地を流下している区間の高水敷上にパークゴルフ場やグラウンド、公園といった河川利用施設も整備されており、利用者数は非常に多かった。また、訓子府町や置戸町の市街地も流下しており、これらの地域での「スポーツ」や「散策等」の利用も多くみられた。

平成26年度の常呂川における年間河川空間利用者総数（推計）は約52.1万人であり、沿川市区町村人口（約13.1万人）からみた年間平均利用回数は約4.0回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約16.5万人の増加となった。

利用形態別では、「スポーツ」が79%と最も多く、次いで「散策等」の20%、「釣り」1%、「水遊び」0%であった。利用場所別では、「高水敷」が88%と最も多く、次いで「堤防」の11%、「水際」1%、「水面」0%であった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態では「スポーツ」が増加し、「散策等」が減少した。利用場所では大きな変化は見られない。

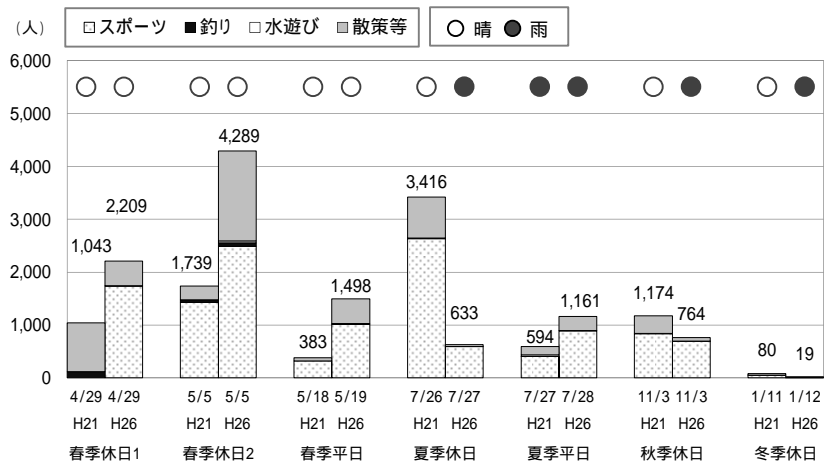


図 4 各調査日の利用者数

表 4 常呂川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態別	スポーツ	256	414		
	釣り	3	3		
	水遊び	5	2		
	散策等	92	102		
合計		356	521		
利用場所別	水面	0	1		
	水際	8	4		
	高水敷	307	460		
	堤防	41	56		
	合計		356		

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

5. 網走川（あばしりがわ）

網走川における各調査日の利用者数をみると、春季5月5日（こどもの日）に1,483人が河川利用しており、最も多かった。

夏季から冬季の調査日は、天候が不良であったため、利用者数が少なかった。

利用形態として、「高水敷」での「スポーツ」が多く、冬季は網走湖でのワカサギ釣りの利用が多くみられた。

網走川における河川利用実態は、30km 付近の施設におけるパークゴルフやスポーツが多く、下流部や網走湖周辺ではボート、カヌーなどの水面利用や冬季のわかさぎ釣りが多く確認された。

網走川・美幌川は、河口部付近で網走市街地を流下しているが、それ以外はやや市街地から離れているため、「散策等」の利用割合は少なかった。また、大きな水域である網走湖があり、春季から夏季では「水面」の利用があり、冬季はわかさぎ釣りで賑わっていた。

平成26年度の網走川における年間河川空間利用者総数（推計）は約11.6万人であり、沿川市区町村人口（約7.2万人）からみた年間平均利用回数は約1.6回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約31.8万人の減少となった。

利用形態別では、「スポーツ」が51%と最も多く、次いで「釣り」の24%、「散策等」19%、「水遊び」6%であった。利用場所別では、「高水敷」が60%と最も多く、次いで「水面」の23%、「堤防」11%、「水際」6%であった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態では「釣り」が増加し、「散策等」が減少した。

利用場所では「水面」で増加し、「高水敷」で減少した。

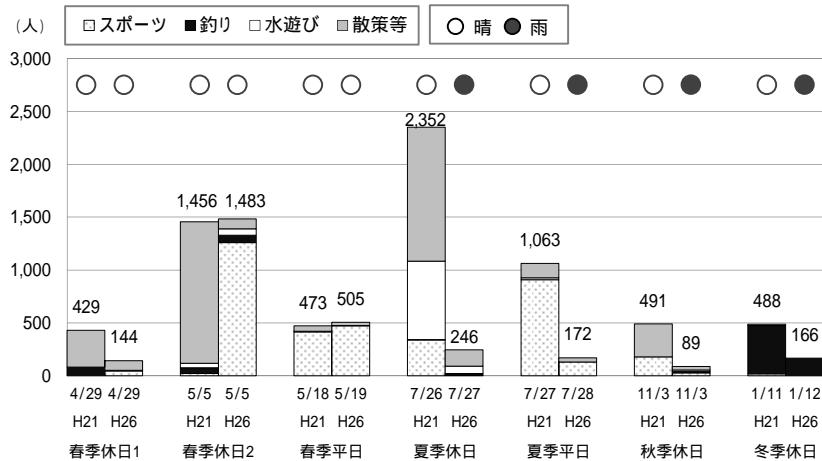


図 5 各調査日の利用者数

表 5 網走川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態	スポーツ	210	59		
	釣り	67	27		
	水遊び	37	7		
	散策等	120	22		
別合計		434	116		
利用場所	水面	76	27		
	水際	27	7		
	高水敷	294	69		
	堤防	37	12		
別合計		434	116		

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

6. 留萌川（るもいがわ）

留萌川における各調査日の利用者数をみると、夏季7月28日（平日）に342人が河川利用しており、最も多かった。尚、冬季は調査を実施していない。

留萌川における河川利用実態は、「散策等」が最も多かった。下流部に公園、学校、緑の回廊等の公共施設が点在し、住宅が隣接していることから、利用は下流部に集中していた。

上流部は、農地としての活用が多く住宅が少ないこともあり、利用がみられなかった。

平成26年度の留萌川における年間河川空間利用者総数（推計）は約5.7万人であり、沿川市区町村人口（約2.3万人）からみた年間平均利用回数は約2.5回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約3.8万人の増加となった。

利用形態別では、「散策等」が98%と最も多く、次いで「スポーツ」の2%、「釣り」0%、「水遊び」0%であった。休日だけでなく平日においても、通勤通学で利用している者が多いことが要因と考えられる。利用場所別では、「堤防」が82%と最も多く、次いで「高水敷」の18%、「水際」0%、「水面」0%であった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態ではほぼ同程度であった。利用場所では「高水敷」で増加し、「堤防」で減少した。

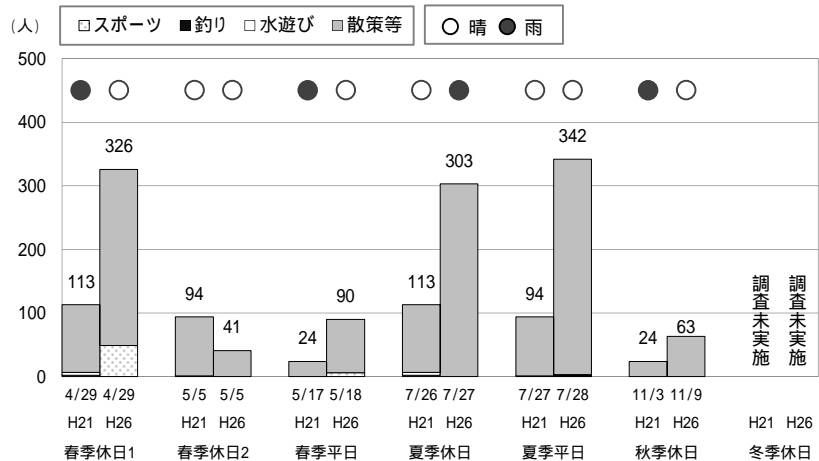


図 .6 各調査日の利用者数

表 .6 留萌川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(百人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態別	スポーツ	1	11	1%	2%
	釣り	0	1	0%	0%
	水遊び	2	0	1%	0%
	散策等	186	561	98%	98%
合計	189	573			
利用場所別	水面	0	0	0%	0%
	水際	2	1	1%	0%
	高水敷	4	100	2%	18%
	堤防	183	472	97%	82%
合計	189	573			

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

7. 石狩川（いしかりがわ）

石狩川における各調査日の利用者数をみると、春季5月5日（こどもの日）に48,043人が河川利用しており、最も多かった。

冬季は全域にわたって積雪があり、利用できない所がほとんどであったが、高水敷上での散策等や結氷河川でのワカサギ釣りによる河川利用が一部で見られた。

平成26年度の石狩川における年間河川空間利用者総数（推計）は約609.7万人であり、沿川市区町村人口（約248.8万人）からみた年間平均利用回数は約2.5回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約46.8万人の減少となった。特に豊平川で大きく減少しており、これは例年夏季調査日に開催されていた主要なイベントが平成22年度で終了し、平成26年度には開催されなかったことによる利用者数の減少が一因と考えられる。

利用形態別では、「スポーツ」が56%と最も多く、次いで「散策等」の42%、「釣り」1%、「水遊び」1%であった。「スポーツ」はゴルフ（パークゴルフ含む）、野球、マラソン等多岐にわたって利用されていた。「散策等」では、イベントや朝夕の犬の散歩による利用が多くみられた。利用場所別では、「高水敷」が87%と最も多く、次いで「堤防」の11%、「水際」1%、「水面」1%であった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態では「スポーツ」が増加し、「散策等」が減少した。利用場所では「高水敷」で増加し、「堤防」で減少した。

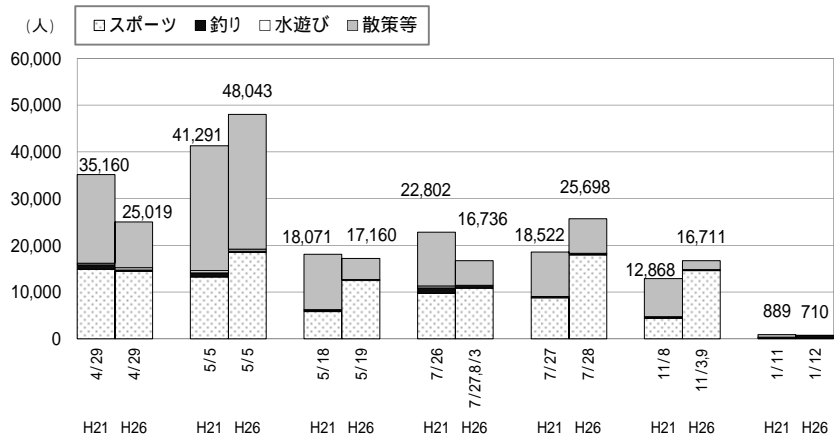


図 7 各調査日の利用者数

表 7 石狩川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態	スポーツ	2,345	3,398	36%	56%
	釣り	102	80	1%	1%
	水遊び	40	40	1%	1%
	散策等	4,078	2,579	62%	42%
	合計	6,565	6,097		
利用場所	水面	27	53	0%	1%
	水際	114	67	2%	1%
	高水敷	4,812	5,302	73%	87%
	堤防	1,612	675	25%	11%
	合計	6,565	6,097		

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

8. 尻別川（しりべつがわ）

尻別川における各調査日の利用者数をみると、夏季7月27日（日）に1,365人が河川利用しており、最も多かった。

平成21年度と比較して、春季休日の利用者数が減少し、夏季休日の利用者数が増加した。夏季休日の利用者数増加の要因は、平成21年度は天候不良により利用者が少なかったこと、平成26年度には「蘭越せせらぎまつり」が開催されたことが考えられる。

自然的利用区間での利用は「釣り」が多く、施設の利用区間に隣接する箇所では「散策等」の利用があった。「スポーツ」や「散策等」は21.5～23km左岸の施設の利用区間に集中していた。「釣り」は3～10kmと14～16km、20～24kmの3ポイントが多かった。「釣り」はミニキャンプを兼ねた利用も多く、数日の滞在もあった。「水遊び」は施設の利用区間での利用であった。利用形態により利用するポイントが限られていた。尚、散策を除く利用者のほぼ全員が自家用車を交通手段としていた。

平成26年度の尻別川における年間河川空間利用者総数（推計）は約9.1万人であり、沿川市区町村人口（約0.5万人）からみた年間平均利用回数は約18.1回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約7万人の増加となった。

利用形態別では、「散策等」が87%と最も多く、次いで「釣り」の8%、「スポーツ」4%、「水遊び」1%であった。平成21年度と比較して、「散策等」の利用者数が約10倍と増加した。

利用場所別では、「高水敷」が83%と最も多く、次いで「水際」の9%、「堤防」7%、「水面」1%であった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態では「散策等」が増加し、それ以外が減少した。利用場所では「高水敷」で増加し、それ以外で減少した。

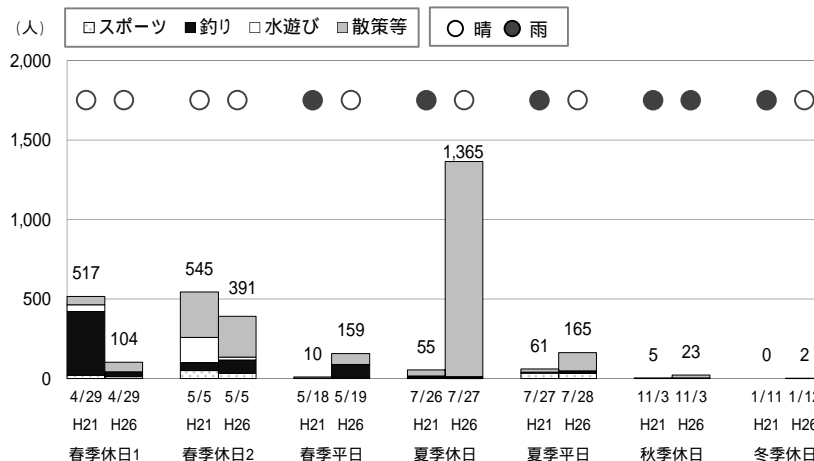


図 .8 各調査日の利用者数

表 .8 尻別川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態	スポーツ	5	3	22%	4%
	釣り	6	8	27%	8%
	水遊び	2	1	12%	1%
	散策等	8	79	39%	87%
別合計	20	91			
利用場所	水面	1	1	7%	1%
	水際	7	8	32%	9%
	高水敷	10	75	47%	83%
	堤防	3	7	14%	7%
別合計	20	91			

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

9. 後志利別川(しりべしとしべつがわ)

後志利別川における各調査日の利用者数をみると、春季5月19日(月)に197人が河川利用しており、最も多かった。

夏季7月27日(日)と秋季11月3日(文化の日)は雨天であったため、利用者が少なかった。

調査日の利用形態別の利用者数は、「散策等」及び「スポーツ」が、「水遊び」及び「釣り」と比較して多かった。このうち「散策等」は今金運動公園周辺を散策する利用者が大半を占め、「スポーツ」は今金運動公園内のパークゴルフ場の利用者が大半を占めた。

平成26年度の後志利別川における年間河川空間利用者総数(推計)は約2.5万人であり、沿川市区町村人口(約1.5万人)からみた年間平均利用回数は約1.7回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数(推計)は約0.9万人の減少となった。これは、平成26年度は美利河ダム下公園のゴーカート場が閉鎖されていたためだと考えられる。

利用形態別では、「散策等」が48%と最も多く、次いで「スポーツ」の31%、「釣り」17%、「水遊び」4%であった。利用場所別では、「高水敷」が46%と最も多く、次いで「堤防」の33%、「水際」12%、「水面」9%であった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態では「スポーツ」が減少した。利用場所では「高水敷」で減少した。

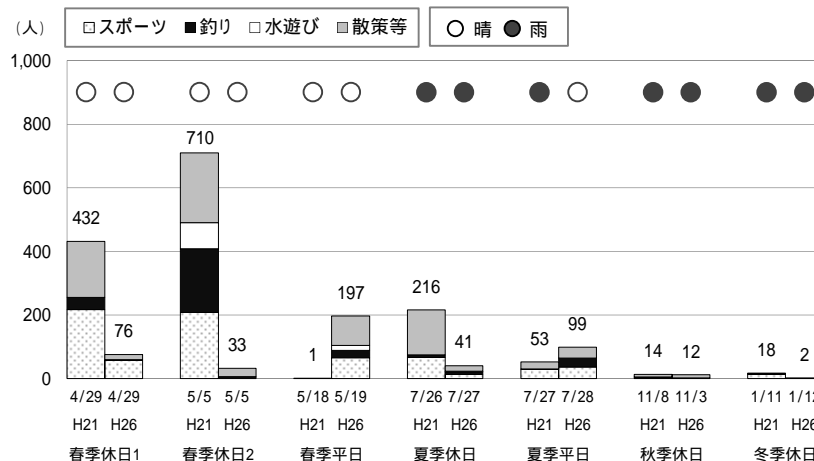


図 .9 各調査日の利用者数

表 .9 後志利別川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態別	スポーツ	14	8	41%	31%
	釣り	4	4	12%	17%
	水遊び	1	1	3%	4%
	散策等	15	12	44%	48%
合計	34	25			
利用場所別	水面	2	2	7%	9%
	水際	3	3	8%	12%
	高水敷	19	11	54%	46%
	堤防	10	8	31%	33%
合計	34	25			

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

10. 鶴川（むかわ）

鶴川における各調査日の利用者数をみると、春季5月19日（平日）に25人が河川利用しており、最も多かった。

なお、冬季にリバーサイドパーク穂水公園でスケートリンクが開設されたが、冬季1月12日（成人の日）に確認された利用者は2人/日と少なかった。

平成26年度の鶴川における年間河川空間利用者総数（推計）は約1.3万人であり、沿川市区町村人口（約1万人）からみた年間平均利用回数は約1.2回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約3.8万人の減少となった。

利用形態別では、「散策等」が85%と最も多く、次いで「スポーツ」の9%、「釣り」6%、「水遊び」0%であった。利用場所別では、「高水敷」が49%と最も多く、次いで「堤防」の44%、「水面」6%、「水際」1%であった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態では「釣り」が増加し、「散策等」が減少した。利用場所では「堤防」、「水面」で増加し、「高水敷」で減少した。

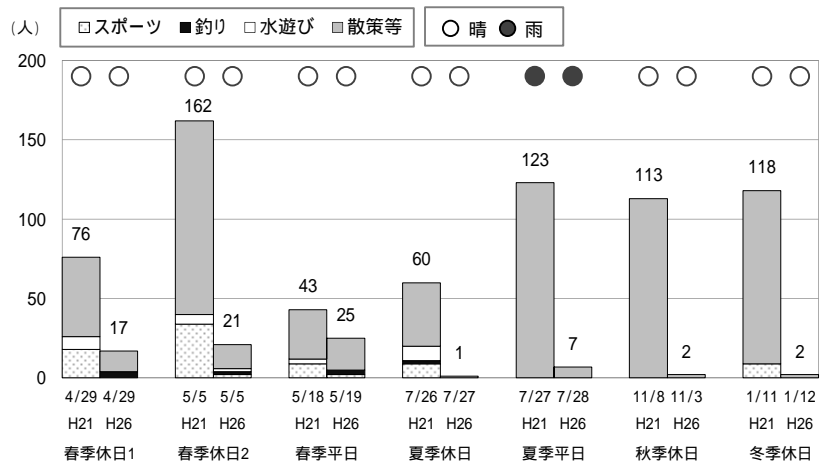


図 .10 各調査日の利用者数

表 .10 鶴川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態	スポーツ	2	1	4%	9%
	釣り	0	1	0%	6%
	水遊び	1	0	1%	0%
	散策等	48	11	95%	85%
利用場所別	合計	50	13		
利用場所別	水面	0	1	0%	6%
	水際	1	0	1%	1%
	高水敷	33	6	65%	49%
	堤防	17	6	34%	44%
利用場所別	合計	50	13		

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

11. 沙流川（さるがわ）

沙流川における各調査日の利用者数をみると、春季 5 月 19 日（平日）に 372 人が河川利用しており、最も多かった。

平成 26 年度の沙流川における年間河川空間利用者総数（推計）は約 4.8 万人であり、沿川市区町村人口（約 1.9 万人）からみた年間平均利用回数は約 2.6 回／人であった。

平成 21 年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約 0.4 万人の増加となった。

利用形態別では、「散策等」が 55%と最も多く、次いで「スポーツ」の 44%、「水遊び」1%、「釣り」0%であった。利用場所別では、「高水敷」が 75%と最も多く、次いで「堤防」の 24%、「水際」1%、「水面」0%であった。

利用状況の割合を平成 21 年度と比較すると、利用形態では「散策等」が増加し、「スポーツ」が減少した。利用場所では「堤防」で増加し、「高水敷」で減少した。

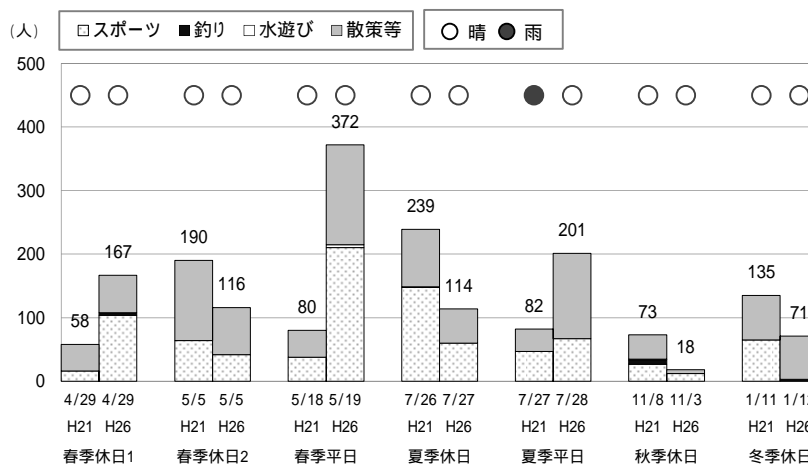


図 .11 各調査日の利用者数

表 .11 沙流川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態別	スポーツ	22	21		
	釣り	1	0		
	水遊び	0	0		
	散策等	21	26		
	合計	44	48		
利用場所別	水面	0	0		
	水際	1	1		
	高水敷	38	36		
	堤防	5	11		
	合計	44	48		

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

12. 釧路川（くしろがわ）

釧路川における各調査日の利用者数をみると、春季5月5日（こどもの日）に1,740人が河川利用しており、最も多かった。冬季1月12日（成人の日）は、積雪の影響で全調査日中最も利用者が少なかった。

利用形態別にみると、春季5月5日（こどもの日）の「釣り」が最も多かった。釧路川はアメマスの釣り場として全国的に有名で、シーズン中は釣り人が多い。次いで夏季7月27日（日）の「スポーツ」が多く、これは下流部の新釧路川公園緑地（1～5km）及び中流部の標茶公園緑地（45～48km）のパークゴルフ場の利用を反映しているものと考えられる。

各調査日とも利用者数が多い地点は、釧路川の1～4kmの左右岸（釧路川公園緑地）、10～11km左岸（岩保木）、16～17km左岸（細岡カヌーポート）、45～47km左右岸（標茶公園緑地）、75～76km左右岸（弟子屈公園緑地）であった。これらの地点は、河畔公園がある箇所や、釣りの良場となっている箇所である。

平成26年度の釧路川における年間河川空間利用者総数（推計）は約20.9万人であり、沿川市区町村人口（約21.9万人）からみた年間平均利用回数は約1.0回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約4.4万人の減少となった。

利用形態別では、「スポーツ」が40%と最も多く、次いで「散策等」の37%、「釣り」15%、「水遊び」8%であった。利用場所別では、「高水敷」が58%と最も多く、次いで「堤防」の19%、「水際」16%、「水面」7%であった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態では「散策等」が増加し、「釣り」が減少した。利用場所では「堤防」で増加し、「水際」で減少した。

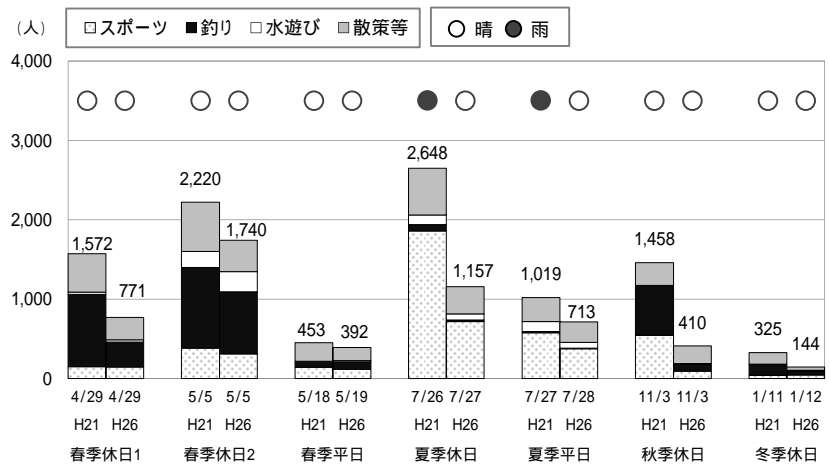


図 .12 各調査日の利用者数

表 .12 釧路川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態別	スポーツ	107	84	42%	40%
	釣り	59	31	23%	15%
	水遊び	14	16	6%	8%
	散策等	74	78	29%	37%
	合計	253	209		
利用場所別	水面	11	14	4%	7%
	水際	61	33	24%	16%
	高水敷	151	122	60%	58%
	堤防	30	40	12%	19%
	合計	253	209		

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

13. 十勝川（とかがわ）

十勝川における各調査日の利用者数をみると、春季5月5日（こどもの日）に11,289人が河川利用しており、最も多い。この日には野球及びサッカーの大会が開催されており、スポーツ利用者数が多く確認された。

夏季7月27日（日）及び、秋季11月3日（文化の日）は、当日雨天であったため、平成21年度に比べて、利用者が減少したと考えられる。

利用形態別にみると、上流から下流を通して「スポーツ」の利用が最も多く、次いで「散策等」が多かった。冬季を除いて、十勝管内幕別町で生まれたパークゴルフの他、サッカー、野球、ゴルフなどが盛んであった。

十勝川本川では、46～61km間で特に活発な利用がなされていた。この区間には河川周辺に市街地が多く存在し、公園等が整備されている。また、この区間には千代田堰堤、北海道立公園十勝エコロジーパーク、十勝川温泉などが位置しており、「散策等」による利用も多かった。支川の利別川、札内川、音更川において、利用者が特に多い区間は、市町村の市街地周辺で運動公園やパークゴルフ場などが整備されている箇所であった。

平成26年度の十勝川における年間河川空間利用者総数（推計）は約187.1万人であり、沿川市区町村人口（約57万人）からみた年間平均利用回数は約3.3回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約11.1万人の増加となった。

利用形態別では、「スポーツ」が71%と最も多く、次いで「散策等」の25%、「釣り」3%、「水遊び」1%であった。

利用場所別では、「高水敷」が87%と最も多く、次いで「堤防」の9%、「水際」3%、「水面」1%であった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態も利用場所でもほぼ同程度であった。

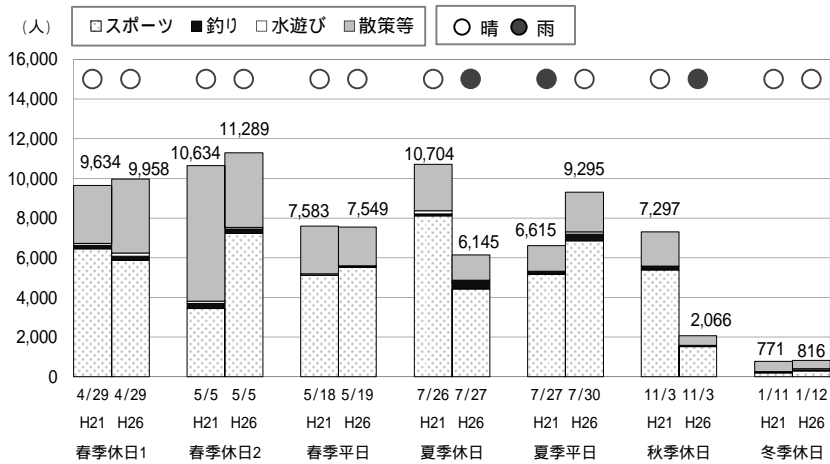


表 .13 十勝川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態	スポーツ	1,211	1,321		
	釣り	30	57		
	水遊び	15	15		
	散策等	503	478		
別合計		1,760	1,871		
利用場所	水面	7	11		
	水際	38	61		
	高水敷	1,527	1,625		
	堤防	187	174		
	別合計		1,760		

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

- 2 . 東北地方の河川空間利用実態

(1) 東北地方の河川空間利用実態の概要

東北地方の水系では、各調査日の利用者数をみると、春季 4 月 29 日(昭和の日)の 81,970 人が最も多く、次いで夏季 7 月 27 日(日)が 67,174 人と多かった。

平成 21 年度と比較すると、春季 5 月 5 日(こどもの日)や夏季 7 月 27 日(日)で大きく減少した。この主な要因として、両日に雨や強風などの天候不良の河川が多かったことがあげられる。また、平成 26 年度は桜の開花が早く、春季 5 月 5 日(こどもの日)には葉桜となっていたため、例年より観光客が少なかったためと考えられる。

年間河川空間利用者総数(推計)は、約 813 万人であり、沿川市区町村人口(約 584 万人)からみた年間平均利用回数は約 1.39 回/人であった。平成 21 年度と比較して、約 226 万人の減少となった。主な要因として、調査日の天候不良や調査日のイベント開催の有無により調査日の利用者数が減少したことに加え、東日本大震災によって一部の河川利用施設が被災したため、河川利用施設を利用できず、利用者数が減少したと考えられる。

利用形態別では、「散策等」が 68% (全国平均約 54%) と最も高く、次いで「スポーツ」の 21% (同 37%)、「水遊び」7% (同 4%)、「釣り」4% (同 4%) となった。また利用場所別では、「高水敷」が 66% (全国平均約 65%) と最も高く、次いで「堤防」の 21% (同 27%)、「水際」7% (同 6%)、「水面」6% (同 3%) と続いた。

利用状況の割合を平成 21 年度と比較すると、利用形態ではほぼ同程度であった。利用場所では「堤防」で増加し、「高水敷」で減少した。

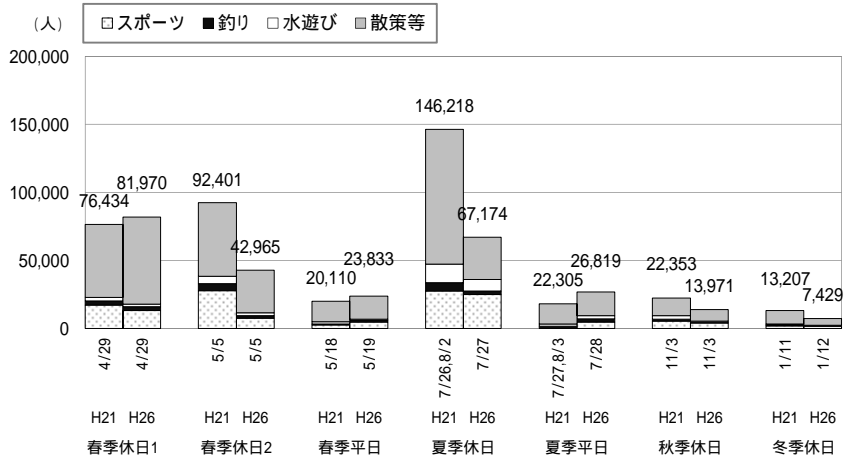


図 . 各調査日の利用者数

表 . 東北地方の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態別	スポーツ	1,970	1,711		
	釣り	530	362		
	水遊び	804	557		
	散策等	7,081	5,496		
合計	10,385	8,126			
利用場所別	水面	388	510		
	水際	956	581		
	高水敷	7,384	5,314		
	堤防	1,656	1,721		
合計	10,385	8,126			

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

(2) 東北地方における河川空間利用実態の状況

東北地方における各水系の年間利用者数をみると、平成21年度調査と比較して、12水系のうち4水系（馬淵川、阿武隈川、雄物川、子吉川）が増加し、8水系（岩木川、高瀬川、北上川、鳴瀬川、名取川、米代川、最上川、赤川）が減少した。

東北地方における利用形態別の特徴は、「散策等」の利用が多いことである。

各水系の特徴として、高瀬川では「スポーツ」の利用はゼロで、「水遊び」が大半をしめている。岩木川、鳴瀬川、赤川では「スポーツ」の利用の割合が高い。また、最上川中流域では船下り観光によって、「水遊び」の利用が比較的高い。

東北地方における利用場所別の特徴は、全国に比べて、「水面」、「水際」の利用が多いことである。

各水系の特徴として、高瀬川の利用場所は河口部に限定されるため「水面」、「水際」での利用が非常に高い。また、「釣り」や「水遊び」の利用が多い子吉川や最上川でも、「水面」、「水際」での利用が高い。

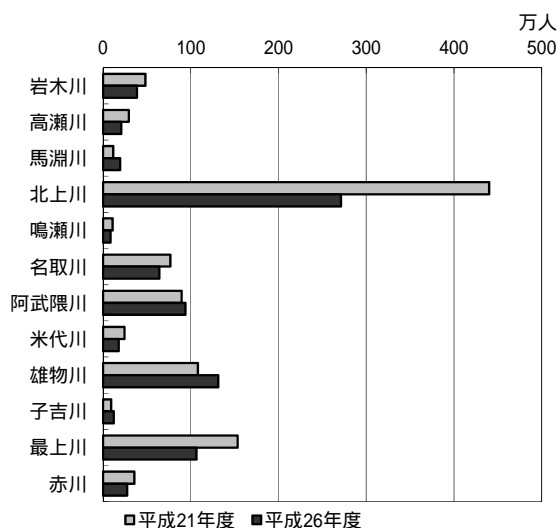


図 - 1.年間推計値の対比(平成21・26年度)

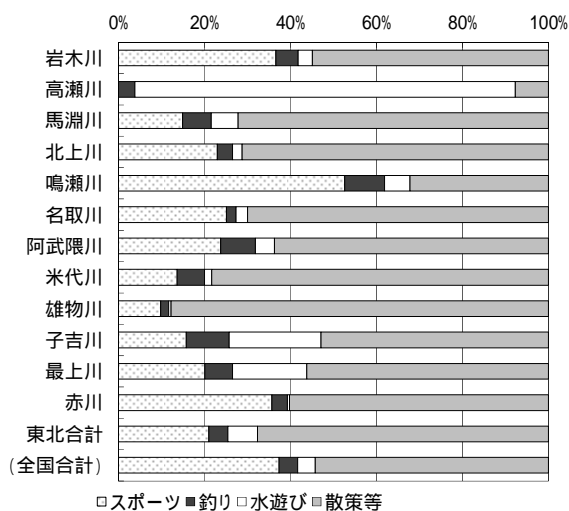


図 - 2.利用形態別グラフ(平成26年度)

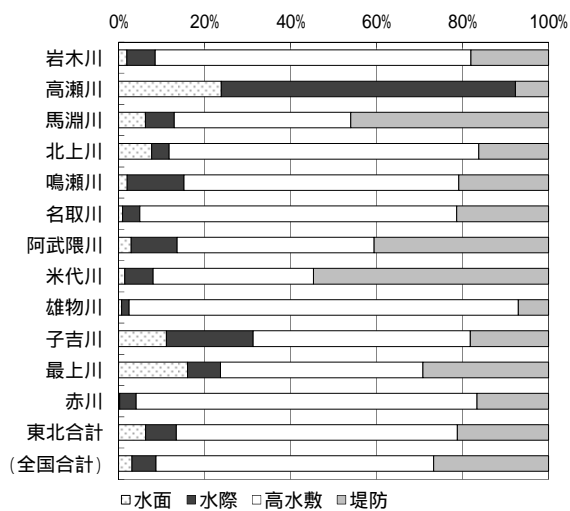


図 - 3.利用場所別グラフ(平成26年度)

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

(3) 東北地方における各水系の河川空間利用実態

14. 岩木川(いわきがわ)

岩木川における各調査日の利用者数をみると、春季4月29日(昭和の日)に4,938人が河川利用しており、最も多かった。一方、最も利用者数が少ないのは冬季1月12日(成人の日)である。冬季は日本海型気候で降雪が多いため、岩木川水系全域において利用者数が少なく、唯一、平川右岸3km付近の白鳥観察施設の利用がある程度であった。

尚、春季5月5日(こどもの日)や夏季7月27日(日)の天候が雨であったため、平成21年度と比較すると、利用者数が少なかった。

利用形態別の利用者数をみると、春季4月29日の「散策等」が最も多く、次いで夏季7月27日の「スポーツ」、「散策等」と続いた。

平成26年度の岩木川における年間河川空間利用者総数(推計)は約38.8万人であり、沿川市区町村人口(約33.1万人)からみた年間平均利用回数は約1.2回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数(推計)は約9.6万人の減少となった。

利用形態別では、「散策等」が55%と最も多く、次いで「スポーツ」の37%、「釣り」5%、「水遊び」3%であった。「散策等」は通年で多く、公園や堤防を利用した散策の他に、高水敷内での農作業がみられた。「スポーツ」は、ほとんどが高水敷にあるグラウンドを利用した野球、サッカー等

で、春季から夏季にかけての利用が多かった。また、「水遊び等」は、シジミ採りや水際の白鳥への餌付け・観察による利用もみられた。利用場所別では、「高水敷」が73%と最も多く、次いで「堤防」の

18%、「水際」7%、「水面」2%であった。

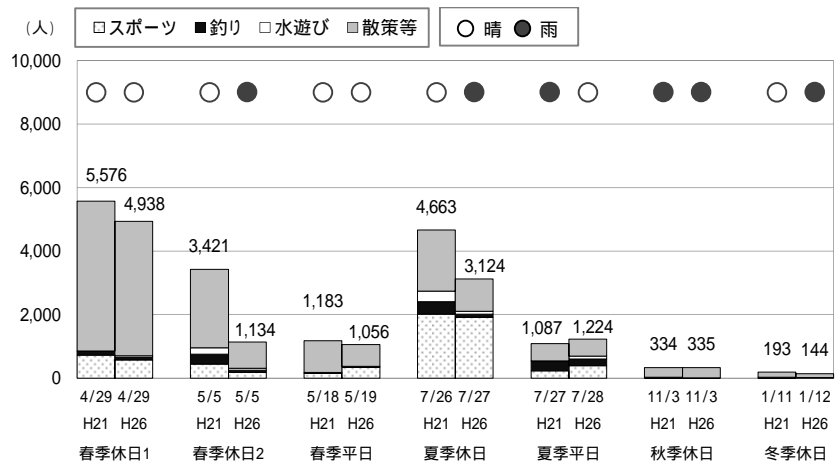


図 .14 各調査日の利用者数

表 .14 岩木川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態別	スポーツ	98	142	20%	37%
	釣り	63	20	13%	5%
	水遊び	16	13	3%	3%
	散策等	307	213	64%	55%
合計	484	388			
利用場所別	水面	16	8	3%	2%
	水際	70	26	14%	7%
	高水敷	307	285	64%	73%
	堤防	90	70	19%	18%
合計	484	388			

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

15. 高瀬川（たかせがわ）

高瀬川における各調査日の利用者数をみると、夏季7月27日（日）に5,377人が河川利用しており、最も多かった。

春季4月29日（昭和の日）は気温が低く、春季5月5日（こどもの日）は日照時間が短く、夏季7月27日（日）や秋季11月3日（文化の日）は強風により、平成21年度と比較して、利用者が少なかったと考えられる。

利用形態別にみると、7月27日の「水遊び」が最も多く、年間を通して「水遊び」の利用が最も多かった。

高瀬川の中流部の両岸と中～下流部の右岸は、米軍の管理区域付近により立入り禁止区域に指定されている。このため、主な利用区域は高瀬橋から上流の両岸と、河口部の左岸側に区分されるが、河口部での利用が殆どであり、高瀬橋から上流では利用者は少なかった。高瀬川は、自然型河川としての利用が多かった。

平成26年度の高瀬川における年間河川空間利用者総数（推計）は約21万人であり、沿川市区町村人口（約18.3万人）からみた年間平均利用回数は約1.1回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約8.4万人の減少となった。

利用形態別では、「水遊び」が88%と最も多く、次いで「散策等」の8%、「釣り」4%、「スポーツ」0%であった。利用場所別では、「水際」が68%と最も多く、次いで「水面」の24%、「堤防」8%、「高水敷」0%であった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態ではほぼ同程度であった。利用場所では「水面」で増加し、「水際」で減少した。

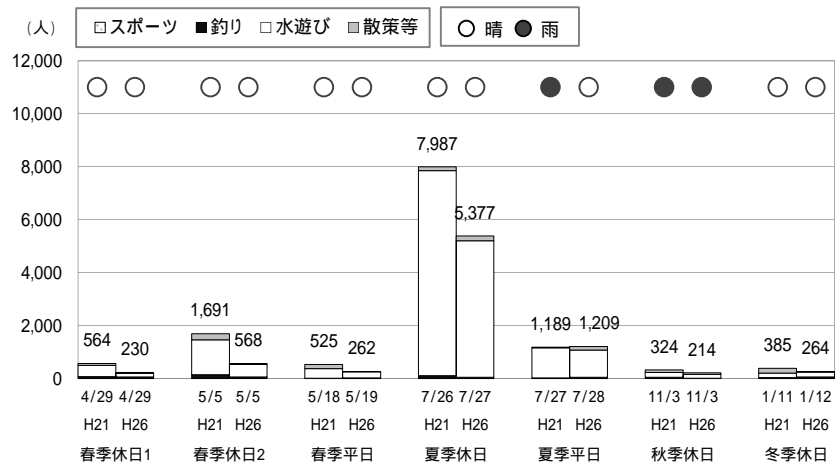


図 .15 各調査日の利用者数

表 .15 高瀬川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態別	スポーツ	0	0	0%	0%
	釣り	9	8	3%	4%
	水遊び	260	186	88%	88%
	散策等	25	16	9%	8%
合計	294	210			
利用場所別	水面	42	50	14%	24%
	水際	227	144	77%	68%
	高水敷	0	0	0%	0%
	堤防	25	16	9%	8%
合計	294	210			

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

16. 馬淵川（まべちがわ）

馬淵川における各調査日の利用者数をみると、夏季7月28日（平日）に894人が河川利用しており、最も多かった。

平成26年度の利用状況で特筆すべき点は、調査日の「堤防」の利用者数の合計が過去最高の数値となったことである。「堤防」の利用者数は、平日も比較的にかつた。昨今は、ウォーキングやジョギング等を行う人が増加しており、「堤防」を運動の場として利用する人も増加している可能性がある。

平成26年度の馬淵川における年間河川空間利用者総数（推計）は約19.5万人であり、沿川市区町村人口（約23.8万人）からみた年間平均利用回数は約0.8回／人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約7.9万人の増加となった。これは、社会的背景として昨今の健康志向により、ジョギングやウォーキングを楽しむ地域住民が増えたこと、馬淵川の堤防整備により総延長距離が伸び、堤防がジョギングやウォーキングのコースの一部として地域住民に利用されていることが要因として挙げられる。

利用形態別では、「散策等」が72%と最も多く、次いで「スポーツ」の15%、「釣り」7%、「水遊び」6%であった。利用場所別では、「堤防」が46%と最も多く、次いで「高水敷」の41%、「水際」7%、「水面」6%であった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態では「散策等」が増加し、「スポーツ」、「釣り」が減少した。利用場所では「堤防」で増加し、「水際」、「高水敷」で減少した。

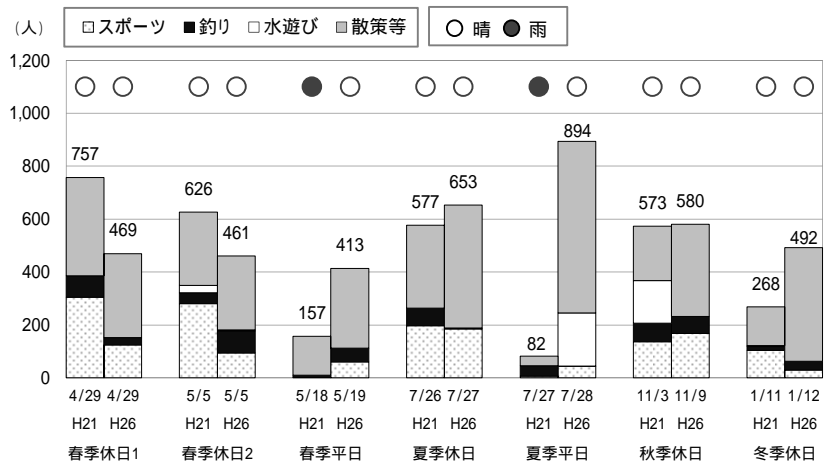


図 .16 各調査日の利用者数

表 .16 馬淵川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態	スポーツ	25	29	22%	15%
	釣り	16	13	14%	7%
	水遊び	9	12	8%	6%
	散策等	65	141	56%	72%
合計	116	195			
利用場所	水面	9	12	8%	6%
	水際	16	13	14%	7%
	高水敷	76	80	65%	41%
	堤防	15	90	13%	46%
合計	116	195			

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

17. 北上川（きたかみがわ）

北上川における各調査日の利用者数をみると、春季4月29日（昭和の日）に47,705人が河川利用しており、最も多かった。

尚、春季は桜の開花状況によって利用者数に変動があり、平成21年度と平成26年度は、春季4月29日（昭和の日）には桜が開花しており、展勝地で開催される桜まつりの観光客で利用者が多かった。一方、春季5月5日（こどもの日）には葉桜であったため、春季4月29日（昭和の日）と比較して、利用者は少なかった。

また夏季7月27日（日）は、例年7月最終日曜に開催される北上川ボート下り大会と調査日が重なるため、多くの利用者が記録された。

平成26年度の北上川における年間河川空間利用者総数（推計）は約271.2万人であり、沿川市区町村人口（約126.4万人）からみた年間平均利用回数は約2.1回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約168.8万人の減少となった。これは、東日本大震災により河口部の施設（月浜水辺プラザ等）が被災したことが大きく影響している。

利用形態別では、「散策等」が71%と最も多く、次いで「スポーツ」の23%、「釣り」4%、「水遊び」2%であった。

利用場所別では、「高水敷」が72%と最も多く、次いで「堤防」の16%、「水面」8%、「水際」4%であった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態では「スポーツ」が増加し、「散策等」が減少した。利用場所では「堤防」、「水面」で増加し、「高水敷」で減少した。

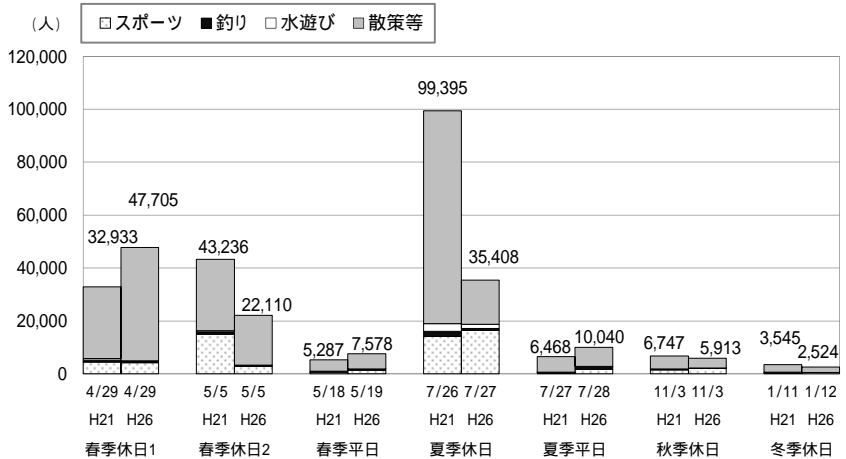


図 .17 各調査日の利用者数

表 .17 北上川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態	スポーツ	638	624	15%	23%
	釣り	95	96	2%	4%
	水遊び	144	60	3%	2%
	散策等	3,523	1,931	80%	71%
別合計	4,400	2,712			
利用場所	水面	23	208	0%	8%
	水際	219	110	5%	4%
	高水敷	3,770	1,954	86%	72%
	堤防	388	440	9%	16%
別合計	4,400	2,712			

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

18. 鳴瀬川（なるせがわ）

鳴瀬川における各調査日の利用者数をみると、夏季7月27日（日）に1,911人が河川利用しており、最も多かった。

鳴瀬川での主な利用は、左岸31～32kmにある新江合川緑地公園での「スポーツ」（少年野球や少年サッカー）の利用であり、それ以外は「堤防」での「散策等」であった。また、吉田川には河川利用施設がなく、利用者が少なかった。

平成26年度の鳴瀬川における年間河川空間利用者総数（推計）は約8.6万人であり、沿川市区町村人口（約25.9万人）からみた年間平均利用回数は約0.3回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約2.5万人の減少となった。これは、鳴瀬川の堤防工事に伴い立ち入り禁止区間（鳴瀬川河口部等）が設けられたため、堤防散策者が減少したと推測される。

利用形態別では、「スポーツ」が53%と最も多く、次いで「散策等」の32%、「釣り」9%、「水遊び」6%であった。利用場所別では、「高水敷」が64%と最も多く、次いで「堤防」の21%、「水際」13%、「水面」2%であった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態では「スポーツ」が増加し、「散策等」が減少した。利用場所では「高水敷」で増加し、「堤防」で減少した。

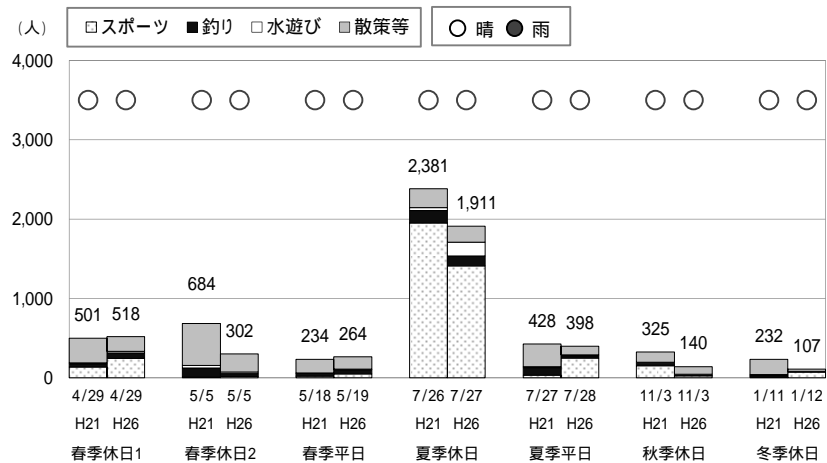


図 .18 各調査日の利用者数

表 .18 鳴瀬川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態別	スポーツ	40	45		
	釣り	14	8		
	水遊び	3	5		
	散策等	54	28		
	合計	111	86		
利用場所別	水面	1	2		
	水際	16	11		
	高水敷	60	55		
	堤防	34	18		
	合計	111	86		

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

19. 名取川（なとりがわ）

名取川における各調査日の利用者数をみると、夏季7月27日（日）に4,542人が河川利用しており、最も多かった。夏季7月27日（日）には、河川敷での散歩や散策が多く見られた。

平成21年度と比較して、春季4月29日（昭和の日）、春季5月5日（こどもの日）、11月3日（文化の日）は、当日の天候が悪く、気温が低かったため利用者が少なかったと考えられる。

平成26年度の名取川における年間河川空間利用者総数（推計）は約64.1万人であり、沿川市区町村人口（約43.7万人）からみた年間平均利用回数は約1.5回／人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約12.8万人の減少となった。

利用形態別では、「散歩等」が70%と最も多く、次いで「スポーツ」の25%、「水遊び」3%、「釣り」2%であった。利用場所別では、「高水敷」が74%と最も多く、次いで「堤防」の21%、「水際」4%、「水面」1%であった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態ではほぼ同程度であった。利用場所では「高水敷」で増加した。

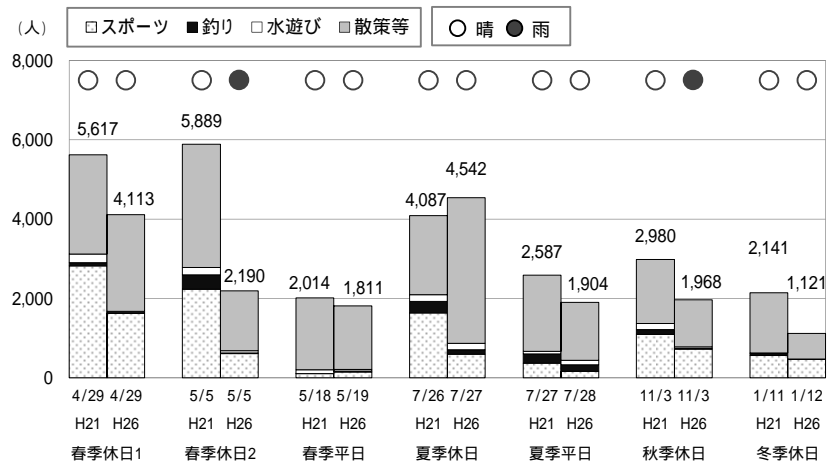


図 .19 各調査日の利用者数

表 .19 名取川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態別	スポーツ	207	161	27%	25%
	釣り	34	14	4%	2%
	水遊び	27	17	4%	3%
	散歩等	501	448	65%	70%
	合計	769	641		
利用場所別	水面	6	6	1%	1%
	水際	54	26	7%	4%
	高水敷	527	473	69%	74%
	堤防	181	137	23%	21%
	合計	769	641		

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

20. 阿武隈川（あぶくまがわ）

阿武隈川における各調査日の利用者数をみると、夏季7月27日（日）に7,329人が河川利用しており、最も多かった。尚、阿武隈川下流では、春季（4月29日、5月5日、5月15日）の調査は実施していない。

平成26年度の阿武隈川における年間河川空間利用者総数（推計）は約94万人であり、沿川市区町村人口（約107.1万人）からみた年間平均利用回数は約0.9回/人であった。尚、年間利用者総数（推計）には阿武隈川下流の春季の利用者数は含まれない。

そのため、平成21年度と単純には比較できないが、年間河川空間利用者総数（推計）は約4.3万人の増加となった。

利用形態別では、「散策等」が64%と最も多く、次いで「スポーツ」の24%、「釣り」8%、「水遊び」4%であった。「散策等」は主に自転車での通行、散歩、バーベキュー等であった。「スポーツ」は野球、サッカー、ゲートボール、テニスが多かった。

利用場所別では、「高水敷」が46%と最も多く、次いで「堤防」の40%、「水際」11%、「水面」3%であった。阿武隈川における河川利用は、「堤防」、「高水敷」における散歩、バーベキュー等の「散策等」利用と、「高水敷」の運動公園における「スポーツ」利用が大半を占めており、「水際」や「水面」における「釣り」、「水遊び」の利用は少なかった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態も利用場所でもほぼ同程度であった。

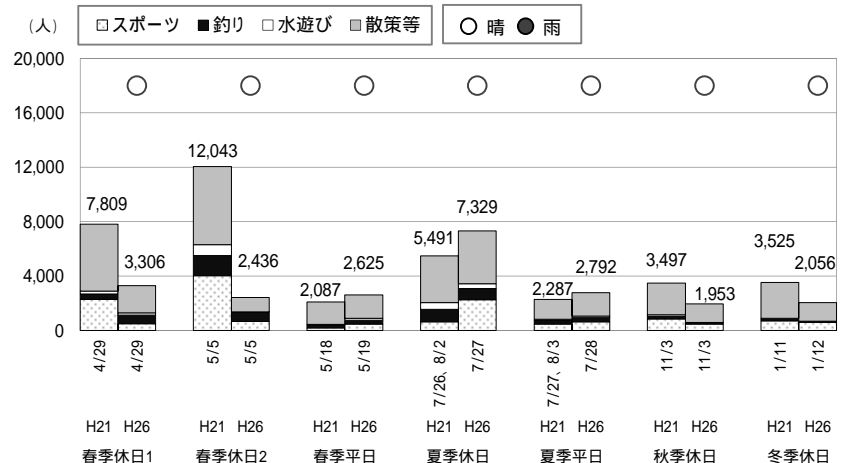


図 .20 各調査日の利用者数

表 .20 阿武隈川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態別	スポーツ	189	224		
	釣り	79	76		
	水遊び	40	42		
	散策等	589	599		
	合計	897	940		
利用場所別	水面	28	28		
	水際	91	100		
	高水敷	423	431		
	堤防	356	381		
	合計	897	940		

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

21. 米代川（よねしろがわ）

米代川における各調査日の利用者数をみると、春季5月5日（こどもの日）に1,166人が河川利用しており、最も多かった。

平成21年度と比較して、夏季休日の利用者数が減少した要因は、天候が雨であったためと考えられる。平成21年度の天候も同様に雨であったが、降水量の合計は1.0mmであり、平成26年度の降水量はそれを上回る3.0mmであった。

調査日別で利用者数が多い地点は、春季休日では左岸0km、54km、67km、右岸23km、28km、夏季休日では左岸2km、67km、夏季の平日で左岸0km、54kmであった。これらの地点は、河川公園がある場所や市街地に隣接している箇所である。

平成26年度の米代川における年間河川空間利用者総数（推計）は約18万人であり、沿川市区町村人口（約17.2万人）からみた年間平均利用回数は約1.0回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約6.7万人の減少となった。調査日の利用者が減少したことに加え、イベントの利用者の減少が要因と考えられる。

利用形態別では、「散策等」が78%と最も多く、次いで「スポーツ」の14%、「釣り」6%、「水遊び」2%であった。利用場所別では、「堤防」が55%と最も多く、次いで「高水敷」の37%、「水際」7%、「水面」1%であった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態では「散策等」が増加し、「水遊び」、「釣り」が減少した。利用場所では「堤防」で増加し、「高水敷」、「水際」で減少した。

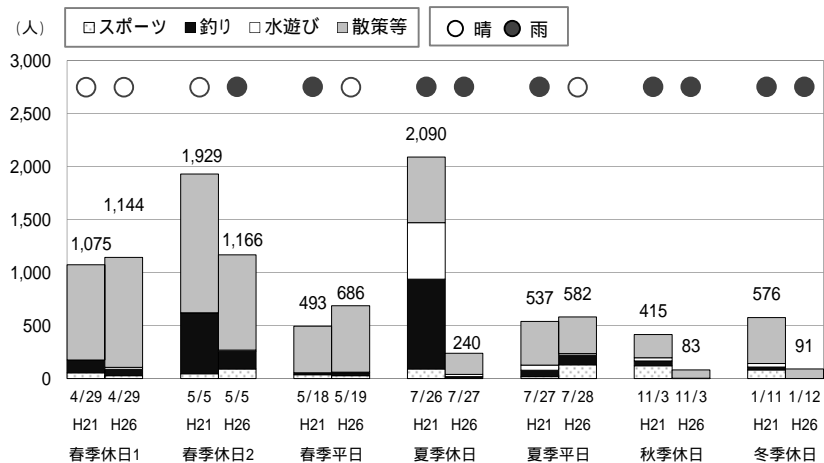


図 21 各調査日の利用者数

表 21 米代川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態別	スポーツ	23	24	9%	14%
	釣り	41	12	17%	6%
	水遊び	17	3	7%	2%
	散策等	166	141	67%	78%
合計	246	180			
利用場所別	水面	3	3	1%	1%
	水際	55	12	23%	7%
	高水敷	116	67	47%	37%
	堤防	72	98	29%	55%
合計	246	180			

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

22. 雄物川（おものがわ）

雄物川における各調査日の利用者数をみると、春季4月29日（昭和の日）に4,135人が河川利用しており、最も多かった。この日は桜の満開時期と重なったため、利用者が多かったと考えられる。

上流で利用者数が多い地点は、右岸58.5～59.5km、84.5～85.5kmであり、これらの地点は川の通信簿にて高い評価を得た河川公園である。夏季7月28日（平日）は「釣り」の利用者が多く、河口域での利用が大半を占めていた。

平成26年度の雄物川における年間河川空間利用者総数（推計）は約131.3万人であり（全国的に有名な全国花火競技大会（大仙市）の参加者約72万人を含む）、沿川市区町村人口（約56万人）からみた年間平均利用回数は約2.3回/人であった。平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約23万人の増加となった。

利用形態別では、「散策等」が88%と最も多く、次いで「スポーツ」の10%、「釣り」2%、「水遊び」0%であった。「散策等」では、堤防や河川敷での散歩・ジョギング・サイクリングや農耕利用等が多く見られた。「スポーツ」では、グランドゴルフやゲートボールやボール遊び等が多く見られた。利用場所別では、「高水敷」が90%と最も多く、次いで「堤防」の7%、「水際」2%、「水面」1%であった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態では「散策等」が増加し、「スポーツ」が減少した。利用場所では「高水敷」で増加した。

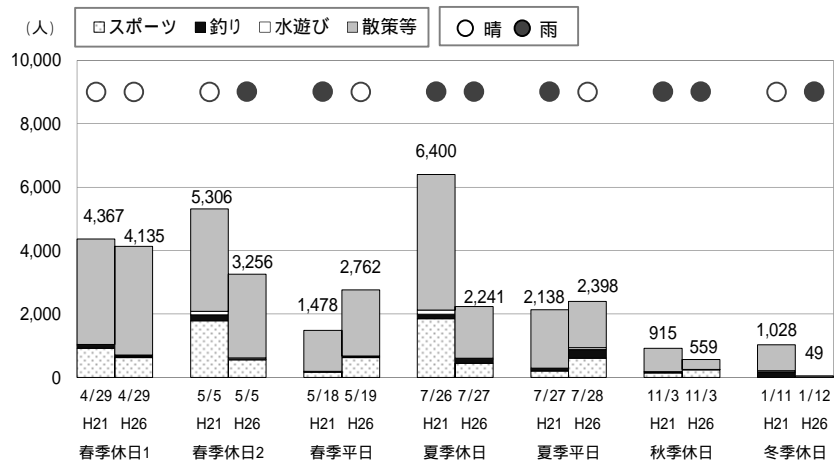


図 .22 各調査日の利用者数

表 .22 雄物川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態	スポーツ	181	129	17%	10%
	釣り	23	25	2%	2%
	水遊び	19	7	2%	0%
	散策等	860	1,152	79%	88%
合計	1,083	1,313			
利用場所	水面	4	9	0%	1%
	水際	38	23	4%	2%
	高水敷	914	1,189	84%	90%
	堤防	126	93	12%	7%
合計	1,083	1,313			

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

23. 子吉川（こよしがわ）

子吉川における各調査日の利用者数をみると、春季4月29日（昭和の日）に2,043人が河川利用しており、最も多かった。

利用形態では、「散策等」の利用が最も多く、堤防や河川敷での散歩・ジョギング・サイクリングが多く見られた。

平成26年度の子吉川における年間河川空間利用者総数（推計）は約12.3万人であり、沿川市区町村人口（約8.2万人）からみた年間平均利用回数は約1.5回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約2.9万人の増加となった。西滝沢水辺プラザが整備され（地域交流施設が平成22年4月1日にオープン）、年4回大きなイベントが開催されており、計6千人弱がイベントに参加していた。これが年間利用者数の増加にも大きく寄与していると考えられる。

利用形態別では、「散策等」が53%と最も多く、次いで「水遊び」の21%、「スポーツ」16%、「釣り」10%であった。利用場所別では、「高水敷」が51%と最も多く、次いで「水際」の20%、「堤防」18%、「水面」11%であった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態では「水遊び」が増加し、「スポーツ」が減少した。利用場所では「水面」、「水際」で増加し、「堤防」で減少した。

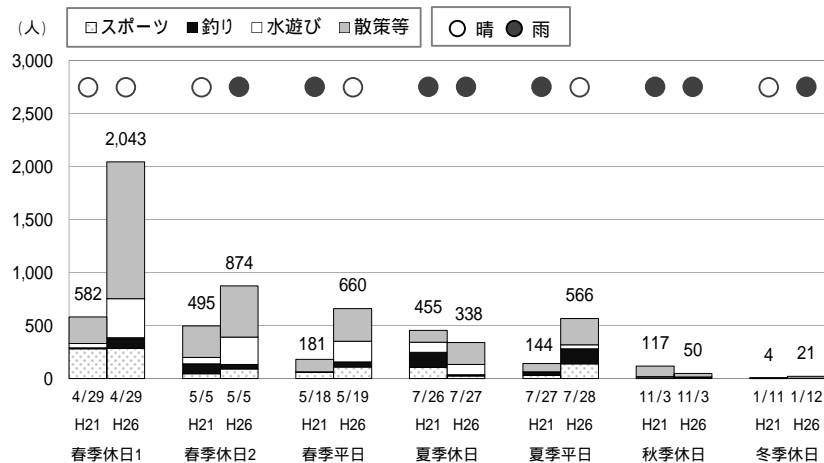


図 23 各調査日の利用者数

表 23 子吉川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態別	スポーツ	23	19	25%	16%
	釣り	12	12	12%	10%
	水遊び	7	26	8%	21%
	散策等	51	65	55%	53%
	合計	93	123		
利用場所別	水面	5	14	5%	11%
	水際	14	25	15%	20%
	高水敷	50	62	53%	51%
	堤防	25	22	27%	18%
	合計	93	123		

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

24. 最上川（もがみがわ）

最上川における各調査日の利用者数をみると、春季4月29日（昭和の日）に8,851人が河川利用しており、最も多かった。この日の利用形態では、「散策等」が最も多かった。また、冬季1月12日（成人の日）の利用者数が最も少なく、これは積雪の影響と考えられる。

調査日の利用者数は、平成21年度と比較して減少した。この要因は、調査日の天候不良や調査日のイベント開催の有無が考えられる。

平成26年度の最上川における年間河川空間利用者総数（推計）は約106.5万人であり、沿川市区町村人口（約99.5万人）からみた年間平均利用回数は約1.1回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約46.9万人の減少となった。

利用形態別では、「散策等」が56%と最も多く、次いで「スポーツ」の20%、「水遊び」17%、「釣り」7%であった。利用場所別では、「高水敷」が47%と最も多く、次いで「堤防」の29%、「水面」16%、「水際」8%であった。最上川中流域では、船下り観光船の利用者が多いため、他河川に比べて、「水遊び」や「水面」の利用が多くみられた。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態では「散策等」が増加し、「スポーツ」が減少した。利用場所では「堤防」で増加し、「高水敷」で減少した。

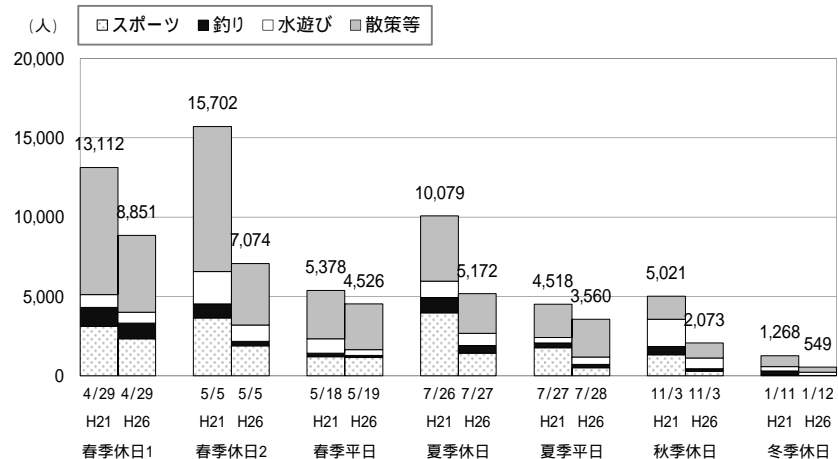


図 .24 各調査日の利用者数

表 .24 最上川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態別	スポーツ	396	214		
	釣り	126	68		
	水遊び	259	184		
	散策等	753	598		
	合計	1,533	1,065		
利用場所別	水面	249	171		
	水際	136	82		
	高水敷	845	501		
	堤防	303	311		
	合計	1,533	1,065		

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

25. 赤川（あかがわ）

赤川における各調査日の利用者数をみると、春季4月29日（昭和の日）に4,518人が河川利用しており、最も多かった。また、冬季1月12日（成人の日）の利用者数が最も少なく、これは積雪の影響と考えられる。

利用形態別にみると、春季4月29日（昭和の日）の「スポーツ」が2,752人と最も多く、次いで同一日の「散策等」の1,386人で、赤川河川公園や鶴岡市櫛引総合運動公園での野球大会とその観戦者などにより、「スポーツ」と「散策等」の利用が活発に行われた。

各調査日とも利用者数が多い地点は、左岸16.7～18.7km、左岸22.6～23.6kmであった。これらの地点は河川公園や運動場等の河川利用施設の箇所である。施設以外では、高水敷にある柿果樹園や畑地での農耕者の利用が多く、春季は河口付近で釣りの利用者が多かった。

平成21年度と比較して、夏季休日や秋季休日の利用者数が減少した。これは、調査日の天候不良（降雨、降雪）の影響と考えられる。

平成26年度の赤川における年間河川空間利用者総数（推計）は約27.4万人であり、沿川市区町村人口（約24.9万人）からみた年間平均利用回数は約1.1回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約8.4万人の減少となった。

利用形態別では、「散策等」が60%と最も多く、次いで「スポーツ」の36%、「釣り」4%、「水遊び」0%であった。利用場所別では、「高水敷」が79%と最も多く、次いで「堤防」の17%、「水際」4%、「水面」0%であった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態では「散策等」が増加し、「スポーツ」が減少した。利用場所では「堤防」で増加した。

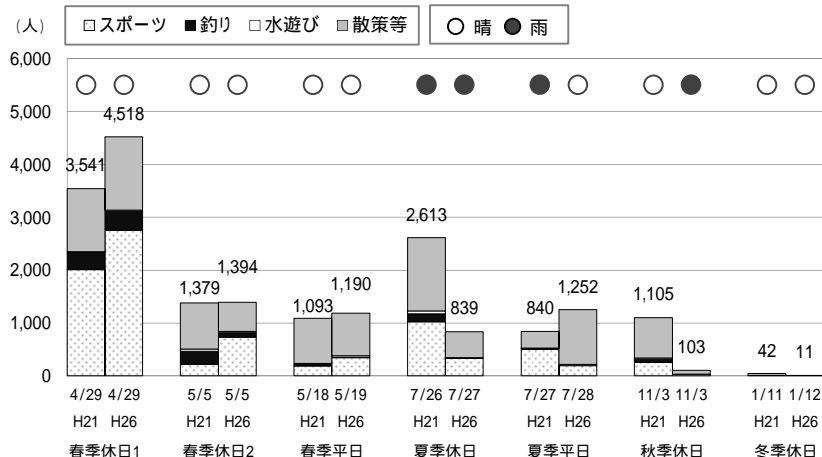


図 25 各調査日の利用者数

表 25 赤川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態	スポーツ	150	98	42%	36%
	釣り	18	10	5%	4%
	水遊び	3	1	1%	0%
	散策等	188	165	52%	60%
合計	358	274			
利用場所	水面	2	1	0%	0%
	水際	19	10	5%	4%
	高水敷	296	217	83%	79%
	堤防	41	46	12%	17%
合計	358	274			

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

- 3 . 関東地方の河川空間利用実態

(1) 関東地方の河川空間利用実態の概要

関東地方の水系では、各調査日の利用者数をみると、春季 5 月 5 日（こどもの日）の 449,946 人が最も多く、次いで秋季 11 月 3 日（文化の日）が 428,493 人と多かった。

平成 21 年度と比較すると、春季 4 月 29 日（昭和の日）の利用者数が減少した。この主な要因として、平成 21 年度の同日は、スポーツ大会やイベントに多くの利用者が訪れ、利用者数が多く観測されていたと推察される。

年間河川空間利用者総数（推計）は、約 7,455 万人であり、沿川市区町村人口（約 3,424 万人）からみた年間平均利用回数は約 2.18 回／人であった。平成 21 年度と比較して、約 29 万人の減少となった。これは、荒川や鶴見川では約 210 万人、約 131 万人増加したものの、利根川や多摩川で約 260 万人、約 76 万人減少したため、関東地方では平成 21 年度調査と比較して大きな増減が見られない結果につながったと考えられる。

利用形態別では、「散策等」が 51%（全国平均約 54%）と最も高く、次いで「スポーツ」の 43%（同 37%）、「釣り」4%（同 4%）、「水遊び」2%（同 4%）となった。また利用場所別では、「高水敷」が 65%（全国平均約 64%）と最も高く、次いで「堤防」の 28%（同 27%）、「水際」5%（同 6%）、「水面」2%（同 3%）であった。

利用状況の割合を平成 21 年度と比較すると、利用形態も利用場所でもほぼ同程度であった。

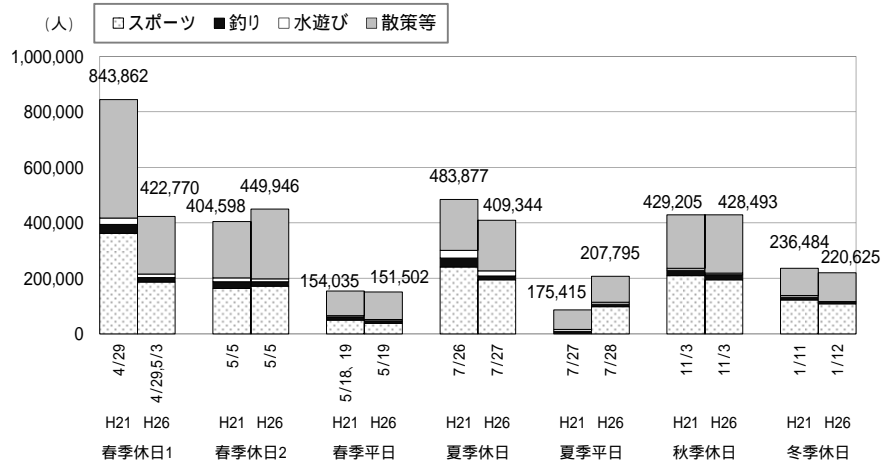


図 . 各調査日の利用者数

表 . 関東地方の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態別	スポーツ	32,979	31,758	44%	43%
	釣り	3,921	2,899	5%	4%
	水遊び	2,309	1,878	3%	2%
	散策等	35,637	38,019	48%	51%
合計	74,847	74,554			
利用場所別	水面	1,429	1,390	2%	2%
	水際	4,850	3,477	6%	5%
	高水敷	49,270	48,641	66%	65%
	堤防	19,298	21,046	26%	28%
合計	74,847	74,554			

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

(2) 関東地方における河川空間利用実態の状況

関東地方における各水系の年間利用者数をみると、平成21年度調査と比較して、8水系のうち3水系（荒川、鶴見川、富士川）が増加し、5水系（久慈川、那珂川、利根川、多摩川、相模川）が減少した。関東地方の利用者数は、全国の利用者数の約4割を占めている。人口が多い都市部を流れる水系が多いため、それに伴い、利用者数も多い。

関東地方における利用形態別の特徴は、全国に占める利用者数の割合が大きいため、全国合計の傾向と等しく、「散策等」が5割、「スポーツ」が4割となっている。

各水系の特徴として、常陸利根川で「釣り」の割合が非常に高く、那珂川や小貝川でも高くなっている。「水遊び」は、那珂川、常陸利根川、相模川で高い。また、「散策等」は、鶴見川、中・綾瀬川、小貝川で高い。

関東地方における利用場所別の特徴は、利用形態別と同様、全国合計の傾向と等しく、「高水敷」、「堤防」の割合が高い。「釣り」が多い常陸利根川では、「水際」の利用が多い。「散策等」の利用が高い中・綾瀬川や鶴見川では、「堤防」の利用が多い。

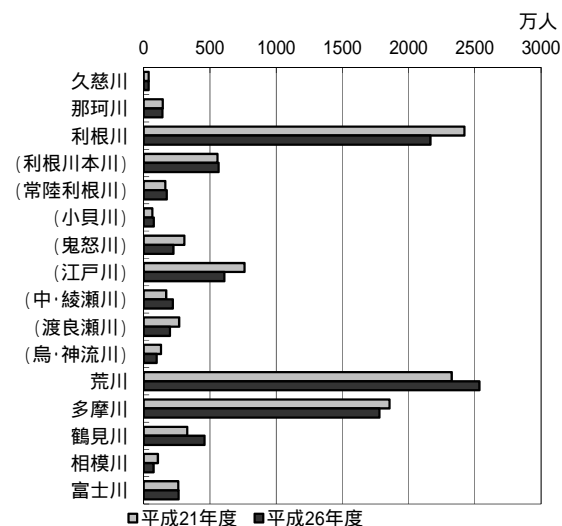


図 - 1. 年間推計値の対比 (平成21・26年度)

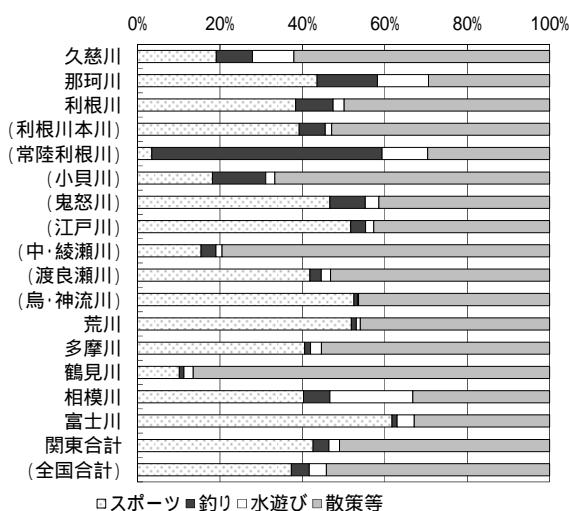


図 - 2. 利用形態別グラフ (平成26年度)

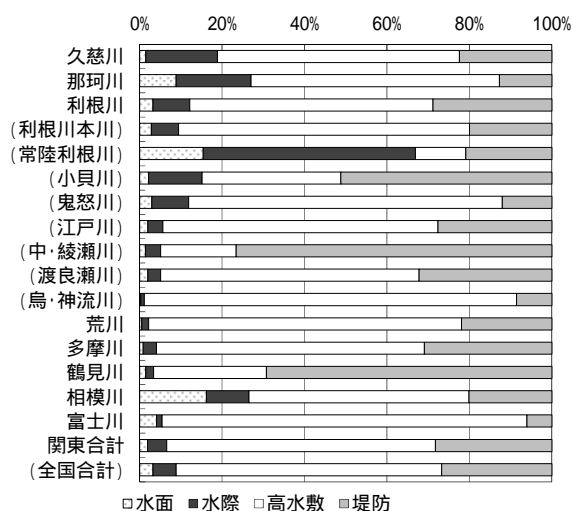


図 - 3. 利用場所別グラフ (平成26年度)

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

(3) 関東地方における各水系の河川空間利用実態

26. 久慈川(くじがわ)

久慈川における各調査日の利用者数をみると、夏季7月27日(日)に2,464人が河川利用しており、最も多かった。秋季11月3日(文化の日)は、天気が良く気温が20℃まで上がり、スポーツや水遊びで河川を訪れる人が例年より多く確認された。

平成21年度と比較して、調査日の利用者数は、秋季11月3日(文化の日)の利用者が増加した一方、春季5月5日(こどもの日)や夏季7月27日(日)は、午後から天候が崩れ、降雨や雷雨に見舞われたため、利用者が減少した。

利用形態別に見ると、夏季7月27日(日)の「散策等」が最も多く、久慈川はアユ釣りの本場として全国的にも有名で、シーズン中は漁業協同組合主催のイベントも開催され、多くの釣り客で賑わっていた。年間を通して「スポーツ」利用も多く、活発に利用されているのは久慈川河口部の運動場と下流部(右岸4.0km付近)の東海村運動公園の運動施設によるもので、サッカー、野球等が盛んである。

平成26年度の久慈川における年間河川空間利用者総数(推計)は約37.1万人であり、沿川市区町村人口(約39万人)からみた年間平均利用回数は約1.0回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数(推計)は約0.6万人の減少となった。

利用形態別では、「散策等」が62%と最も多く、次いで「スポーツ」の19%、「水遊び」10%、「釣り」9%であった。利用場所別では、「高水敷」が59%と最も多く、次いで「堤防」の22%、「水際」17%、「水面」2%であった。

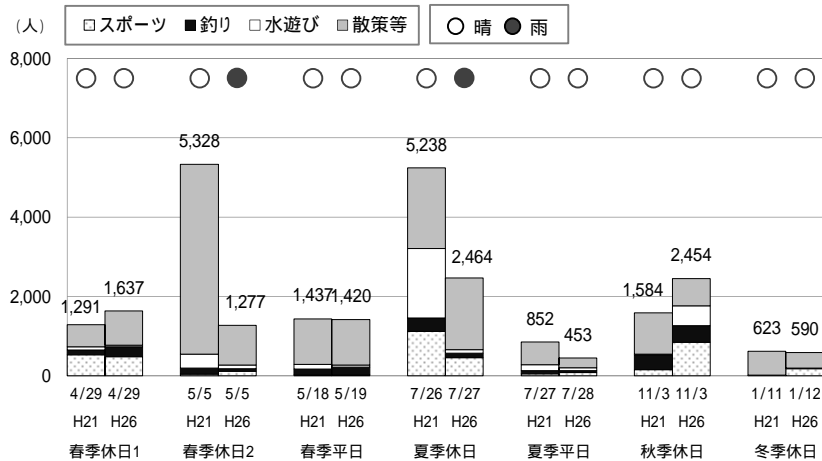


図 .26 各調査日の利用者数

表 .26 久慈川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態	スポーツ	35	71	9%	19%
	釣り	36	33	10%	9%
	水遊び	52	37	14%	10%
	散策等	253	230	67%	62%
別	合計	377	371		
利用場所	水面	20	5	5%	2%
	水際	68	64	18%	17%
	高水敷	159	218	42%	59%
	堤防	130	83	35%	22%
別	合計	377	371		

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

27. 那珂川（なかがわ）

那珂川における各調査日の利用者数をみると、夏季7月27日（日）に13,564人が河川利用しており、最も多かった。

利用形態別にみると、夏季7月27日（日）の「スポーツ」が最も多く、これは左岸8.1～8.7kmの運動場で少年サッカー大会や野球大会が開催されていたためである。

各調査日とも利用者が多い地点は、公園や運動場等の河川利用施設がある箇所である。また、那珂川大橋付近（右岸37.5km付近）には、「道の駅かつら」や公園があり、駐車場が整備されているため、キャンプや釣りを楽しむ家族連れなど、年間を通して多くの人に利用されている。

平成26年度的那珂川における年間河川空間利用者総数（推計）は約140.8万人であり、沿川市区町村人口（約53万人）からみた年間平均利用回数は約2.7回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約3.4万人の減少となった。利用形態別では、「スポーツ」が44%と最も多く、次いで「散策等」の29%、「釣り」15%、「水遊び」12%であった。利用場所別では、「高水敷」が60%と最も多く、次いで「水際」の18%、「堤防」13%、「水面」9%であった。平成21年度と比較して、「スポーツ」、「高水敷」に利用者数及び利用割合が増加しており、これは左岸8km付近に大規模な運動場が整備されたためと考えられる。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態では「スポーツ」が増加し、「釣り」、「散策等」が減少した。利用場所では「高水敷」で増加し、「堤防」で減少した。

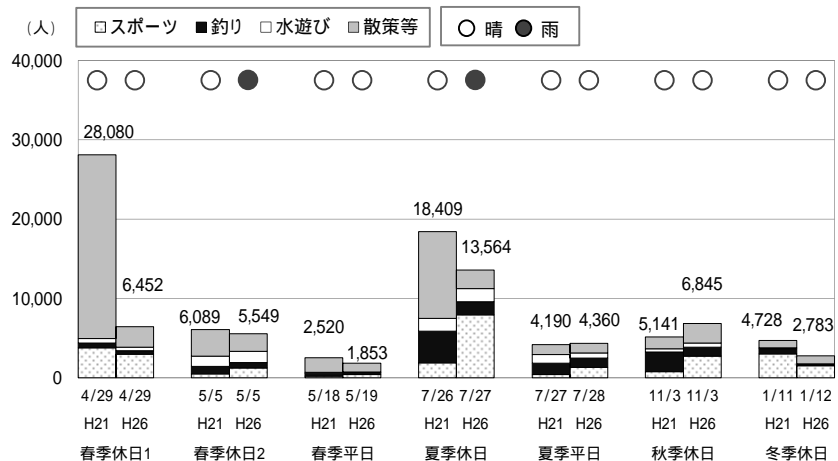


図 27 各調査日の利用者数

表 27 那珂川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態別	スポーツ	257	614		
	釣り	310	206		
	水遊び	136	174		
	散策等	739	414		
	合計	1,442	1,408		
利用場所別	水面	123	124		
	水際	323	256		
	高水敷	593	849		
	堤防	403	179		
	合計	1,442	1,408		

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

28. 利根川（とねがわ）

利根川における各調査日の利用者数をみると、春季5月5日（こどもの日）に173,054人が河川利用しており、最も多かった。

利用形態別にみると、春季5月5日（こどもの日）の「散策等」が最も多かった。

平成26年度の利根川における年間河川空間利用者総数（推計）は約2,164万人であり、沿川市区町村人口（約1,402万人）からみた年間平均利用回数は約1.5回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約258.5万人の減少となった。

利用形態別では、「散策等」が50%と最も多く、次いで「スポーツ」の38%、「釣り」9%、「水遊び」3%であった。利用場所別では、「高水敷」が59%と最も多く、次いで「堤防」の29%、「水際」9%、「水面」3%であった。利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態も利用場所でもほぼ同程度であった。利用者数で見ると、利用形態も利用場所でも全ての項目で減少した。

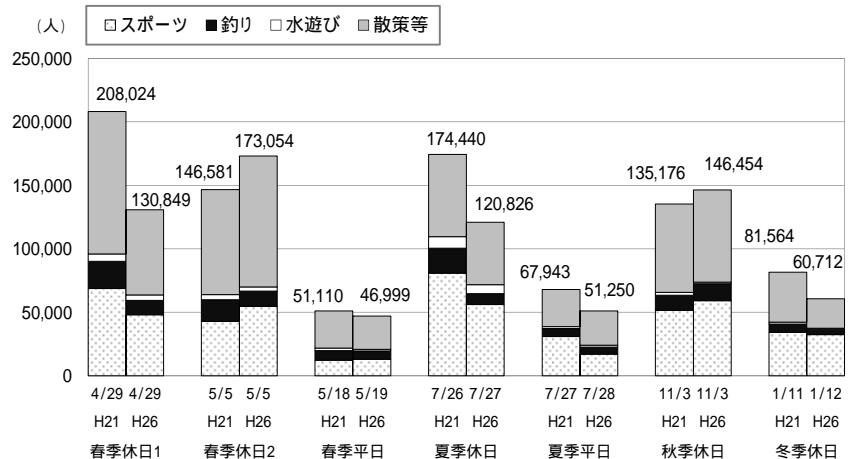


図 28 各調査日の利用者数

表 28 利根川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態別	スポーツ	9,144	8,301	38%	38%
	釣り	2,536	1,976	10%	9%
	水遊び	694	571	3%	3%
	散策等	11,853	10,795	49%	50%
合計	24,227	21,642			
利用場所別	水面	722	701	3%	3%
	水際	2,551	1,936	11%	9%
	高水敷	13,883	12,772	57%	59%
	堤防	7,071	6,234	29%	29%
合計	24,227	21,642			

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

28 - 2 . 常陸利根川 (ひたちとねがわ)

常陸利根川における各調査日の利用者数をみると、春季 5 月 5 日 (こどもの日) に 10,959 人が河川利用しており、最も多かった。

霞ヶ浦での現地状況は、堤防上が道路として整備され、駐車スペースもあるため、自動車による利用が多く、「釣り」の利用者は霞ヶ浦ほぼ全域にみられた。

また、横利根川のヘラブナ釣り、天王崎公園、歩崎公園での釣りやウインドサーフィン、ジェットスキーなどの水上スポーツ、和田岬公園のキャンプや釣りなどを目的にした利用者も多くみられた。

平成 26 年度の常陸利根川における年間河川空間利用者総数 (推計) は約 173.4 万人であり、沿川市区町村人口 (約 78.6 万人) からみた年間平均利用回数は約 2.2 回 / 人であった。

平成 21 年度と比較して、年間河川空間利用者総数 (推計) は約 10.1 万人の増加となった。利用形態別では、「釣り」が 56% と最も多く、次いで「散策等」の 30%、「水遊び」11%、「スポーツ」3%であった。霞ヶ浦の湖岸部では、コイ釣り、フナ釣り、ワカサギ釣り、ルーアー釣り等の「釣り」の利用が特に目立っていた。利用場所別では、「水際」が 52% と最も多く、次いで「堤防」の 21%、「水面」15%、「高水敷」12%であった。

利用状況を平成 21 年度と比較すると、「水面」での「水上スポーツ」や「釣り」、「堤防」での「散策等」の利用者の増加が目立つ結果となった。

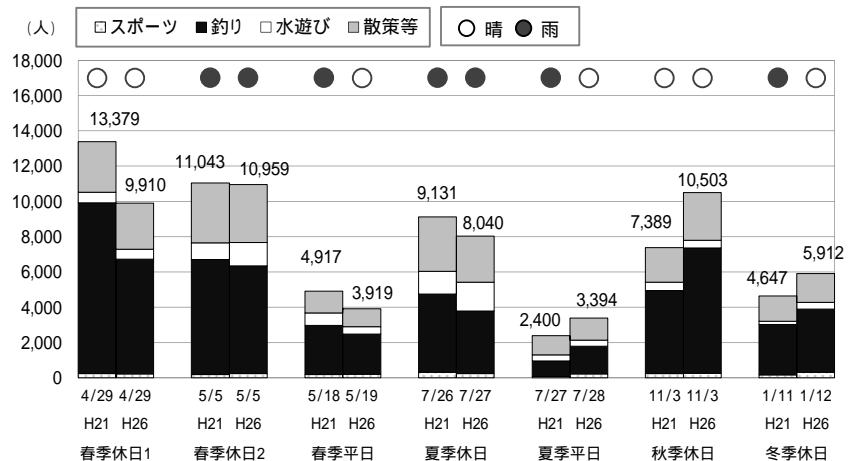


図 .28-2 各調査日の利用者数

表 .28-2 常陸利根川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計 (千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態別	スポーツ	50	60	3%	3%
	釣り	948	969	58%	56%
	水遊び	151	191	9%	11%
	散策等	484	514	30%	30%
	合計	1,633	1,734		
利用場所別	水面	178	267	11%	15%
	水際	922	893	56%	52%
	高水敷	226	212	14%	12%
	堤防	307	362	19%	21%
	合計	1,633	1,734		

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

28-3. 小貝川(こかいがわ)

小貝川における各調査日の利用者数をみると、春季4月29日(昭和の日)に5,027人が河川利用しており、最も多かった。

利用形態別にみると、春季4月29日(昭和の日)の「散策等」が最も多かった。

「散策等」で各調査日とも利用者数が最も多かった地点は、藤代総合運動公園付近(右岸3~5km)、岡堰上流側(右岸9~10km)、小貝川ふれあい公園(右岸46~47km)であった。この区間は、堤防がサイクリングロードとして整備されていることや、フラワーベルトの整備により、景観が良く、安心して散策できる。「スポーツ」の利用は、高水敷が狭いために、河川利用施設は藤代総合運動公園や小貝川ふれあい公園などに限定されるが、平成21年度と比較すると利用者が増加した。また、「釣り」は年間を通してほぼ全川に渡って利用があり、特に、岡堰や福岡堰の湛水域での利用が比較的多かった。

平成26年度の小貝川における年間河川空間利用者総数(推計)は約76.2万人であり、沿川市区町村人口(約83.9万人)からみた年間平均利用回数は約0.9回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数(推計)は約10.8万人の増加となった。

利用形態別では、「散策等」が67%と最も多く、次いで「スポーツ」の18%、「釣り」13%、「水遊び」2%であった。利用場所別では、「堤防」が51%と最も多く、次いで「高水敷」の34%、「水際」13%、「水面」2%であった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態では「スポーツ」が増加した。利用場所ではほぼ同程度であった。

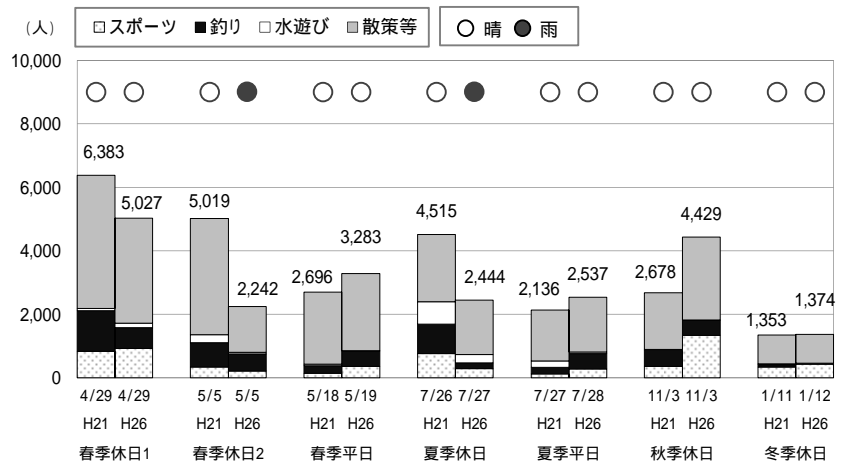


図 28-3 各調査日の利用者数

表 28-3小貝川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態別	スポーツ	73	138		
	釣り	89	99		
	水遊び	31	16		
	散策等	460	508		
合計		653	762		
利用場所別	水面	18	16		
	水際	102	99		
	高水敷	202	257		
	堤防	331	390		
合計		653	762		

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

28 - 4 . 鬼怒川 (きぬがわ)

鬼怒川における各調査日の利用者数をみると、春季4月29日(昭和の日)に13,719人が河川利用しており、最も多かった。春季5月19日(平日)は平日ということもあり、年間を通して最も少ない利用者数となった。

利用形態別に見ると、「スポーツ」が最も多く、次いで「散策等」となった。「スポーツ」の利用者が多い地点は、左岸74~75kmの石井緑地であり、グラウンドが整備されており、野球やサッカーなど盛んに利用されていた。「散策等」の利用者は、全川の堤防等で確認されており、特に利用が多い地点は右岸62~63kmの桃畑運動公園や65~66kmの蓼沼緑地公園、71~72kmの鬼怒川緑地公園下流等であり、スポーツ観戦とあわせて公園内を散策したり、バーベキューを楽しむ姿がみられた。「釣り」は、砂礫帯の続く中流部に集中し、特にアユ釣りの本場として有名な河川となっている。

平成26年度の鬼怒川における年間河川空間利用者総数(推計)は約224.8万人であり、沿川市区町村人口(約134.7万人)からみた年間平均利用回数は約1.7回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数(推計)は約82.9万人の減少となった。利用形態別では、「スポーツ」が47%と最も多く、次いで「散策等」の41%、「釣り」9%、「水遊び」3%であった。利用場所別では、「高水敷」が76%と最も多く、次いで「堤防」の12%、「水際」9%、「水面」3%であった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態では「散策等」が増加し、「釣り」が減少した。利用場所では「水際」で減少した。

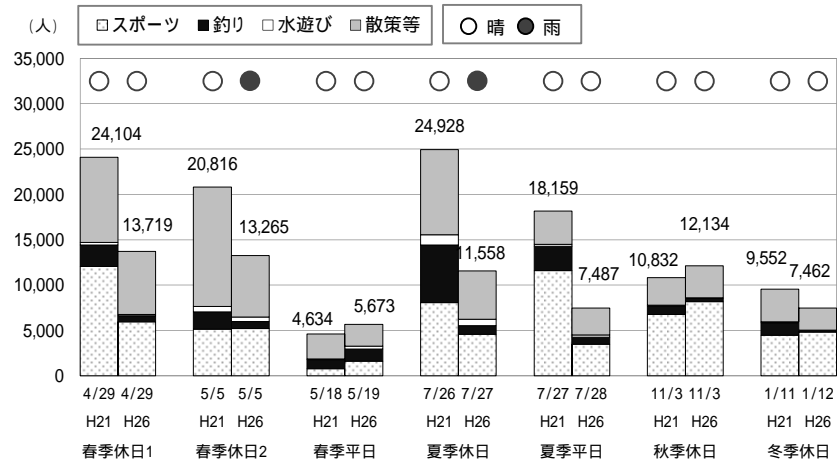


図 28-4 各調査日の利用者数

表 28-4 鬼怒川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態	スポーツ	1,511	1,050	49%	47%
	釣り	461	191	15%	9%
	水遊び	53	75	2%	3%
	散策等	1,052	931	34%	41%
	合計	3,077	2,248		
利用場所	水面	61	66	2%	3%
	水際	453	201	15%	9%
	高水敷	2,344	1,711	76%	76%
	堤防	219	271	7%	12%
	合計	3,077	2,248		

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

28-5. 江戸川(えどがわ)

江戸川における各調査日の利用者数をみると、春季5月5日(こどもの日)に87,877人が河川利用しており、最も多かった。

利用形態はいずれも「散策等」と「スポーツ」が多かった。「散策等」と「スポーツ」の割合は、春季に「散策等」の割合が高くなり、夏季～冬季には「スポーツ」の割合が高くなった。

「散策等」の利用は堤防上や高水敷、公園でみられ、「スポーツ」の利用は、主に下流部の高水敷に整備されている運動場において多くみられた。

平成26年度の江戸川における年間河川空間利用者総数(推計)は約608.9万人であり、沿川市区町村人口(約340.9万人)からみた年間平均利用回数は約1.8回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数(推計)は約152.7万人の減少となった。利用形態別では、「スポーツ」が52%と最も多く、次いで「散策等」の43%、「釣り」3%、「水遊び」2%であった。利用場所別では、「高水敷」が67%と最も多く、次いで「堤防」の28%、「水際」3%、「水面」2%であった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態では「散策等」が減少した。利用場所では「堤防」で減少した。

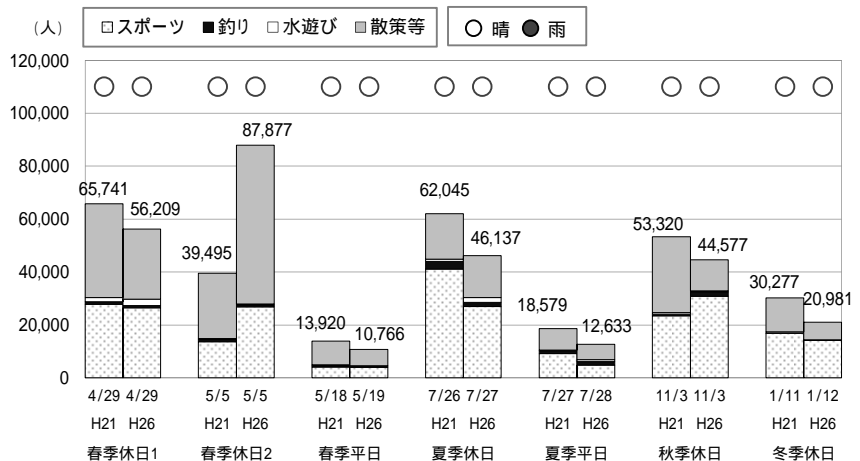


図 28-5 各調査日の利用者数

表 28-5江戸川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態	スポーツ	3,621	3,150		
	釣り	197	219		
	水遊び	117	121		
	散策等	3,680	2,598		
合計	7,615	6,089	7,615	6,089	
利用場所	水面	142	120		
	水際	172	221		
	高水敷	4,811	4,065		
	堤防	2,491	1,683		
合計	7,615	6,089	7,615	6,089	

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

28-6. 中川・綾瀬川（なかがわ・あやせがわ）

中・綾瀬川における各調査日の利用者数をみると、秋季11月3日（文化の日）に32,939人が河川利用しており、最も多かった。これは「草加ふささら祭り」が開催されていたためである。

利用形態はいずれも「散策等」と「スポーツ」が多かった。変動があるものの、平日は「散策等」の利用が占める割合が高い傾向にあった。「散策等」の利用は「堤防」上や「高水敷」、公園でみられ、「スポーツ」の利用は、主に下流部の「高水敷」に整備されている運動場において多くみられた。

平成26年度の中・綾瀬川における年間河川空間利用者総数（推計）は約219.3万人であり、沿川市区町村人口（約202.5万人）からみた年間平均利用回数は約1.1回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約49.7万人の増加となった。利用形態別では、「散策等」が80%と最も多く、次いで「スポーツ」の15%、「釣り」4%、「水遊び」1%であった。利用場所別では、「堤防」が77%と最も多く、次いで「高水敷」の18%、「水際」4%、「水面」1%であった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態では「散策等」が増加し、「スポーツ」が減少した。利用場所では「堤防」で増加し、「水際」、「高水敷」で減少した。

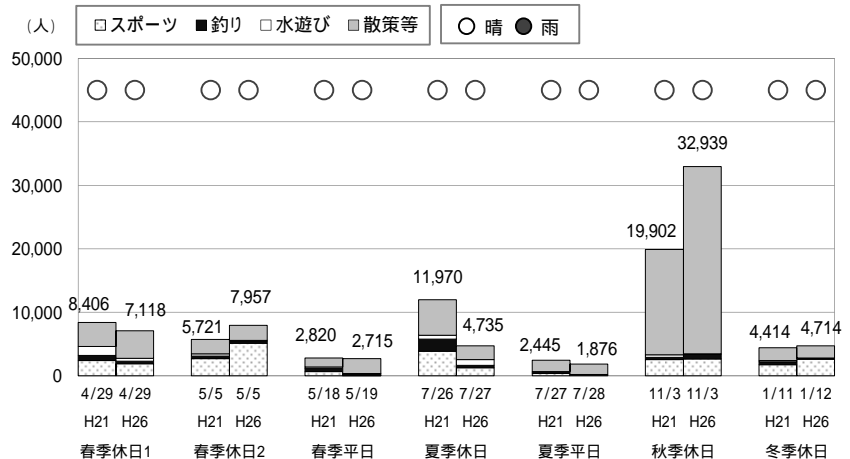


図 28-6 各調査日の利用者数

表 28-6中・綾瀬川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態別	スポーツ	364	339	21%	15%
	釣り	123	78	7%	4%
	水遊び	76	32	5%	1%
	散策等	1,133	1,743	67%	80%
合計	1,696	2,193			
利用場所別	水面	47	31	3%	1%
	水際	152	80	9%	4%
	高水敷	505	403	30%	18%
	堤防	992	1,680	58%	77%
合計	1,696	2,193			

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

28-7. 渡良瀬川（わたらせがわ）

渡良瀬川における各調査日の利用者数をみると、春季5月5日（こどもの日）に**13,673**人が河川利用しており、最も多かったが、それ以外の春季や夏季、秋季の調査日の利用者には大きな差はなかった。

利用形態は、主に「散策等」であり、次いで「スポーツ」による利用であったが、秋季は「散策等」よりも「スポーツ」の利用の方が多結果であった。利用場所は、主に「高水敷」であり、次いで「堤防」の利用が多く、全ての季節で同様の傾向であった。

平成26年度の渡良瀬川における年間河川空間利用者総数（推計）は約**197.6**万人であり、沿川市区町村人口（約**95**万人）からみた年間平均利用回数は約**2.1**回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約**70.4**万人の減少となった。

利用形態別では、「散策等」が**53%**と最も多く、次いで「スポーツ」の**42%**、「釣り」**3%**、「水遊び」**2%**であった。利用場所別では、「高水敷」が**63%**と最も多く、次いで「堤防」の**32%**、「水際」**3%**、「水面」**2%**であった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態では「スポーツ」が増加し、「散策等」が減少した。利用場所では「高水敷」で増加し、「堤防」で減少した。

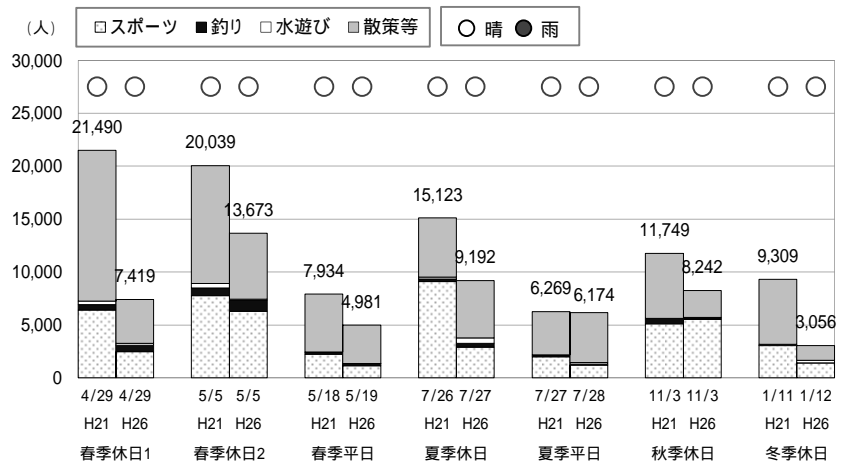


図 28-7 各調査日の利用者数

表 28-7 渡良瀬川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態	スポーツ	901	826		
	釣り	58	55		
	水遊び	24	45		
	散策等	1,698	1,050		
合計		2,680	1,976		
利用場所	水面	16	39		
	水際	66	61		
	高水敷	1,411	1,241		
	堤防	1,188	636		
合計		2,680	1,976		

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

28 - 8 . 烏川・神流川（からすがわ・かながわ）

烏・神流川における各調査日の利用者数をみると、春季5月5日（こどもの日）に11,872人が河川利用しており、最も多かった。

利用者数が多かった区間は、烏川では左岸1～5km、右岸の2～10kmと15～19kmであり、特に右岸の2～3kmで多かった。これらの場所は、運動場やゴルフ場等の整備がされている場所で、「スポーツ」の利用者が多かった。神流川では、左岸1.0～2.0km、3.0～4.0km、10.0～11.6km、右岸4.0～5.0km、8.0～9.0km地点であり、神川ゆ～ゆ～ランドや運動場といった河川利用施設が整備されている場所で利用者が多かった。碓氷川は左岸の利用者が多く、これは宅地が左岸に多く、右岸は主に耕作地であるためと考えられる。

平成26年度の烏・神流川における年間河川空間利用者総数（推計）は約97.5万人であり、沿川市区町村人口（約52.6万人）からみた年間平均利用回数は約1.9回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約32.9万人の減少となった。利用形態別では、「スポーツ」が53%と最も多く、次いで「散策等」の46%、「釣り」1%、「水遊び」0%であった。利用場所別では、「高水敷」が90%と最も多く、次いで「堤防」の9%、「水際」1%、「水面」0%であった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態も利用場所でもほぼ同程度であった。

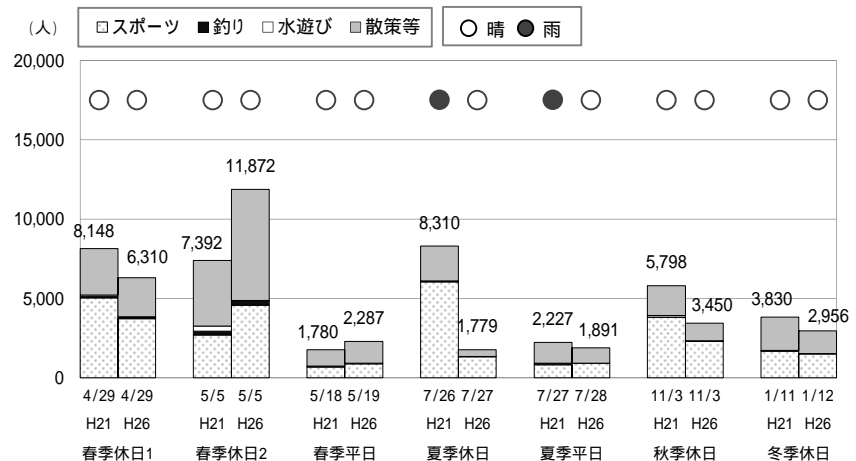


図 28-8 各調査日の利用者数

表 28-8烏・神流川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態	スポーツ	704	512	54%	53%
	釣り	16	8	1%	1%
	水遊び	19	3	0%	0%
	散策等	565	452	43%	46%
合計	1,304	975			
利用場所	水面	5	3	0%	0%
	水際	29	8	1%	1%
	高水敷	1,137	880	87%	90%
	堤防	132	84	10%	9%
合計	1,304	975			

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

29. 荒川（あらかわ）

荒川における各調査日の利用者数をみると、秋季11月3日（文化の日）に144,579人が河川利用しており、最も多かった。

各調査日とも利用者数が多い地点は、公園や運動場といった、整備が行われている河川利用施設の利用が主であった。

平成26年度の荒川における年間河川空間利用者総数（推計）は約2,535万人であり、沿川市区町村人口（約726.3万人）からみた年間平均利用回数は約3.5回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約208.5万人の増加となった。利用形態別では、「スポーツ」が52%と最も多く、次いで「散策等」の46%、「釣り」1%、「水遊び」1%であった。

利用場所別では、「高水敷」が76%と最も多く、次いで「堤防」の22%、「水際」2%、「水面」0%であった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態では「散策等」が増加し、「スポーツ」が減少した。利用場所ではほぼ同程度であった。

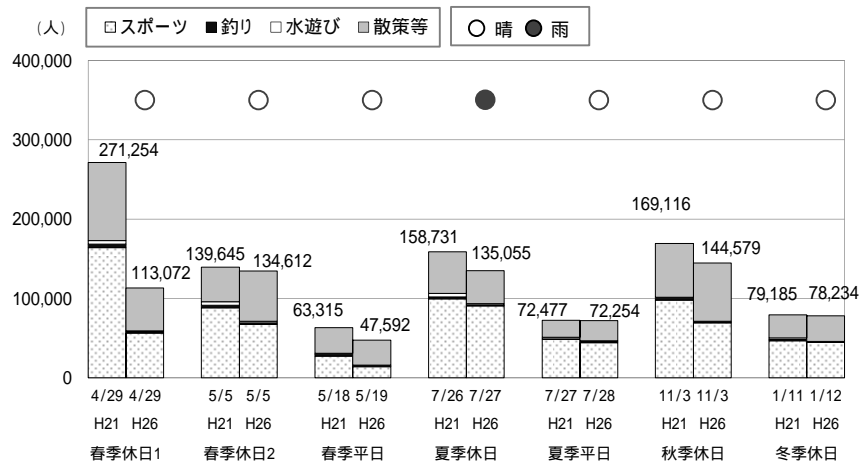


図 29 各調査日の利用者数

表 29 荒川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態別	スポーツ	13,369	13,153	57%	52%
	釣り	421	305	1%	1%
	水遊び	508	250	1%	1%
	散策等	8,970	11,645	39%	46%
	合計	23,268	25,352		
利用場所別	水面	218	119	1%	0%
	水際	718	435	3%	2%
	高水敷	18,166	19,249	78%	76%
	堤防	4,166	5,549	18%	22%
	合計	23,268	25,352		

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

30. 多摩川（たまがわ）

多摩川における各調査日の利用者数をみると、春季4月29日（昭和の日）に128,545人が河川利用しており、最も多かった。利用者は大規模な公園・グラウンドの河川利用施設が整備されている中流や下流で多く見られた。

平成26年度の多摩川における年間河川空間利用者総数（推計）は、約1,780.6万人であり、沿川市区町村人口（約510.5万人）からみた年間平均利用回数は約3.5回/人であった。

尚、多摩川では平成26年度調査から年間利用者数（推計値）の推計に用いる晴雨日数の算出方法を変更した（平成21年度は全ブロックで気象庁横浜地方気象台のデータを使用、平成26年度はブロック別の国土交通省観測所における調査時間内の降雨状況から判別した晴雨データを使用）。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約76万人の減少となった。

利用形態別では、「散策等」が55%と最も多く、次いで「スポーツ」の41%、「水遊び」3%、「釣り」1%であった。「散策等」は、堤防上の散歩・高水敷上のバーベキュー・ピクニック、イベントの参加や少年野球の観戦等の利用が見られた。「スポーツ」は、高水敷上の少年野球やサッカー、ジョギング・サイクリング等の利用が見られた。利用場所別では、「高水敷」が65%と最も多く、次いで「堤防」の31%、「水際」3%、「水面」1%であった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態も利用場所でもほぼ同程度であった。

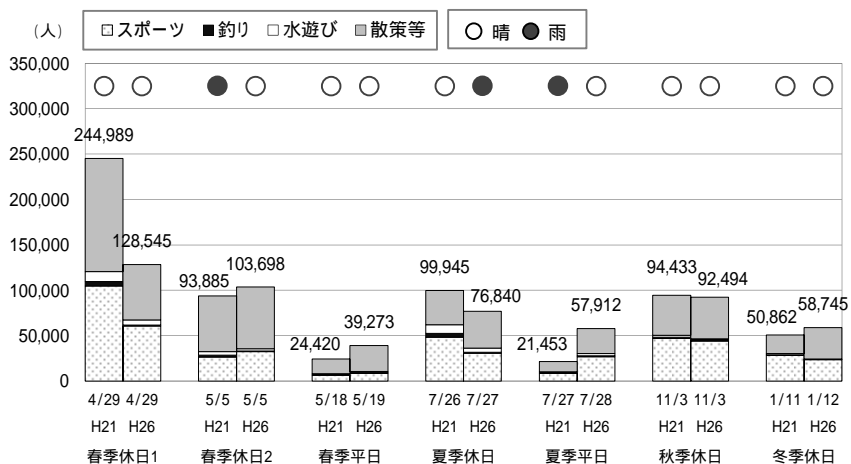


図 .30 各調査日の利用者数

表 .30 多摩川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態	スポーツ	7,826	7,223	42%	41%
	釣り	483	248	3%	1%
	水遊び	742	480	4%	3%
	散策等	9,514	9,854	51%	55%
合計	18,565	17,806			
利用場所	水面	236	143	1%	1%
	水際	989	585	6%	3%
	高水敷	12,469	11,566	67%	65%
	堤防	4,871	5,512	26%	31%
合計	18,565	17,806			

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

31. 鶴見川(つるみがわ)

鶴見川における各調査日の利用者数をみると、夏季7月27日(日)に44,110人が河川利用しており、最も多かった。この日の利用者数は平成21年度と比較しても多く、これは同日午前中に鶴見川右岸8~9kmにて600名を越す消防団防災合同訓練大会の開催や、日産スタジアムでのアイドルグループのライブ開催に伴う約1,750人の移動者等が重なったことが要因と考えられる。また、春季4月29日(昭和の日)には、例年同様に駅伝大会が開催され、スポーツ利用の増加が見られた。

利用場所にみると、堤防道路に加え、8.5~9.1km右岸の鶴見川樽町公園や、鳥山川0~1.4km右岸の新横浜駅前公園、鶴見川遊水地の新横浜公園内での利用が多く見られた。

平成21年度と比較して、調査日の利用者数は概ね増加しており、これは新たに鶴見川遊水地内(新横浜公園)に定点を設け、新横浜公園内の利用者数を正確に加算したことが要因と考えられる。

平成26年度の鶴見川における年間河川空間利用者総数(推計)は、約459.1万人であり、沿川市区町村人口(約517.3万人)からみた年間平均利用回数は約0.9回/人であった。平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数(推計)は約130.7万人の増加となった。利用形態別では、「散策等」が87%と最も多く、次いで「スポーツ」の10%、「水遊び」2%、「釣り」1%であった。「散策等」は、堤防の散歩・環境学習・河川清掃等の利用が見られた。「スポーツ」は、

ジョギング、駅伝大会や高水敷上のサイクリング等の利用が見られた。また、若干ではあるが、秋季にはハゼ等の釣りによる水面の利用者の一時的な増加が見られた。

利用場所別では、「堤防」が69%と最も

多く、次いで「高水敷」の27%、「水際」2%、「水面」2%であった。

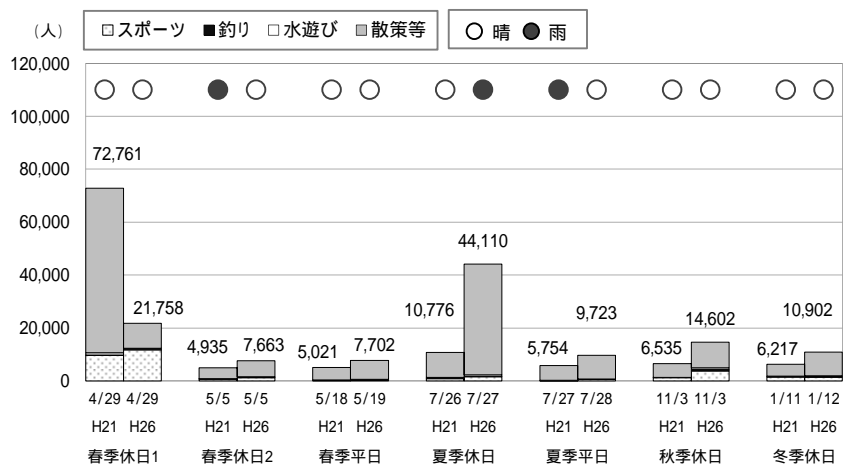


表 .31 鶴見川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態別	スポーツ	332	468	10%	10%
	釣り	51	50	1%	1%
	水遊び	52	105	2%	2%
	散策等	2,849	3,968	87%	87%
合計	3,285	4,591			
利用場所別	水面	34	68	1%	2%
	水際	69	87	2%	2%
	高水敷	947	1,256	29%	27%
	堤防	2,234	3,180	68%	69%
合計	3,285	4,591			

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

32. 相模川（さがみがわ）

相模川における各調査日の利用者数をみると、春季5月5日（こどもの日）に9,694人が河川利用しており、最も多かった。この日には、2.2～2.5km右岸の平塚長瀬スポーツ広場でサッカー大会参加者、観戦者による470名超の利用があった。また、夏季7月27日（日）には、0～1km右岸での釣りの利用（300名弱）、0～1km右岸における釣りや水上スポーツ利用（300名超）が見られた。

利用場所にみると、2.2～2.5km右岸の平塚長瀬スポーツ広場、4～4.3km左岸の田端スポーツ広場でのスポーツ利用や、0～1km右岸での釣りやウインドサーフィンなどの利用が多く見られた。

平成26年度の相模川における年間河川空間利用者総数（推計）は、約75.2万人であり、沿川市区町村人口（約54.3万人）からみた年間平均利用回数は約1.4回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約31.6万人の減少となった。利用形態別では、「スポーツ」が40%と最も多く、次いで「散策等」の33%、「水遊び」20%、「釣り」7%であった。「スポーツ」は、高水敷に整備された運動場でのサッカー、少年野球等の利用が見られた。「散策等」は、堤防の散歩や高水敷にある花畑での鑑賞、河川での環境学習等の利用が見られた。また、ジェットスキーなどの「水遊び」が多かった。

利用場所別では、「高水敷」が54%と最も多く、次いで「堤防」の20%、「水面」16%、「水際」10%であった。利用形態や利用場所の利用状況は、平成21年度と比較して、「スポーツ」や「高水敷」の利用者数が減少した。これらは高水敷上のサッカー場や陸上競技施設の利用状況によって変化したと考えられる。

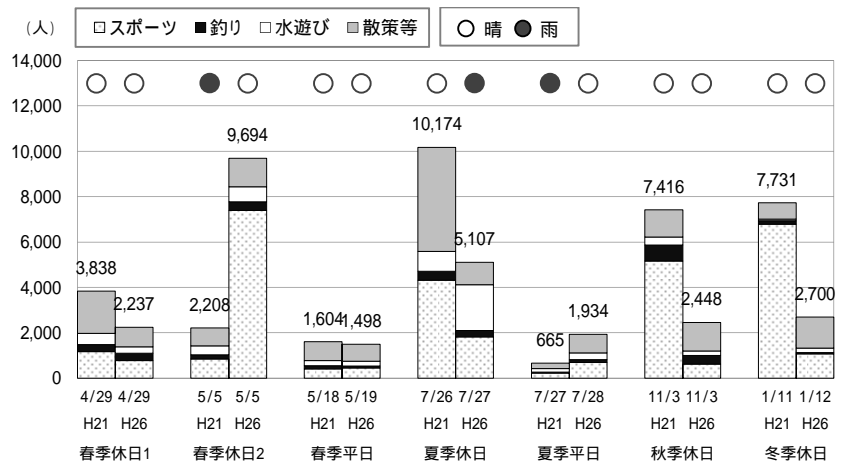


図 .32 各調査日の利用者数

表 .32 相模川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態別	スポーツ	630	303		
	釣り	64	48		
	水遊び	89	151		
	散策等	285	249		
	合計	1,068	752		
利用場所別	水面	70	122		
	水際	83	77		
	高水敷	785	401		
	堤防	130	151		
	合計	1,068	752		

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

33. 富士川（ふじかわ）

富士川における各調査日の利用者数をみると、秋季 11 月 3 日（文化の日）に 18,617 人が河川利用しており、最も多かった。

利用形態別にみると、秋季 11 月 3 日（文化の日）の「スポーツ」が 14,253 人と最も多く、河口部の緑地公園でのイベント、増穂地区水辺プラザ公園の運動場、信玄堤公園下流の堤内地側の公園での利用が特に多かった。

平成 21 年度と比較して、調査日の利用者数は、平成 26 年度の調査日の天候が良好であったことから、増加した。

平成 26 年度の富士川における年間河川空間利用者総数（推計）は約 263.2 万人であり、沿川市区町村人口（約 121.8 万人）からみた年間平均利用回数は約 2.2 回／人であった。

平成 21 年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約 1.7 万人の増加となった。

利用形態別では、「スポーツ」が 62%と最も多く、次いで「散策等」の 33%、「水遊び」4%、「釣り」1%であった。「釣り」と「水遊び」の合計利用者が過去最大となっており、これは平成 26 年度の調査日が天候に恵まれ、アユ釣りやラフティング、川下り等の利用が多かったためであると考えられる。

利用場所別では、「高水敷」が 89%と最も多く、次いで「堤防」の 6%、「水面」4%、「水際」1%であった。

利用状況の割合を平成 21 年度と比較すると、利用形態では「スポーツ」が増加し、「散策等」が減少した。利用場所では「堤防」で減少した。

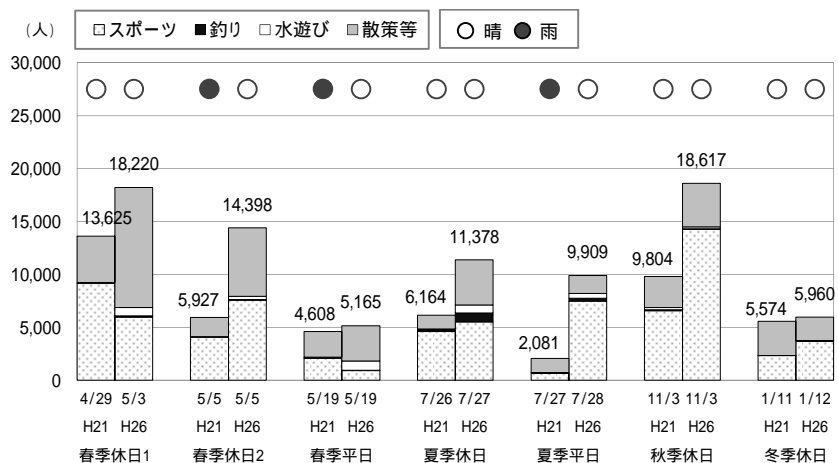


図 .33 各調査日の利用者数

表 .33 富士川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態	スポーツ	1,385	1,625	53%	62%
	釣り	19	34	1%	1%
	水遊び	37	109	1%	4%
	散策等	1,174	865	45%	33%
	合計	2,615	2,632		
利用場所別	水面	8	108	0%	4%
	水際	48	35	2%	1%
	高水敷	2,267	2,331	87%	89%
	堤防	292	158	11%	6%
	合計	2,615	2,632		

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

- 4 . 北陸地方の河川空間利用実態

(1) 北陸地方の河川空間利用実態の概要

北陸地方の水系では、各調査日の利用者数をみると、夏季7月27日（日）の56,996人が最も多く、次いで春季4月29日（昭和の日）が49,407人と多かった。

春季4月29日（昭和の日）、春季5月5日（こどもの日）、冬季1月12日（成人の日）において利用者数が減少した要因は、各調査日に多くの河川で天候不良であったためと考えられる。

年間河川空間利用者総数（推計）は、約1,031万人であり、沿川市区町村人口（約618万人）からみた年間平均利用回数は約1.67回／人であった。平成21年度と比較して、約179万人の減少となった。この主な要因として、複数の河川で天候不良であったため、調査日の利用者数が少なくなり、年間利用者数の減少につながったことがあげられる。

利用形態別では、「散策等」が49%（全国平均約54%）と最も高く、次いで「スポーツ」の41%（同37%）、「釣り」7%（同4%）、「水遊び」3%（同4%）となった。また利用場所別では、「高水敷」が71%（全国平均約65%）と最も高く、次いで「堤防」の18%（同27%）、「水面」6%（同3%）、「水際」5%（同6%）となった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態では「スポーツ」が増加し、「散策等」が減少した。利用場所では「高水敷」で増加し、「堤防」で減少した。

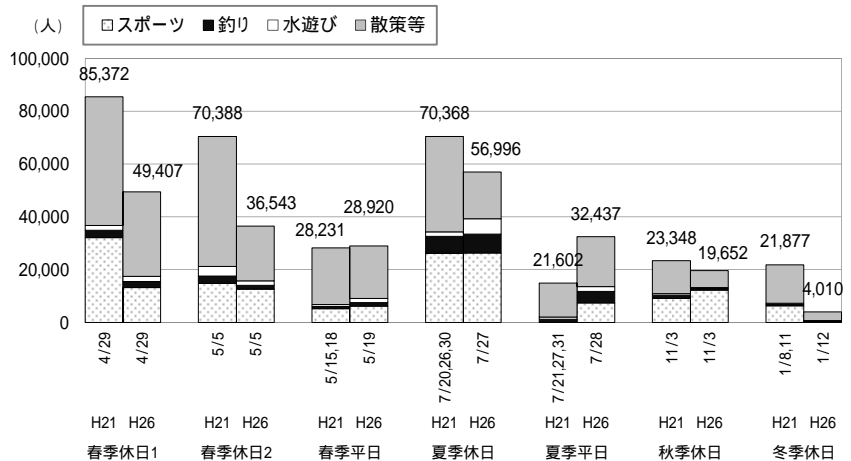


図 . 各調査日の利用者数

表 . 北陸地方の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態別	スポーツ	3,262	4,199		
	釣り	684	757		
	水遊び	399	352		
	散策等	7,753	4,998		
	合計	12,098	10,305		
利用場所別	水面	473	597		
	水際	615	521		
	高水敷	7,927	7,296		
	堤防	3,083	1,892		
	合計	12,098	10,305		

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

(2) 北陸地方における河川空間利用実態の状況

北陸地方における各水系の年間利用者数をみると、平成21年度調査と比較して、12水系のうち3水系（阿賀野川、神通川、小矢部川）が増加し、9水系（荒川、信濃川、関川、姫川、黒部川、常願寺川、庄川、手取川、梯川）が減少した。

北陸地方における利用形態別の特徴は、全国合計の傾向と概ね同じである。

しかし、各水系の利用形態別で見ると、神通川や庄川、手取川、梯川のように「釣り」の利用割合が多い河川が多く見られる。これらの河川はアユ釣りが有名な河川である。また、高水敷が整備されている荒川、信濃川、黒部川、常願寺川では「スポーツ」の利用が多い。

北陸地方における利用場所別の特徴は、「スポーツ」や「釣り」の利用が多いことから「高水敷」や「水面」の利用が多い。各水系別に見ると、「スポーツ」の利用が多い荒川、黒部川、常願寺川で「高水敷」の利用が多く、「釣り」の利用が多い神通川や庄川、手取川、梯川で「水際」、「水面」の利用が多い。

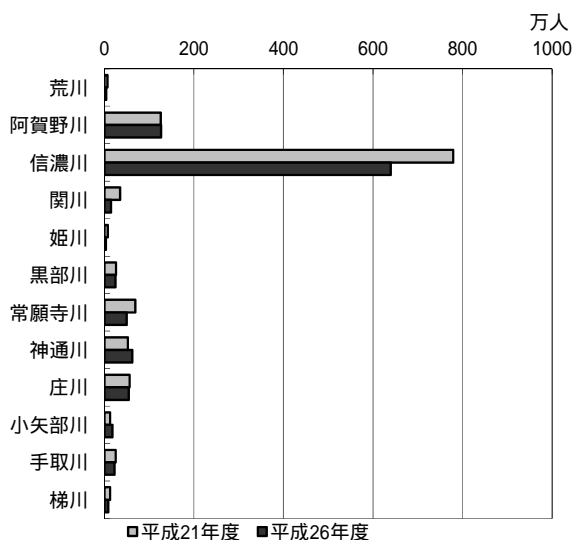


図 - 1.年間推計値の対比(平成21・26年度)

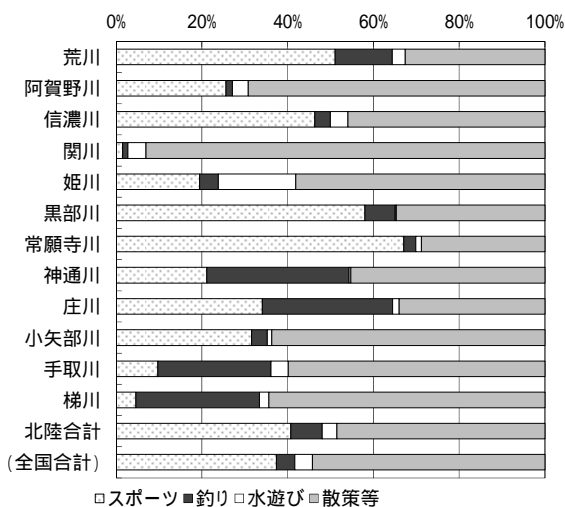


図 - 2.利用形態別グラフ(平成26年度)

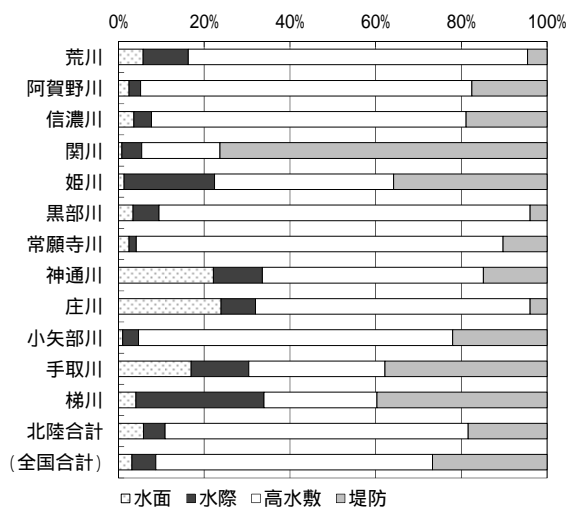


図 - 3.利用場所別グラフ(平成26年度)

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

(3) 北陸地方における各水系の河川空間利用実態

34. 荒川(あらかわ)

荒川における各調査日の利用者数をみると、春季4月29日(昭和の日)に778人が河川利用しており、最も多かった。冬季1月12日(成人の日)は、天候不順のためか、利用者がいなかった。尚、春先に荒川右岸の神林水辺の楽校で熊が出没し、近隣の住民が亡くなる事故が発生した。そのため、春季休日(4月29日、5月5日)の調査では、定点観測場所の神林水辺の楽校が立入禁止となったことから、本地区は、5月25日、6月8日に代替調査を行い、春季休日の成果に反映した。本地区の利用者は事故の影響で少なかった。

利用形態別にみると、春季5月5日(こどもの日)の「スポーツ」利用が最も多く、これは高水敷(野球場)での利用者が多かったためである。

平成26年度の荒川における年間河川空間利用者総数(推計)は約4.2万人であり、沿川市区町村人口(約2.7万人)からみた年間平均利用回数は約1.5回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数(推計)は約2.5万人の減少となった。利用形態別では、「スポーツ」が51%と最も多く、次いで「散策等」の33%、「釣り」13%、「水遊び」3%であった。利用場所別では、「高水敷」が79%と最も多く、次いで「水際」の11%、「水面」6%、「堤防」4%であった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態では「スポーツ」が増加し、「散策等」が減少した。利用場所では「高水敷」で増加し、「堤防」で減少した。

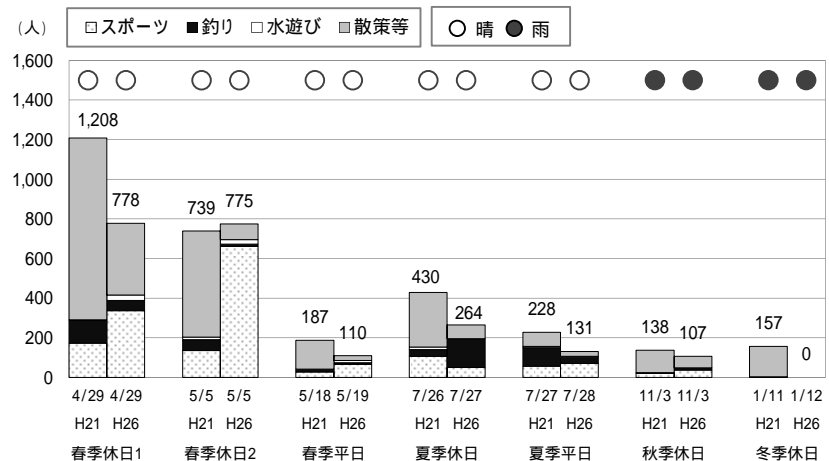


図 .34 各調査日の利用者数

表 .34 荒川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態	スポーツ	12	21	18%	51%
	釣り	9	6	13%	13%
	水遊び	1	1	1%	3%
	散策等	45	14	68%	33%
合計	66	42			
利用場所	水面	3	2	4%	6%
	水際	6	4	10%	11%
	高水敷	42	33	63%	79%
	堤防	15	2	23%	4%
合計	66	42			

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

35. 阿賀野川（あがのがわ）

阿賀野川における各調査日の利用者数をみると、春季4月29日（昭和の日）に9,900人が河川利用しており、最も多かった。

平成21年度と比較して、春季5月5日（こどもの日）や夏季7月27日（日）で利用者が減少しているのは、天候不良が要因と考えられる。また、秋季11月3日（文化の日）では「スポーツ」の利用が増加しており、これは阿賀川の大川緑地公園でスポーツ少年親善試合（サッカー）があり、出場選手等関係者や観戦の人々が多く利用していたことが要因と考えられる。

平成26年度の阿賀野川における年間河川空間利用者総数（推計）は約126.4万人であり、沿川市区町村人口（約112.9万人）からみた年間平均利用回数は約1.1回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約0.3万人の増加となった。利用形態別では、「散策等」が69%と最も多く、次いで「スポーツ」の26%、「水遊び」4%、「釣り」1%であった。利用場所別では、「高水敷」が77%と最も多く、次いで「堤防」の18%、「水際」3%、「水面」2%であった。「高水敷」では、公園施設やグラウンド等の利用者が多かった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態ではほぼ同程度であった。利用場所では「高水敷」で増加し、「堤防」で減少した。

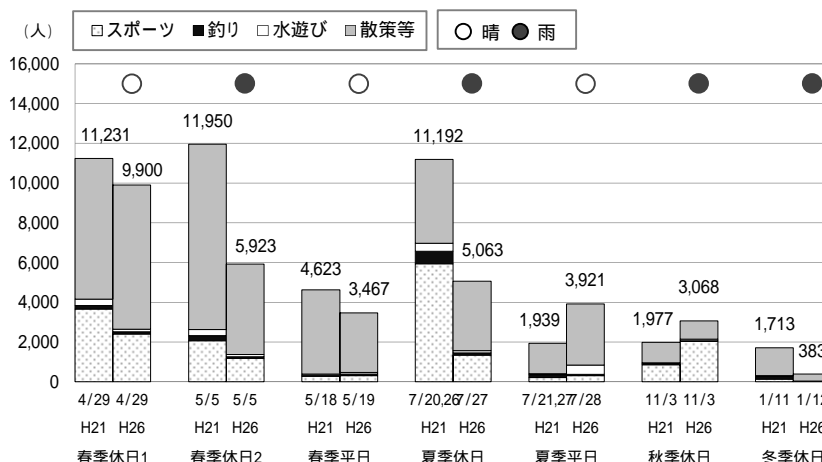


図 .35 各調査日の利用者数

表 .35 阿賀野川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態	スポーツ	273	324	22%	26%
	釣り	52	18	4%	1%
	水遊び	31	47	2%	4%
	散策等	906	875	72%	69%
別合計	1,261	1,264			
利用場所	水面	17	31	1%	2%
	水際	66	34	5%	3%
	高水敷	842	977	67%	77%
	堤防	336	221	27%	18%
別合計	1,261	1,264			

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

37. 関川（せきかわ）

関川における各調査日の利用者数をみると、春季4月29日（昭和の日）に732人が関川利用しており、最も多かった。冬季は典型的な日本海型気候で、天候に恵まれず、外出に不向きな日が多くなる。

平成21年度と比較すると、主に夏季7月27日（日）、秋季11月3日（文化の日）、冬季1月12日（成人の日）の利用者が減少した。これは、平成21年度の夏季休日の調査日が、上越祭りの神輿の川下りや稲田祇園祭の開催に重なり、利用者数が多く確認されていたためである。平成26年度の秋季休日、冬季休日は、天候不良のために減少した。特に冬季休日には、平成21年度は晴天で積雪も7.0kmまで無かったが、平成26年度は雪で積雪95cm（アメダス高田）であったため、利用者数に大きな差異があったと考えられる。

平成26年度の関川における年間関川空間利用者総数（推計）は約14.8万人であり、沿川市区町村人口（約20万人）からみた年間平均利用回数は約0.7回/人であった。

平成21年度と比較して、年間関川空間利用者総数（推計）は約20.6万人の減少となった。

利用形態別では、「散策等」が93%と最も多く、次いで「水遊び」の4%、「スポーツ」2%、「釣り」1%であった。「散策等」の利用は主に高水敷での散歩、堤防での散歩・ジョギング・サイクリングである。関川の堤防は舗装が整備されて車止めもあるため、一般車両が進入できない区間が多く、利用者が多い。利用場所別では、「堤防」が76%と最も多く、次いで「高水敷」の18%、「水際」5%、「水面」1%であった。「高水敷」には野球場等がなく、舗装道路が一部区間で整備されているため、「堤防」と「高水敷」が同じ目的（散歩、ジョギング、サイクリング等）で利用されている区間も多い。

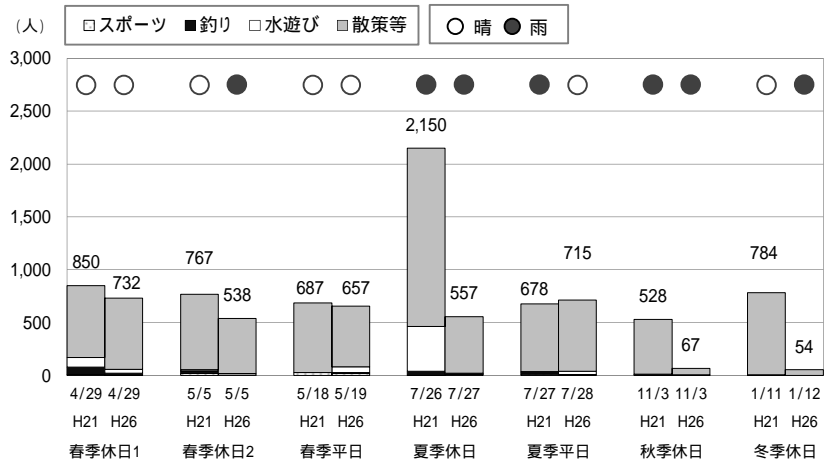


図 .37 各調査日の利用者数

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態ではほぼ同程度であった。利用場所では「堤防」で増加し、「高水敷」で減少した。

表 .37 関川の年間関川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態	スポーツ	4	2	1%	2%
	釣り	6	2	2%	1%
	水遊び	22	6	6%	4%
	散策等	322	137	91%	93%
利用場所	水面	19	1	5%	1%
	水際	9	7	3%	5%
	高水敷	140	27	40%	18%
	堤防	186	113	52%	76%
別	合計	354	148		

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

38. 姫川（ひめかわ）

姫川における各調査日の利用者数をみると、春季5月5日（こどもの日）に314人が河川利用しており、最も多かった。冬季は典型的な日本海型気候で、天候に恵まれず、外出に不向きな日が多くなる。

利用形態別に見ると、春季5月5日（こどもの日）には「スポーツ」が多く、この日には高水敷の野球場にて大会が開催されていた。冬季1月12日（成人の日）は荒天のため利用者は殆ど見られなかった。春季から夏季にかけては、「水遊び」の利用者が一定数観測された。

平成21年度と比較すると、主に春季4月29日（昭和の日）、夏季7月27日（日）、秋季11月3日（文化の日）、冬季1月12日（成人の日）の利用者が減少した。これは、春季4月29日（昭和の日）と夏季7月27日（日）はスポーツ大会の規模の違いによる利用者数の減少、秋季11月3日（文化の日）と冬季1月12日（成人の日）は平成26年度が平成21年度より荒天であったため、利用者数が減少したと考えられる。

平成26年度の姫川における年間河川空間利用者総数（推計）は約3.9万人であり、沿川市区町村人口（約4.6万人）からみた年間平均利用回数は約0.8回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約3.4万人の減少となった。利用形態別では、「散策等」が58%と最も多く、次いで「スポーツ」の20%、「水遊び」18%、「釣り」4%であった。利用場所別では、「高水敷」が42%と最も多く、次いで「堤防」の36%、「水際」21%、「水面」1%であった。

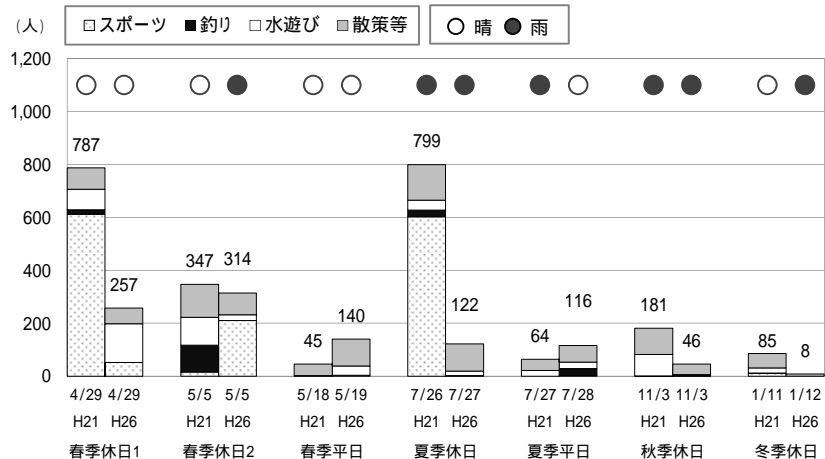


図 .38 各調査日の利用者数

表 .38 姫川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態別	スポーツ	34	8		
	釣り	2	2		
	水遊び	12	7		
	散策等	24	23		
	合計	73	39		
利用場所別	水面	1	1		
	水際	14	8		
	高水敷	48	16		
	堤防	10	14		
	合計	73	39		

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

39. 黒部川（くろべがわ）

黒部川における各調査日の利用者数をみると、夏季7月27日（日）に3,954人が河川利用しており、最も多かった。この日には、黒部川公園でイベントが開催されており、イベントの参加者が多くみられた（平成21年度の夏季休日にもイベントの開催あり）。

利用形態別に見ると、夏季7月27日（日）の「散策等」が最も多かった。これは、イベントの参加者が主であった。また、春季～秋季を通して「スポーツ」利用が多かった。特に、黒部川公園、青野自然公園、中ノ口緑地公園では、スポーツ施設の整備が行われており、パークゴルフ場等の施設利用が多かった。また、墓ノ木自然公園では豊かな自然の中でのキャンプやバーベキュー、散策などの利用があった。その他の「高水敷」利用では、ラジコン飛行機やゴルフの練習、散歩、ランニング等に利用されていた。

平成26年度の黒部川における年間河川空間利用者総数（推計）は約25万人であり、沿川市区町村人口（約6.8万人）からみた年間平均利用回数は約3.7回／人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約1.3万人の減少となった。利用形態別では、「スポーツ」が58%と最も多く、次いで「散策等」の35%、「釣り」7%、「水遊び」0%であった。利用場所別では、「高水敷」が87%と最も多く、次いで「水際」の6%、「堤防」4%、「水面」3%であった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態では「スポーツ」が増加し、「散策等」が減少した。利用場所では「堤防」で減少した。

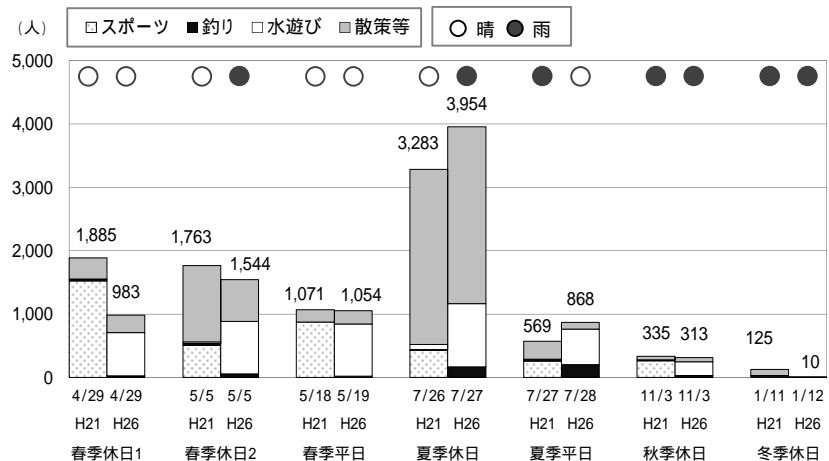


図 .39 各調査日の利用者数

表 .39 黒部川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態別	スポーツ	134	145	51%	58%
	釣り	7	17	3%	7%
	水遊び	2	1	0%	0%
	散策等	120	87	45%	35%
	合計	263	250		
利用場所別	水面	3	8	1%	3%
	水際	6	15	3%	6%
	高水敷	227	216	86%	87%
	堤防	27	10	10%	4%
	合計	263	250		

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

40. 常願寺川(じょうがんじがわ)

常願寺川における各調査日の利用者数をみると、春季5月5日(こどもの日)に1,529人が河川利用しており、最も多かった。

利用形態別に見ると、春季5月5日(こどもの日)の「スポーツ」が最も多く、次いで春季4月29日(昭和の日)の「散策等」となった。河川利用施設で、野球・サッカー・バーベキュー等を楽しむ人が多く確認された。常願寺川には、散策等を楽しめる緑豊かな散策路が整備された公園や、野球やサッカー等の試合ができる公園が多く整備されている。

各調査日の利用者が多い地点は、左右岸0~1km、右岸7~9km、左岸10~12km、左岸16~18kmであった。これらの地点は、河川公園がある箇所や釣りの良場となっている箇所である。また、左右岸18km付近においては、「水遊び」で盛んに利用されている。

平成26年度の常願寺川における年間河川空間利用者総数(推計)は約49.9万人であり、沿川市区町村人口(約45万人)からみた年間平均利用回数は約1.1回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数(推計)は約19.4万人の減少となった。利用形態別では、「スポーツ」が67%と最も多く、次いで「散策等」の29%、「釣り」3%、「水遊び」1%であった。利用場所別では、「高水敷」が86%と最も多く、次いで「堤防」の10%、「水面」2%、「水際」2%であった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態では「スポーツ」が増加し、「散策等」が減少した。利用場所では「高水敷」で増加し、「堤防」で減少した。

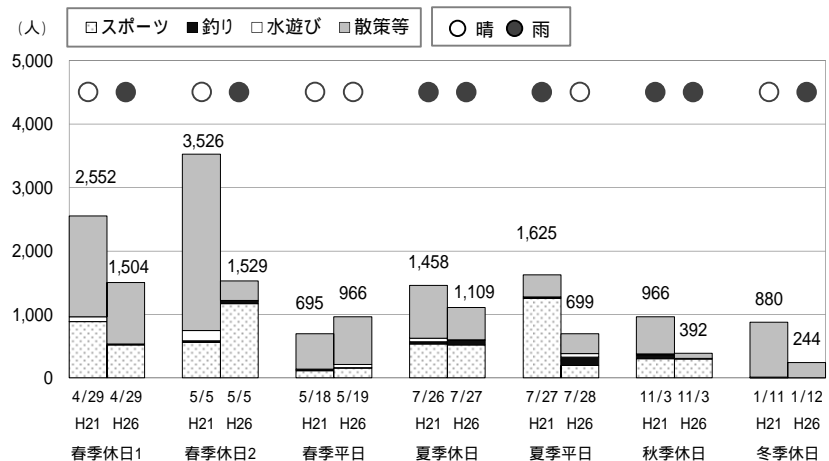


図 .40 各調査日の利用者数

表 .40 常願寺川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態別	スポーツ	381	335	55%	67%
	釣り	14	14	2%	3%
	水遊び	10	7	1%	1%
	散策等	288	144	42%	29%
合計	694	499			
利用場所別	水面	1	12	0%	2%
	水際	23	8	3%	2%
	高水敷	534	428	77%	86%
	堤防	136	51	20%	10%
合計	694	499			

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

41. 神通川(じんづうがわ)

神通川における各調査日の利用者数をみると、夏季7月27日(日)に2,854人が河川利用しており、最も多かった。

平成21年度と比較して、夏季7月27日(日)と夏季7月28日(平日)に利用者が増加しており、特に「釣り」の利用が増加した。これは、平成21年度の両日の調査日が雨天であったことが要因と考えられる。平成26年度の夏季7月27日(日)も雨天であったが、午前中や夜間に降雨があり、昼間には降雨がなかったこと、一方で平成21年度は昼間に降雨があったことにより、利用者に差が生じたと考えられる。

神通川では、夏季にアユ釣りの利用者が多いのが特徴で、連日1,500人を越す利用がみられた。これは、神通川が富山市街地に隣接しており、釣りスポットが河川全域に渡り多いことを反映している。各調査日において、「散策等」や「スポーツ」の利用者数が多い地点は、左右岸1~4km、右岸7~10kmであった。これらの地点は、主に河川公園である。

平成26年度の神通川における年間河川空間利用者総数(推計)は約62.3万人であり、沿川市区町村人口(約42万人)からみた年間平均利用回数は約1.5回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数(推計)は約9.9万人の増加となった。利用形態別では、「散策等」が45%と最も多く、次いで「釣り」の33%、「スポーツ」21%、「水遊び」1%であった。利用場所別では、「高水敷」が52%と最も多く、次いで「水面」の22%、「堤防」15%、「水際」11%であった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態では「釣り」が増加し、「散策等」が減少した。利用場所では「水面」で増加し、「高水敷」で減少した。

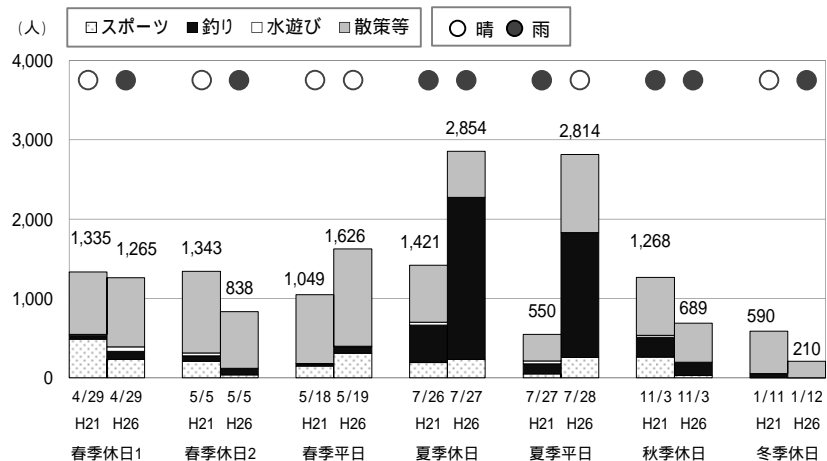


図 .41 各調査日の利用者数

表 .41 神通川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態	スポーツ	115	132	22%	21%
	釣り	76	207	15%	33%
	水遊び	13	2	2%	1%
	散策等	319	282	61%	45%
合計	523	623			
利用場所	水面	12	138	2%	22%
	水際	76	71	15%	11%
	高水敷	344	321	66%	52%
	堤防	91	92	17%	15%
合計	523	623			

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

42. 庄川（しょうがわ）

庄川における各調査日の利用者数をみると、夏季7月27日（日）に4,025人が河川利用しており、最も多かった。

平成21年度と比較して、春季4月29日（昭和の日）と春季5月5日（こどもの日）には利用者が減少した。これは、平成26年度の両日の天候が雨であったため、利用者が減少したと考えられる。また、夏季7月27日（日）と夏季7月28日（平日）に利用者が増加し、特に「釣り」の利用が増加した。平成21年度の両日は7月末の長雨や洪水の影響によって、利用者が減少したと考えられる。

高岡庄川緑地公園や大島北野河川公園ではランドゴルフ、河川敷ではサイクリングロードを利用した散策を楽しむ人が見られた。また、清流の名の通り河川全域に渡る釣りスポットが多く、夏季におけるアユ釣りが多く見られる等、広い河川敷を利用した利用が多いのが特徴である。

各調査日に利用者数が多い地点は、左右岸0～1km、左右岸5～6km、左岸24～25kmであった。これらの地点は、河川公園がある箇所や釣りの良場となっている箇所である。

平成26年度の庄川における年間河川空間利用者総数（推計）は約54.2万人であり、沿川市区町村人口（約32.1万人）からみた年間平均利用回数は約1.7回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約2.6万人の減少となった。

利用形態別では、「スポーツ」、「散策等」が34%と最も多く、次いで「釣り」30%、「水遊び」2%であった。利用場所別では、「高水敷」が64%と最も多く、次いで「水面」の24%、「水際」8%、「堤防」4%であった。

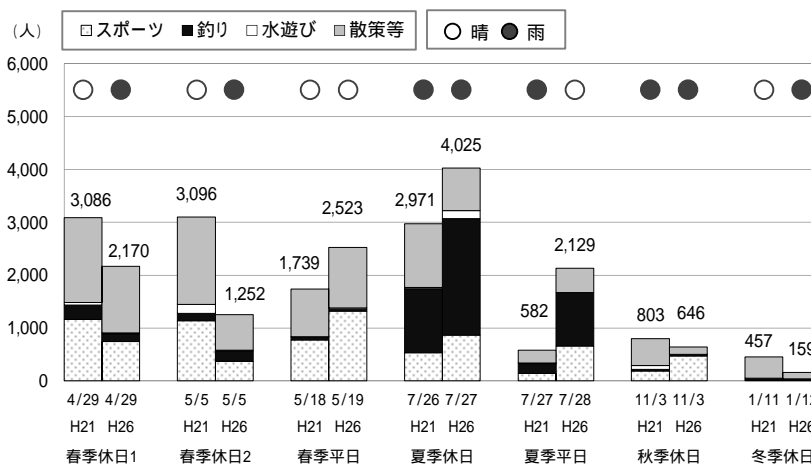


図 .42 各調査日の利用者数

表 .42 庄川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態	スポーツ	165	185		
	釣り	107	165		
	水遊び	19	8		
	散策等	276	184		
別	合計	567	542		
利用場所	水面	80	130		
	水際	46	43		
	高水敷	412	347		
	堤防	29	21		
別	合計	567	542		

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

43. 小矢部川（おやべがわ）

小矢部川における各調査日の利用者数をみると、春季 4 月 29 日（昭和の日）に 855 人が河川利用しており、最も多かった。

利用形態別に見ると、7 回の調査を通して「散策等」が多く、次いで「スポーツ」となった。小矢部河川公園や国東橋運動広場では、テニスや野球等のスポーツを楽しむ人が見られたが、小矢部川は高水敷が狭く大きな運動場が少ない為、「散策等」での利用が多いことが特徴である。

各調査日に利用者数が多い地点は、右岸 14～15km、左岸 24～25km であり、これらの地点は、河川公園がある箇所や住宅地と隣接する箇所である。

平成 26 年度の小矢部川における年間河川空間利用者総数（推計）は約 18.3 万人であり、沿川市区町村人口（約 30.2 万人）からみた年間平均利用回数は約 0.6 回/人であった。

平成 21 年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約 5.7 万人の増加となった。利用形態別では、「散策等」が 64%と最も多く、次いで「スポーツ」の 31%、「釣り」4%、「水遊び」1%であった。利用場所別では、「高水敷」が 73%と最も多く、次いで「堤防」の 22%、「水際」4%、「水面」1%であった。

利用状況の割合を平成 21 年度と比較すると、利用形態では「スポーツ」が増加し、「釣り」、「散策等」が減少した。利用場所では「高水敷」で増加し、「水際」、「堤防」で減少した。

小矢部川は、高水敷幅が狭い為、「堤防」を利用した「散策等」の利用が多いことで特徴づけられているが、「高水敷」でのイベントや公園、河川利用施設の新設に伴い、利用形態も変化しているようである。

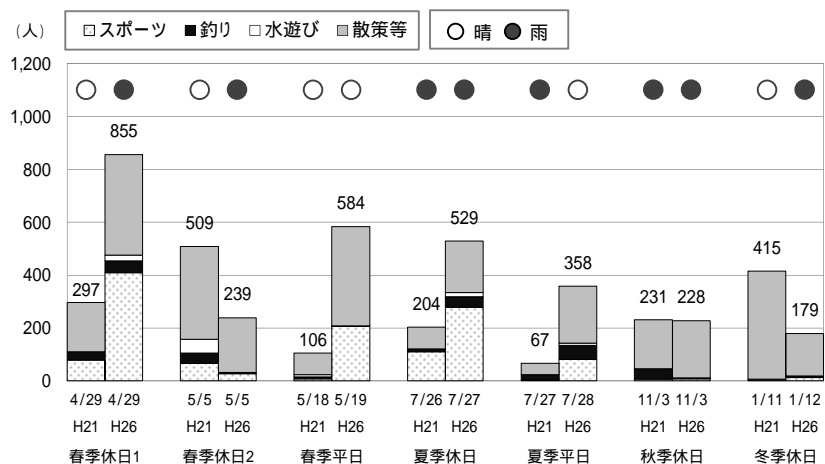


図 .43 各調査日の利用者数

表 .43 小矢部川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態	スポーツ	9	58	7%	31%
	釣り	14	7	11%	4%
	水遊び	1	2	1%	1%
	散策等	102	117	81%	64%
合計	126	183			
利用場所	水面	3	2	2%	1%
	水際	12	7	10%	4%
	高水敷	70	134	56%	73%
	堤防	41	40	32%	22%
合計	126	183			

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

44. 手取川（てどりがわ）

手取川における各調査日の利用者数をみると、夏季7月27日（日）に1,252人が河川利用しており、最も多かった。

利用形態別にみると、7月28日（平日）の「散策等」が742人と最も多く、年間を通じて「散策等」、「釣り」、「スポーツ」、「水遊び」の順に利用されていた。「散策等」は年間を通じて利用されており、「スポーツ」は春季、「釣り」や「水遊び」は夏季に利用者が多かった。

平成26年度の手取川における年間河川空間利用者総数（推計）は約22.7万人であり、沿川市区町村人口（約16.5万人）からみた年間平均利用回数は約1.4回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約2.4万人の減少となった。

利用形態別では、「散策等」が60%と最も多く、次いで「釣り」の26%、「スポーツ」10%、「水遊び」4%であった。利用場所別では、「堤防」が38%と最も多く、次いで「高水敷」の32%、「水面」17%、「水際」13%であった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態では「釣り」が増加し、「散策等」が減少した。利用場所では「水面」で増加し、「高水敷」で減少した。

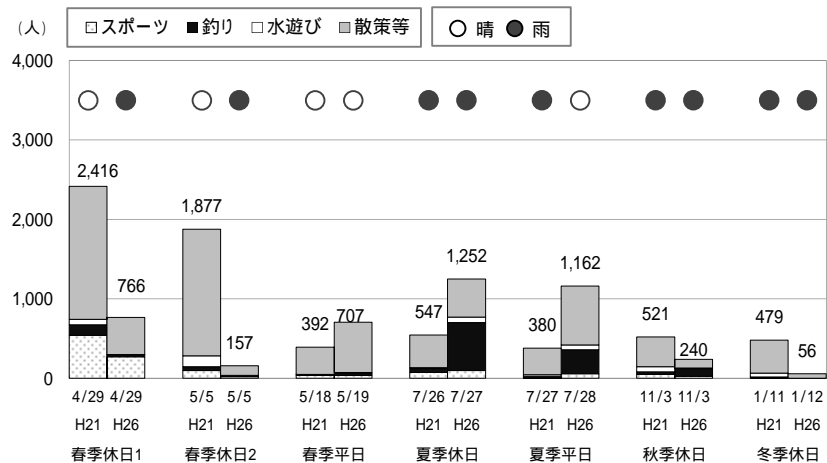


図 .44 各調査日の利用者数

表 .44 手取川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態別	スポーツ	19	22	8%	10%
	釣り	13	60	5%	26%
	水遊び	17	9	7%	4%
	散策等	202	136	80%	60%
合計	251	227			
利用場所別	水面	3	39	1%	17%
	水際	27	31	11%	13%
	高水敷	134	72	53%	32%
	堤防	88	86	35%	38%
合計	251	227			

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

45. 梯川（かけはしがわ）

梯川における各調査日の利用者数をみると、春季4月29日（昭和の日）に1,510人が河川利用しており、最も多かった。

利用形態別にみると、春季4月29日（昭和の日）の「釣り」が924人と最も多く、年間を通じては「散策等」、「釣り」、「スポーツ」、「水遊び」の順に利用されていた。「散策等」は年間を通じて利用されており、「釣り」は春季に最も利用者が多かった。

利用者が多い区間は0～4kmであり、河口付近では「釣り」、3～4kmでは「スポーツ」（レガッタ）の利用が多かった。また、「散策等」の利用は梯川の全区間を通じてみられた。この理由としては、河川自体が都市型河川であり河川敷が少なく、堤防の管理用道路が市民の生活道路として利用されていることが考えられる。また、釣りは河口付近で係留場があり、釣りが行きやすい環境が存在するためと考えられる。

平成26年度の梯川における年間河川空間利用者総数（推計）は約9万人であり、沿川市区町村人口（約10.8万人）からみた年間平均利用回数は約0.8回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約3.7万人の減少となった。利用形態別では、「散策等」が64%と最も多く、次いで「釣り」の29%、「スポーツ」5%、「水遊び」2%であった。利用場所別では、「堤防」が40%と最も多く、次いで「水際」の30%、「高水敷」26%、「水面」4%であった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態では「釣り」が増加し、「散策等」が減少した。利用場所では「水際」、「高水敷」で増加し、「堤防」で減少した。

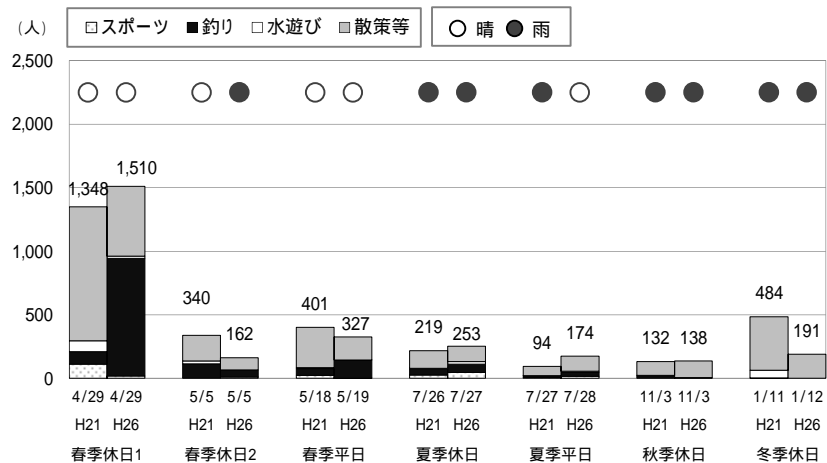


図 .45 各調査日の利用者数

表 .45 梯川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態	スポーツ	5	4	4%	5%
	釣り	15	26	12%	29%
	水遊び	7	2	5%	2%
	散策等	100	58	79%	64%
合計	127	90			
利用場所	水面	5	4	4%	4%
	水際	20	27	16%	30%
	高水敷	19	24	15%	26%
	堤防	82	36	65%	40%
合計	127	90			

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

Ⅲ－５．中部地方の河川空間利用実態

(1) 中部地方の河川空間利用実態の概要

中部地方の水系では、各調査日の利用者数をみると、夏季7月27日（日）の154,517人が最も多く、次いで秋季11月3日（文化の日）が105,256人と多かった。

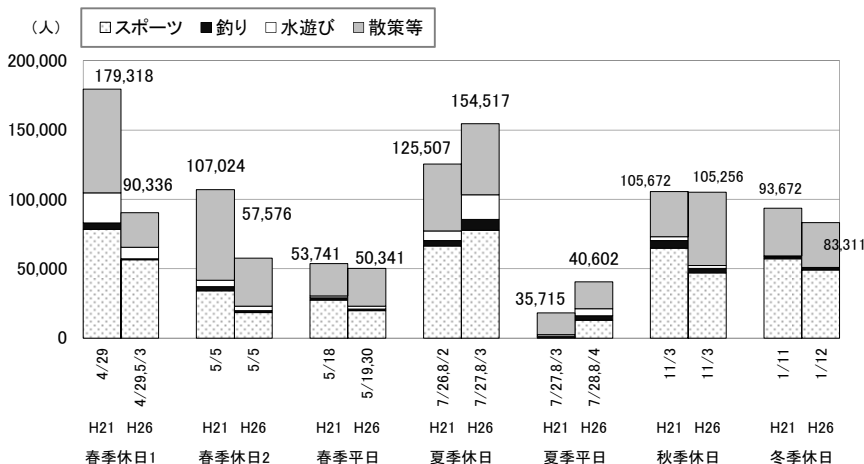
平成21年度と比較すると、春季4月29日（昭和の日）、春季5月5日（こどもの日）の利用者数が減少し、夏季7月27日（日）で増加した。この主な要因として、春季4月29日（昭和の日）、春季5月5日（こどもの日）の両日は、多くの河川で天候不良であったため、利用者数が減少したと考えられる。また、夏季7月27日（日）は、平成21年度の同日に天候不良の河川が多く、平成21年度の利用者数が少なかったこと、平成26年度の同日にはイベントの開催により利用者数が増加した。

年間河川空間利用者総数（推計）は、約2,231万人であり、沿川市区町村人口（約1,237万人）からみた年間平均利用回数は約1.8回/人であった。平成21年度と比較して、約20万人の増加となった。これは、大井川で129万人減少したものの、木曾川で150万人増加したため、中部地方では、平成21年度調査と比較して大きな増減が見られない結果につながったと考えられる。

利用形態別では、「散策等」が51%（全国平均約54%）と最も高く、次いで「スポーツ」の40%（同37%）、「水遊び」5%（同4%）、「釣り」4%（同4%）となった。

また利用場所別では、「高水敷」が75%（全国平均約65%）と最も高く、次いで「堤防」の17%（同27%）、「水際」4%（同6%）、「水面」4%（同3%）と続いた。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態では「散策等」が増加し、「スポーツ」が減少した。利用場所では「高水敷」で減少した。



図Ⅲ. 各調査日の利用者数

表Ⅲ. 中部地方の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態	スポーツ	10,832	8,930	49%	40%
	釣り	654	769	3%	4%
	水遊び	952	1,161	4%	5%
	散策等	9,676	11,453	44%	51%
別合計		22,115	22,313		
利用場所	水面	634	954	3%	4%
	水際	990	984	4%	4%
	高水敷	17,654	16,694	80%	75%
	堤防	2,837	3,681	13%	17%
別合計		22,115	22,313		

※表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

(2) 中部地方における河川空間利用実態の状況

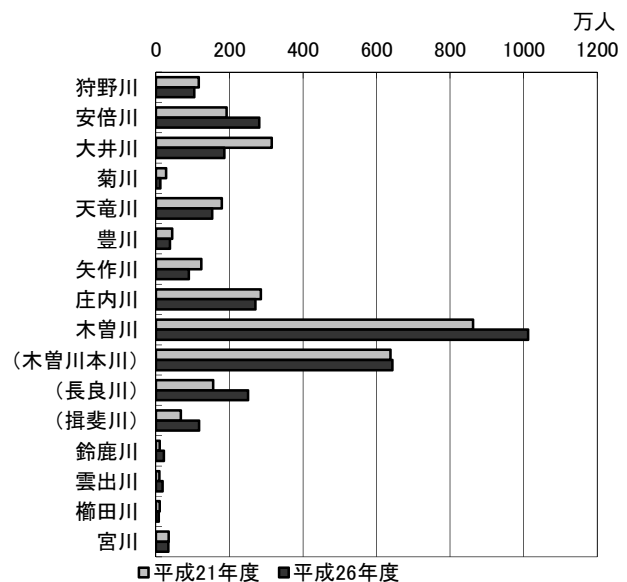
中部地方における各水系の年間利用者数をみると、平成21年度調査と比較して、13水系のうち4水系（安倍川、木曾川、鈴鹿川、雲出川）が増加し、9水系（狩野川、大井川、菊川、天竜川、豊川、矢作川、庄内川、櫛田川、宮川）が減少した。

中部地方における利用形態別の特徴は、全国合計の傾向と概ね等しく、「散策等」が多く、「釣り」や「水遊び」はあまり多くない。

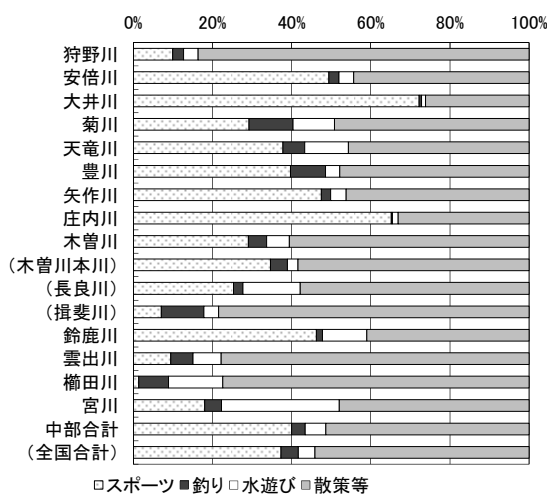
各水系の利用形態別では、大井川や庄内川では「スポーツ」、宮川では「水遊び」の占める割合が高い。

利用場所別の特徴も、全国合計の傾向と概ね等しく、「高水敷」が多く、「水面」や「水際」はあまり多くない。

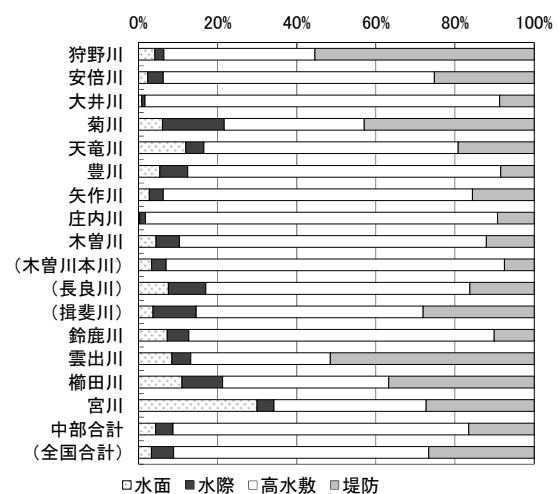
各水系の利用場所別では、「水遊び」の利用者数が多い宮川では「水面」、「スポーツ」の利用者数が多い大井川や庄内川では「高水敷」、「散策等」の利用者数が多い狩野川や雲出川では「堤防」の利用の割合が高い。



図Ⅲ-1.年間推計値の対比(平成21・26年度)



図Ⅲ-2.利用形態別グラフ(平成26年度)



図Ⅲ-3.利用場所別グラフ(平成26年度)

※表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

(3) 中部地方における各水系の河川空間利用実態

46. 狩野川 (かのがわ)

狩野川における各調査日の利用者数をみると、夏季7月27日(日)に14,319人が河川利用しており、最も多かった。これは、狩野川の上土広場では例年、7月末の日曜日に花火大会が行われており、調査日と重なっていたためである。さらに、同日は千歳橋の周辺でカヌーイベント、各地でサッカー大会等も行われていたこともあり、「スポーツ」の割合が高かった。また、春季4月29日(昭和の日)、春季5月5日(こどもの日)は、天候不良のため、利用者が少なかったと考えられる。

年間を通して、「散策等」の割合が最も高く、全利用者のおよそ大半を占めた。また、鮎の友釣りが盛んになる夏から秋にかけては、「釣り」の利用者の割合が増加した。

平成26年度の狩野川における年間河川空間利用者総数(推計)は、約104.2万人であり、沿川市区町村人口(約62.2万人)からみた年間平均利用回数は約1.7回/人であった。平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数(推計)は約12.2万人の減少となった。

利用形態別では、「散策等」が83%と最も多く、次いで「スポーツ」の10%、「水遊び」4%、「釣り」3%であった。

利用場所別では、「堤防」が56%と最も多く、次いで「高水敷」の38%、「水面」4%、「水際」2%であった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態では「散策等」が増加した。利用場所では「堤防」で増加し、「高水敷」で減少した。

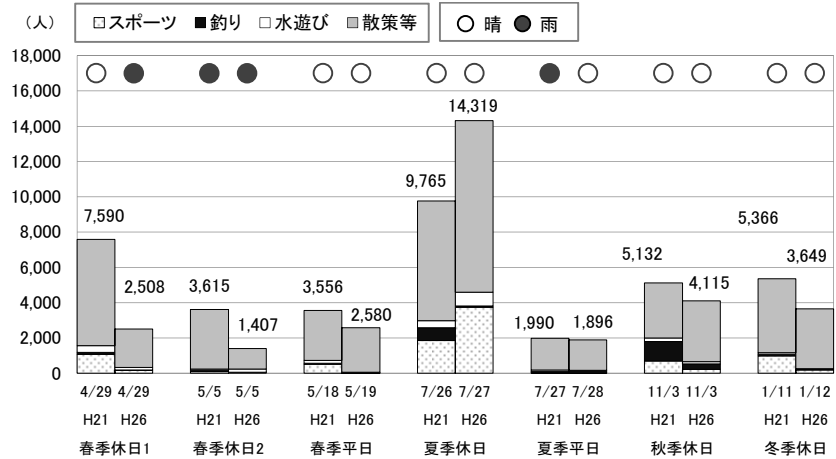


図 III.46 各調査日の利用者数

表 III.46 狩野川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態別	スポーツ	168	104	14%	10%
	釣り	64	29	6%	3%
	水遊び	32	38	3%	4%
	散策等	900	872	77%	83%
合計	1,164	1,042			
利用場所別	水面	37	43	3%	4%
	水際	65	24	6%	2%
	高水敷	506	398	43%	38%
	堤防	557	578	48%	56%
合計	1,164	1,042			

※表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

47. 安倍川（あべかわ）

安倍川における各調査日の利用者数をみると、春季5月3日（憲法記念日）に45,481人が河川利用しており、最も多かった。

利用形態別に見ると、春季5月3日（憲法記念日）の「スポーツ」が37,987人と最も多かった。これは高水敷等で野球、サッカー等の大会が開催されていたためである。なかでも活発に利用されていたのは、一般利用区域にあたる柳町サッカー広場(左岸6.0～6.3km付近)であった。

安倍川、藁科川の国管理区間の高水敷面積は約252haで、その半分の約123haが公園・緑地、運動場として占有されており、静岡市民の身近な憩いの場・レクリエーションを楽しむ場として広く利用されている。

平成26年度の安倍川における年間河川空間利用者総数（推計）は約280.9万人であり、沿川市区町村人口（約70.6万人）からみた年間平均利用回数は約4.0回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約88.8万人の増加となった。利用形態別では、「スポーツ」が49%と最も多く、次いで「散策等」の44%、「水遊び」4%、「釣り」3%であった。利用場所別では、「高水敷」が69%と最も多く、次いで「堤防」の25%、「水際」4%、「水面」2%であった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態では「散策等」が増加し、「スポーツ」が減少した。利用場所ではほぼ同程度であった。

近年アウトドアや健康等のブームにより「高水敷」ではBBQ等の利用、「堤防」ではランニング、サイクリング等の利用が多く確認され、「散策等」の利用の増加要因の一つと推測される。

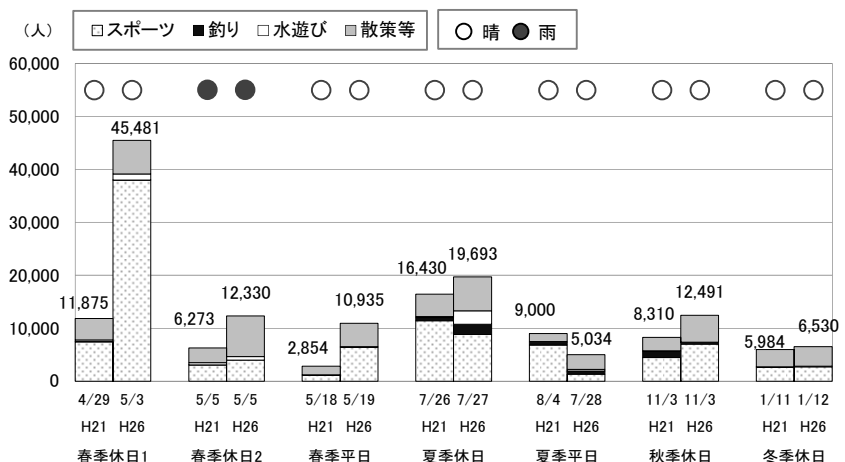


図 III.47 各調査日の利用者数

表 III.47 安倍川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態別	スポーツ	1,139	1,388	59%	49%
	釣り	91	72	5%	3%
	水遊び	38	104	2%	4%
	散策等	653	1,245	34%	44%
	合計	1,921	2,809		
利用場所別	水面	14	64	1%	2%
	水際	115	111	6%	4%
	高水敷	1,381	1,924	72%	69%
	堤防	410	709	21%	25%
	合計	1,921	2,809		

※表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

48. 大井川（おおいがわ）

大井川における各調査日の利用者数をみると、春季5月3日（憲法記念日）に12,567人が河川利用しており、最も多かった。

利用形態別に見ると、春季5月3日（憲法記念日）の「スポーツ」が10,202人と最も多かった。これは、広い範囲(下流～中流)で野球、サッカー等の大会が開催されていた影響と考えられる。大井川の高水敷面積は約299haで、その約4割にあたる約115haが公園・緑地、運動場として占用されており沿川住民の身近な憩いの場・レクリエーションを楽しめる場として広く利用されている。

平成26年度の大井川における年間河川空間利用者総数（推計）は約186.2万人であり、沿川市区町村人口（約42.1万人）からみた年間平均利用回数は約4.4回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約128.5万人の減少となった。

利用形態別では、「スポーツ」が72%と最も多く、次いで「散策等」の26%、「水遊び」1%、「釣り」1%であった。利用場所別では、「高水敷」が90%と最も多く、次いで「堤防」の8%、「水面」1%、「水際」1%であった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態では「散策等」が増加し、「スポーツ」が減少した。利用場所では「高水敷」での利用の割合が減少した。これは、利用形態の「スポーツ」の利用者数が118万人減少したことが影響したと考えられる。

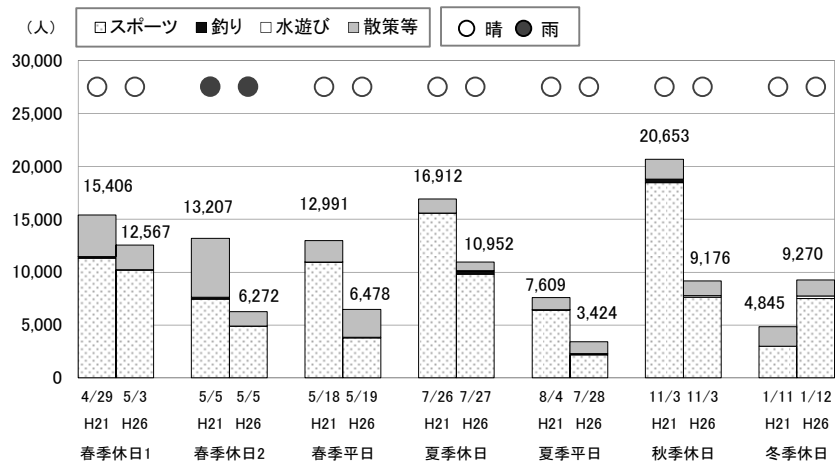


図 III.48 各調査日の利用者数

表 III.48 大井川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態別	スポーツ	2,527	1,345	80%	72%
	釣り	13	12	1%	1%
	水遊び	6	18	0%	1%
	散策等	601	487	19%	26%
合計	3,147	1,862			
利用場所別	水面	1	15	0%	1%
	水際	18	15	1%	1%
	高水敷	2,967	1,671	94%	90%
	堤防	161	162	5%	8%
	合計	3,147	1,862		

※表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

49. 菊川（きくがわ）

菊川における各調査日の利用者数をみると、夏季7月27日（日）に851人が河川利用しており、最も多かった。調査日の利用者は、平日と休日の違いはあまり見られず、季節別では春季から夏季にかけて多かった。

菊川本川の主な利用は、河口付近での「釣り」、サーフィンなどの「水遊び」、「散策等」、左岸7.1～7.7kmの青木前芝生広場の施設利用、12～15kmの生活道路であった。調査を行った全7日間で青木前芝生広場でグラウンドゴルフの利用があった。菊川支川では、「高水敷」を利用できるような場所が少なく、「堤防」で「散歩等」に利用している人が見られた程度であった。

平成26年度の菊川における年間河川空間利用者総数（推計）は約12.6万人であり、沿川市区町村人口（約16.5万人）からみた年間平均利用回数は約0.8回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約15.6万人の減少となった。利用形態別では、「散策等」が49%と最も多く、次いで「スポーツ」の29%、「釣り」11%、「水遊び」11%であった。利用場所別では、「堤防」が43%と最も多く、次いで「高水敷」の35%、「水際」16%、「水面」6%であった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態では「スポーツ」が増加し、「散策等」が減少した。利用場所では「高水敷」で増加し、「堤防」で減少した。

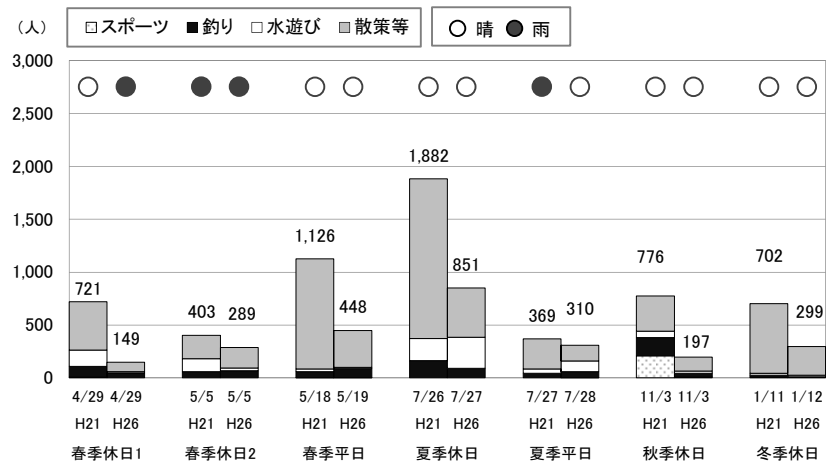


図 III.49 各調査日の利用者数

表 III.49 菊川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態	スポーツ	36	37	13%	29%
	釣り	27	14	10%	11%
	水遊び	21	13	7%	11%
	散策等	198	62	70%	49%
合計	282	126			
利用場所	水面	9	8	3%	6%
	水際	39	20	14%	16%
	高水敷	51	44	18%	35%
	堤防	183	54	65%	43%
合計	282	126			

※表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

50. 天竜川（てんりゅうがわ）

天竜川における各調査日の利用者数をみると、夏季7月27日（日）に9,468人が河川利用しており、最も多かった。

春季4月29日（昭和の日）の利用者数の減少は、調査日の天候不良が要因と考えられる。利用形態別にみると、夏季7月27日（日）の「散策等」が最も多かった。

平成26年度の天竜川における年間河川空間利用者総数（推計）は約153.5万人であり、沿川市区町村人口（約159.6万人）からみた年間平均利用回数は約1.0回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約25.7万人の減少となった。利用形態別では、「散策等」が46%と最も多く、次いで「スポーツ」の38%、「水遊び」11%、「釣り」5%であった。利用場所別では、「高水敷」が64%と最も多く、次いで「堤防」の19%、「水面」12%、「水際」5%であった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態では「スポーツ」が増加し、「散策等」が減少した。利用場所ではほぼ同程度であった。

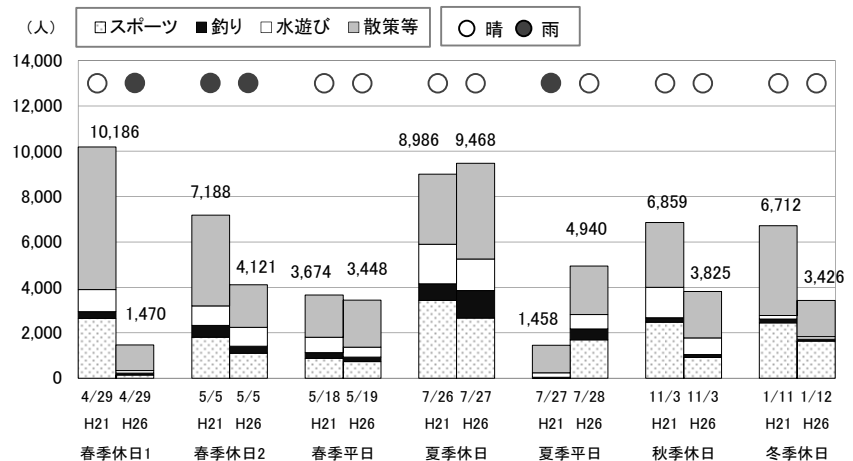


図 III.50 各調査日の利用者数

表 III.50 天竜川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態別	スポーツ	478	581		
	釣り	65	84		
	水遊び	224	170		
	散策等	1,025	700		
	合計	1,792	1,535		
利用場所別	水面	220	183		
	水際	69	71		
	高水敷	1,210	987		
	堤防	293	295		
	合計	1,792	1,535		

※表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

51. 豊川（とよがわ）

豊川における各調査日の利用者数をみると、夏季8月3日（日）に6,854人が河川利用しており、最も多かった。

平成21年度と比較して、春季4月29日（昭和の日）と春季5月5日（こどもの日）の利用者が減少したが、これは天候不順が要因と考えられる。一方、夏季8月3日（日）は増加したが、夏季8月4日（平日）、秋季11月3日（文化の日）及び冬季1月12日（成人の日）ではいずれも減少した。

「スポーツ」は、夏季8月3日（日）で突出して多く、春季及び夏季の平日（5月19日、8月4日）で少ない結果であった。秋季及び冬季の休日（11月3日（文化の日）、1月12日（成人の日））では平成21年度と利用者数に違いは見られなかった。「釣り」、「水遊び」とも夏季8月3日（日）が多かった。

平成26年度の豊川における年間河川空間利用者総数（推計）は約38.7万人であり、沿川市区町村人口（約61.3万人）からみた年間平均利用回数は約0.6回/人であった。平成26年度の調査は、イベント（花火大会）の影響を避け、通常の夏季の利用者状況を把握し、イベント参加者数を加えて年間利用者総数とした。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約6.2万人の減少となった。

利用形態別では、「散策等」が48%と最も多く、次いで「スポーツ」の40%、「釣り」9%、「水遊び」3%であつた。

利用場所別では、「高水敷」が79%と最も多く、次いで「堤防」の9%、「水際」7%、「水面」5%であった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態では「スポーツ」が増加し、「散策等」が減少した。利用場所では「高水敷」で増加し、「水際」で減少した。

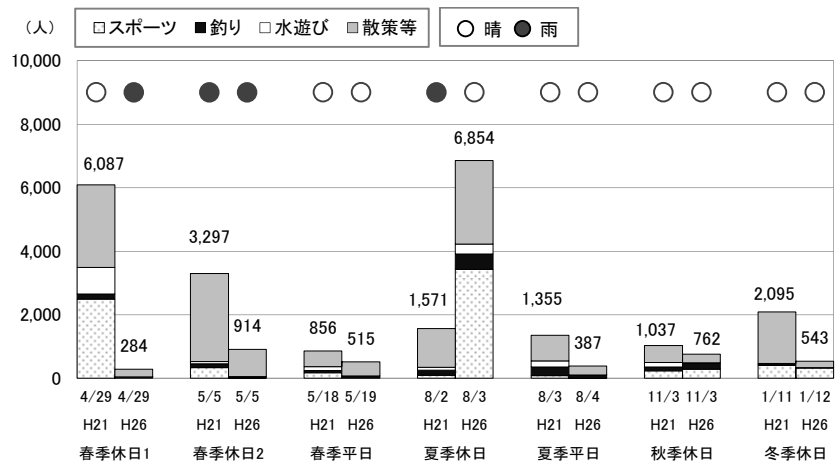


図 Ⅲ.51 各調査日の利用者数

表 Ⅲ.51 豊川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態	スポーツ	74	154	17%	40%
	釣り	36	34	8%	9%
	水遊び	38	14	8%	3%
	散策等	301	185	67%	48%
別合計		449	387		
利用場所	水面	15	21	3%	5%
	水際	59	27	13%	7%
	高水敷	330	306	74%	79%
	堤防	46	33	10%	9%
別合計		449	387		

※表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

52. 矢作川（やはぎがわ）

矢作川における各調査日の利用者数をみると、夏季8月3日（日）に9,610人が河川利用しており、最も多かった。

平成21年度と比較して、春季4月29日（昭和の日）と春季5月5日（こどもの日）の利用者が減少したが、これは天候不順が要因と考えられる。一方、平成21年度においては春季4月29日（昭和の日）の利用者が多大であったとも考えられる。

「スポーツ」は夏季8月3日（日）で突出して多く、「釣り」、「水遊び」とも夏季8月3日（日）が多かった。「水遊び」は春季4月29日（昭和の日）もやや多く、これは天候不順にかかわらず、河口付近での潮干狩りに来た人が多かったためである。

平成26年度の矢作川における年間河川空間利用者総数（推計）は約89.7万人であり、沿川市区町村人口（約122.9万人）からみた年間平均利用回数は約0.7回/人であった。平成26年度の調査は、イベント（花火大会）の影響を避け、通常の夏季の利用者状況を把握し、イベント参加者数を加えて年間利用者総数とした。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約33.8万人の減少となった。

利用形態別では、「スポーツ」が48%と最も多く、次いで「散策等」の46%、「水遊び」4%、「釣り」2%であった。利用場所別では、「高水敷」が78%と最も多く、次いで「堤防」の16%、「水際」3%、「水面」3%であった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態では「水遊び」が減少した。利用場所では「堤防」で増加し、「水際」で減少した。

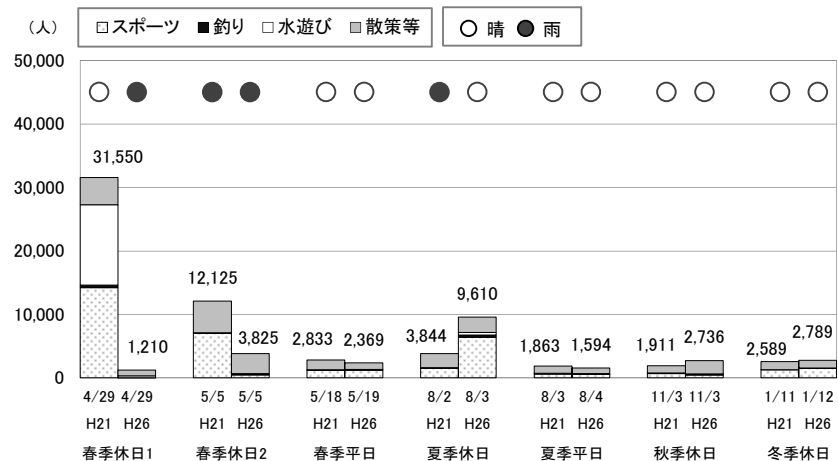


図 III.52 各調査日の利用者数

表 III.52 矢作川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態別	スポーツ	574	426	47%	48%
	釣り	12	21	1%	2%
	水遊び	140	36	11%	4%
	散策等	509	414	41%	46%
	合計	1,235	897		
利用場所別	水面	17	25	1%	3%
	水際	135	31	11%	3%
	高水敷	983	701	80%	78%
	堤防	100	139	8%	16%
	合計	1,235	897		

※表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

53. 庄内川（しょうないがわ）

庄内川における各調査日の利用者数をみると、夏季7月27日（日）に20,779人が河川利用しており、最も多かった。

平成21年度と比較して、夏季7月27日（日）は増加したが、春季4月29日（昭和の日）は20,000人程度減少し、その他の調査日では同程度の結果であった。

平成26年度の庄内川における年間河川空間利用者総数（推計）は約270.8万人であり、沿川市区町村人口（約305.7万人）からみた年間平均利用回数は約0.9回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約14.4万人の減少となった。利用形態別では、「スポーツ」が65%と最も多く、次いで「散策等」の33%、「水遊び」2%、「釣り」0%であった。利用場所別では、「高水敷」が89%と最も多く、次いで「堤防」の9%、「水際」2%、「水面」0%であった。庄内川は中部圏の大都市である名古屋市を流下しており、「高水敷」が公園として整備されている割合が高い為、「スポーツ」や「散策等」による利用が大半を占めていた。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態では「スポーツ」が増加し、「散策等」が減少した。利用場所ではほぼ同程度であった。

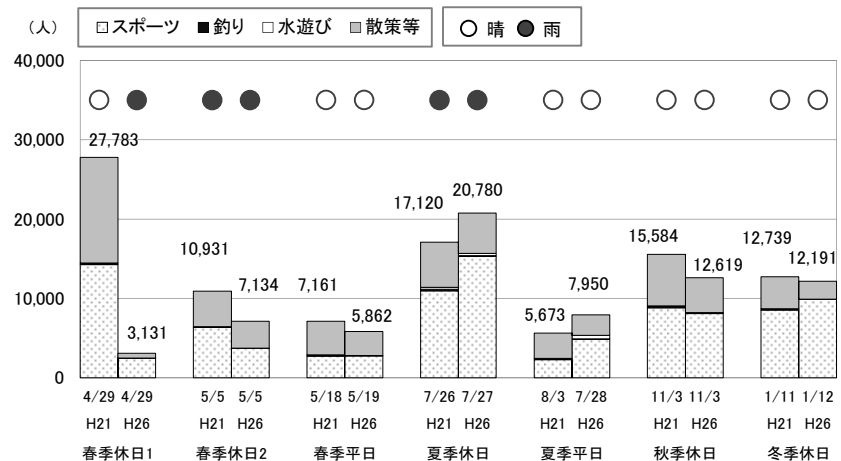


図 III.53 各調査日の利用者数

表 III.53 庄内川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態別	スポーツ	1,589	1,765	56%	65%
	釣り	29	8	0%	0%
	水遊び	23	39	2%	2%
	散策等	1,211	895	42%	33%
	合計	2,852	2,708	1%	1%
利用場所別	水面	13	8	0%	0%
	水際	47	39	2%	2%
	高水敷	2,624	2,409	92%	89%
	堤防	168	252	6%	9%
	合計	2,852	2,708		

※表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

54. 木曾川（きそがわ）

木曾川における各調査日の利用者数をみると、秋季 11 月 3 日（文化の日）に 55,431 人が河川利用しており、最も多かった。春季の利用者数は、年間を通じて、平成 21 年度と比較しても少ないが、これは天候不良によるものと考えられる。

利用形態別にみると秋季 11 月 3 日（文化の日）の「散策等」が最も多く、調査日が晴天であったためと考えられる。また、「水遊び」は夏季の利用が多く、「散策等」、「スポーツ」、「釣り」は年間を通してほぼ一定の利用がみられた。

各調査日とも利用者数が多い地点は、公園、グラウンド、園路等の河川利用施設であり、散策、軽運動、スポーツ等の利用が主であった。

木曾川水系は、公園、グラウンド等をはじめさまざまな河川整備が行われている木曾川、長良川、自然区域の豊かな揖斐川を有し、多様な河川利用がされている。

平成 26 年度の木曾川における年間河川空間利用者総数（推計）は約 1,012 万人であり、沿川市区町村人口（約 257.3 万人）からみた年間平均利用回数は約 3.9 回／人であった。

平成 21 年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約 149.6 万人の増加となった。

利用形態別では、「散策等」が 61%と最も多く、次いで「スポーツ」の 29%、「水遊び」6%、「釣り」4%であった。利用場所別では、「高水敷」が 78%と最も多く、次いで「堤防」の 12%、「水際」6%、「水面」4%であった。

利用状況の割合を平成 21 年度と比較すると、利用形態では「散策等」が増加し、「スポーツ」が減少した。利用場所では「高水敷」で減少した。

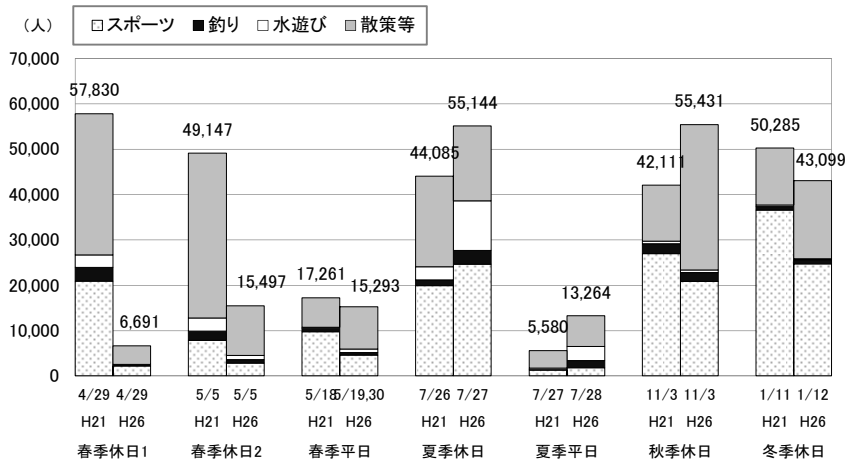


図 III.54 各調査日の利用者数

表 III.54 木曾川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態別	スポーツ	4,101	2,948	48%	29%
	釣り	288	462	3%	4%
	水遊び	333	579	4%	6%
	散策等	3,902	6,131	45%	61%
合計	8,623	10,120			
利用場所別	水面	234	444	3%	4%
	水際	387	602	4%	6%
	高水敷	7,267	7,854	84%	78%
	堤防	736	1,220	9%	12%
合計	8,623	10,120			

※表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

54-1. 木曾川本川（きそがわほんせん）

木曾川本川における各調査日の利用者数をみると、秋季 11 月 3 日（文化の日）に 47,592 人が河川利用しており、最も多かった。年間を通じてみると、秋季、冬季の休日の利用者数が多く、平日の 6 倍以上の利用者がみられた。春季の利用者数は、年間を通じて、平成 21 年度と比較しても少ないが、これは天候不良によるものと考えられる。

利用形態別にみると、秋季 11 月 3 日（文化の日）の「散策等」が最も多く、調査日が晴天であったためと考えられる。また、「水遊び」の利用は夏季が多く、「散策等」「スポーツ」は年間を通して利用がみられる。

各調査日とも利用者数が多い地点は、木曾川右岸 13～14km、木曾川左岸 37～38km、51～52km、南派川右岸 2～3km 等である。これらの地点には、広場、グラウンド、園路等の河川利用施設があり、散策、軽運動等の利用が主であった。

木曾川は、長良川・揖斐川と比較すると公園、グラウンド等をはじめさまざまな河川整備が行われているため、三川の中で最も活発的な河川利用がされている。

平成 26 年度の木曾川本川における年間河川空間利用者総数（推計）は約 643.3 万人であり、沿川市区町村人口（約 129 万人）からみた年間平均利用回数は約 5.0 回／人であった。

平成 21 年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約 5 万人の増加となった。

利用形態別では、「散策等」が 58%と最も多く、次いで「スポーツ」の 35%、「釣り」4%、「水遊び」3%であつた。利用場所別では、「高水敷」が 86%と最も多く、次いで「堤防」の 7%、「水際」4%、「水面」3%であった。

利用状況の割合を平成 21 年度と比較すると、利用形態では「散策等」が増加し、「スポーツ」が減少した。利用場所ではほぼ同程度であつた。

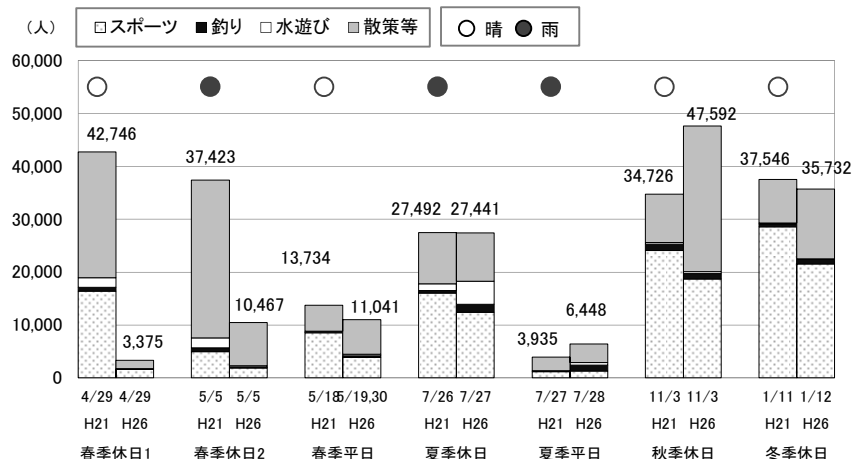


図 III.54-1 各調査日の利用者数

表 III.54-1 木曾川本川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態別	スポーツ	3,421	2,230	54%	35%
	釣り	115	276	2%	4%
	水遊び	161	171	2%	3%
	散策等	2,686	3,756	42%	58%
	合計	6,383	6,433		
利用場所別	水面	98	212	1%	3%
	水際	178	235	3%	4%
	高水敷	5,609	5,504	88%	86%
	堤防	498	482	8%	7%
	合計	6,383	6,433		

※表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

54-2. 長良川（ながらがわ）

長良川における各調査日の利用者数をみると、夏季7月27日（日）に21,392人が河川利用しており、最も多かった。年間を通じてみると、夏季の利用者数が多く、平日の5倍近くの利用者がみられた。春季の利用者数は、年間を通じて、平成21年度と比較しても少ないが、これは天候不良によるものと考えられる。

利用形態別にみると、年間を通じて「散策」、「スポーツ」の利用が多くみられた。また、夏季で「水遊び」の利用が多くみられた。

各調査日とも利用者数が多い地点は、長良川右岸51～55km、長良川左岸11～12km、45～46km、50～51km等であった。これらの地点は、公園、グラウンド等の河川利用施設であり、「散策等」、「スポーツ」の利用が主であった。

長良川は、河川が岐阜市などの地方都市を流下し、公園、グラウンド等の河川整備されており、河川利用施設を利用した散策等、スポーツ等で利用されている。また一方では、アユ釣りといった自然型の利用もみられる。

平成26年度の長良川における年間河川空間利用者総数（推計）は約250.9万人であり、沿川市区町村人口（約73.6万人）からみた年間平均利用回数は約3.4回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約94.7万人の増加となった。

利用形態別では、「散策等」が58%と最も多く、次いで「スポーツ」の25%、「水遊び」15%、「釣り」2%であった。

利用場所別では、「高水敷」が67%と最も多く、次いで「堤防」の16%、「水際」9%、「水面」8%であった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態では「水遊び」が増加し、「スポーツ」が減少した。利用場所では「堤防」で増加し、「高水敷」で減少した。

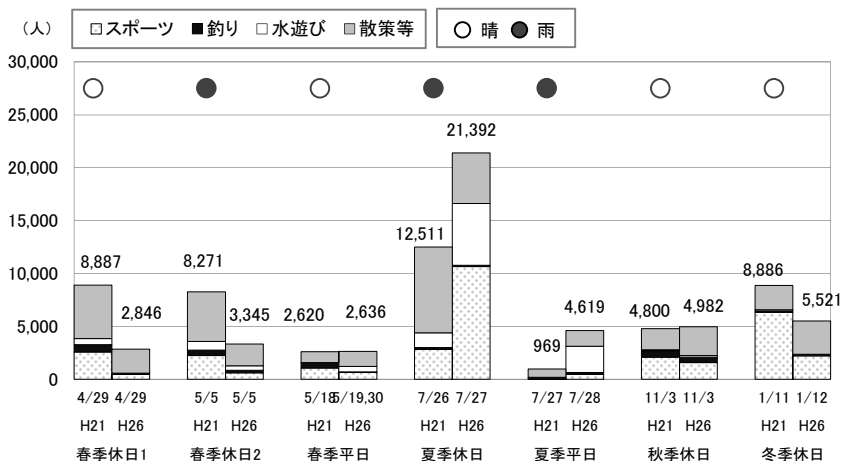


図 III.54-2 各調査日の利用者数

表 III.54-2 長良川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態	スポーツ	518	635	33%	25%
	釣り	83	59	5%	2%
	水遊び	112	364	7%	15%
	散策等	849	1,451	55%	58%
別合計	1,562	2,509			
利用場所	水面	83	189	5%	8%
	水際	113	239	7%	9%
	高水敷	1,227	1,675	79%	67%
	堤防	141	407	9%	16%
別合計	1,562	2,509			

※表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

54-3. 揖斐川（いびがわ）

揖斐川における各調査日の利用者数をみると、夏季7月27日（日）に**6,311**人が河川利用しており、最も多かった。年間を通じてみると、特に夏季の利用者数が多く、平日の**3**倍近くの利用者がみられた。春季の利用者数は、年間を通じて、平成**21**年度と比較しても少ないが、これは天候不良によるものと考えられる。

利用形態別にみると、年間を通じて「散策」、「スポーツ」、「釣り」の利用が多く、「水遊び」は夏季に多くみられた。

各調査日とも利用者数が多い地点は、揖斐川左岸**12~14km**、根尾川右岸**4~5km**や牧田川右岸**12~13km**、杭瀬川右岸**6~7km**等である。これらの地点は、グラウンド、公園、園路等の河川利用施設であり、散策、軽運動等の利用が主であった。

揖斐川は、三川の中で沿川市町村人口も最も少ない地方都市周辺を流下し、木曾川、長良川と比較すると公園、グラウンド等の整備が活発ではなく、自然区域の豊かな河川である。利用形態も、「散策等」や「釣り」が年間を通じてみられ、自然的利用が多い河川である。

平成**26**年度の揖斐川における年間河川空間利用者総数（推計）は約**117.8**万人であり、沿川市区町村人口（約**54.7**万人）からみた年間平均利用回数は約**2.2**回/人であった。

平成**21**年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約**50**万人の増加となった。

利用形態別では、「散策等」が**78%**と最も多く、次いで「釣り」の**11%**、「スポーツ」**7%**、「水遊び」**4%**であった。

利用場所別では、「高水敷」が**57%**と最も多く、次いで「堤防」の**28%**、「水際」**11%**、「水面」**4%**であった。

利用状況の割合を平成**21**年度と比較すると、利用形態では「散策等」が増加し、「水遊び」、「スポーツ」が減少した。利用場所では「堤防」で増加し、「高水敷」で減少した。

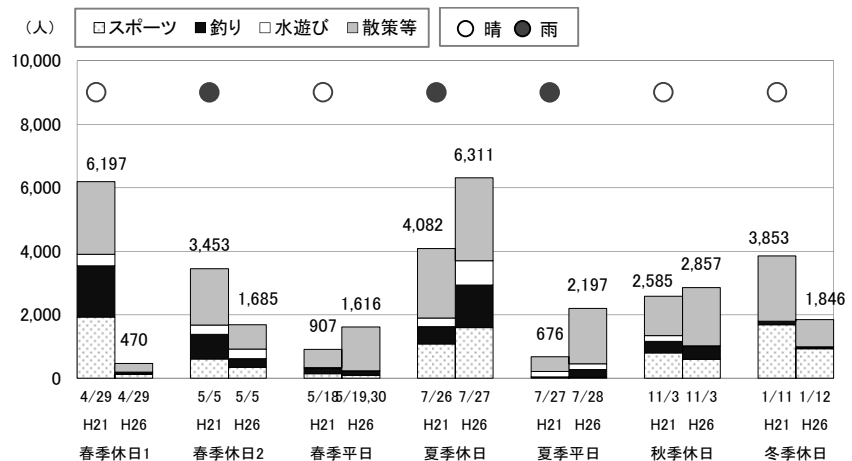


図 III.54-3 各調査日の利用者数

表 III.54-3 揖斐川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態別	スポーツ	163	83	24%	7%
	釣り	89	127	13%	11%
	水遊び	59	44	9%	4%
	散策等	367	924	54%	78%
合計	678	1,178			
利用場所別	水面	53	43	8%	4%
	水際	96	128	14%	11%
	高水敷	432	676	64%	57%
	堤防	98	330	14%	28%
合計	678	1,178			

※表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

55. 鈴鹿川（すずかがわ）

鈴鹿川における各調査日の利用者数をみると、春季5月3日（憲法記念日）に4,908人が河川利用しており、最も多かった。その時の利用形態別内訳は、「スポーツ」が43%、「散策等」が41%となっており、「高水敷」の利用が大半を占めた。

利用形態別にみると、春季、夏季には「水遊び」の利用が多く、秋季には「水際」での「釣り」も多かった。年間を通して「スポーツ」、「散策等」利用が多かった。

各調査日とも年間を通して休日に利用者が多い地点は、右岸11～13kmであった。これらの地点は、施設整備された運動場となっている箇所である。

平成26年度の鈴鹿川における年間河川空間利用者総数（推計）は約22.1万人であり、沿川市区町村人口（約55.4万人）からみた年間平均利用回数は約0.4回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約11.5万人の増加となった。利用形態別では、「スポーツ」が46%と最も多く、次いで「散策等」の41%、「水遊び」11%、「釣り」2%であった。利用場所別では、「高水敷」が77%と最も多く、次いで「堤防」の10%、「水面」7%、「水際」6%であった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態では「水遊び」が増加し、「散策等」が減少した。利用場所では「堤防」で増加し、「高水敷」で減少した。

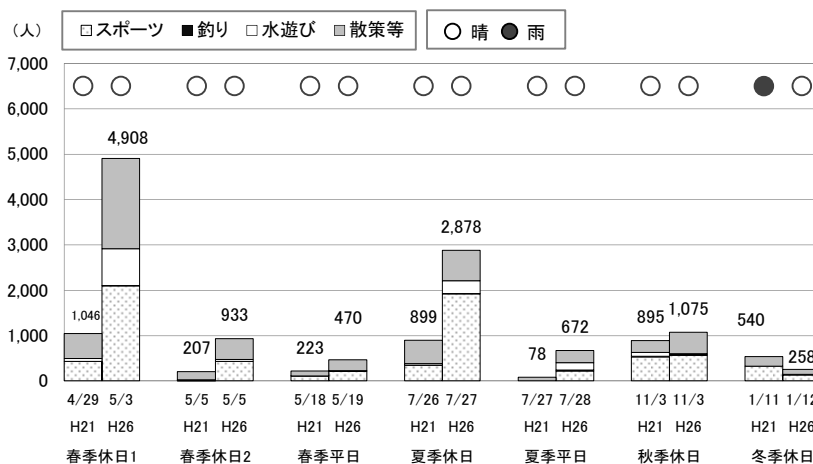


図 III.55 各調査日の利用者数

表 III.55 鈴鹿川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態別	スポーツ	47	102	44%	46%
	釣り	0	3	1%	2%
	水遊び	4	25	3%	11%
	散策等	55	91	52%	41%
	合計	106	221		
利用場所別	水面	3	16	3%	7%
	水際	1	12	1%	6%
	高水敷	98	171	92%	77%
	堤防	4	22	4%	10%
	合計	106	221		

※表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

56. 雲出川（くもずがわ）

雲出川における各調査日の利用者数をみると、春季5月3日（憲法記念日）に1,714人が河川利用しており、最も多かった。その時の利用形態別内訳は、散策が84%を占めているが、これは0.0～6.0kmの近隣住民による散歩等の利用者が多かったためである。

利用形態別にみると、春季と夏季は「スポーツ」や「水遊び」（潮干狩り）の利用者が多く、冬季には「スポーツ」、「水遊び」は減少傾向であった。「釣り」は夏季と秋季に多かった。「散策等」は一年を通して多くの利用がみられた。「散策等」は上流～下流全域、「水遊び」は潮干狩りなど河口部での利用が多くみられた。

各調査日とも利用者が多い地点は、左岸6.0km、右岸5.0km付近であった。これらの地点は、運動場となっている箇所である。

平成26年度の雲出川における年間河川空間利用者総数（推計）は約18.7万人であり、沿川市区町村人口（約44.6万人）からみた年間平均利用回数は約0.4回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約9.2万人の増加となった。利用形態別では、「散策等」が78%と最も多く、次いで「スポーツ」の9%、「水遊び」7%、「釣り」6%であった。利用場所別では、「堤防」が52%と最も多く、次いで「高水敷」の35%、「水面」8%、「水際」5%であった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態では「散策等」が増加し、「スポーツ」が減少した。利用場所では「堤防」で増加し、「高水敷」、「水面」で減少した。

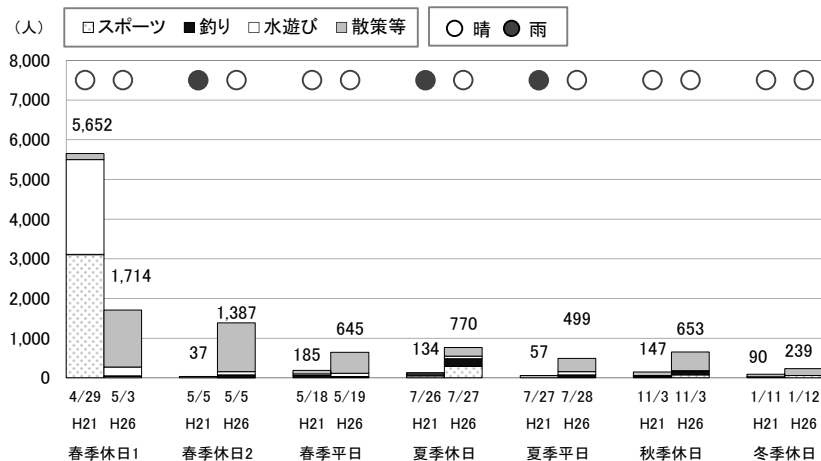


図 III.56 各調査日の利用者数

表 III.56 雲出川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態別	スポーツ	33	18	35%	9%
	釣り	6	10	6%	6%
	水遊び	27	13	28%	7%
	散策等	29	145	31%	78%
合計	94	187			
利用場所別	水面	26	16	27%	8%
	水際	7	9	8%	5%
	高水敷	46	66	49%	35%
	堤防	15	96	16%	52%
合計	94	187			

※表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

57. 櫛田川（くしだがわ）

櫛田川における各調査日の利用者数をみると、秋季 11 月 3 日（文化の日）に 530 人が河川利用しており、最も多かった。その時の利用形態別内訳は、「散策等」が 61%、「釣り」が 26%であり、「高水敷」での利用が多かった。

利用形態別にみると、春季および夏季は「水遊び」で盛んに利用されており、また鮎釣りシーズンには釣り客の利用がみられた。

各調査日とも利用者が多い地点は、一年を通して右岸 8.0km 付近の高水敷であった。この地点は、車で容易に河川敷に降りることができ、また水辺に近づきやすく櫛田橋の日陰もあることから多くの利用者が訪れていた。

平成 26 年度の櫛田川における年間河川空間利用者総数（推計）は約 8.2 万人であり、沿川市区町村人口（約 20.3 万人）からみた年間平均利用回数は約 0.4 回／人であった。

平成 21 年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約 2.2 万人の減少となった。

利用形態別では、「散策等」が 77%と最も多く、次いで「水遊び」の 14%、「釣り」8%、「スポーツ」1%であった。利用場所別では、「高水敷」が 42%と最も多く、次いで「堤防」の 37%、「水面」11%、「水際」10%であった。

利用状況の割合を平成 21 年度と比較すると、利用形態では「散策等」が増加し、「水遊び」が減少した。利用場所では「高水敷」で増加し、「水面」で減少した。

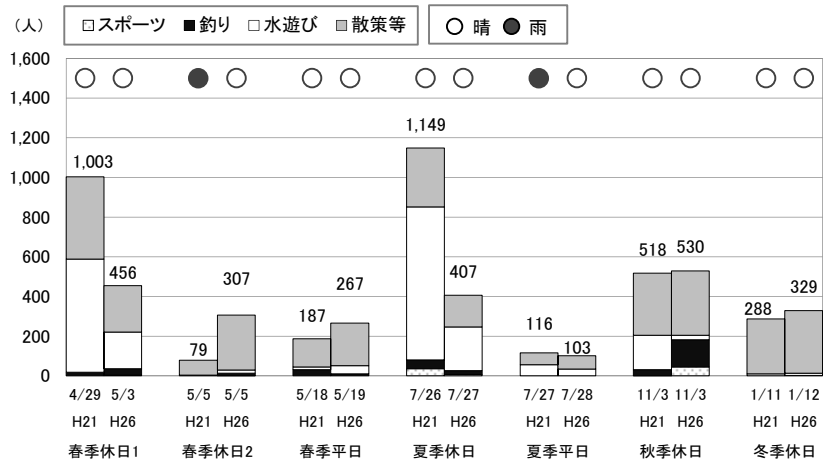


図 III.57 各調査日の利用者数

表 III.57 櫛田川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態別	スポーツ	1	1	1%	1%
	釣り	5	6	5%	8%
	水遊び	36	11	34%	14%
	散策等	62	63	60%	77%
合計	104	82			
利用場所別	水面	30	9		11%
	水際	12	8		10%
	高水敷	22	34		42%
	堤防	40	30	39%	37%
	合計	104	82	21%	11%

※表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

58. 宮川（みやがわ）

宮川における各調査日の利用者数をみると、春季5月3日（憲法記念日）に9,767人が河川利用しており、最も多かった。その時の利用形態別内訳は、「水遊び」が53%であった。これは河口付近で潮干狩りの利用者が多かったことによるものである。

利用形態別にみると、年間を通じて「散策等」が多く、春季から夏季にかけては「スポーツ」、「水遊び」の利用が多く、次いで「釣り」であった。冬季には「スポーツ」、「散策等」が見られ、「水遊び」や「釣り」がほとんど見られなかった。

各調査日とも利用者が多い地点は、春季および夏季の右岸4.0km、右岸7.0kmであった。これらの地点は、河川公園がある箇所や運動場となっている箇所である。

平成26年度の宮川における年間河川空間利用者総数（推計）は約33.8万人であり、沿川市区町村人口（約18.5万人）からみた年間平均利用回数は約1.8回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約0.8万人の減少となった。利用形態別では、「散策等」が48%と最も多く、次いで「水遊び」の30%、「スポーツ」18%、「釣り」4%であった。利用場所別では、「高水敷」が39%と最も多く、次いで「水面」の30%、「堤防」27%、「水際」4%であった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態では「水遊び」が増加し、「散策等」が減少した。利用場所では「水面」で増加し、それ以外で減少した。

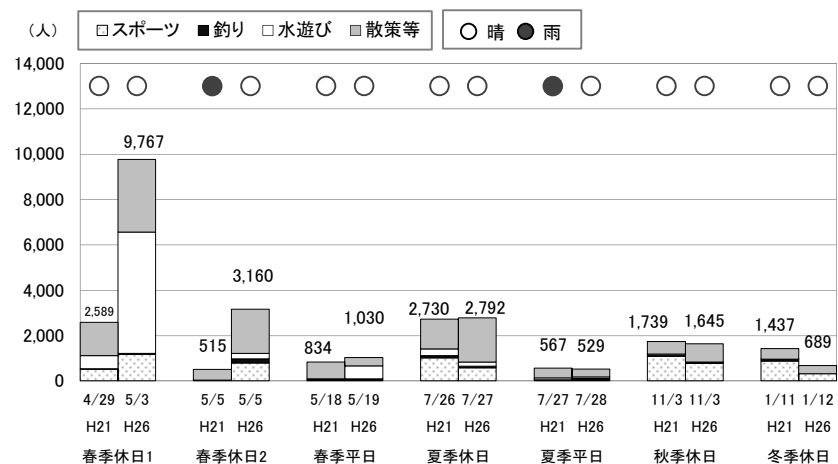


図 III.58 各調査日の利用者数

表 III.58 宮川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態別	スポーツ	66	61		
	釣り	18	14		
	水遊び	32	101		
	散策等	230	162		
	合計	346	338		
利用場所別	水面	15	101		
	水際	37	14		
	高水敷	170	130		
	堤防	123	92		
	合計	346	338		

※表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

- 6 . 近畿地方の河川空間利用実態

(1) 近畿地方の河川空間利用実態の概要

近畿地方の水系では、各調査日の利用者数をみると、秋季 11 月 3 日(文化の日)の 133,442 人が最も多く、次いで春季 5 月 5 日(こどもの日)が 129,813 人と多かった。

平成 21 年度と比較すると、春季 4 月 29 日(昭和の日)の利用者数が減少した。この主な要因として、多くの河川で天候不良であったため、利用者数が減少したと考えられる。

年間河川空間利用者総数(推計)は、約 2,226 万人であり、沿川市区町村人口(約 1,313 万人)からみた年間平均利用回数は約 1.7 回/人であった。平成 21 年度と比較して、約 10 万人の減少となった。これは、加古川で約 90 万人、大和川で約 40 万人、紀の川で約 50 万人増加したものの、淀川で約 190 万人減少したため、近畿地方では、平成 21 年度調査と比較して大きな増減が見られない結果につながったと考えられる。

利用形態別では、「散策等」が 56%(全国平均約 54%)と最も高く、次いで「スポーツ」の 34%(同 37%)、「釣り」5%(同 4%)、「水遊び」5%(同 4%)となった。また利用場所別では、「高水敷」が 63%(全国平均約 65%)と最も高く、次いで「堤防」の 26%(同 27%)、「水際」8%(同 6%)、「水面」3%(同 3%)と続いた。

利用状況の割合を平成 21 年度と比較すると、利用形態も利用場所でもほぼ同程度であった。

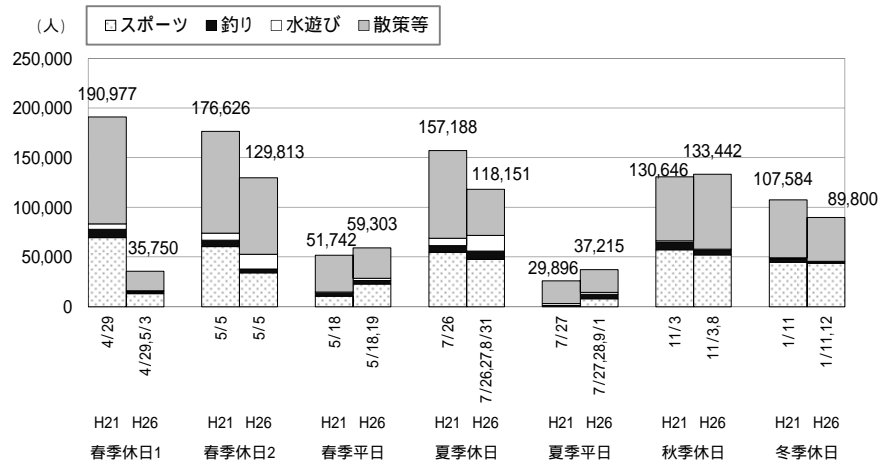


図 . 各調査日の利用者数

表 . 近畿地方の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態別	スポーツ	7,514	7,509		
	釣り	1,058	1,144		
	水遊び	617	1,138		
	散策等	13,168	12,466		
	合計	22,356	22,257		
利用場所別	水面	298	659		
	水際	1,443	1,787		
	高水敷	14,784	13,912		
	堤防	5,831	5,899		
	合計	22,356	22,257		

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

(2) 近畿地方における河川空間利用実態の状況

近畿地方における各水系の年間利用者数をみると、平成21年度調査と比較して、10水系のうち6水系（大和川、円山川、加古川、揖保川、紀の川、北川）が増加し、4水系（由良川、淀川、新宮川、九頭竜川）が減少した。

近畿地方における利用形態別の特徴は、全国合計の傾向と概ね等しく、「散策等」が多く、「釣り」や「水遊び」はあまり多くない。

各水系の利用形態別では、揖保川や九頭竜川では「釣り」の利用の割合が高い、由良川、木津川、新宮川、北川では、「スポーツ」の利用はほとんど見られない。

利用場所別の特徴も、全国合計の傾向と概ね等しく、「高水敷」が多く、「水面」や「水際」はあまり多くない。北川では、河川利用施設が少ないためか、「堤防」での利用が大半である。木津川や瀬田川では「水面」や「水際」での利用が多い。

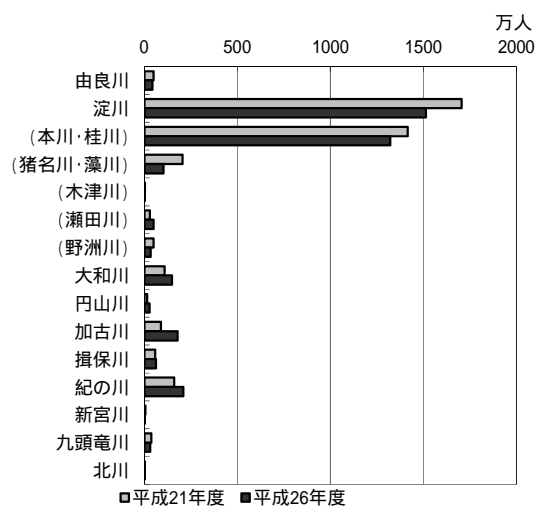


図 - 1. 年間推計値の対比 (平成21・26年度)

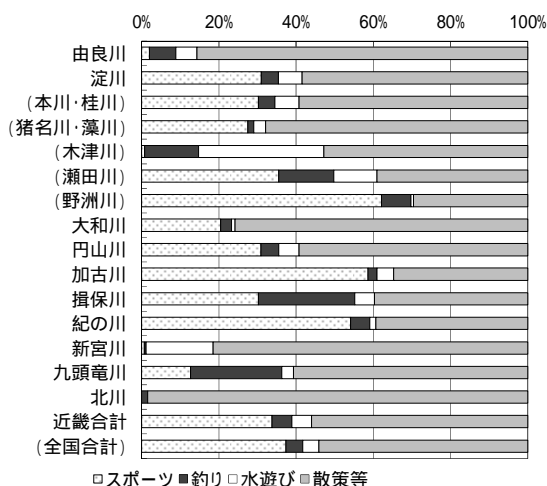


図 - 2. 利用形態別グラフ (平成26年度)

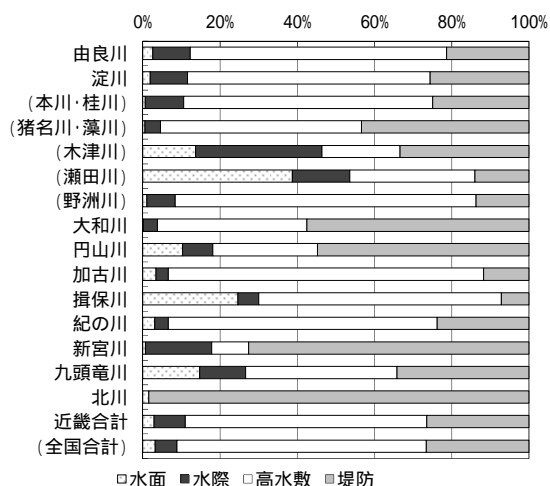


図 - 3. 利用場所別グラフ (平成26年度)

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

(3) 近畿地方における各水系の河川空間利用実態

59. 由良川(ゆらがわ)

由良川における各調査日の利用者数をみると、夏季9月1日(平日)に1,907人が河川利用しており、最も多かった。この日には、水遊びや散策、高水敷に広がる耕作地の農作業利用者の利用が比較的多く、野球やゲートボール等の団体での利用もみられた。

平成21年度と比較して、春季休日の利用者数が減少した。これは、平成26年度が天候不良で気温が低かったこと、平成21年度には見られたスポーツの試合、イベントが平成26年度にはみられなかったことによる。また、秋季休日や冬季休日も、天候不良で気温が低かったため、利用者数が少なかったと考えられる。

各調査日とも利用者数が多い地点は、福知山市が位置に近い音無瀬橋付近であった。

平成26年度の由良川における年間河川空間利用者総数(推計)は約43.1万人であり、沿川市区町村人口(約21.6万人)からみた年間平均利用回数は約2.0回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数(推計)は約6.2万人の減少となった。

利用形態別では、「散策等」が86%と最も多く、次いで「釣り」の7%、「水遊び」5%、「スポーツ」2%であった。利用場所別では、「高水敷」が66%と最も多く、次いで「堤防」の21%、「水際」10%、「水面」3%であった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態では「散策等」が増加し、「スポーツ」が減少した。これは、平成21年度と比較して、大きなスポーツの大会がなかったことが要因である。

利用場所では「高水敷」「水際」で増加し、「堤防」で減少した。

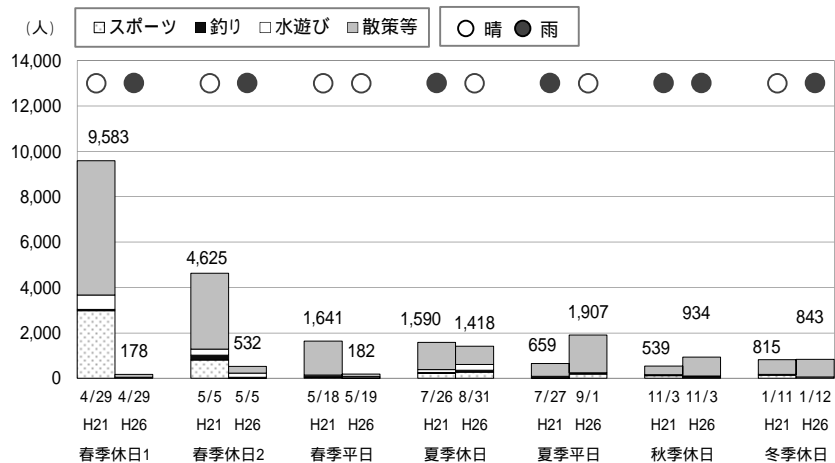


図 .59 各調査日の利用者数

表 .59 由良川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態	スポーツ	88	9	18%	2%
	釣り	11	29	2%	7%
	水遊び	8	23	2%	5%
	散策等	385	369	78%	86%
別合計		492	431		
利用場所	水面	23	11	5%	3%
	水際	17	42	3%	10%
	高水敷	295	286	60%	66%
	堤防	157	92	32%	21%
	別合計		492	431	

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

60. 淀川（よどがわ）

淀川における各調査日の利用者数をみると、春季5月5日（こどもの日）に102,045人が河川利用しており、最も多かった。

平成21年度と比較すると、春季休日（4月29日、5月3日）では、多くの河川で天候不良であったため、利用者数が減少した。

利用形態別に見ると、春季5月5日（こどもの日）の「散策等」が最も多かった。

平成26年度の淀川における年間河川空間利用者総数（推計）は約1,513万人であり、沿川市区町村人口（約584.8万人）からみた年間平均利用回数は約2.6回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約192万人の減少となった。

利用形態別では、「散策等」が58%と最も多く、次いで「スポーツ」の31%、「水遊び」6%、「釣り」5%であった。利用場所別では、「高水敷」が63%と最も多く、次いで「堤防」の25%、「水際」10%、「水面」2%であった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態も利用場所でもほぼ同程度であった。利用者数で比較すると、全体では減少しているものの、利用形態では「水遊び」、利用場所では「水面」や「水際」で増加した。

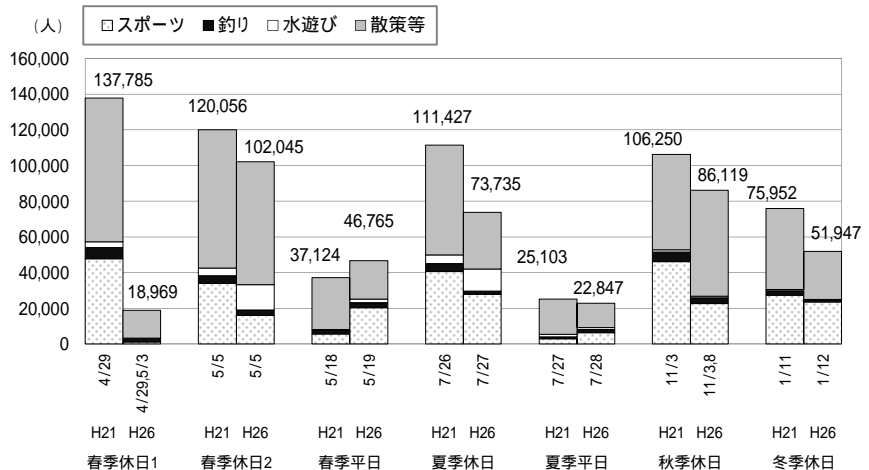


図 .60 各調査日の利用者数

表 .60 淀川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態別	スポーツ	5,386	4,682	32%	31%
	釣り	719	679	4%	5%
	水遊び	421	927	2%	6%
	散策等	10,526	8,844	62%	58%
合計	17,052	15,132			
利用場所別	水面	161	285	1%	2%
	水際	1,022	1,461	6%	10%
	高水敷	10,990	9,512	64%	63%
	堤防	4,879	3,874	29%	25%
合計	17,052	15,132			

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

60 - 1 . 淀川本川・桂川（よどがわほんせん・かつらがわ）

本川・桂川における各調査日の利用者数をみると、春季5月5日（こどもの日）に94,240人が河川利用しており、最も多かった。

平成21年度と比較して、春季4月29日（昭和の日）の利用者数が少ないのは、天候不良（雨）によるものと考えられる。平成21年度の日候は晴れであった。

平成26年度の本川・桂川における年間河川空間利用者総数（推計）は約1,322万人であり、沿川市区町村人口（約370.5万人）からみた年間平均利用回数は約3.6回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約93.2万人の減少となった。

利用形態別では、「散策等」が59%と最も多く、次いで「スポーツ」の30%、「水遊び」7%、「釣り」4%であった。利用場所別では、「高水敷」が64%と最も多く、次いで「堤防」の25%、「水際」10%、「水面」1%であった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態では「散策等」が減少した。利用場所ではほぼ同程度であった。利用者数で比較すると、全体では減少しているものの、利用形態では「水遊び」、利用場所では「水面」や「水際」で増加した。

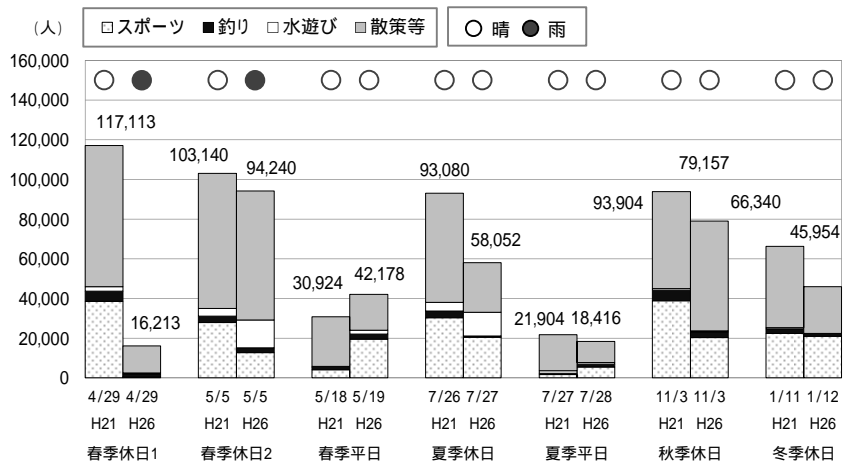


図 .60-1 各調査日の利用者数

表 .60-1本川・桂川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態	スポーツ	4,059	4,000	29%	30%
	釣り	585	563	4%	4%
	水遊び	337	830	2%	7%
	散策等	9,173	7,829	65%	59%
別合計	14,154	13,222			
利用場所	水面	77	81	1%	1%
	水際	845	1,312	6%	10%
	高水敷	9,078	8,530	64%	64%
	堤防	4,154	3,298	29%	25%
別合計	14,154	13,222			

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

60-2. 猪名川・藻川（いながわ・もがわ）

猪名川・藻川における各調査日の利用者数をみると、夏季7月27日（日）に9,766人が河川利用しており、最も多かった。

平成21年度と比較して、春季4月29日（昭和の日）の利用者数が少ないのは、天候不良（雨）によるものと考えられる。平成21年度の天候は晴れであった。

利用形態別にみると、年間を通じて「散策等」として利用される割合が高く、休日においては「スポーツ」で利用される割合も高かった。

特に利用者数が多い地点は、猪名川左岸の9.0～10.2kmにある猪名川緑地や、猪名川右岸の8.0～8.6kmにある東久代公園であった。両地点とも、主に少年野球や少年サッカーなどの練習場や大会会場として利用されていた。

平成26年8月に出水があり、猪名川のグラウンドが使用できない状況となった。

平成26年度の猪名川・藻川における年間河川空間利用者総数（推計）は約103.8万人であり、沿川市区町村人口（約133.3万人）からみた年間平均利用回数は約0.8回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約102.2万人の減少となった。

利用形態別では、「散策等」が68%と最も多く、次いで「スポーツ」の27%、「水遊び」3%、「釣り」2%であった。利用場所別では、「高水敷」が52%と最も多く、次いで「堤防」の43%、「水際」4%、「水面」1%

であった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態では「散策等」が増加し、「スポーツ」が減少した。

利用場所では「堤防」で増加し、「高水敷」で減少した。

利用者数でみると、

利用場所では「水面」の利用者数が増加しているが、平成18年度も同程度であり、平成21年度が少なかつたためである。

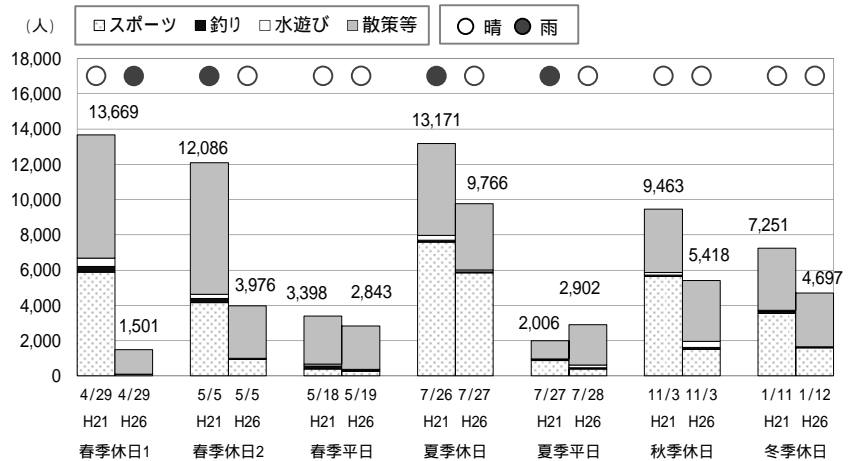


表 .60-2猪名川・藻川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態	スポーツ	944	286	46%	27%
	釣り	44	16	2%	2%
	水遊び	38	32	2%	3%
	散策等	1,034	705	50%	68%
別合計	2,060	1,038			
利用場所	水面	0	6	0%	1%
	水際	82	42	4%	4%
	高水敷	1,378	540	67%	52%
	堤防	600	450	29%	43%
別合計	2,060	1,038			

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

60-3. 木津川（きづがわ）

木津川における各調査日の利用者数をみると、夏季7月27日（日）に355人が河川利用しており、最も多かった。この日には木津川43.3km付近で京・むらまつりが開催されており、堤防での屋台の出店や、水際で魚取りをする人々（「水遊び」）が集っていた。

木津川での「水遊び」では、カヌー体験なども楽しむことができる。また、気温の高い季節には「釣り」の利用客も多くみられた。

木津川は山間地にある河川であるため、河川利用施設がなく、「スポーツ」の利用者は少なく、全域を通して、「散策等」の利用が多かった。

木津川の37～44km付近では東海自然歩道や、カヌーのコースがあり、多くの人に利用されていた。木津川右岸の43.4km付近には直売所があり、人々が集う箇所となっていた。

平成26年度の木津川における年間河川空間利用者総数（推計）は約2.2万人であり、沿川市区町村人口（約21.8万人）からみた年間平均利用回数は約0.1回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約0.7万人の減少となった。ただし、平成21年度と比べて平成26年度の観測箇所（区間観測範囲）が縮小されているため、推計利用者数の減少が実際の利用者数の減少を反映しているとは限らない。

利用形態別では、「散策等」が53%と最も多く、次いで「水遊び」の32%、「釣り」14%、「スポーツ」1%であった。利用形態別では、「堤防」が33%と最も多く、次いで「高水敷」20%、「水面」14%であった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態では「散策等」が増加し、「水遊び」「釣り」が減少した。利用場所では「堤防」で増加し、「水面」で減少した。

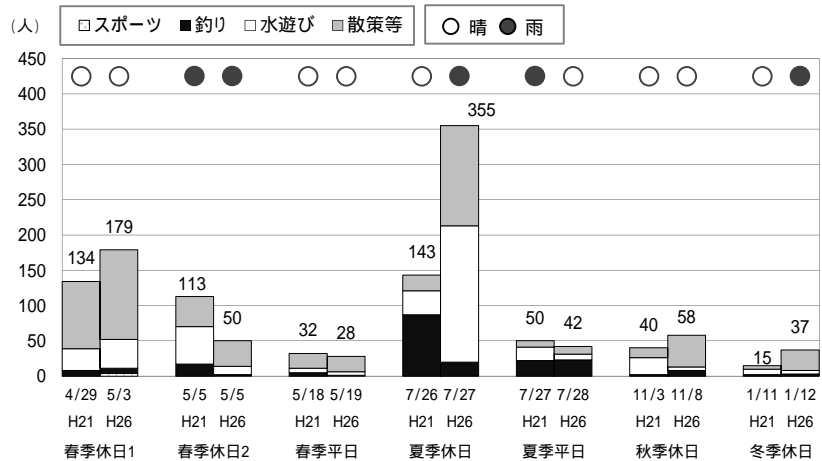


図 .60-3 各調査日の利用者数

表 .60-3木津川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態別	スポーツ	0	0	0%	1%
	釣り	8	3	28%	14%
	水遊び	12	7	40%	32%
	散策等	9	12	32%	53%
合計	29	22			
利用場所別	水面	12	3	40%	14%
	水際	8	7	28%	33%
	高水敷	6	4	22%	20%
	堤防	3	7	10%	33%
合計	29	22			

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

60 - 4 . 瀬田川（せたがわ）

瀬田川における各調査日の利用者数をみると、夏季7月27日（日）に4,458人が河川利用しており、最も多かった。

平成21年度と比較して、春季4月29日（昭和の日）の利用者数が少ないのは、天候不良で一日中雨であったためと考えられる。平成21年度の天候は晴れであった。

利用形態別にみると、春季休日（4月29日、5月5日）は「スポーツ」の利用が多く、それ以外では「散策等」の利用が多かった。春季5月5日（こどもの日）には、平成21年度、平成26年度ともに朝日レガッタが開催されており、「水面」の「スポーツ」利用が多かった。

区間別の利用状況は名神高速道路上流では多く、瀬田川洗堰下流では少ない。特に70.0kmの洗堰上流は湛水域で、カヌーやレガッタのような水上スポーツが盛んに行われていた。瀬田川洗堰の下流はあまり水際に近づける場所がなく、特に68.6kmから下流はほとんど川に近づけないため、遊歩道の利用者や釣り人が点在する状況であった。

平成26年度の瀬田川における年間河川空間利用者総数（推計）は約49.5万人であり、沿川市区町村人口（約34.2万人）からみた年間平均利用回数は約1.4回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約18.7万人の増加となった。

利用形態別では、「散策等」が39%と最も多く、次いで「スポーツ」の36%、「釣り」14%、「水遊び」11%であった。利用形態別では、「水面」が39%と最も多く、次いで「高水敷」の32%、「水際」15%、「堤防」14%であった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態では「水遊び」が増加し、「散策等」が減少した。利用場所では「水面」で増加し、「堤防」、「高水敷」で減少した。

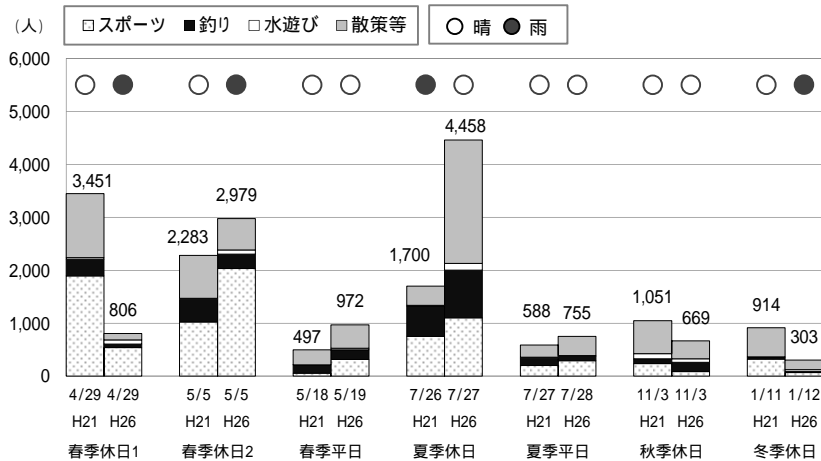


図 .60-4 各調査日の利用者数

表 .60-4瀬田川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態別	スポーツ	102	176		
	釣り	47	71		
	水遊び	18	55		
	散策等	141	193		
	合計	308	495		
利用場所別	水面	56	192		
	水際	50	73		
	高水敷	141	161		
	堤防	60	69		
	合計	308	495		

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

60 - 5 . 野洲川 (やすがわ)

野洲川における各調査日の利用者数をみると、夏季 7 月 27 日 (日) に 1,104 人が河川利用しており、最も多かった。季節別では夏季から冬季にかけての休日の利用者が多かった。

平成 21 年度と比較して、春季 4 月 29 日 (昭和の日) の利用者数が少ないのは、天候不良で一日中雨であったためと考えられる。平成 21 年度の天候は晴れであった。

利用形態別にみると、秋季 11 月 3 日 (文化の日) や冬季 1 月 12 日 (成人の日) は「スポーツ」の利用が多く、それ以外では「散策等」の利用が多かった。また、「釣り」の利用は春季から夏季まで見られるが、秋季と冬季には見られなかった。

平成 26 年度の野洲川における年間河川空間利用者総数 (推計) は約 35.5 万人であり、沿川市区町村人口 (約 25 万人) からみた年間平均利用回数は約 1.4 回 / 人であった。

平成 21 年度と比較して、年間河川空間利用者総数 (推計) は約 14.6 万人の減少となった。利用形態別では、「スポーツ」が 62% と最も多く、次いで「散策等」の 30%、「釣り」8%、「水遊び」0% であった。利用場所別では、「高水敷」が 78% と最も多く、次いで「堤防」の 14%、「水際」7%、「水面」1% であった。

利用状況の割合を平成 21 年度と比較すると、利用形態では「スポーツ」が増加した。利用場所ではほぼ同程度であった。

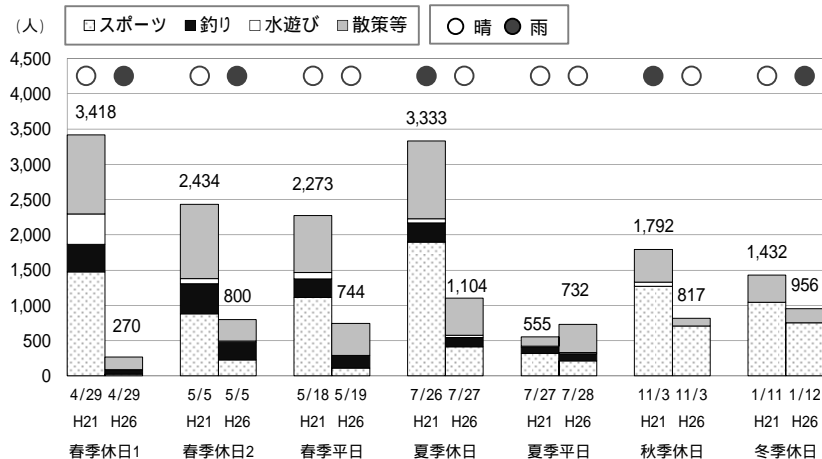


図 .60-5 各調査日の利用者数

表 .60-5野洲川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計 (千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態別	スポーツ	281	221	56%	62%
	釣り	36	27	7%	8%
	水遊び	17	2	3%	0%
	散策等	169	105	34%	30%
合計	502	355			
利用場所別	水面	15	4	3%	1%
	水際	37	26	8%	7%
	高水敷	387	277	77%	78%
	堤防	62	49	12%	14%
合計	502	355			

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

61. 大和川（やまとがわ）

大和川における各調査日の利用者数をみると、冬季1月12日（成人の日）に8,684人が河川利用しており、最も多かった。これは、3連休の最終日で、天候も良好であったため、多くの利用者が確認されたと考えられる。

平成21年度と比較して、春季4月29日（昭和の日）の利用者数が少なかったのは、前日から天候不良で一日中雨であったためと考えられる。平成21年度の天候は晴れであった。一方で、夏季7月27日（日）の利用者数が増加したのは、平成21年度の天候が雨であったためだと考えられる。

「スポーツ」の利用は主に、下流側の高水敷が整備された公園で野球やテニス等の球技が多かった。上流側には、高水敷が整備された公園が少なく、主に「釣り」の利用が多かった。

大和川は、都市域に流れており、背後には都市域が密集しているため、川沿いの住民にとつての散策及びスポーツを行う場として利用される状況にある。

平成26年度の大和川における年間河川空間利用者総数（推計）は約149.9万人であり、沿川市区町村人口（約461万人）からみた年間平均利用回数は約0.3回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約40.6万人の増加となった。

利用形態別では、「散策等」が76%と最も多く、次いで「スポーツ」の20%、「釣り」3%、「水遊び」1%であった。利用形態別では、「堤防」が58%と最も多く、次いで「高水敷」の39%、「水際」4%、「水面」0%であった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態では「散策等」が増加し、「スポーツ」が減少した。

利用場所では「堤防」で増加し、「高水敷」で減少した。

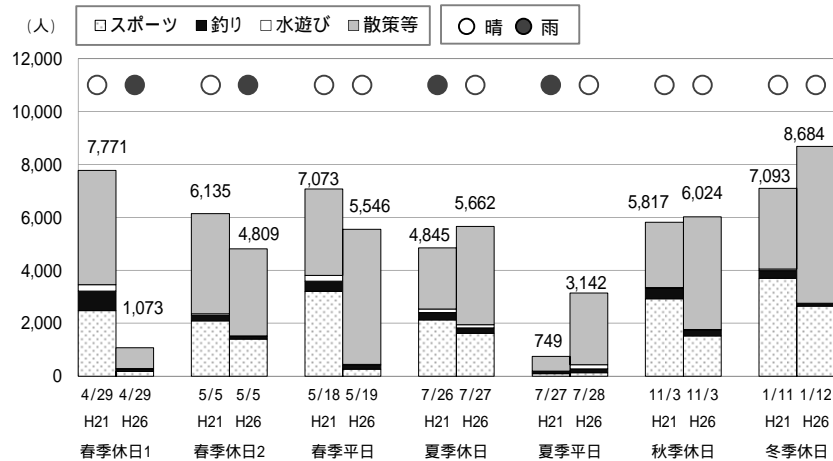


図 .61 各調査日の利用者数

表 .61 大和川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態別	スポーツ	483	306	44%	20%
	釣り	63	42	6%	3%
	水遊び	23	14	2%	1%
	散策等	524	1,136	48%	76%
	合計	1,093	1,499		
利用場所別	水面	5	2	1%	0%
	水際	81	55	7%	4%
	高水敷	649	580	59%	39%
	堤防	359	863	33%	57%
	合計	1,093	1,499		

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

62. 円山川（まるやまがわ）

円山川における各調査日の利用者数をみると、春季4月29日（昭和の日）に5,460人が河川利用しており、最も多かった。この日には、総合運動公園のグラウンド施設で、7人制の小学生サッカー大会（男子チーム、女子チーム）が開催されていた。

利用形態別には春季4月29日（昭和の日）の「スポーツ」が最も多かった。冬季1月12日（成人の日）は、冬季で天候もあまり良くなかったが、円山川公苑のスケートリンク等の河川利用施設を利用する家族連れが多く、それに関連した「散策等」の利用者数が多かった。

平成26年度の円山川における年間河川空間利用者総数（推計）は約29.2万人であり、沿川市区町村人口（約8.2万人）からみた年間平均利用回数は約3.5回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約13.1万人の増加となった。

利用形態別では、「散策等」が59%と最も多く、次いで「スポーツ」の31%、「水遊び」5%、「釣り」5%であった。「散策等」の内容は、散歩、ジョギング、サイクリング等であった。「スポーツ」は高水敷のグラウンドを利用した野球、サッカー、グランドゴルフ等が主であった。

「水遊び」は、水面におけるボートやカヌー等による水上スポーツであった。特に、夏場には、円山川公苑でのカヌー教室等の利用者が多くみられた。また、「水際」の「釣り」は、一年を通して、見られた。利用形態別では、「堤防」が55%と最も多く、次いで「高水敷」の27%、「水面」10%、「水際」8%であった。「堤防」上の道路は、一般車両が通行できない所が多く、

安全に散歩やジョギングを楽しむことができ、季節や時間に関係なく利用されている。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態では「散策等」が増加し、「スポーツ」、「釣り」が減少した。利用場所では「堤防」で増加し、「高水敷」で減少した。

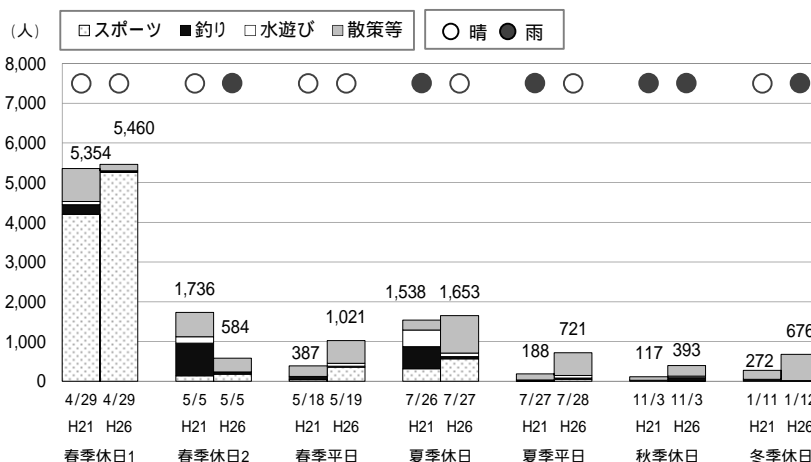


図 .62 各調査日の利用者数

表 .62 円山川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態	スポーツ	60	90	37%	31%
	釣り	32	13	20%	5%
	水遊び	12	15	7%	5%
	散策等	57	173	36%	59%
合計	161	292			
利用場所	水面	9	30	6%	10%
	水際	38	23	24%	8%
	高水敷	86	79	53%	27%
	堤防	28	160	17%	55%
合計	161	292			

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

63. 加古川（かこがわ）

加古川における各調査日の利用者数をみると、春季5月5日（こどもの日）に16,349人が河川利用しており、最も多かった。

加古川における利用形態は、下流域では「スポーツ」の利用が最も多く、上流域では「散策等」の利用が最も多かった。

各調査日とも利用者数は2.0～16.0kmに集中しており、この区間の多くの河川敷には公園が整備されている。特に、加古川河川敷緑地の両荘地区（右岸10.0～11.0km）や河原地区（左岸6.0～7.0km）では年間を通してソフトボール大会などのイベントが多数開催された。

施設的利用が多い下流域に比べ、15.0kmよりも上流域は、自然的利用区域が大部分を占め、「散策等」の利用のほか、夏季の「釣り」に利用されていた。

平成26年度の加古川における年間河川空間利用者総数（推計）は約179.6万人であり、沿川市区町村人口（約53.6万人）からみた年間平均利用回数は約3.3回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約89.2万人の増加となった。利用形態別では、「スポーツ」が59%と最も多く、次いで「散策等」の35%、「水遊び」4%、「釣り」2%であった。利用場所別では、「高水敷」が82%と最も多く、次いで「堤防」の12%、「水面」3%、「水際」3%であった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態では「スポーツ」が増加し、「散策等」が減少した。利用場所ではほぼ同程度であった。

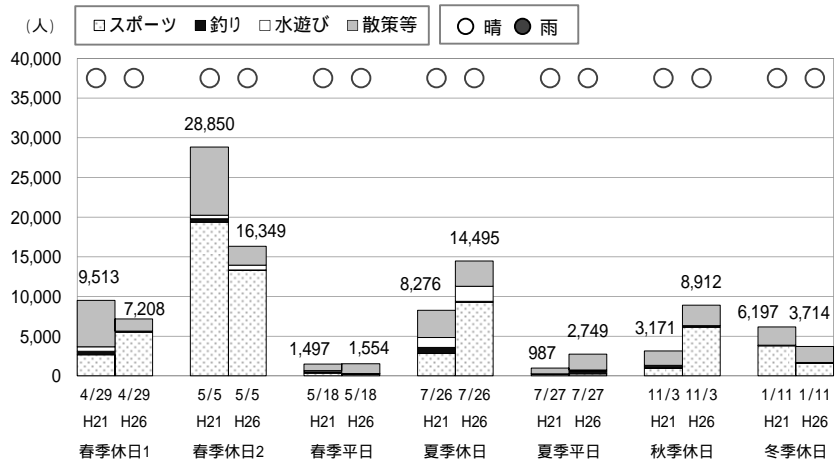


図 .63 各調査日の利用者数

表 .63 加古川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態	スポーツ	431	1,053	48%	59%
	釣り	39	42	4%	2%
	水遊び	43	77	5%	4%
	散策等	392	624	43%	35%
	合計	904	1,796		
利用場所別	水面	28	62	3%	3%
	水際	53	57	6%	3%
	高水敷	719	1,465	80%	82%
	堤防	103	211	11%	12%
	合計	904	1,796		

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

64. 揖保川(いぼがわ)

揖保川における各調査日の利用者数をみると、夏季7月27日(日)に8,502人が河川利用しており、最も多かった。この日、下流では高水敷でのスポーツ、上流ではアユ釣りが多く見られた。また、二番目に多い冬季1月12日(成人の日)は、とんど祭(1月14日)の準備を行う利用者が多かった。

揖保川における利用形態は、下流域が中心で、「スポーツ」や「散策等」の利用が多かった。各調査日とも利用者は、左岸10.0~13.0km、右岸8.0~13.0kmに集中し、これらの区間は、いずれも下流部の施設の利用区域で、「高水敷」で「スポーツ」や「散策等」に利用されていた。年間を通して高水敷の千鳥ヶ浜公園やきらめきスポーツ公園などの河川利用施設ではサッカーやソフトボール、グラウンドゴルフの大会等のイベントが開催されており、施設の利用区域が活発に利用されていた。

平成26年度の揖保川における年間河川空間利用者総数(推計)は約63.5万人であり、沿川市区町村人口(約70万人)からみた年間平均利用回数は約0.9回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数(推計)は約5万人の増加となった。

利用形態別では、「散策等」が40%と最も多く、次いで「スポーツ」の30%、「釣り」25%、「水遊び」5%であった。利用場所別では、「高水敷」が63%と最も多く、次いで「水面」の25%、「堤防」7%、「水際」5%であった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態では「釣り」、「スポーツ」が増加し、「散策等」が減少した。利用場所では「水面」で増加し、「高水敷」で減少した。

「釣り」の利用の増加の要因は、平成21年度の調査日に降雨による河川の増

水によって、「釣り」の利用者数が減少したためである。

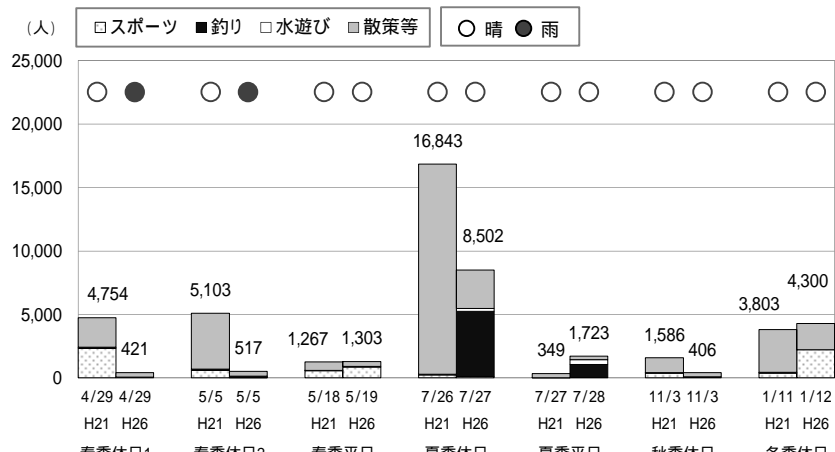


図 .64 各調査日の利用者数

表 .64 揖保川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態	スポーツ	89	192	15%	30%
	釣り	4	158	1%	25%
	水遊び	3	32	0%	5%
	散策等	490	252	84%	40%
別合計	586	635			
利用場所	水面	2	156	0%	25%
	水際	6	35	1%	5%
	高水敷	521	399	89%	63%
	堤防	58	46	10%	7%
別合計	586	635			

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

65. 紀の川（きのかわ）

紀の川における各調査日の利用者数をみると、秋季 11 月 3 日（文化の日）に 30,115 人が河川利用しており、最も多かった。

平成 21 年度と比較して、春季 4 月 29 日（昭和の日）と春季 5 月 5 日（こどもの日）は、終日小雨が降り続いたため、利用者が減少したと考えられる。

平成 26 年度の紀の川における年間河川空間利用者総数（推計）は約 210.3 万人であり、沿川市区町村人口（約 61.3 万人）からみた年間平均利用回数は約 3.4 回／人であった。

平成 21 年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約 48.8 万人の増加となった。

利用形態別では、「スポーツ」が 54%と最も多く、次いで「散策等」の 39%、「釣り」5%、「水遊び」2%であった。利用場所別では、「高水敷」が 70%と最も多く、次いで「堤防」の 24%、「水際」3%、「水面」3%であった。

利用状況の割合を平成 21 年度と比較すると、利用形態では「散策等」が増加した。利用場所では「堤防」で増加し、「水際」、「高水敷」で減少した。

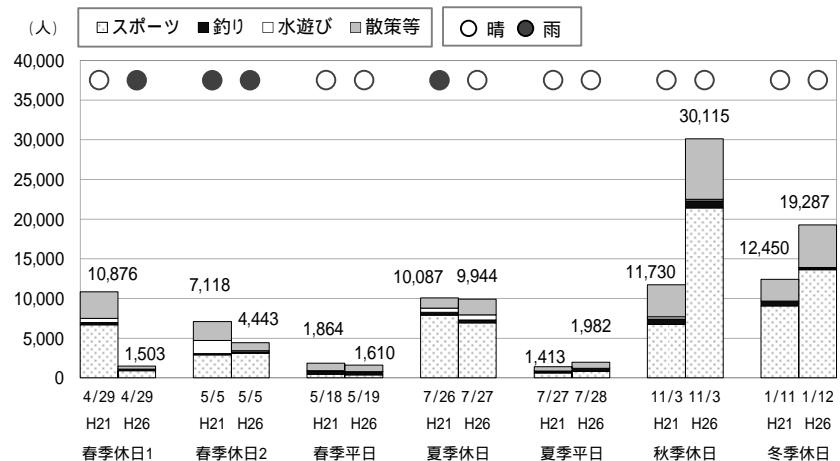


図 .65 各調査日の利用者数

表 .65 紀の川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態	スポーツ	932	1,137	58%	54%
	釣り	116	105	7%	5%
	水遊び	97	34	6%	2%
	散策等	470	828	29%	39%
	合計	1,615	2,103		
利用場所別	水面	28	65	2%	3%
	水際	184	73	11%	3%
	高水敷	1,282	1,464	79%	70%
	堤防	121	500	8%	24%
	合計	1,615	2,103		

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

66. 新宮川(しんぐうがわ)

新宮川における各調査日の利用者数をみると、夏季7月28日(平日)に255人が河川利用しており、最も多かった。尚、春季(4月29日、5月5日、5月19日)は調査を実施していない。

夏季7月28日(平日)には、市田川左岸0.0~1.0kmでの「散策等」の利用が盛んであった。この区間内では、高水敷の河川利用施設の整備が行われている。

平成26年度の新宮川における年間河川空間利用者総数(推計)は約2.9万人であり、沿川市区町村人口(約4.1万人)からみた年間平均利用回数は約0.7回/人であった。尚、年間河川空間利用者総数(推計)には春季の利用者数は含まれない。

そのため、平成21年度と単純には比較できないが、年間河川空間利用者総数(推計)は約4.2万人の減少となった。春季の利用者数を含んでいないことに加え、熊野川における堤防・高水敷の工事による影響が大きいものと考えられる。

利用形態別では、「散策等」が82%と最も多く、次いで「水遊び」の17%、「スポーツ」1%、「釣り」0%であった。利用形態別では、「堤防」が72%と最も多く、次いで「水際」の17%、「高水敷」10%、「水面」1%であった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態では「水遊び」が増加し、「散策等」が減少した。利用場所では「水際」で増加し、「高水敷」で減少した。

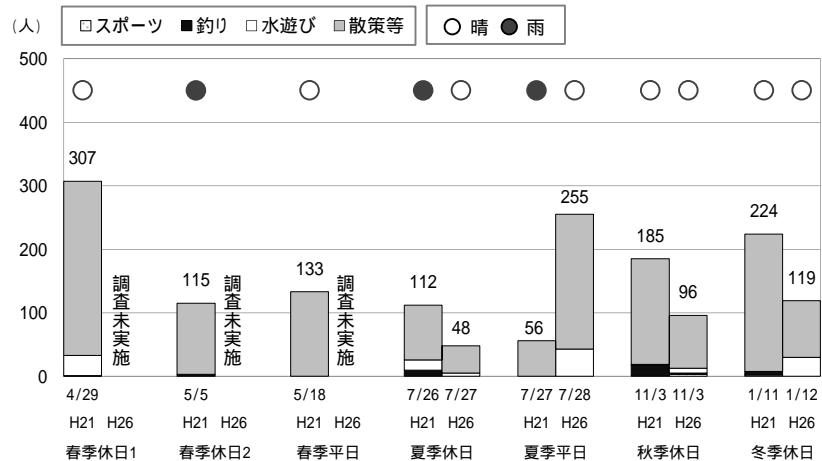


図 .66 各調査日の利用者数

表 .66 新宮川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態別	スポーツ	0	0	0%	1%
	釣り	4	0	5%	0%
	水遊び	1	5	1%	17%
	散策等	66	23	94%	82%
合計	71	29			
利用場所別	水面	0	0	1%	1%
	水際	4	5	6%	17%
	高水敷	17	3	24%	10%
	堤防	49	21	69%	72%
合計	71	29			

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

67. 九頭竜川（くずりゅうがわ）

九頭竜川における各調査日の利用者数をみると、夏季7月27日（日）に2,546人が河川利用しており、最も多かった。

平成26年度も「散策等」の利用者数は多いが、夏季7月27日（日）、夏季7月28日（平日）では「スポーツ」や「釣り」の利用者数が多かった。「スポーツ」の利用は、河川公園等が整備されている区域で多く見られた。

九頭竜川は、高水敷の農耕地の利用が高いのが特徴的である。農耕地が多い場所は、九頭竜川では3.0～15.0km、日野川では6.0～11.0kmである。施設の利用区域は、九頭竜川18.0～20.0kmの天池河川公園があり、平日でも「散策等」、「スポーツ」（ランニング）を楽しんでいる人々が多くみられ、グラウンドやコートを使ったサッカー、テニスなどの「スポーツ」利用も多かった。

平成26年度の九頭竜川における年間河川空間利用者総数（推計）は約31.5万人であり、沿川市区町村人口（約38万人）からみた年間平均利用回数は約0.8回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約5.9万人の減少となった。利用形態別では、「散策等」が61%と最も多く、次いで「釣り」の23%、「スポーツ」13%、「水遊び」3%であった。利用場所別では、「高水敷」が39%と最も多く、次いで「堤防」の34%、「水面」15%、「水際」12%であった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態では「釣り」が増加し、「散策等」が減少した。利用場所では「堤防」で増加し、「高水敷」で減少した。

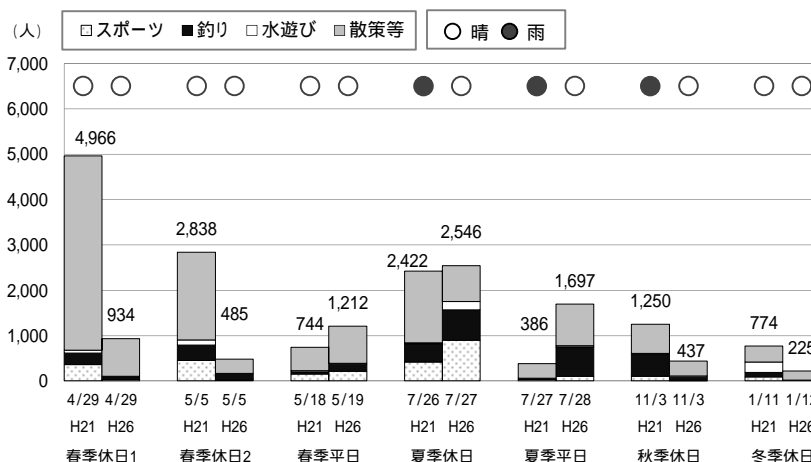


図 .67 各調査日の利用者数

表 .67 九頭竜川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態	スポーツ	46	40	12%	13%
	釣り	69	74	18%	23%
	水遊び	9	10	3%	3%
	散策等	251	191	67%	61%
合計	375	315			
利用場所	水面	42	46	11%	15%
	水際	36	38	10%	12%
	高水敷	224	124	60%	39%
	堤防	73	108	19%	34%
合計	375	315			

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

68. 北川（きたがわ）

北川における各調査日の利用者数をみると、夏季7月28日（平日）に192人が河川利用しており、最も多かった。この日の利用形態は、「散策等」のみであった。

平成21年度と比較すると、調査日の利用者数は変動しており、これは調査年度の各調査日の天候や風速など気象条件に左右されていると考えられる。

平成21年度も平成26年度も調査日の利用者数は、春季と夏季に多く、秋季と冬季には少なかった。

平成26年度の北川における年間河川空間利用者総数（推計）は約2.5万人であり、沿川市区町村人口（約9.8万人）からみた年間平均利用回数は約0.3回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約1.8万人の増加となった。

利用形態別では、「散策等」が98%と最も多く、次いで「釣り」の2%、「スポーツ」と「水遊び」は0%であった。利用場所別では、「堤防」が98%と最も多く、次いで「水面」の2%、「水際」と「高水敷」は0%であった。北川は河川が小規模で河川利用施設の整備も進んでいないため、河川空間の利用者数は少なく、「堤防」を「散策等」で利用する状況が大半を占めた。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態では「散策等」が増加し、「釣り」が減少した。利用場所では「堤防」で増加し、「水際」、「高水敷」で減少した。

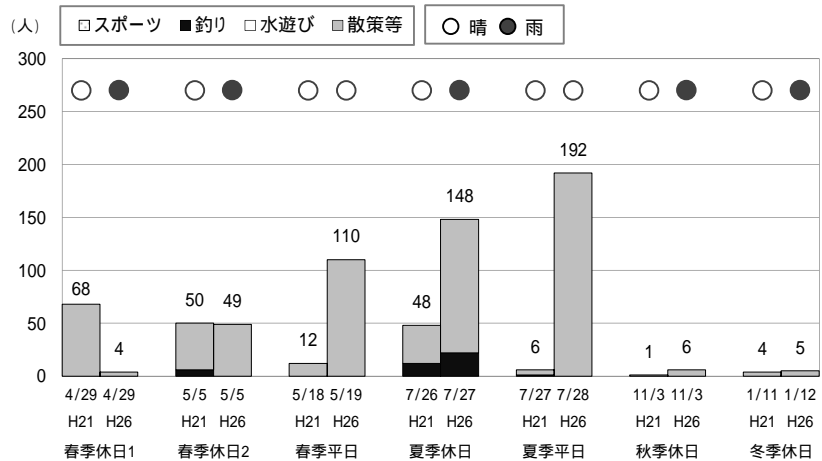


図 .68 各調査日の利用者数

表 .68 北川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(百人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態	スポーツ	0	0	0%	0%
	釣り	10	4	13%	2%
	水遊び	0	0	0%	0%
	散策等	63	246	87%	98%
別合計	73	250			
利用場所	水面	0	4	0%	2%
	水際	10	0	13%	0%
	高水敷	10	0	14%	0%
	堤防	54	246	73%	98%
別合計	73	250			

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

Ⅲ－7. 中国地方の河川空間利用実態

(1) 中国地方の河川空間利用実態の概要

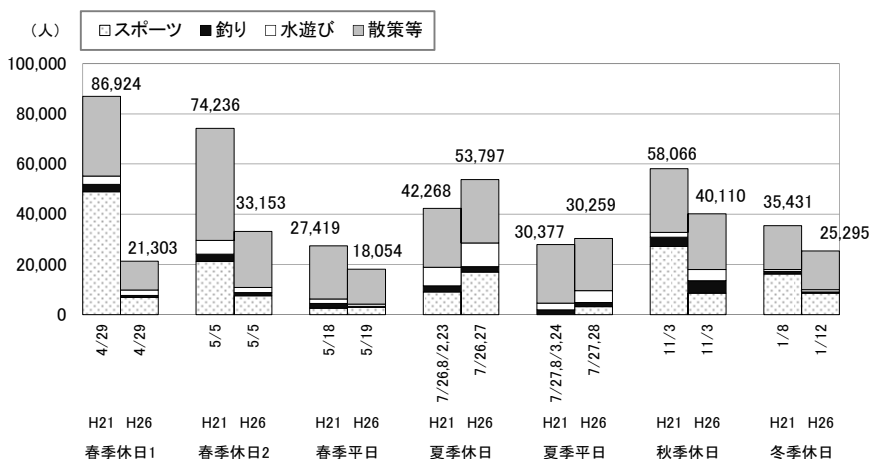
中国地方の水系では、各調査日の利用者数をみると、夏季7月27日（日）の53,797人が最も多く、次いで秋季11月3日（文化の日）が40,110人と多かった。

平成21年度と比較すると、春季4月29日（昭和の日）、春季5月5日（こどもの日）の利用者数が減少した。この主な要因として、両日は多くの河川で天候不良であったため、利用者数が減少した。

年間河川空間利用者総数（推計）は、約1,047万人であり、沿川市区町村人口（約587万人）からみた年間平均利用回数は約1.78回/人であった。平成21年度と比較して、約342万人の減少となった。この主な要因として、調査日の利用者数が減少したことに加え、一年を通して雨の日数が多かったことがあげられる。

利用形態別では、「散策等」が68%（全国平均約54%）と最も高く、次いで「スポーツ」の20%（同37%）、「水遊び」8%（同4%）、「釣り」4%（同4%）となった。また利用場所別では、「堤防」が50%（全国平均約27%）と最も高く、次いで「高水敷」の38%（同65%）、「水際」7%（同6%）、「水面」5%（同3%）と続いた。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態では「散策等」が増加し、「スポーツ」が減少した。利用場所では「堤防」で増加し、「高水敷」で減少した。



図Ⅲ. 各調査日の利用者数

表Ⅲ. 中国地方の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態	スポーツ	4,471	2,091	32%	20%
	釣り	786	392	6%	4%
	水遊び	868	852	6%	8%
	散策等	7,764	7,134	56%	68%
合計	13,889	10,469			
利用場所別	水面	550	551	4%	5%
	水際	1,104	693	8%	7%
	高水敷	7,644	3,977	55%	38%
	堤防	4,591	5,248	33%	50%
合計	13,889	10,469			

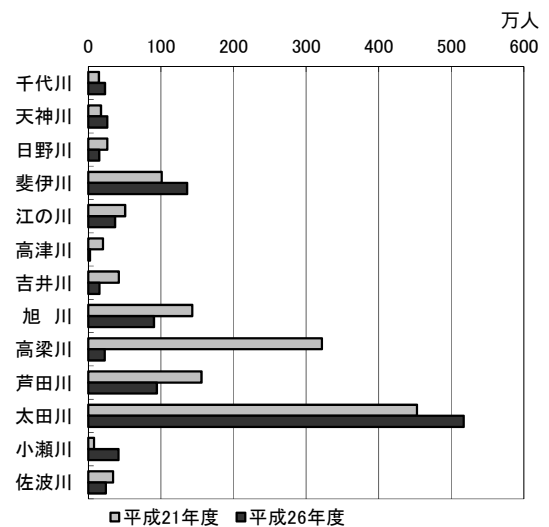
※表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

(2) 中国地方における河川空間利用実態の状況

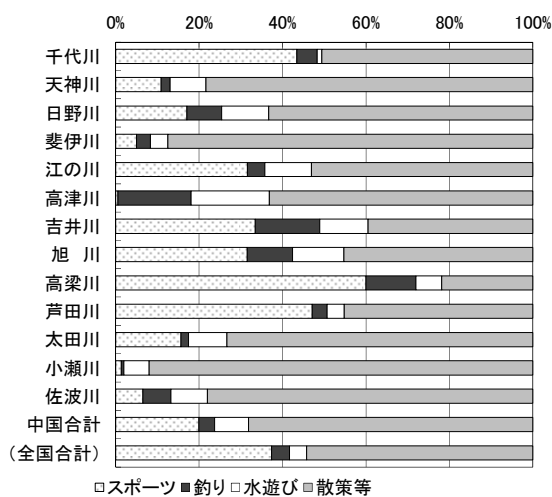
中国地方における各水系の年間利用者数をみると、平成21年度調査と比較して、13水系のうち5水系（千代川、天神川、斐伊川、太田川、小瀬川）が増加し、8水系（日野川、江の川、高津川、吉井川、旭川、高梁川、芦田川、佐波川）が減少した。

中国地方における利用形態別の特徴は、「散策等」の利用が多いことである。特に、小瀬川や斐伊川では「散策等」の利用割合が高く、全体の約9割を占めている。鮎釣りや有名高津川、吉井川は「釣り」の利用割合が、他の河川に比べて高い。また、高梁川では「スポーツ」の利用割合が高い。

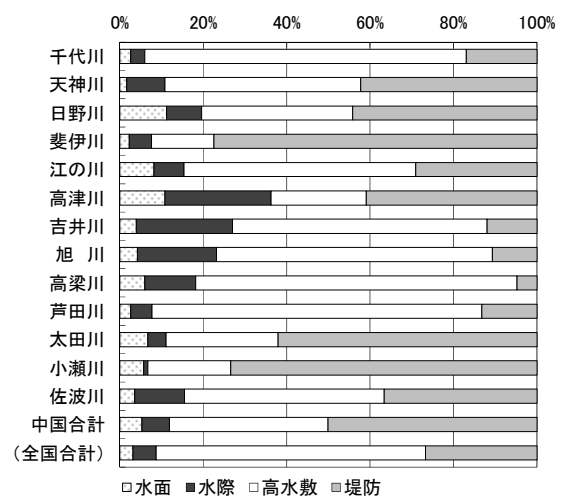
中国地方における利用場所別の特徴は、「堤防」の利用が多いことである。特に、斐伊川、小瀬川、太田川では「堤防」の利用割合が高い。



図Ⅲ-1.年間推計値の対比(平成21・26年度)



図Ⅲ-2.利用形態別グラフ(平成26年度)



図Ⅲ-3.利用場所別グラフ(平成26年度)

※表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

(3) 中国地方における各水系の河川空間利用実態

69. 千代川（せんだいがわ）

千代川における各調査日の利用者数をみると、夏季7月27日（日）に3,414人が河川利用しており、最も多かった。これは、市民スポーツ広場と倉田緑地にてスポーツ大会（ソフト、野球、サッカー）イベントが開催されたためである。

平成21年度まで春季4月29日（昭和の日）は、メーデーイベントが開催されていたが、今回は別会場となったため、利用者数が減少した。また、春季は、高水敷が前年度の河川増水による災害整備中のため使用できず、利用者の減少の要因となったと考えられる。夏季には工事が完了し、利用可能となった。

平成26年度の千代川における年間河川空間利用者総数（推計）は約23.2万人であり、沿川市区町村人口（約19.3万人）からみた年間平均利用回数は約1.2回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約8.4万人の増加となった。年間利用者数が増加した要因は、平成21年度よりもイベントが多数開催されたことが影響したと考えられる。

利用形態別では、「散策等」が51%と最も多く、次いで「スポーツ」の43%、「釣り」5%、「水遊び」1%であった。利用場所別では、「高水敷」が77%と最も多く、次いで「堤防」の17%、「水際」3%であった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態では「スポーツ」が増加し、「釣り」が減少した。利用場所では「高水敷」で増加し、「水面」で減少した。

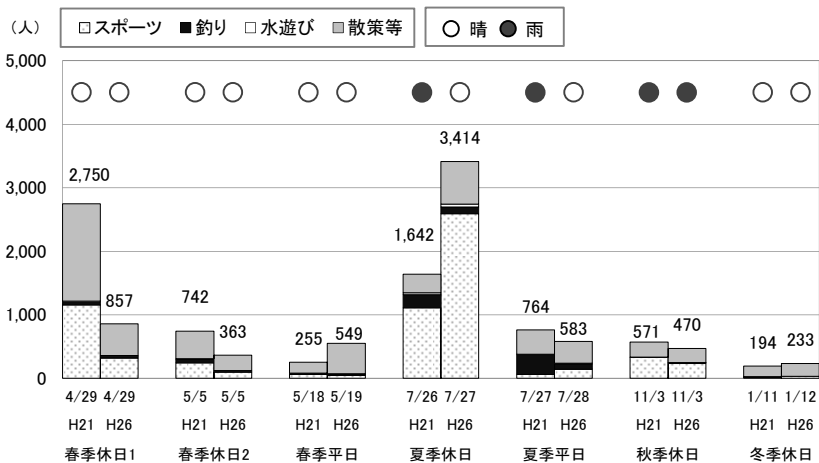


図 III.69 各調査日の利用者数

表 III.69 千代川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態別	スポーツ	53	101	36%	43%
	釣り	23	11	15%	5%
	水遊び	2	2	1%	1%
	散策等	71	117	48%	51%
合計	148	232			
利用場所別	水面	15	6	10%	3%
	水際	9	8	7%	3%
	高水敷	93	179	63%	77%
	堤防	30	39	20%	17%
合計	148	232			

※表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

70. 天神川（てんじんがわ）

天神川における各調査日の利用者数をみると、夏季7月28日（平日）に1,023人が河川利用しており、最も多かった。この日の利用形態は、「散策等」が817人と最も多く、全体の約8割を占めた。平成26年度は平年に比べて降水量が少なく、この日の最高気温も30℃未満と比較的過ごしやすかったことから、利用者数が増加したと考えられる。

平成26年度天神川における年間河川空間利用者総数（推計）は約26.2万人であり、沿川市区町村人口（約8.7万人）からみた年間平均利用回数は約3.0回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約8.9万人の増加となった。平成21年度は梅雨明けが遅く、平年に比べて降水量が多かったため、夏季の利用者が少なく、全体的な利用者減になったと考えられる。

利用形態別では、「散策等」が78%と最も多く、次いで「スポーツ」の11%、「水遊び」9%、「釣り」2%であった。平成21年度と比較すると、近年の健康志向などから、「散策等」の利用が増加しており、「高水敷」や「堤防」を利用した散歩やウォーキング、ジョギングが行われていた。「スポーツ」は、比較的外出しやすい春季、秋季の調査日の天候が雨のち曇りであったため、広場の利用が制限されたことにより、利用者が減少したものと考えられる。利用場所別では、「高水敷」が47%と最も多く、次いで「堤防」の42%、「水際」9%、「水面」2%であった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態では「水遊び」、「散策等」が増加し、「スポーツ」が減少した。利用場所では「水際」で増加した。

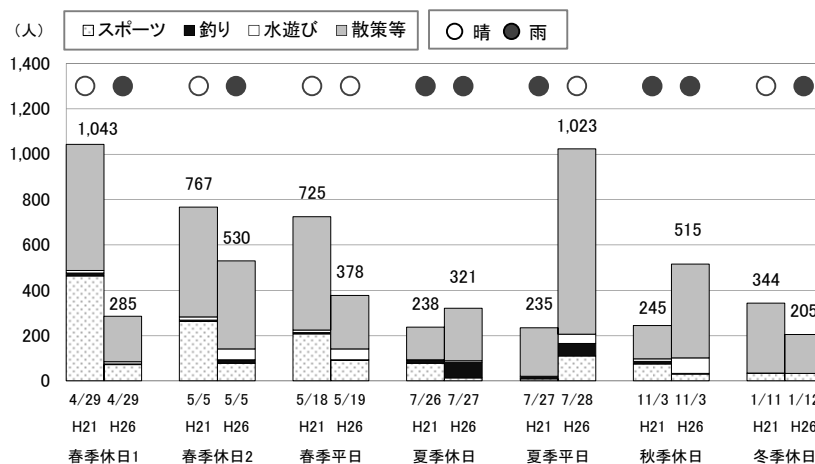


図 III.70 各調査日の利用者数

表 III.70 天神川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態別	スポーツ	41	29	23%	11%
	釣り	5	6	3%	2%
	水遊び	3	22	2%	9%
	散策等	124	205	72%	78%
別	合計	173	262		
利用場所別	水面	2	4	1%	2%
	水際	6	24	4%	9%
	高水敷	86	123	49%	47%
	堤防	80	111	46%	42%
別	合計	173	262		

※表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

71. 日野川（ひのがわ）

日野川における各調査日の利用者数をみると、夏季7月28日（平日）に1,349人が河川利用しており、最も多かった。

春季4月29日（昭和の日）は、朝の雨の影響により、利用者は346人となり、平成21年度に比べ、少ない利用者数となった。

日野川における河川利用実態は、下流部、中上流部で利用形態が異なっていることが特徴である。日野川下流部は、グラウンドなどの河川利用施設が整備されていることから、「スポーツ」の利用が最も多かった。日野川中上流部は「釣り」も多く、アユの豊富な河川として全国的にも知られており、県内だけでなく県外からの釣り客も訪れる。法勝寺川では「散策等」の利用が最も多く、春には堤防に続く桜並木を楽しむ利用者も多い。

平成26年度の日野川における年間河川空間利用者総数（推計）は約15.3万人であり、沿川市区町村人口（約17.6万人）からみた年間平均利用回数は約0.9回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約10.8万人の減少となった。これは、「高水敷」で行われる各種スポーツ大会等が、天候の影響で調査日と重複しなかったためと考えられる。その結果、利用場所別の「高水敷」、「堤防」での利用者数が、平成21年度に比べて、減少した。

利用形態別では、「散策等」が63%と最も多く、次いで「スポーツ」の17%、「水遊び」11%、「釣り」9%であった。利用場所別では、「堤防」が44%と最も多く、次いで「高水敷」の36%、「水面」11%、「水際」9%であった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態では「スポーツ」が減少し、それ以外で増加した。利用場所では「高水敷」で減少し、それ以外で増加した。

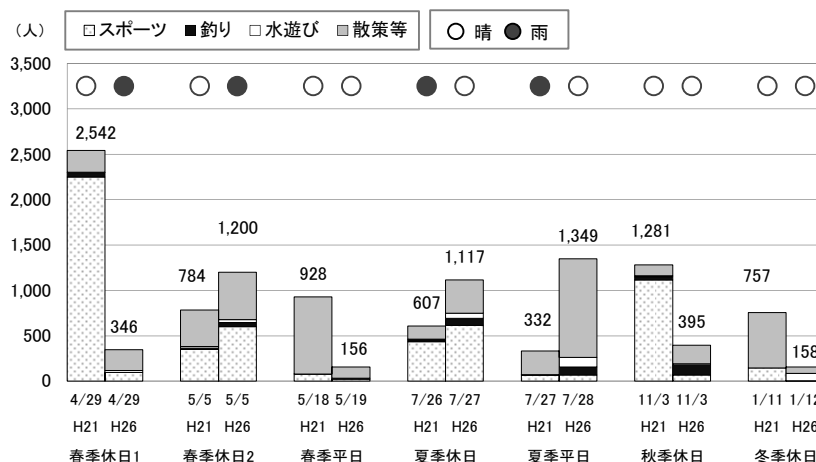


図 III.71 各調査日の利用者数

表 III.71 日野川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態	スポーツ	126	26	48%	17%
	釣り	4	13	1%	9%
	水遊び	1	17	1%	11%
	散策等	130	97	50%	63%
別合計	261	153			
利用場所	水面	2	17	1%	11%
	水際	3	13	1%	9%
	高水敷	154	55	59%	36%
	堤防	102	68	39%	44%
別合計	261	153			

※表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

72. 斐伊川（ひいかわ）

斐伊川における各調査日の利用者数をみると、夏季7月27日（日）に3,190人が河川利用しており、最も多かった。

利用形態別にみると、夏季7月27日（日）の「散策等」が1,863人で最も多かった。年間を通じて「散策等」の利用が多かった。特に宍道湖東端（宍道湖の右岸及び左岸の0～1km区間）は背後に旅館や公園、県立美術館等が整備されており、護岸整備の利用環境や景観等も優れていることから、多くの利用者が散策に訪れていた。

平成26年度の斐伊川における年間河川空間利用者総数（推計）は約136.1万人であり、沿川市区町村人口（約63.8万人）からみた年間平均利用回数は約2.1回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約35万人の増加となった。

平成26年度には、調査時にイベントが確認されたため、全イベント参加者数を加えている（平成21年度はイベント参加者数の追加なし）。そのため、花火大会等の大きなイベント参加者が年間利用者数の増加に寄与している。

利用形態別では、「散策等」が88%と最も多く、次いで「スポーツ」の5%、「水遊び」4%、「釣り」3%であった。利用場所別では、「堤防」が78%と最も多く、次いで「高水敷」の15%、「水際」5%、「水面」2%であった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態では「散策等」が増加し、「釣り」、「水遊び」で減少した。利用場所では「堤防」で増加し、「水際」、「水面」で減少した。

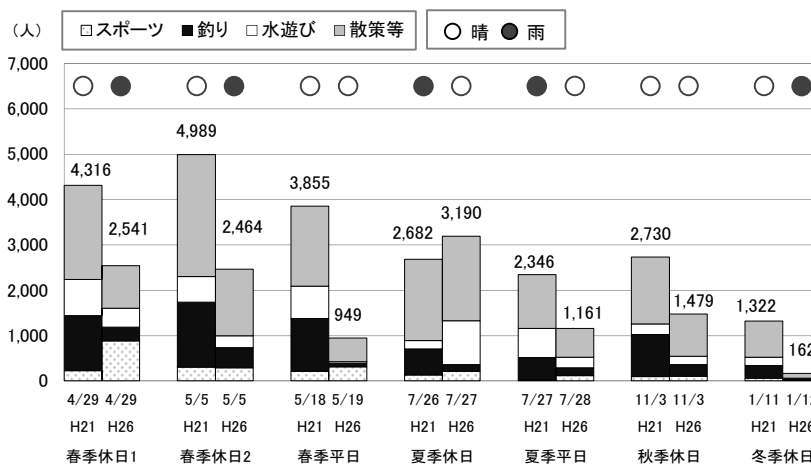


図 III.72 各調査日の利用者数

表 III.72 斐伊川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態別	スポーツ	35	68	3%	5%
	釣り	264	46	26%	3%
	水遊び	179	57	18%	4%
	散策等	534	1,190	53%	88%
合計	1,011	1,361			
利用場所別	水面	103	31	10%	2%
	水際	340	72	34%	5%
	高水敷	128	204	13%	15%
	堤防	441	1,054	43%	78%
合計	1,011	1,361			

※表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

73. 江の川（ごうのかわ）

江の川における各調査日の利用者数をみると、夏季7月27日（日）に2,584人が河川利用しており、最も多かった。この日、河口部付近では水上スキー、ボート等の水上スポーツや釣りなどの利用が多く確認された。

平成26年度の江の川における年間河川空間利用者総数（推計）は約37.1万人であり、沿川市区町村人口（約13.6万人）からみた年間平均利用回数は約2.7回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約13.9万人の減少となった。これは、過年度に発生した洪水による災害で堤防等が整備段階であるためと考えられる。

利用形態別では、「散策等」が53%と最も多く、次いで「スポーツ」の32%、「水遊び」11%、「釣り」4%であった。利用場所別では、「高水敷」が56%と最も多く、次いで「堤防」の29%、「水面」8%、「水際」7%であった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態では「スポーツ」、「水遊び」が増加し、「散策等」が減少した。利用場所では「高水敷」で増加し、「堤防」で減少した。

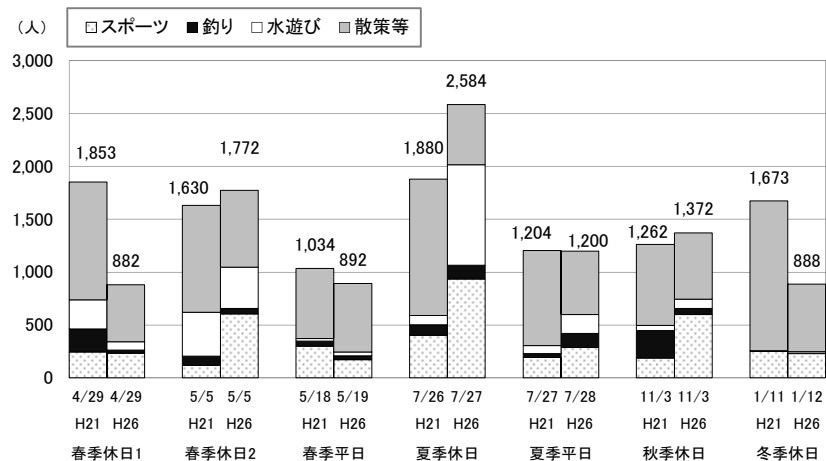


図 III.73 各調査日の利用者数

表 III.73 江の川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態別	スポーツ	86	117	17%	32%
	釣り	32	16	6%	4%
	水遊び	25	41	5%	11%
	散策等	368	197	72%	53%
合計	510	371			
利用場所別	水面	17	30	3%	8%
	水際	39	27	8%	7%
	高水敷	255	206	50%	56%
	堤防	199	108	39%	29%
	合計	510	371		

※表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

74. 高津川（たかつがわ）

高津川における各調査日の利用者数をみると、夏季7月27日（日）に252人が河川利用しており、最も多かった。

利用形態別に見ると、年間を通して「散策等」の利用者が多く、夏季から秋季には「釣り」、「水遊び」の利用者がみられた。

平成26年度の高津川における年間河川空間利用者総数（推計）は約2.5万人であり、沿川市区町村人口（約4.9万人）からみた年間平均利用回数は約0.5回／人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約17.7万人の減少となった。

利用形態別では、「散策等」が63%と最も多く、次いで「水遊び」の19%、「釣り」17%、「スポーツ」1%であった。平成21年度に比べ、全体の利用者数が減少している中で、「水遊び」の利用者が増加した。これは、平成21年度の夏季調査日における「水遊び」の利用がほぼ皆無であったことによる。利用場所別では、「堤防」が41%と最も多く、次いで「水際」の25%、「高水敷」23%、「水面」11%であった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態では「水遊び」が増加し、「散策等」が減少した。利用場所では「水面」、「水際」で増加し、「堤防」で減少した。

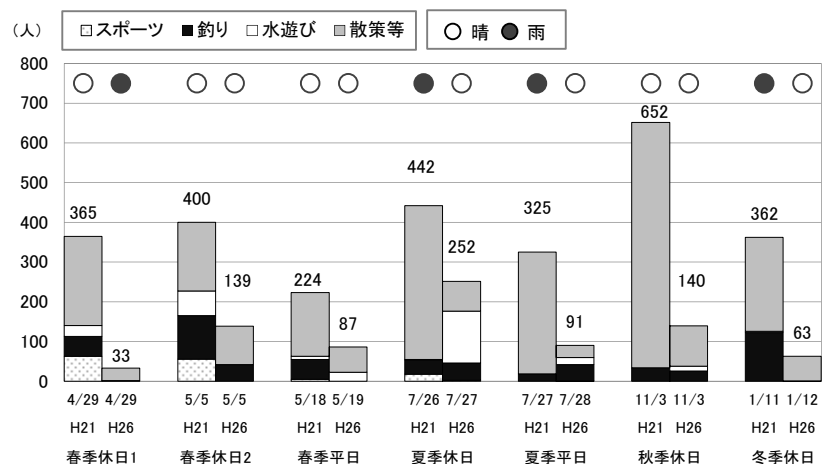


図 III.74 各調査日の利用者数

表 III.74 高津川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態別	スポーツ	2	0	1%	1%
	釣り	32	4	16%	17%
	水遊び	2	5	1%	19%
	散策等	165	16	82%	63%
合計	201	25			
利用場所別	水面	1	3	1%	11%
	水際	33	6	16%	25%
	高水敷	42	6	21%	23%
	堤防	126	10	62%	41%
合計	201	25			

※表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

75. 吉井川（よしいがわ）

吉井川における各調査日の利用者数をみると、夏季7月27日（日）に2,075人が河川利用しており、最も多かった。

利用形態別にみると、年間を通して休日は「スポーツ」及び「散策等」、平日は「散策等」を楽しむ利用者の割合が高かった。また、夏季休日には「水遊び」、秋季休日には「釣り」を楽しむ利用者の割合が高い傾向がみられた。

平成21年度と比較すると、調査日の利用者数の合計は平成21年度の4割の減少となった。これは、春季休日の二日間の天候が雨であったため、春季の利用者数が平成21年度の1割に留まったこと、秋季休日の調査日の前日に降雨（5.5mm）があり、平成21年度の6割に留まったことが影響していると考えられる。

平成26年度の吉井川における年間河川空間利用者総数（推計）は約15.5万人であり、沿川市区町村人口（約85.1万人）からみた年間平均利用回数は約0.2回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約26.5万人の減少となった。これは、調査日の利用者数の減少に加えて、雨日数の増加（前回の80日間から今回は98日間に増加）等が要因と考えられる。

利用形態別では、「散策等」が39%と最も多く、次いで「スポーツ」の34%、「釣り」15%、「水遊び」12%であった。利用場所別では、「高水敷」が61%と最も多く、次いで「水際」の23%、「堤防」12%、「水面」4%であった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態では「スポーツ」が増加し、「散策等」が減少した。利用場所ではほぼ同程度であった。

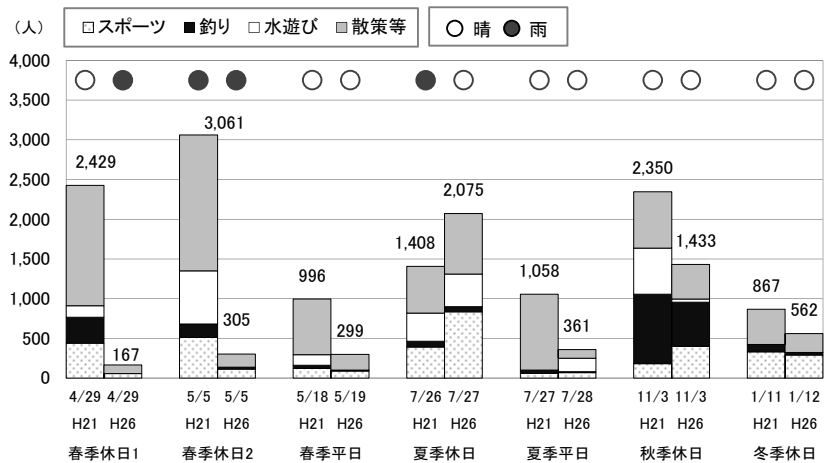


図 III.75 各調査日の利用者数

表 III.75 吉井川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態別	スポーツ	67	52	16%	34%
	釣り	51	24	12%	15%
	水遊び	67	18	16%	12%
	散策等	235	61	56%	39%
	合計	420	155		
利用場所別	水面	33	6	8%	4%
	水際	85	36	20%	23%
	高水敷	265	95	63%	61%
	堤防	38	18	9%	12%
	合計	420	155		

※表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

76. 旭川（あさひがわ）

旭川における各調査日の利用者数をみると、夏季7月27日（日）に15,213人が河川利用しており、最も多かった。

利用形態別にみると、平日、休日ともに「スポーツ」及び「散策等」の利用者が多かった。また、秋季休日は「釣り」を楽しむ利用者の割合が高かった。

平成21年度と比較すると、調査日の利用者数の合計は平成21年度の7割とやや減少した。これは、春季休日の二日間の天候が雨であったため、春季の利用者数が平成21年度の4割に留まったこと、秋季休日の調査日の前日に降雨（5.5mm）があり平成21年度の4割に留まったことが影響していると考えられる。

平成26年度の旭川における年間河川空間利用者総数（推計）は約90.6万人であり、沿川市区町村人口（約71.5万人）からみた年間平均利用回数は約1.3回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約52.6万人の減少となった。これは調査日の利用者数の減少に加え、平日係数の下降（前回の0.228から0.150）、雨日数の増加（前回の80日間から今回は98日間に増加）等が要因と考えられる。

利用形態別では、「散策等」が45%と最も多く、次いで「スポーツ」の32%、「水遊び」12%、「釣り」11%であった。利用場所別では、「高水敷」が66%と最も多く、次いで「水際」の19%、「堤防」11%、「水面」4%であった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態では「釣り」、「水遊び」が増加し、「スポーツ」が減少した。利用場所では「水際」で増加し、「高水敷」で減少した。

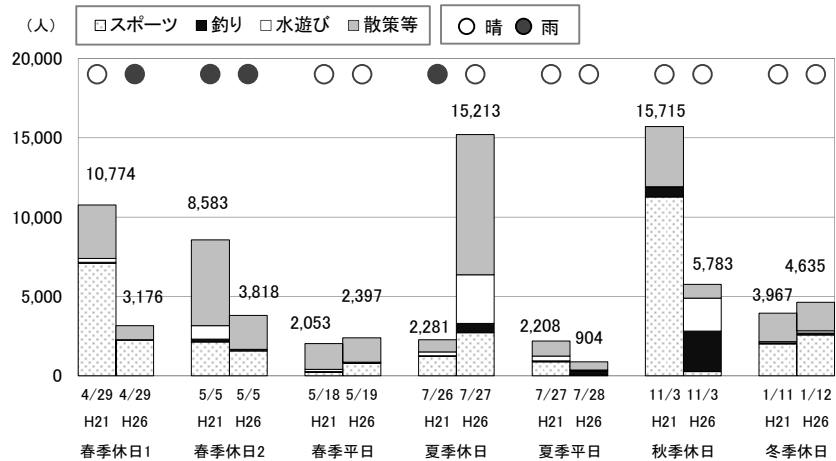


図 III.76 各調査日の利用者数

表 III.76 旭川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態別	スポーツ	737	286	51%	32%
	釣り	39	98	3%	11%
	水遊び	69	112	5%	12%
	散策等	587	410	41%	45%
	合計	1,432	906		
利用場所別	水面	52	38	4%	4%
	水際	56	172	4%	19%
	高水敷	1,116	599	78%	66%
	堤防	209	96	14%	11%
	合計	1,432	906		

※表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

77. 高梁川（たかはしがわ）

高梁川における各調査日の利用者数をみると、夏季7月27日（日）に3,773人が河川利用しており、最も多かった。

利用形態別にみると、休日も平日は「スポーツ」の利用者が多く、秋季休日は「釣り」を楽しむ利用者の割合が高かった。

平成21年度と比較すると、調査日の利用者数の合計は平成21年度の約2割の減少となった。これは、春季休日の二日間の天候が雨であったため、春季の利用者数が平成21年度の1割程度に留まったこと、秋季休日の調査日の前日に降雨（5.5mm）があり、平成21年度の1割に留まったことが影響していると考えられる。

平成26年度の高梁川における年間河川空間利用者総数（推計）は約22.5万人であり、沿川市区町村人口（約55.2万人）からみた年間平均利用回数は約0.4回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約299.5万人の減少となった。これは、調査日の利用者数の減少、平日係数の下降（前回の0.265から0.096）、雨日数の増加（前回の80日間から今回は98日間に増加）等が要因と考えられる。

利用形態別では、「スポーツ」が60%と最も多く、次いで「散策等」の22%、「釣り」12%、「水遊び」6%であった。利用場所別では、「高水敷」が77%と最も多く、次いで「水際」の12%、「水面」6%、「堤防」5%であった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態では「釣り」、「スポーツ」が増加し、「散策等」が減少した。利用場所では「水際」で増加した。

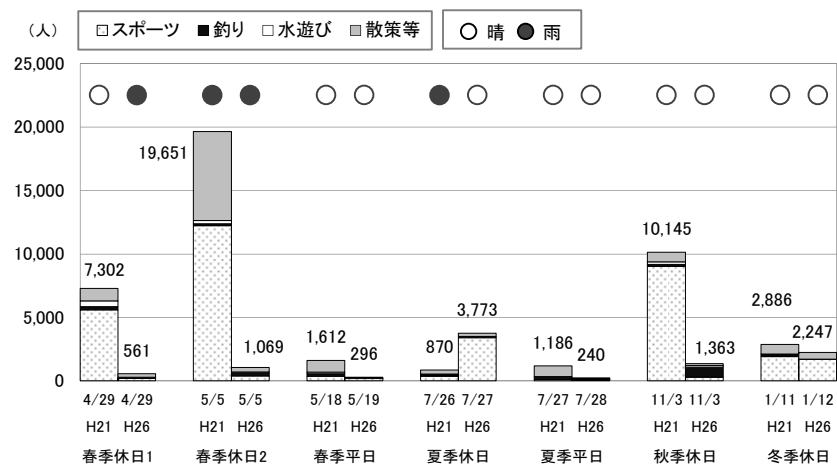


図 III.77 各調査日の利用者数

表 III.77 高梁川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態別	スポーツ	1,689	135	53%	60%
	釣り	136	27	4%	12%
	水遊び	172	14	5%	6%
	散策等	1,222	49	38%	22%
合計	3,220	225			
利用場所別	水面	112	13	4%	6%
	水際	196	27	6%	12%
	高水敷	2,608	173	81%	77%
	堤防	304	11	9%	5%
合計	3,220	225			

※表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

78. 芦田川（あしだがわ）

芦田川における各調査日の利用者数をみると、夏季7月27日（日）に4,182人が河川利用しており、最も多かった。

利用形態別に見てみると、各調査日とも「散策等」が最も多かった。その主な内容は朝夕の散歩、家族あるいはグループでのバーベキュー等であった。

平成26年度の芦田川における年間河川空間利用者総数（推計）は約94.5万人であり、沿川市区町村人口（約93.4万人）からみた年間平均利用回数は約1.0回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約61.6万人の減少となった。

利用形態別では、「スポーツ」が47%と最も多く、次いで「散策等」の45%、「水遊び」4%、「釣り」4%であった。利用場所別では、「高水敷」が79%と最も多く、次いで「堤防」の13%、「水際」5%、「水面」3%であった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態では「スポーツ」が増加し、「散策等」が減少した。利用場所では「高水敷」で増加し、「水際」で減少した。

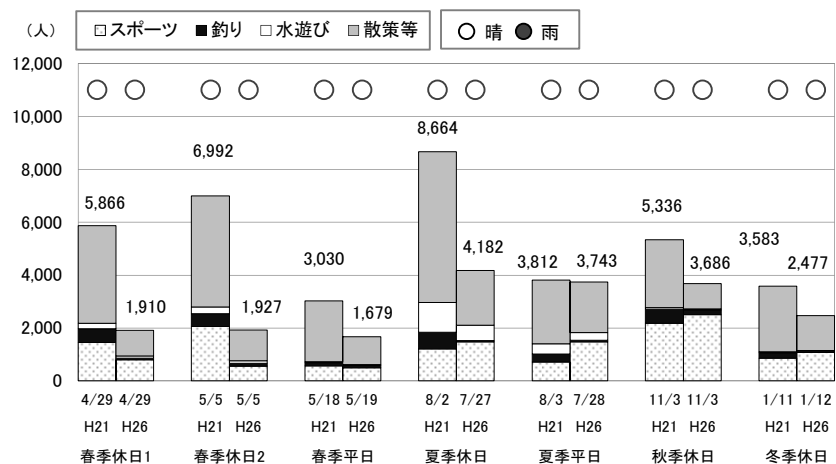


図 III.78 各調査日の利用者数

表 III.78 芦田川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態別	スポーツ	466	446		
	釣り	126	33		
	水遊び	59	39		
	散策等	910	427		
合計		1,561	945		
利用場所別	水面	25	25		
	水際	160	48		
	高水敷	1,135	748		
	堤防	241	125		
	合計		1,561		

※表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

79. 太田川（おおたがわ）

太田川における各調査日の利用者数をみると、秋季 11 月 3 日（文化の日）に 20,467 人が河川利用しており、最も多かった。

平成 21 年度と比較すると、夏季 7 月 28 日（平日）や秋季 11 月 3 日（文化の日）は平成 26 年度の方が多いが、それ以外の調査日では平成 21 年度の方が多かった。要因として、調査日当日が悪天候であったことがあげられる。平成 21 年度は全調査日とも雨は降らなかったが、今年度は、7 調査日の内 3 調査日（春季 4 月 29 日（昭和の日）、春季 5 月 5 日（こどもの日）、冬季 1 月 12 日（成人の日））において、一時的に降雨があり利用者の外出が控えられたと推察される。

利用形態別にみると、「堤防」での「散策等」が最も多かった。全季を通じて「高水敷」での散歩や野球などの球技、「水際」での休憩や魚釣りなどが確認された。このほか、夏季は水際での水遊びやアユ釣りが、秋季はサイクリングや野鳥の観察が、冬季は野鳥の観察や「とんど焼き」での利用者也確認された。

平成 26 年度の太田川における年間河川空間利用者総数（推計）は約 517.2 万人であり、沿川市区町村人口（約 111.3 万人）からみた年間平均利用回数は約 4.6 回／人であった。

平成 21 年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約 64.3 万人の増加となった。

利用形態別では、「散策等」が 73%と最も多く、次いで「スポーツ」の 16%、「水遊び」9%、「釣り」2%であった。利用場所別では、「堤防」が 62%と最も多く、次いで「高水敷」の 27%、「水面」7%、「水際」4%であった。

利用状況の割合を平成 21 年度と比較すると、利用形態では「散策等」が増加し、「スポーツ」が減少した。利用場所では「高水敷」で減少した。

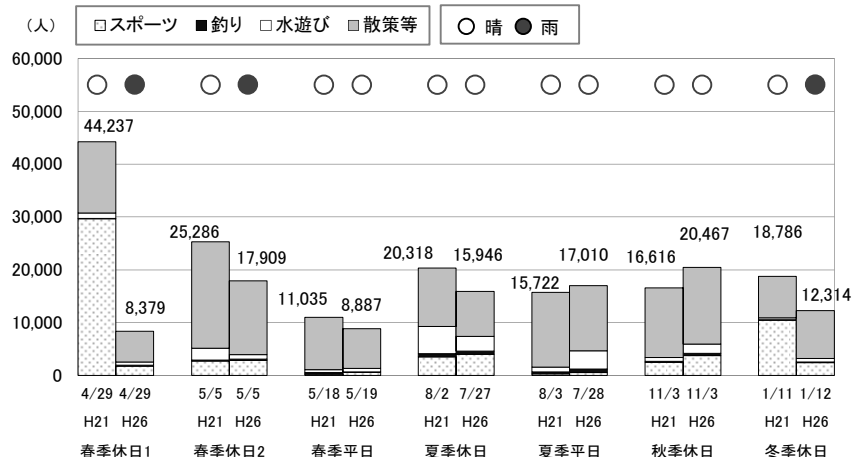


図 Ⅲ.79 各調査日の利用者数

表 Ⅲ.79 太田川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態	スポーツ	1,142	810	25%	16%
	釣り	63	95	1%	2%
	水遊び	265	478	6%	9%
	散策等	3,060	3,790	68%	73%
別合計	4,530	5,172			
利用場所	水面	175	346	4%	7%
	水際	153	226	3%	4%
	高水敷	1,550	1,389	34%	27%
	堤防	2,652	3,211	59%	62%
別合計	4,530	5,172			

※表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

80. 小瀬川（おぜがわ）

小瀬川における各調査日の利用者数をみると、秋季 11 月 3 日（文化の日）に 2,206 人が河川利用しており、最も多かった。

利用形態別にみると、大部分が「散策等」であるが、その他四季を通して「水遊び」、夏季の「釣り」や秋季の「スポーツ」が確認された。

平成 26 年度の小瀬川における年間河川空間利用者総数（推計）は約 41.9 万人であり、沿川市区町村人口（約 17.2 万人）からみた年間平均利用回数は約 2.4 回／人であった。

平成 21 年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約 33.7 万人の増加となった。これは、公園が 3 箇所から 6 箇所に、親水施設が 2 箇所から 4 箇所に増加したことが要因と考えられる。

利用形態別では、「散策等」が 92%と最も多く、次いで「水遊び」の 6%、「スポーツ」1%、「釣り」1%であった。利用場所別では、「堤防」が 73%と最も多く、次いで「高水敷」の 20%、「水面」6%、「水際」1%であった。

利用状況の割合を平成 21 年度と比較すると、利用形態では「散策等」が増加し、「水遊び」が減少した。利用場所では「堤防」で増加し、「高水敷」、「水際」で減少した。

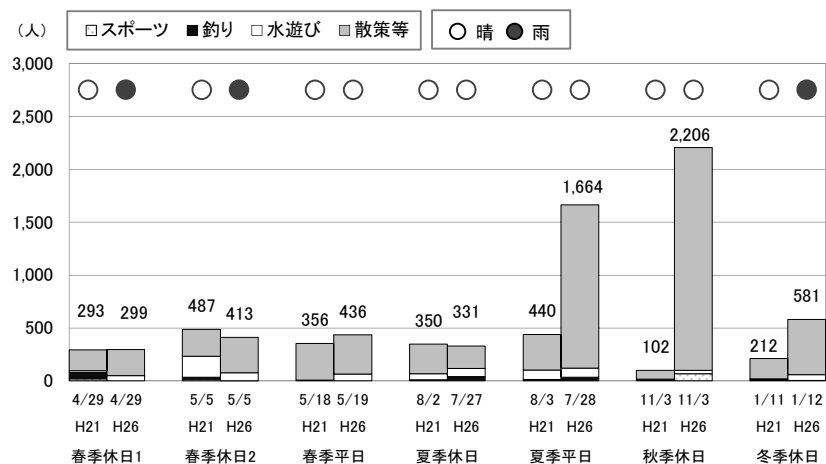


図 III.80 各調査日の利用者数

表 III.80 小瀬川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態別	スポーツ	1	6	1%	1%
	釣り	4	3	5%	1%
	水遊び	9	25	11%	6%
	散策等	68	385	83%	92%
合計	82	419			
利用場所別	水面	2	24	2%	6%
	水際	11	4	14%	1%
	高水敷	22	83	27%	20%
	堤防	47	307	57%	73%
合計	82	419			

※表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

81. 佐波川（さばがわ）

佐波川における各調査日の利用者数をみると、春季4月29日（昭和の日）に1,867人が河川利用しており、最も多かった。しかし、平成21年度と比較して、春季4月29日（昭和の日）は、イベント（つつじ祭り）が雨天中止となり、「散策等」の利用者数が減少した。

利用形態別の利用者数をみると、春季5月19日（平日）の「散策等」の利用が最も多く（1,023人）、年間を通して犬の散歩やウォーキング等で「高水敷」が多くの人に利用されていた。「水遊び」は春季4月29日（昭和の日）に770人、夏季7月27日（日）に281人と、春季に非常に多かった。これは、春季4月29日（昭和の日）が大潮の干潮であり、潮干狩り客が多く確認されたためである。「スポーツ」の利用は春季5月5日（こどもの日）に204人と、春季の過ごしやすい季節に広大な高水敷広場でスポーツを楽しむ姿が多くみられた。「釣り」の利用は春季4月29日（昭和の日）に257人と、例年に比べて多かった。

平成26年度の佐波川における年間河川空間利用者総数（推計）は約24.3万人であり、沿川市区町村人口（約25.7万人）からみた年間平均利用回数は約0.9回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約9.7万人の減少となった。利用形態別では、「散策等」が78%と最も多く、次いで「水遊び」の9%、「釣り」7%、「スポーツ」6%であった。利用場所別では、「高水敷」が48%と最も多く、次いで「堤防」の37%、「水際」12%、「水面」4%であった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態では「散策等」が減少した。利用場所では「水際」で増加し、「高水敷」で減少した。

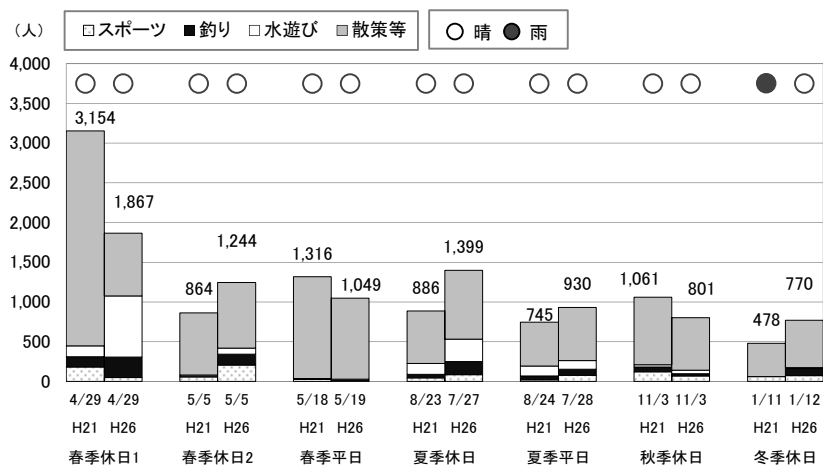


図 III.81 各調査日の利用者数

表 III.81 佐波川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態別	スポーツ	25	16	7%	6%
	釣り	9	16	3%	7%
	水遊び	14	21	4%	9%
	散策等	292	190	86%	78%
合計	340	243			
利用場所別	水面	12	9	4%	3%
	水際	12	29	3%	12%
	高水敷	192	117	56%	48%
	堤防	125	89	37%	37%
合計	340	243			

※表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

- 8 . 四国地方の河川空間利用実態

(1) 四国地方の河川空間利用実態の概要

四国地方の水系では、各調査日の利用者数をみると、夏季7月27日(日)の27,071人が最も多く、次いで春季5月5日(こどもの日)が17,391人と多かった。

平成21年度と比較すると、春季4月29日(昭和の日)、春季5月5日(こどもの日)の利用者数が大きく減少した。この主な要因として、両日は多くの河川で天候不良であったため、利用者数が減少したと考えられる。また、平成21年度では調査日当日に開催されていたイベントが、平成26年度には開催されていなかったため、利用者数が減少したと考えられる。

年間河川空間利用者総数(推計)は、約375万人であり、沿川市区町村人口(約206万人)からみた年間平均利用回数は約1.82回/人であった。平成21年度と比較して、約153万人の減少となった。この主な要因として、調査日の利用者数が減少したことに加え、一年を通して雨の日数が多かったことがあげられる。

利用形態別では、「散策等」が59%(全国平均約54%)と最も高く、次いで「スポーツ」の23%(同37%)、「水遊び」13%(同4%)、「釣り」5%(同4%)となった。

また利用場所別では、「高水敷」が57%(全国平均約65%)と最も高く、次いで「堤防」の26%(同27%)、「水際」10%(同6%)、「水面」7%(同3%)と続いた。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態では「スポーツ」が減少した。利用場所では「堤防」で減少した。

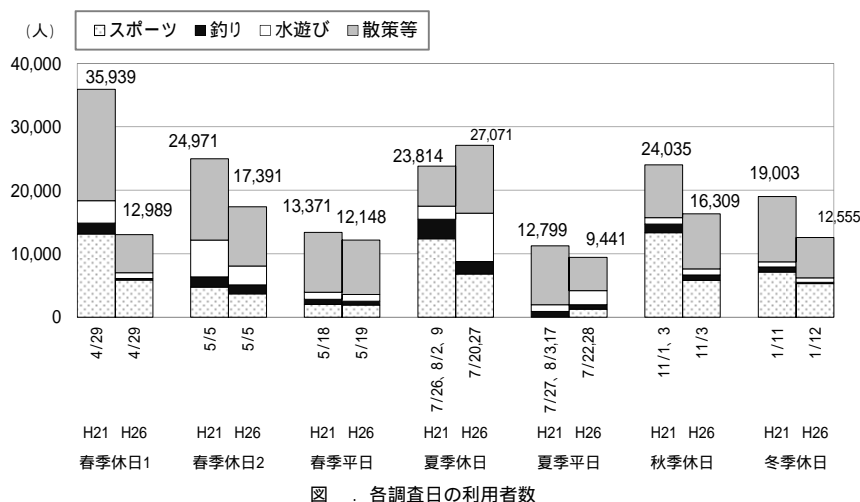


表 . 四国地方の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態	スポーツ	1,562	867	30%	23%
	釣り	289	190	5%	5%
	水遊び	405	471	8%	13%
	散策等	3,021	2,221	57%	59%
合計	5,277	3,748			
利用場所	水面	198	275	4%	7%
	水際	497	386	9%	10%
	高水敷	2,928	2,131	56%	57%
	堤防	1,654	956	31%	26%
合計	5,277	3,748			

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

(2) 四国地方における河川空間利用実態の状況

四国地方における各水系の年間利用者数をみると、平成21年度調査と比較して、8水系のうち3水系（肱川、物部川、仁淀川）が増加し、5水系（吉野川、那賀川、土器川、重信川、渡川）が減少した。

四国地方の水系における利用形態別の特徴は、各水系それぞれで状況が異なっているが、「水遊び」の割合が高い河川が多く、土器川や重信川水系を除いて全国平均を上回っている。特に、仁淀川、渡川は「水遊び」の占める割合が他の水系に比較して高いことがあげられる。

「釣り」は、物部川、渡川、吉野川で多く、「スポーツ」は土器川や物部川で多い。

各水系の利用場所別の特徴として、「水遊び」や「釣り」の占める割合の高い仁淀川、渡川が「水面」、「水際」の利用が盛んであるといえる。

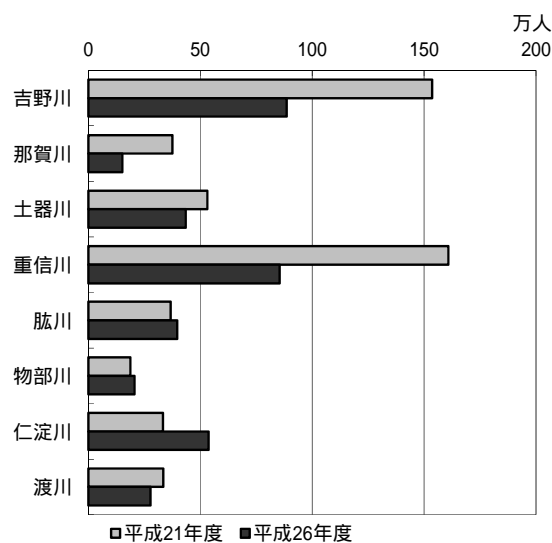


図 - 1.年間推計値の対比(平成21・26年度)

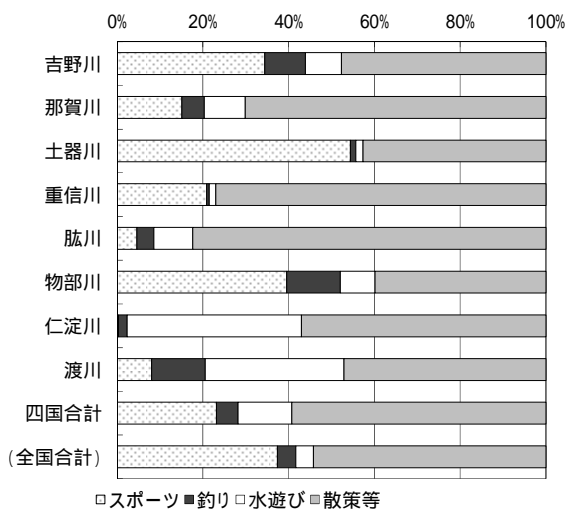


図 - 2.利用形態別グラフ(平成26年度)

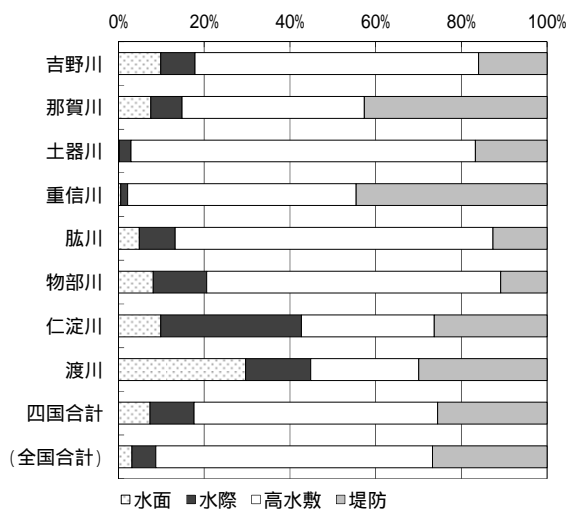


図 - 3.利用場所別グラフ(平成26年度)

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

(3) 四国地方における各水系の河川空間利用実態

82. 吉野川(よしのがわ)

吉野川における各調査日の利用者数をみると、夏季7月27日(日)に9,668人が河川利用しており、最も多かった。

利用形態別に見ると、夏季7月27日(日)の「散策等」が最も多かった。吉野川全域の全調査日で「高水敷」を利用した「スポーツ」や「散策等」の利用者が多かった。

平成26年度の各調査日の利用者数は、平成21年度と比較して、いずれも減少した。これは、平成26年度の調査日が悪天候であったり、前々日までの降雨により高水敷のグラウンドの状態が悪かったためスポーツの利用者が少なかったり、平成21年度では調査日当日に開催されていたイベントが平成26年度では開催されなかったためである。

平成26年度の吉野川における年間河川空間利用者総数(推計)は約88.7万人であり、沿川市区町村人口(約61.7万人)からみた年間平均利用回数は約1.4回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数(推計)は約64.9万人の減少となった。これは、調査日の利用者数が減少したことと、一年を通して雨の日数が多かったためである。一方、水系全体では減少しているものの、今切川では利用者は増加した。これは、平成22年度に「今切川水辺プラザ」が完成したためと考えられる。

利用形態別では、「散策等」が48%と最も多く、次いで「スポーツ」の34%、「釣り」10%、「水遊び」8%であった。

利用場所別では、「高水敷」が66%と最も多く、次いで「堤防」の16%、「水面」10%、「水際」8%であった。

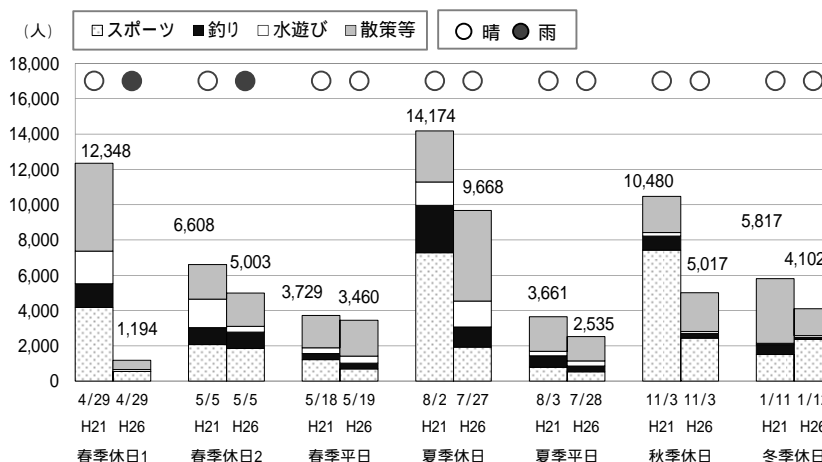


図 .82 各調査日の利用者数

表 .82 吉野川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態別	スポーツ	675	305	44%	34%
	釣り	175	84	11%	10%
	水遊び	106	74	7%	8%
	散策等	580	423	38%	48%
合計	1,536	887			
利用場所別	水面	100	87	6%	10%
	水際	181	71	12%	8%
	高水敷	995	587	65%	66%
	堤防	260	142	17%	16%
合計	1,536	887			

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

83. 那賀川（なかがわ）

那賀川における各調査日の利用者数をみると、冬季 1 月 12 日（成人の日）に 1,269 人が河川利用しており、最も多かった。

平成 21 年度と比較すると、春季 4 月 29 日（昭和の日）では、天候不良であったため、利用者数が減少した。

冬季 1 月 12 日（成人の日）、夏季 7 月 27 日（日）に「スポーツ」による利用が多く見られた。また、「堤防」及び「高水敷」を利用した「散策等」は、年間を通じた利用が見られた。

那賀川における河川空間利用は、堤防や高水敷での散策等に加え、施設の利用区域に存在するグラウンドや緑地公園での「スポーツ」利用が活発に行われていた。さらに、上下流の自然的利用区域では「釣り」などの利用を中心に、河川空間が利用されていた。一方、桑野川では、堤防上の「散策等」、次いで河口や水面での「釣り」の利用が多く見られた。

平成 26 年度的那賀川における年間河川空間利用者総数（推計）は約 15.2 万人であり、沿川市区町村人口（約 7.6 万人）からみた年間平均利用回数は約 2.0 回 / 人であった。

平成 21 年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約 22.4 万人の減少となった。

利用形態別では、「散策等」が 70%と最も多く、次いで「スポーツ」の 15%、「水遊び」10%、「釣り」5%であった。利用場所別では、「堤防」が 43%と最も多く、次いで「高水敷」の 42%、「水面」8%、「水際」7%であった。

利用状況の割合を平成 21 年度と比較すると、利用形態では、「水遊び」が増加し、「釣り」が減少した。利用場所では、「水面」で増加し、「水際」で減少した。

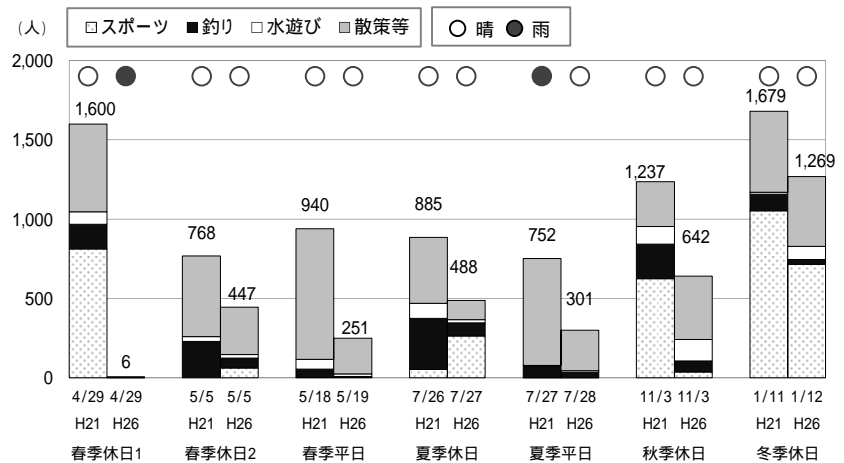


図 .83 各調査日の利用者数

表 .83 那賀川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計 (千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態別	スポーツ	54	23	14%	15%
	釣り	44	8	12%	5%
	水遊び	15	15	4%	10%
	散策等	263	107	70%	70%
合計	376	152			
利用場所別	水面	5	11	1%	8%
	水際	55	11	15%	7%
	高水敷	142	65	38%	42%
	堤防	175	65	46%	43%
	合計	376	152		

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

84. 土器川（どきがわ）

土器川における各調査日の利用者数をみると、夏季 7 月 27 日（日）に 3,752 人が河川利用しており、最も多かった。

利用形態別にみると、夏季 7 月 27 日（日）の「スポーツ」が約 2,800 人と最も多く、次いで、秋季 11 月 3 日（文化の日）の「スポーツ」が約 2,400 人の利用者であった。

調査地点別に見ると、土器川河川敷公園の利用者が突出して多く、約 6 割を占めた。

調査日の利用者数は、平成 21 年度と比較すると、平日は大きな違いは見られないものの、休日は秋季 11 月 3 日（文化の日）以外はいずれも利用者数が減少していた。春季 4 月 29 日（みどりの日）及び春季 5 月 5 日（こどもの日）は、今年度は雨天であり、平成 21 年度は晴天であったことが減少の理由と考えられる。

平成 26 年度の土器川における年間河川空間利用者総数（推計）は約 43.6 万人であり、沿川市区町村人口（約 13 万人）からみた年間平均利用回数は約 3.3 回 / 人であった。

平成 21 年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約 9.6 万人の減少となった。これは、調査日の「高水敷」の「スポーツ」（サッカー、野球等）の利用者数が減少したためと考えられる。

利用形態別では、「スポーツ」が 54%と最も多く、次いで「散策等」の 43%、「水遊び」2%、「釣り」1%であった。利用場所別では、「高水敷」が 80%と最も多く、次いで「堤防」の 17%、「水際」3%、「水面」0%であった。

利用状況の割合を平成 21 年度と比較すると、利用形態では「スポーツ」が減少した。利用場所では「高水敷」で減少した。

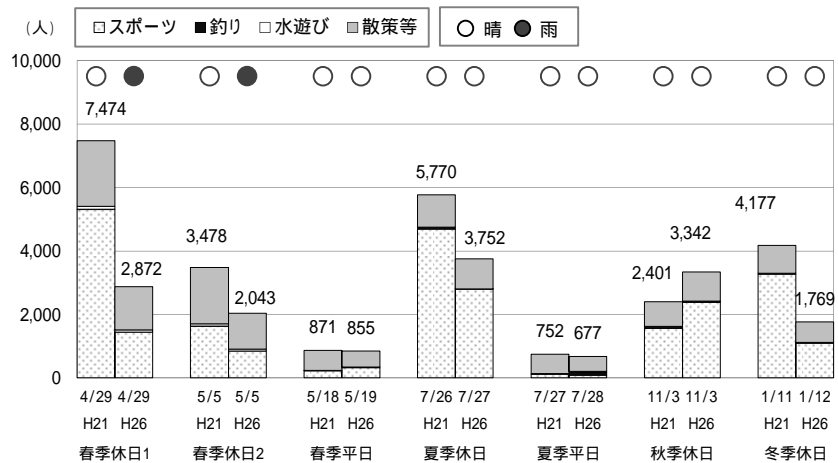


図 .84 各調査日の利用者数

表 .84 土器川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態	スポーツ	323	237	61%	54%
	釣り	2	6	0%	1%
	水遊び	5	7	1%	2%
	散策等	201	186	38%	43%
	合計	532	436		
利用場所	水面	2	1	0%	0%
	水際	6	12	1%	3%
	高水敷	456	350	86%	80%
	堤防	69	73	13%	17%
	合計	532	436		

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

85. 重信川（しげのぶがわ）

重信川における各調査日の利用者数をみると、春季4月29日（昭和の日）に5,128人が河川利用しており、最も多かった。この日は「スポーツ」の利用者が多く、これは重信川ソフトボール広場(8km 付近)で開かれた「松山市少年ソフトボール連盟前期リーグ戦」の出場者や見物人をカウントしたものである。春季5月5日（こどもの日）は休日にも関わらず、午前中の天候が小雨であったため、利用者数が少なくなったと考えられる。

平成26年度の重信川における年間河川空間利用者総数（推計）は約85.5万人であり、沿川市区町村人口（約64.2万人）からみた年間平均利用回数は約1.3回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約75.3万人の減少となった。これは、調査日の利用者数が減少したことに加え、平日係数が小さくなったためと考えられる。

利用形態別では、「散策等」が77%と最も多く、次いで「スポーツ」の21%、「水遊び」1%、「釣り」1%であった。重信川と石手川の高水敷はグラウンドや公園に利用されているほか、堤防も散歩しやすい歩道が整備されているため、「散策等」が多数を占めたものと考えられる。利用場所別では、「高水敷」が53%と最も多く、次いで「堤防」の44%、「水際」2%、「水面」1%であった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態では「散策等」が増加した。利用場所では「高水敷」で増加し、「堤防」で減少した。

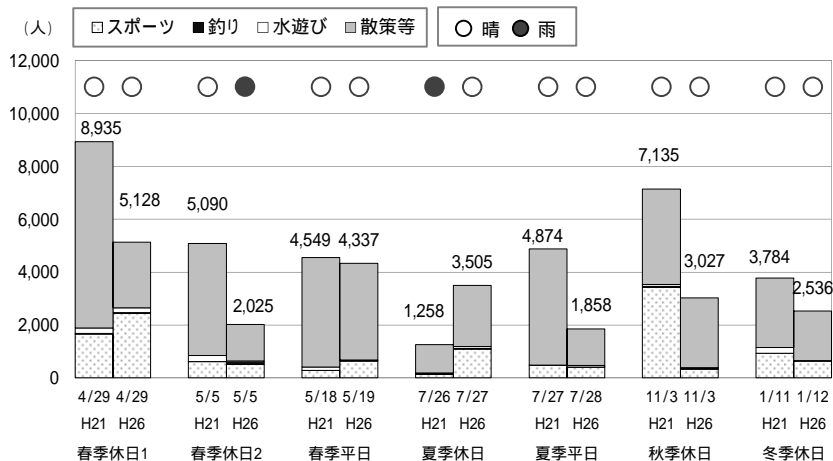


図 .85 各調査日の利用者数

表 .85 重信川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態別	スポーツ	416	178	26%	21%
	釣り	4	5	0%	1%
	水遊び	37	13	2%	1%
	散策等	1,151	658	72%	77%
合計	1,608	855			
利用場所別	水面	1	5	0%	1%
	水際	40	14	3%	2%
	高水敷	724	456	45%	53%
	堤防	843	380	52%	44%
合計	1,608	855			

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

86. 肱川（ひじかわ）

肱川における各調査日の利用者数をみると、春季5月5日（こどもの日）に579人が河川利用しており、最も多かった。

利用形態別の利用者数は、春季4月29日（昭和の日）の「散策等」が最も多かった。

各調査日とも利用者が多い地点は、右岸18km付近の肱川緑地公園であった。この地点は、スポーツ、散策等憩いの場となっている。

平成26年度の肱川における年間河川空間利用者総数（推計）は約39.7万人であり、沿川市区町村人口（約4.6万人）からみた年間平均利用回数は約8.6回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約2.8万人の増加となった。

利用形態別では、「散策等」が82%と最も多く、次いで「水遊び」の9%、「スポーツ」5%、「釣り」4%であった。利用場所別では、「高水敷」が74%と最も多く、次いで「堤防」の13%、「水際」8%、「水面」5%であった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態ではほぼ同程度であった。利用場所では「高水敷」で減少した。

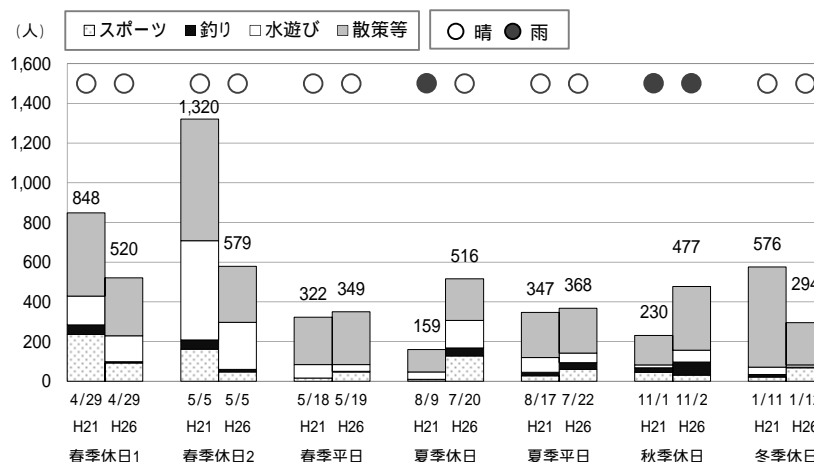


図 .86 各調査日の利用者数

表 .86 肱川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態別	スポーツ	15	18	4%	5%
	釣り	7	16	2%	4%
	水遊び	27	36	7%	9%
	散策等	319	327	87%	82%
合計	368	397			
利用場所別	水面	18	19	5%	5%
	水際	18	33	5%	8%
	高水敷	297	294	80%	74%
	堤防	36	50	10%	13%
合計	368	397			

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

87. 物部川（ものべがわ）

物部川における各調査日の利用者数をみると、夏季7月27日（日）に1,780人が河川利用しており、最も多かった。

利用形態別にみると、春季4月29日（昭和の日）の「スポーツ」が1,198人と最も多かった。

各調査日とも利用者が多い地点は、左岸では8km、13km、右岸では4km、11km、12kmであった。

平成26年度の物部川における年間河川空間利用者総数（推計）は約20.7万人であり、沿川市区町村人口（約11.2万人）からみた年間平均利用回数は約1.8回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約1.9万人の増加となった。

利用形態別では、「散策等」が40%と最も多く、次いで「釣り」12%、「水遊び」8%であった。利用場所別では、「高水敷」が69%と最も多く、次いで「水際」の12%、「堤防」11%、「水面」8%であった。平成21年度と比較して、「スポーツ」の利用者数が増加した。これは、「高水敷」などの運動場でスポーツの利用が盛んに行われたためである。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態では「スポーツ」が増加し、「水遊び」、「散策等」が減少した。利用場所では「高水敷」で増加し、「水際」、「堤防」で減少した。

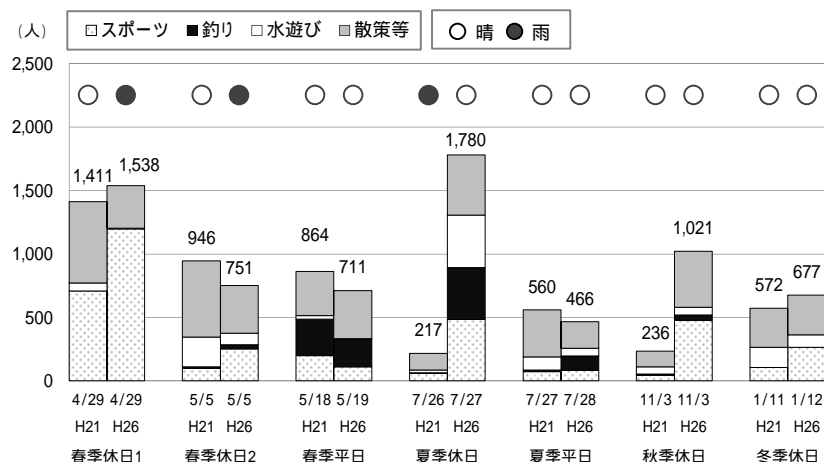


図 .87 各調査日の利用者数

表 .87 物部川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態別	スポーツ	41	82		
	釣り	20	26		
	水遊び	29	17		
	散策等	98	83		
	合計	188	207		
利用場所別	水面	7	17		
	水際	42	26		
	高水敷	100	142		
	堤防	39	22		
	合計	188	207		

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

88. 仁淀川（によどがわ）

仁淀川における各調査日の利用者数をみると、夏季7月27日（日）に6,241人が河川利用しており、最も多かった。

利用形態別にみると、夏季7月27日（日）の「水遊び」が4,878人と最も多かった。仁淀川の河川敷にはスポーツ利用ができる河川利用施設がないため、「スポーツ」の利用は少なかった。

各調査日とも利用者が多い地点は、左岸では8 km、13 km、右岸では11 km、12 kmであった。これらの地点は国道や県道の橋が架かっているか、もしくは川に接しているとともに広い河原がある地点となっており、自家用車を利用しての河川利用が大部分を占めていた。

利用形態別にみると、「水遊び」は左岸の8 km、13 km、右岸12 kmで多く、「散策等」は右岸の11 kmで多かった。また、「釣り」はほぼ全域でアユ釣りが行われており、河口付近ではわずかではあるが、水上スポーツにも利用されていた。

平成26年度の仁淀川における年間河川空間利用者総数（推計）は約53.7万人であり、沿川市区町村人口（約40.3万人）からみた年間平均利用回数は約1.3回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約20.4万人の増加となった。これは、例年利用者が多い夏季休日において、平成21年度は雨により利用者が少なく、その影響で、平成21年度の年間利用者数も少なくなったためと考えられる。

利用形態別では、「散策等」が57%と最も多く、次いで「水遊び」の41%、「釣り」2%、「スポーツ」0%であった。

利用形態別では、「水際」が33%と最も多く、次いで「高水敷」の31%、「堤防」26%、「水面」10%であった。

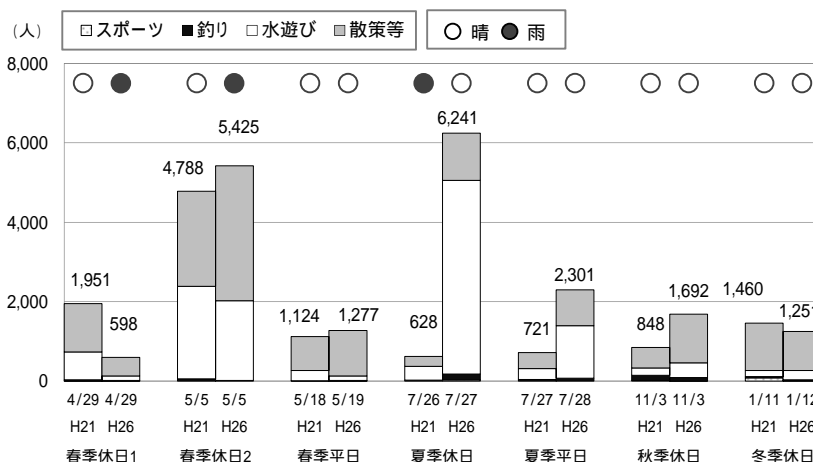


図 .88 各調査日の利用者数

表 .88 仁淀川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態別	スポーツ	5	1	1%	0%
	釣り	14	11	4%	2%
	水遊び	103	218	31%	41%
	散策等	212	306	64%	57%
合計	333	537			
利用場所別	水面	4	53	1%	10%
	水際	112	177	34%	33%
	高水敷	117	166	35%	31%
	堤防	101	141	30%	26%
合計	333	537			

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

89. 渡川（わたりがわ）

渡川における各調査日の利用者数をみると、春季4月29日（昭和の日）に1,134人が河川利用しており、最も多かった。

利用形態別にみると、「水遊び」は春季5月19日（月）から増加し、夏季7月27日（日）で最大となり、その後の秋季と冬季の調査では減少した。

四万十市の平野部は例年5月半ば頃から夏を思わせる気候となり、加えて、四万十川は「日本最後の清流」と呼ばれ全国的に知名度が高いことから、夏季を中心に屋形船やカヌー等を楽しみに多くの観光客が訪れる。これに対し、地元住民が主体となる「スポーツ」や「散策等」は気温が高い夏季に少なく、秋から春先にかけて多い傾向を示した。

また、「スポーツ」の利用場所はテニスコートやサッカー場等が整備されている四万十川9.0～10.0km付近左右岸の高水敷等に限られており、「スポーツ」の利用者が最も多かった春季5月5日（こどもの日）でも、同日利用者の10%程度であった。「釣り」の利用は全体的に少なく、最大でも秋季11月3日（文化の日）の254人で、同日利用者の20%程度に留まった。ただし、落ち鮎漁が12月1日に解禁されると、漁場となる四万十川橋（通称：赤鉄橋）付近の瀬は多くの釣り客で賑わい、四万十川の冬の風物詩となっている。

平成26年度の渡川における年間河川空間利用者総数（推計）は約27.8万人であり、沿川市区町村人口（約3.5万人）からみた年間平均利用回数は約7.9回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約5.7万人の減少となった。

利用形態別では、「散策等」が47%と最も多く、次いで「水遊び」の32%、「釣り」13%、「スポーツ」8%であった。利用場所別では、「堤防」「水面」が30%と最も多く、次いで「高水敷」25%、「水際」15%であった。

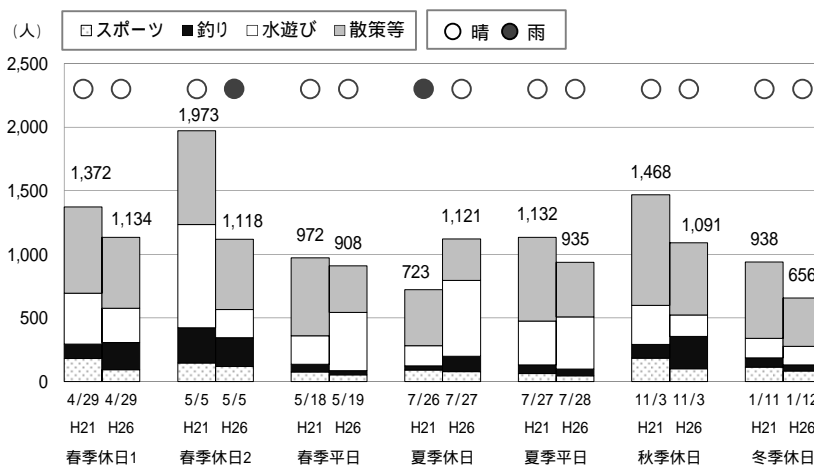


図 .89 各調査日の利用者数

表 .89 渡川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態別	スポーツ	33	22	10%	8%
	釣り	24	35	7%	13%
	水遊び	82	90	24%	32%
	散策等	196	131	59%	47%
合計	335	278			
利用場所別	水面	62	83	18%	30%
	水際	44	42	13%	15%
	高水敷	96	70	29%	25%
	堤防	133	83	40%	30%
合計	335	278			

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

- 9 . 九州地方の河川空間利用実態

(1) 九州地方の河川空間利用実態の概要

九州地方の水系では、各調査日の利用者数をみると、春季 4 月 29 日(昭和日本) の 63,658 人が最も多く、次いで夏季 7 月 27 日 (日) が 67,292 人と多かった。

平成 21 年度と比較すると、春季 5 月 5 日 (こどもの日) で減少し、7 月 27 日 (日) で増加した。この主な要因として、春季 5 月 5 日 (こどもの日) は天候不良の河川が多く、利用者が減少したと考えられる。一方、7 月 27 日 (日) において、平成 21 年度は「中国・九州北部豪雨」の影響で利用者が減少したものと考えられる。

年間河川空間利用者総数 (推計) は、約 1,373 万人であり、沿川市区町村人口 (約 687 万人) からみた年間平均利用回数は約 2 回 / 人である。平成 21 年度と比較して、約 268 万人の増加となった。この主な要因として、平成 26 年度には平成 21 年度の「中国・九州北部豪雨」のような出水の影響を受けなかったこと、平成 21 年度には改修中であった箇所が平成 26 年度には整備が終了したことがあげられる。

利用形態別では、「散策等」が 68% (全国平均約 54%) と最も高く、次いで「スポーツ」の 20% (同 37%) 「釣り」7% (同 4%) 「水遊び」5% (同 4%) となった。

また利用場所別では、「高水敷」が 50% (全国平均約 65%) と最も高く、次いで「堤防」の 37% (同 27%) 「水際」9% (同 6%) 「水面」4% (同 3%) と続いた。

利用状況の割合を平成 21 年度と比較すると、利用形態では「散策等」が増加し、「釣り」が減少した。利用場所では「堤防」で増加し、「水際」で減少した。

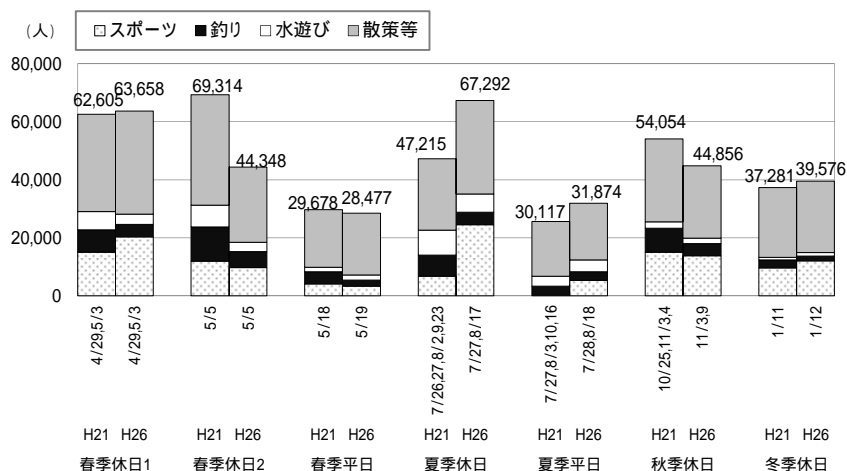


図 . 各調査日の利用者数

表 . 九州地方の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計 (千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態	スポーツ	2,193	2,809		
	釣り	1,420	902		
	水遊び	765	742		
	散策等	6,679	9,280		
合計	11,057	13,733			
利用場所別	水面	622	539		
	水際	1,573	1,210		
	高水敷	5,603	6,941		
	堤防	3,258	5,044		
	合計	11,057	13,733		

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

(2) 九州地方における河川空間利用実態の状況

九州地方における各水系の年間利用者数をみると、平成21年度調査と比較して、20水系のうち15水系（山国川、筑後川、矢部川、松浦川、六角川、嘉瀬川、本明川、球磨川、大分川、大野川、番匠川、五ヶ瀬川、小丸川、大淀川、肝属川）が増加し、5水系（遠賀川、菊池川、白川、緑川、川内川）が減少した。

九州地方における利用形態別の特徴は、「散策等」の利用が多いことである。特に、嘉瀬川、本明川、菊池川、白川、大分川、肝属川で「散策等」の利用割合が高く、全体の約9割を占めている。遠賀川や大淀川では「スポーツ」の利用割合が、他の河川に比べて高い。遠賀川や松浦川、五ヶ瀬川では「釣り」の利用割合が、他の河川に比べて高くなっている。

九州地方における利用場所別の特徴は、「堤防」の利用が多いことである。特に、山国川、六角川、番匠川、肝属川で「堤防」の利用割合が高い。また、「水面」や「水際」の利用割合が高い河川が多い。

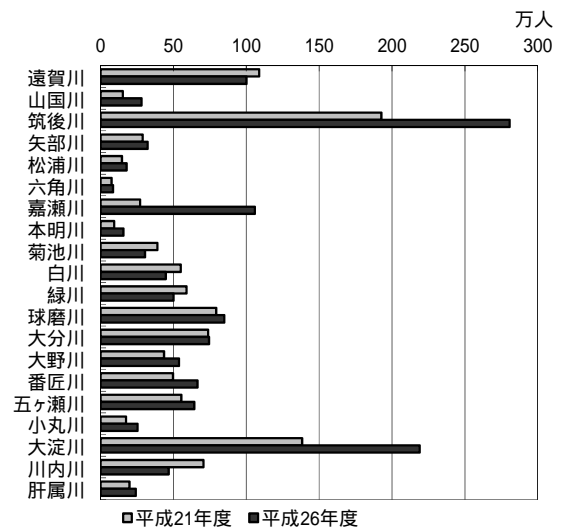


図 - 1.年間推計値の対比(平成21・26年度)

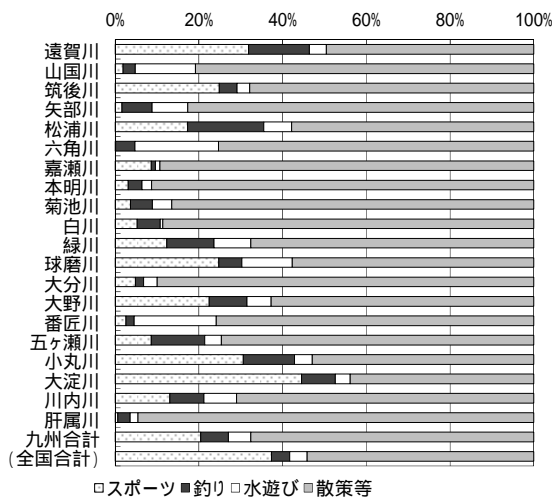


図 - 2.利用形態別グラフ(平成26年度)

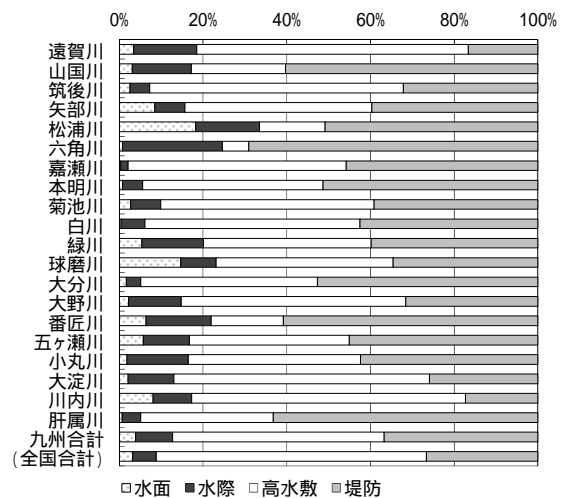


図 - 3.利用場所別グラフ(平成26年度)

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

(3) 九州地方における各水系の河川空間利用実態

90. 遠賀川(おんががわ)

遠賀川における各調査日の利用者数をみると、夏季7月27日(日)に9,499人が河川利用しており、最も多かった。この日には、河川敷各地で多くのイベントが開催されており、キャンプや散策等での利用者が多かった。

利用形態別でも、夏季7月27日(日)の「散策等」が最も多かった。飯塚市から水巻町にかけて河川敷には様々なスポーツ設備や芝生が整備されており、多くの利用者が訪れていた。

平成21年度は春季5月5日(こどもの日)の利用者が最も多かったが、今年は降雨も見られたため、利用者数が減少した。

平成26年度の遠賀川における年間河川空間利用者総数(推計)は約100万人であり、沿川市区町村人口(約59万人)からみた年間平均利用回数は約1.7回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数(推計)は約8.8万人の減少となった。

利用形態別では、「散策等」が50%と最も多く、次いで「スポーツ」の32%、「釣り」14%、「水遊び」4%であった。利用形態別では、「高水敷」が65%と最も多く、次いで「堤防」の17%、「水際」15%、「水面」3%であった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態では「スポーツ」が増加し、「散策等」が減少した。利用場所では「高水敷」で増加し、「水際」、「堤防」で減少した。平成26年度は夏季の降雨日数が多く、夏季の利用者数が減少したため、平成21年度と比較して利用形態や利用場所に違いが生じたと考えられる。

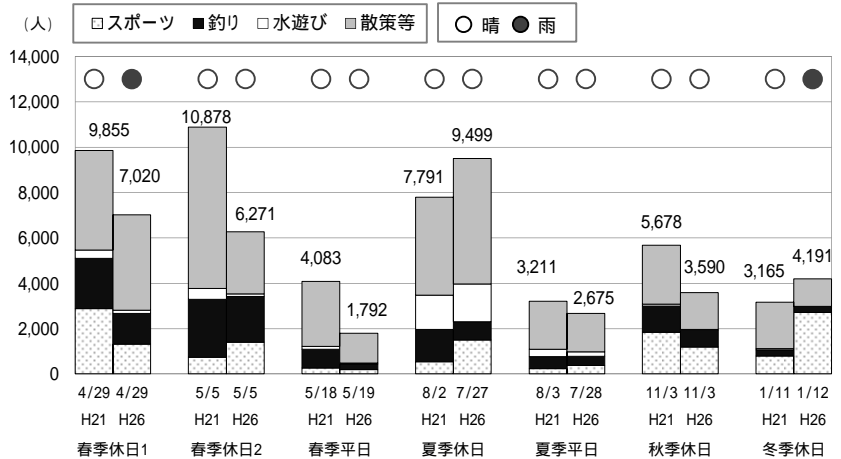


図 .90 各調査日の利用者数

表 .90 遠賀川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態別	スポーツ	179	319	16%	32%
	釣り	206	145	19%	14%
	水遊び	61	40	6%	4%
	散策等	642	496	59%	50%
合計	1,088	1,000			
利用場所別	水面	45	35	4%	3%
	水際	221	150	20%	15%
	高水敷	538	649	50%	65%
	堤防	283	167	26%	17%
合計	1,088	1,000			

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

91. 山国川（やまくにがわ）

山国川における各調査日の利用者数をみると、秋季 11 月 3 日（文化の日）に 1,884 人が河川利用しており、最も多かった。

春季になると中津川河口域で潮干狩りを目的とした「水遊び」が多くみられた。夏季にはアユ釣りの解禁に伴い、上流域で「釣り」を楽しむ姿が多く確認された。

各調査日とも利用者の多い地点は、主要幹線道路からのアクセスのよい山国川本川の左岸 1～3km 区間、同じく本川の右岸 16～17km 区間であった。1～3km 区間は、左岸高水敷にローラースケート場があり、施設を利用し軽い運動を行う人や、高水敷での散策や犬の散歩に訪れる人が多かった。16～17km 区間は、名勝“青の洞門”、“競秀峰”があり、秋の紅葉シーズンになると観光客や家族連れが多く訪れていた。

平成 26 年度の山国川における年間河川空間利用者総数（推計）は約 28 万人であり、沿川市区町村人口（約 24.3 万人）からみた年間平均利用回数は約 1.2 回/人であった。

平成 21 年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約 12.7 万人の増加となった。

利用形態別では、「散策等」が 81%と最も多く、次いで「水遊び」の 14%、「釣り」3%、「スポーツ」2%であった。利用形態別では、「堤防」が 60%と最も多く、次いで「高水敷」の 23%、「水際」14%、「水面」3%であった。

利用状況の割合を平成 21 年度と比較すると、利用形態では「散策等」が増加し、「釣り」が減少した。利用場所では「堤防」で増加し、「水際」、「高水敷」で減少した。

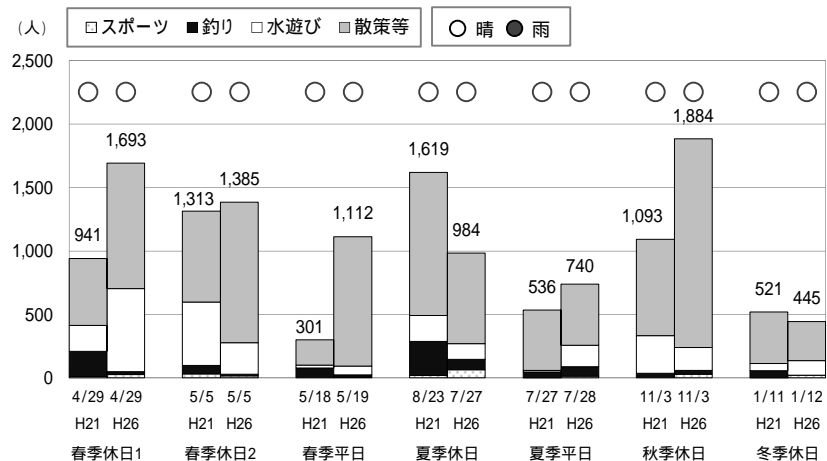


図 .91 各調査日の利用者数

表 .91 山国川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態別	スポーツ	1	5	1%	2%
	釣り	17	8	11%	3%
	水遊び	26	40	17%	14%
	散策等	109	227	71%	81%
合計	153	280			
利用場所別	水面	7	9	5%	3%
	水際	36	40	24%	14%
	高水敷	54	63	35%	23%
	堤防	56	169	36%	60%
合計	153	280			

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

92. 筑後川（ちくごがわ）

筑後川における各調査日の利用者数をみると、夏季7月27日（日）に15,902人が河川利用しており、最も多かった。

平成21年度と比較して、夏季休日の利用者数が増加したのは、平成21年度の夏季休日の調査が8月に実施され、スポーツ大会などの定期日に行われる行事が回避されたためである。平成26年度の利用者数は、夏季休日調査を7月に行った平成18年度と比較すると同じ傾向にあった。

利用者が多い春季4月29日（昭和の日）と夏季7月27日（日）の利用形態は、「スポーツ」と「散策等」が多く、特に筑後川中流域の河川敷（26.4～30.0km付近）には野球場・サッカー場及び多くの公園等があり、イベントやスポーツ大会などで活発に利用する人が多いと考えられる。この時の利用場所は、「高水敷」を大部分が占める。河川利用では、グラウンド・公園・駐車場等の河川利用施設が活発に利用されていると考えられる。

平成26年度の筑後川における年間河川空間利用者総数（推計）は約280.7万人であり、沿川市区町村人口（約101万人）からみた年間平均利用回数は約2.8回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約88万人の増加となった。

利用形態別では、「散策等」が68%と最も多く、次いで「スポーツ」の25%、「釣り」4%、「水遊び」3%であった。利用形態別では、「高水敷」が61%と最も多く、次いで「堤防」の32%、「水際」5%、「水面」2%であった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態では「散策等」が増加し、「釣り」、「スポーツ」が減少した。利用場所では「堤防」で増加し、「水際」、「高水敷」で減少した。

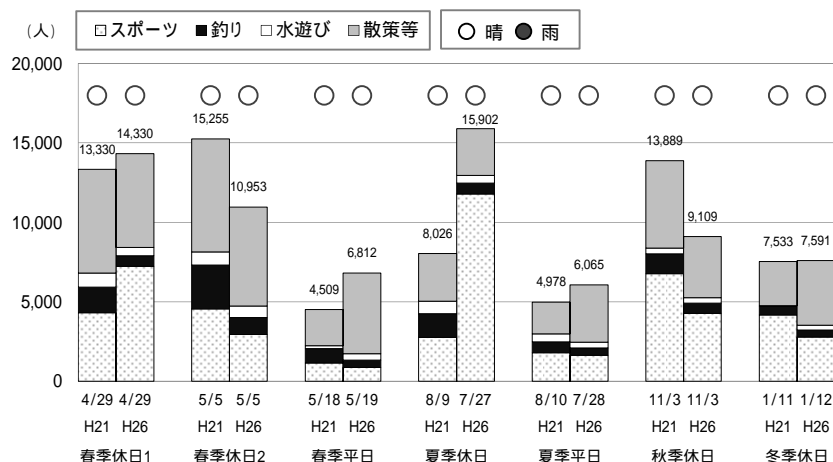


図 .92 各調査日の利用者数

表 .92 筑後川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態	スポーツ	791	699	41%	25%
	釣り	241	120	13%	4%
	水遊び	86	85	4%	3%
	散策等	809	1,903	42%	68%
合計	1,928	2,807			
利用場所	水面	70	72	4%	2%
	水際	258	133	13%	5%
	高水敷	1,423	1,701	74%	61%
	堤防	177	902	9%	32%
合計	1,928	2,807			

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

93. 矢部川（やべがわ）

矢部川における各調査日の利用者数をみると、秋季 11 月 3 日（文化の日）に 1,289 人が河川利用しており、最も多かった。

秋季 11 月 3 日（文化の日）と冬季 1 月 12 日（成人の日）の利用形態は、「散策等」が最も多く、「スポーツ」の利用は少なかった。なお、夏季 7 月 27 日（日）は中ノ島公園付近の水際（10.0～13.0km 付近）で「釣り」や「水遊び」をする人が多く見られた。

秋季 11 月 3 日（文化の日）と冬季 1 月 12 日（成人の日）の利用場所は、「高水敷」と「堤防」の利用者数が河川利用者数全体の大部分を占め、利用区域別をみると、自然的利用が多かった。

平成 26 年度の矢部川における年間河川空間利用者総数（推計）は約 32.2 万人であり、沿川市区町村人口（約 22.5 万人）からみた年間平均利用回数は約 1.4 回/人であった。

平成 21 年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約 3.2 万人の増加となった。利用形態別では、「散策等」が 83%と最も多く、次いで「水遊び」の 8%、「釣り」7%、「スポーツ」2%であった。利用形態別では、「高水敷」が 45%と最も多く、次いで「堤防」の 40%、「水面」8%、「水際」7%であった。

利用状況の割合を平成 21 年度と比較すると、利用形態では「散策等」が増加し、「釣り」が減少した。利用場所では「高水敷」で増加し、「水際」で減少した。

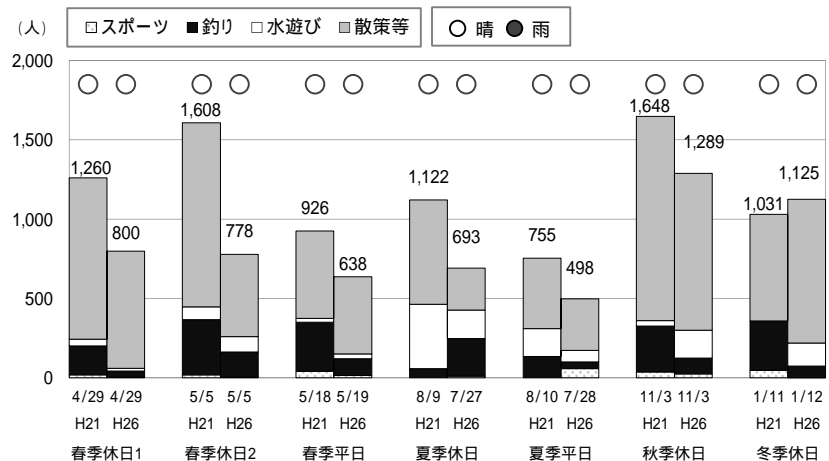


図 .93 各調査日の利用者数

表 .93 矢部川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態別	スポーツ	7	5	3%	2%
	釣り	64	23	22%	7%
	水遊び	21	27	7%	8%
	散策等	198	266	68%	83%
合計	290	322			
利用場所別	水面	6	27	2%	8%
	水際	79	23	27%	7%
	高水敷	98	144	34%	45%
	堤防	107	128	37%	40%
合計	290	322			

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

94. 松浦川（まつうらがわ）

松浦川における各調査日の利用者数をみると、春季4月29日（昭和の日）に1,456人が河川利用しており、最も多かった。

本川の松浦川では「散策等」の利用に次いで「スポーツ」、「釣り」の利用が多く、支川の徳須恵川、巖木川では「釣り」の割合が大きかった。各調査日ともに利用者数が多い場所は、本川の松浦川では運動場やレクリエーション空間などの河川利用施設が整備されている場所、かつ水際にまで容易に近づける場所であり、水上スポーツ利用としてボートなどの利用がみられた。支川巖木川では、水際の釣りの利用が多かった。

平成26年度の松浦川における年間河川空間利用者総数（推計）は約17.9万人であり、沿川市区町村人口（約23.5万人）からみた年間平均利用回数は約0.8回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約3.2万人の増加となった。平成21年度調査日には河川の改修工事が多く、堤防や高水敷に容易に近づけなかったため、利用者が減少したと考えられる。また、巖木あゆまつり等のイベントにおける利用者数も、平成21年度と比較して増加した。

利用形態別では、「散策等」が58%と最も多く、次いで「釣り」の18%、「スポーツ」17%、「水遊び」7%であった。「スポーツ」の利用者は、平成21年度には確認されなかったが、平成26年度では、主に河口部の河畔レクリエーション緑地における野球等で確認された。

利用形態別では、「堤防」が51%と最も多く、次いで「水面」の18%、「高水敷」16%、「水際」15%であった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態では「スポーツ」が増加し、「散策等」が減少した。利用

場所では「高水敷」、「水面」で増加し、「堤防」で減少した。

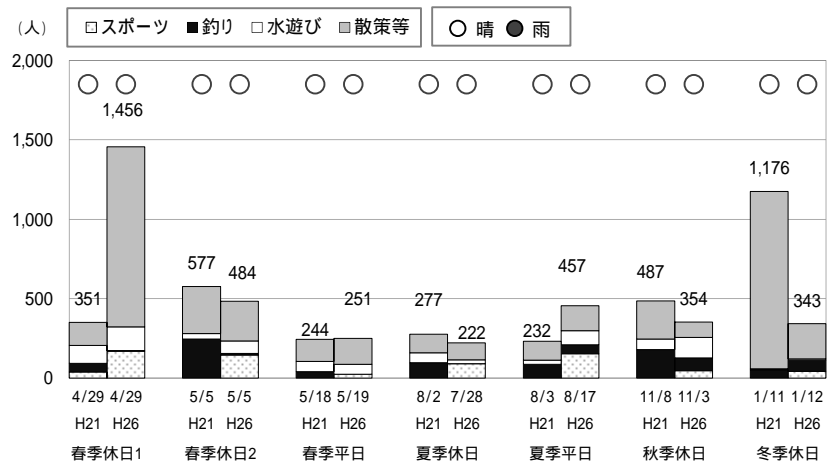


図 .94 各調査日の利用者数

表 .94 松浦川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態	スポーツ	0	31	0%	17%
	釣り	28	33	19%	18%
	水遊び	13	12	9%	7%
	散策等	105	103	72%	58%
別合計		147	179		
利用場所	水面	18	33	12%	18%
	水際	23	27	16%	15%
	高水敷	15	28	10%	16%
	堤防	91	91	62%	51%
別合計		147	179		

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

95. 六角川(ろっかくがわ)

六角川における各調査日の利用者数をみると、春季4月29日(昭和の日)に1,090人が河川利用しており、最も多かった。

利用形態別でも、春季4月29日(昭和の日)の「散策等」が最も多く、特に六角川の河口付近での堤防の散策の利用が多かった。次いで、「水遊び」の利用が多く、主に六角川の河口付近に位置する干潟体験施設での水遊びによる利用であった。その他、干潟体験施設での自然観察やムツゴロウなどの干潟生物の写真撮影の利用も多かった。

六角川・牛津川・武雄川は、水辺のほとんどが干潟とヨシ原で覆われているため、河川利用は堤防上での日常的な散策が主となっている。しかし、六角川河口付近では漁船作業や、干潟体験施設での自然観察・自然体験等での水際での利用が多く確認された。

平成26年度の六角川における年間河川空間利用者総数(推計)は約8.5万人であり、沿川市区町村人口(約20.4万人)からみた年間平均利用回数は約0.4回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数(推計)は約1万人の増加となった。

利用形態別では、「散策等」が75%と最も多く、次いで「水遊び」の20%、「釣り」5%、「スポーツ」0%であった。利用形態別では、「堤防」が69%と最も多く、次いで「水際」の24%、「高水敷」6%、「水面」1%であった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態では「散策等」が増加し、「釣り」、「水遊び」が減少した。利用場所では「堤防」で増加し、「水面」で減少した。

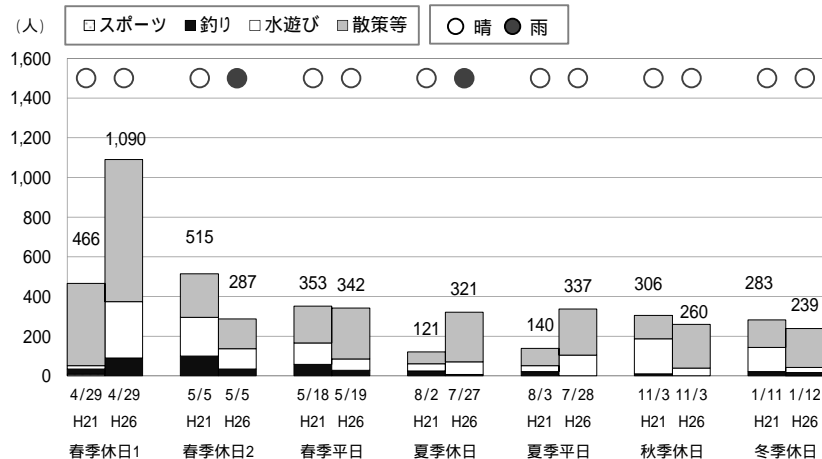


図 .95 各調査日の利用者数

表 .95 六角川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態	スポーツ	0	0	0%	0%
	釣り	7	4	10%	5%
	水遊び	30	17	40%	20%
	散策等	37	64	50%	75%
別合計	75	85			
利用場所	水面	19	1		1%
	水際	18	20	26%	24%
	高水敷	8	5	11%	6%
	堤防	30	59	39%	69%
別合計	75	85			

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

96. 嘉瀬川（かせがわ）

嘉瀬川における各調査日の利用者数をみると、春季4月29日（昭和の日）に1,840人が河川利用しており、最も多かった。この日の利用形態は、「高水敷」の施設的使用（グラウンド等）での「スポーツ」が大部分を占めていた。次いで、利用者数が多い春季5月5日（こどもの日）の利用形態は、「散策等」が多かった。

東山田地区の環境整備（グラウンド等）により、「スポーツ」の利用者数が増加しており、特に春季4月29日（昭和の日）はその効果が顕著に見られた。

平成26年度の嘉瀬川における年間河川空間利用者総数（推計）は約106万人であり、沿川市区町村人口（約28.2万人）からみた年間平均利用回数は約3.8回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約78.8万人の増加となった。この主な要因は、秋季に嘉瀬川高水敷で開催される“佐賀インターナショナルバルーンフェスタ”の来訪者数の加算の有無である。

利用形態別では、「散策等」が89%と最も多く、次いで「スポーツ」の9%、「水遊び」1%、「釣り」1%であった。利用形態別では、「高水敷」が52%と最も多く、次いで「堤防」の46%、「水際」2%、「水面」0%であった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態では「散策等」が増加し、「釣り」、「スポーツ」が減少した。利用場所では「堤防」で増加し、「水際」、「高水敷」で減少した。

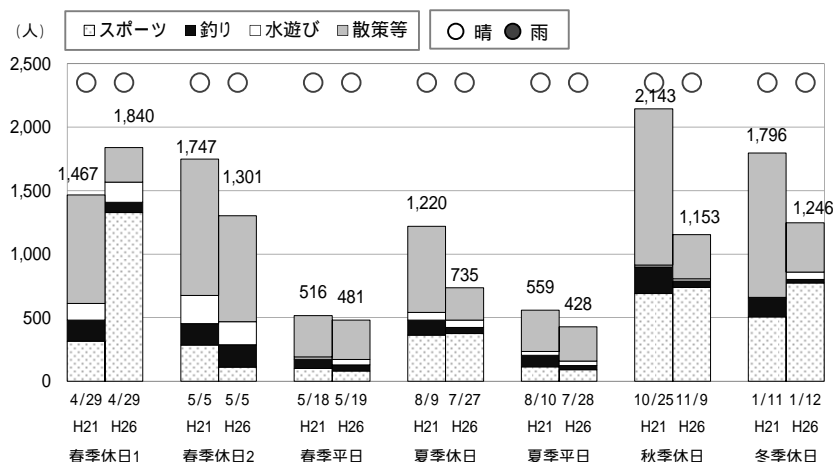


図 .96 各調査日の利用者数

表 .96 嘉瀬川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態別	スポーツ	72	92	26%	9%
	釣り	29	11	11%	1%
	水遊び	8	11	3%	1%
	散策等	162	946	60%	89%
合計	272	1,060			
利用場所別	水面	9	4	4%	0%
	水際	28	18	10%	2%
	高水敷	171	552	63%	52%
	堤防	63	485	23%	46%
合計	272	1,060			

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

97. 本明川（ほんみょうがわ）

本明川における各調査日の利用者数をみると、夏季7月27日（日）に1,285人が河川利用しており、最も多かった。この日には、本明川本川の裏山橋付近で「魚つかみどり大会」、不知火橋付近で「コスモスの種蒔き」が開催され、多くの人が集まったことが要因と考えられる。また、2番目に多い利用者数であった秋季11月3日（文化の日）は、干陸地フラワーゾーンで開催されていたコスモス祭に多くの人出が見られた。

平成26年度の本明川における年間河川空間利用者総数（推計）は約15.6万人であり、沿川市区町村人口（約13.8万人）からみた年間平均利用回数は約1.1回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約6.2万人の増加となった。

利用形態別では、「散策等」が92%と最も多く、次いで「釣り」の3%、「スポーツ」3%、「水遊び」2%であった。「散策等」には前述したイベントによる人出も含まれているが、本明川水系では中流域（市街地）を中心にウォーキング、ジョギング、ランニングによる利用が目立ち、近年の健康志向に伴い体を動かす場として地域住民により河川空間が利用されているものと考えられる。また、高水敷の管理用道路や半造川合流部右岸側の緩傾斜護岸等の親水性を高める河川整備や地元NPOとの協同による定期的な除草等の河川管理により地域住民を河川空間へと導いているものと思われる。

利用形態別では、「堤防」が51%と最も多く、次いで「高水敷」の43%、「水際」5%、「水面」1%であった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態では「散策等」が増加し、「釣り」が減少した。利用場所では「水際」で減少した。

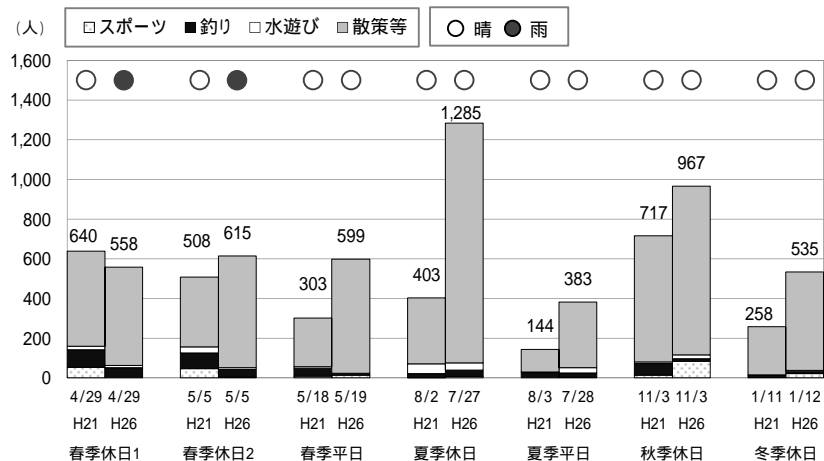


図 .97 各調査日の利用者数

表 .97 本明川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態	スポーツ	2	5	3%	3%
	釣り	10	5	10%	3%
	水遊び	2	4	3%	2%
	散策等	79	142	84%	92%
利用形態合計	94	156			
利用場所	水面	1	1	1%	1%
	水際	11	7	12%	5%
	高水敷	36	67	39%	43%
	堤防	45	80	48%	51%
利用場所合計	94	156			

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

98. 菊池川(きくちがわ)

菊池川における各調査日の利用者数をみると、春季5月3日(憲法記念日)に3,176人が河川利用しており、最も多かった。この日には、BBQ利用者が多くみられた。

平成21年度と比較した各調査日の利用者数は、春季5月3日(憲法記念日)以外で減少した。平成21年度の夏季休日にはペーロン大会が開催されており、多くの利用者がみられたが、平成26年度は夏季休日の調査日とペーロン大会の開催日が異なったため、利用者数の減少がみられた。また、平成21年度の秋季11月3日(文化の日)や冬季1月12日(成人の日)には、スポーツ大会や子ども向けのイベントが開催されていたが、平成26年度には開催がみられず、利用者数が減少した。

年間を通じて利用者が多い地点は、上内田川1.4~1.7km(水辺プラザ附近)、菊池川14.2~15.2km緑地公園(白石地区)であった。これらの地点には、整備された公園や駐車場の他に多目的施設があり、そこを訪れた人々が河川を散策する姿が多くみられた。

平成26年度の菊池川における年間河川空間利用者総数(推計)は、約30.5万人であり、沿川市区町村人口(約21万人)からみた年間平均利用回数は約1.5回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数(推計)は約8.5万人の減少となった。

利用形態別では、「散策等」が86%と最も多く、次いで「釣り」の5%、「水遊び」5%、「スポーツ」4%であった。利用場所別では、「高水敷」が51%と最も多く、次いで「堤防」の39%、「水際」7%、「水面」3%であった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態では「散策等」が増加し、それ以外が減少した。利用場所では「堤防」「高水敷」で増加し、「水際」で減少した。

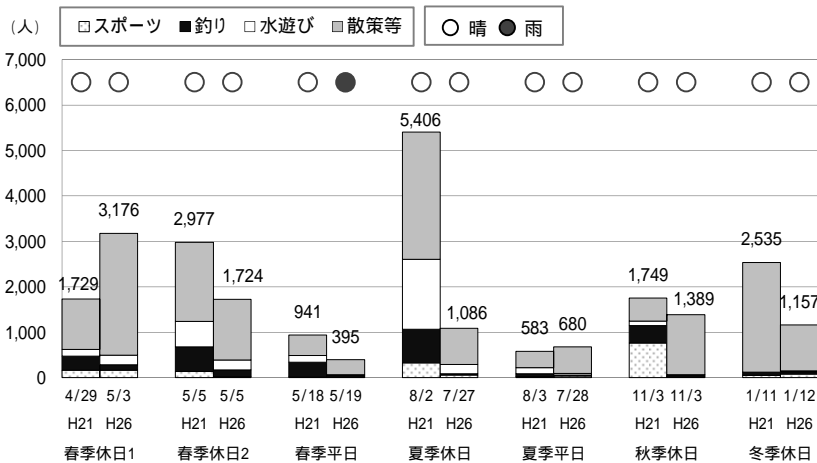


図.98 各調査日の利用者数

表.98 菊池川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態	スポーツ	42	11	11%	4%
	釣り	62	16	16%	5%
	水遊び	55	14	14%	5%
	散策等	232	264	59%	86%
別合計	391	305			
利用場所	水面	22	8	6%	3%
	水際	94	22	24%	7%
	高水敷	164	156	42%	51%
	堤防	110	119	28%	39%
別合計	391	305			

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

99. 白川（しらかわ）

白川における各調査日の利用者数をみると、冬季1月12日（成人の日）に2,935人が河川利用しており、最も多かった。利用形態別でも、冬季1月12日（成人の日）の「散策等」が最も多くなっており、白川沿いの河川敷では毎年1月15日頃に、小正月の火祭り行事である「どんどや」が各地域で実施されており、この日は3箇所で行われていた。

各調査日ともに利用者が多い地点は、8～14km 付近の市街部であり、堤防及び河川敷での散策が主であった。この地点は、遊歩道のある公園や河川広場などが存在し、市民の憩いの場となっているほか、朝夕の通勤・通学などで多く利用されていた。

平成26年度の白川における年間河川空間利用者総数（推計）は約44.8万人であり、沿川市区町村人口（約58.9万人）からみた年間平均利用回数は約0.8回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約10.3万人の減少となった。

利用形態別では、「散策等」が89%と最も多く、次いで「釣り」の5%、「スポーツ」5%、「水遊び」1%であった。利用形態別では、「高水敷」が51%と最も多く、次いで「堤防」の43%、「水際」6%、「水面」0%であった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態では「散策等」が増加し、「水遊び」、「スポーツ」が減少した。「水遊び」の利用者数の減少は、秋季休日及び冬季休日は快晴であったが、その他の調査日はあまり天候に恵まれなかったためと考えられる。

利用場所では「堤防」で増加し、「水際」で減少した。

「堤防」の利用者数は、平成21年度よりも増加した。これは、堤防の整備による利用者の増加のほか、日常から沿川の人々が河川を生活の一部として頻りに利用し

ていることを窺わせる結果となった。

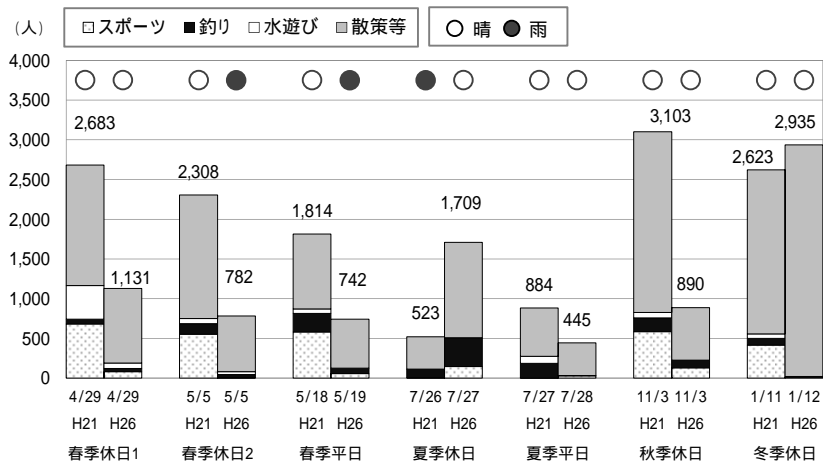


図 .99 各調査日の利用者数

表 .99 白川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態	スポーツ	98	23	18%	5%
	釣り	57	25	10%	5%
	水遊び	43	3	8%	1%
	散策等	353	397	64%	89%
別合計	550	448			
利用場所	水面	0	2	0%	0%
	水際	99	26	18%	6%
	高水敷	283	230	51%	51%
	堤防	168	190	31%	43%
別合計	550	448			

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

100. 緑川（みどりかわ）

緑川における各調査日の利用者数をみると、春季5月3日（憲法記念日）に2,602人が河川利用しており、最も多かった。

利用形態別でみると、年間を通して「散策等」の利用が多く、緑川では高水敷や堤防、加勢川や御船川では主に堤防が散歩等に利用されていた。春季や夏季の休日に「スポーツ」が多いのは、高水敷でサッカーや野球大会が開催されたためであり、「釣り」の利用については家族連れやアユ釣りの来訪者が多く見られた。

平成26年度の緑川における年間河川空間利用者総数（推計）は約50万人であり、沿川市区町村人口（約81.5万人）からみた年間平均利用回数は約0.6回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約8.9万人の減少となった。

利用形態別では、「散策等」が68%と最も多く、次いで「スポーツ」の12%、「釣り」11%、「水遊び」9%であった。利用形態別では、「高水敷」が40%と最も多く、次いで「堤防」の40%、「水際」15%、「水面」5%であった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態ではほぼ同程度であった。利用場所では「堤防」で増加した。

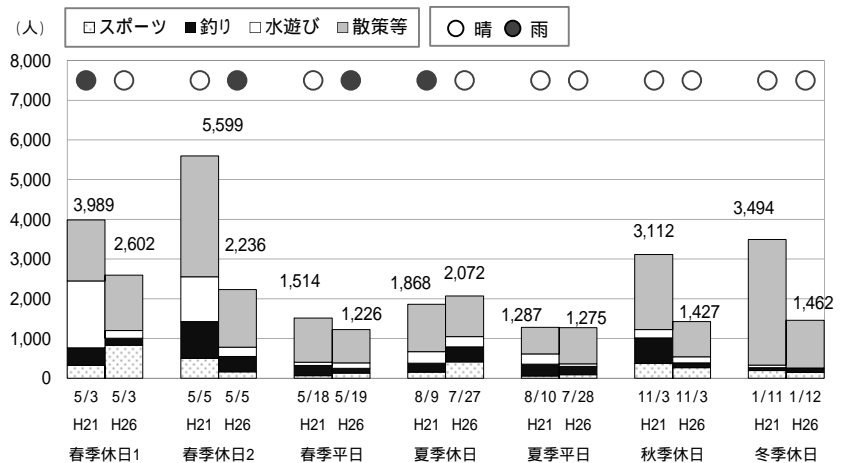


図 .100 各調査日の利用者数

表 .100 緑川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態	スポーツ	44	62	7%	12%
	釣り	86	57	15%	11%
	水遊び	70	44	12%	9%
	散策等	389	338	66%	68%
合計	590	500			
利用場所	水面	56	27	9%	5%
	水際	101	74	17%	15%
	高水敷	265	200	45%	40%
	堤防	168	199	29%	40%
合計	590	500			

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

101. 球磨川(くまがわ)

球磨川における各調査日の利用者数をみると、夏季7月27日(日)に5,791人が河川利用しており、最も多かった。この日の利用形態は「スポーツ」の利用が最も多く、その他の調査日はいずれも「散策等」が多かった。夏季の調査日には球磨川くだりやラフティングによる「水遊び」の利用が多く見られた。

利用場所別にみると、全調査日で「堤防」及び「高水敷」の利用者が多いが、夏季休日は「水面」の利用者数も多かった。

各調査日とも利用者数が多い地点は、球磨川の6~8km付近、61~62km付近、前川の3~5km付近であった。球磨川の6~8km付近(河川利用施設の球磨川スポーツ公園)では、「散策等」やスポーツの利用者数が多かった。

球磨川は、下流部では八代市の市街地を、上流部では人吉市、あさぎり町などを流下しており堤防や高水敷の広い区間があるため、散策等やスポーツの利用者が多くみられ、中流部の狭窄部の区間では、清流コースや急流コースとして球磨川くだりやラフティング等の利用者が盛んであった。

平成26年度の球磨川における年間河川空間利用者総数(推計)は約84.9万人であり、沿川市区町村人口(約26.9万人)からみた年間平均利用回数は約3.2回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数(推計)は約5.5万人の増加となった。

利用形態別では、「散策等」が58%と最も多く、次いで「スポーツ」の25%、「水遊び」12%、「釣り」5%であった。利用形態別では、「高水敷」が42%と最も多く、次いで「堤防」の35%、「水面」15%、「水際」8%であった。

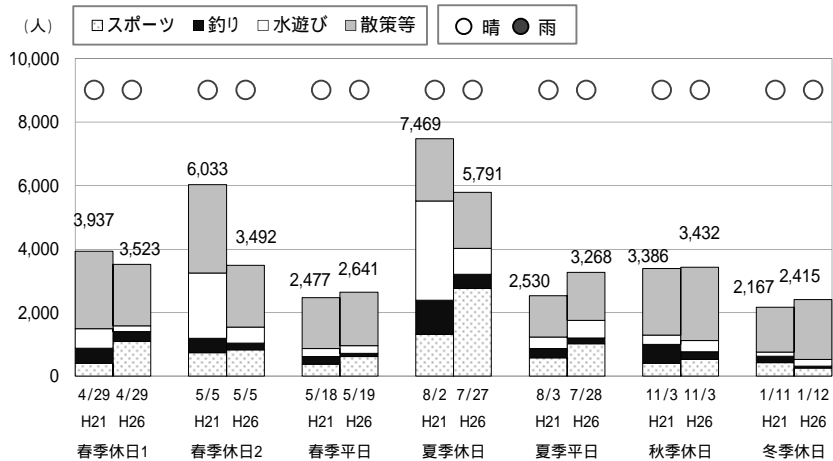


図 .101 各調査日の利用者数

表 .101 球磨川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態別	スポーツ	131	211		
	釣り	98	47		
	水遊び	140	102		
	散策等	425	490		
合計		794	849		
利用場所別	水面	151	125		
	水際	86	72		
	高水敷	302	359		
	堤防	254	294		
合計		794	849		

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

102. 大分川（おおいたがわ）

大分川における各調査日の利用者数をみると、夏季7月27日（日）に3,289人が河川利用しており、最も多かった。この日には、支川七瀬川（七瀬川自然公園）で「ななせの火群まつり」が開催されており、高水敷でバーベキューや水際で水遊びが行われていた。

大分川水系の河川利用の特徴は、市街地を流れる下流部は堤防や広い高水敷を利用した「散策等」が多く、特に平日の朝夕には通勤・通学に利用されていることである。

市街地より少し離れた中流～上流では、堤防での散策等、水面や水際での釣りが主であった。また、支川七瀬川において、七瀬川自然公園を除く区間では堤防での散策等、水面・水際での釣りが目立った。七瀬川自然公園では、休日ともなると高水敷でバーベキューやピクニック、水面では子供たちが遊ぶ姿が多く見られた。

平成26年度の大分川における年間河川空間利用者総数（推計）は約74.4万人であり、沿川市区町村人口（約47.9万人）からみた年間平均利用回数は約1.6回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約0.7万人の増加となった。

利用形態別では、「散策等」が90%と最も多く、次いで「スポーツ」の5%、「水遊び」3%、「釣り」2%であった。利用形態別では、「堤防」が53%と最も多く、次いで「高水敷」の42%、「水際」3%、「水面」2%であった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態では「散策等」が増加した。利用場所では「高水敷」で増加し、「堤防」で減少した。

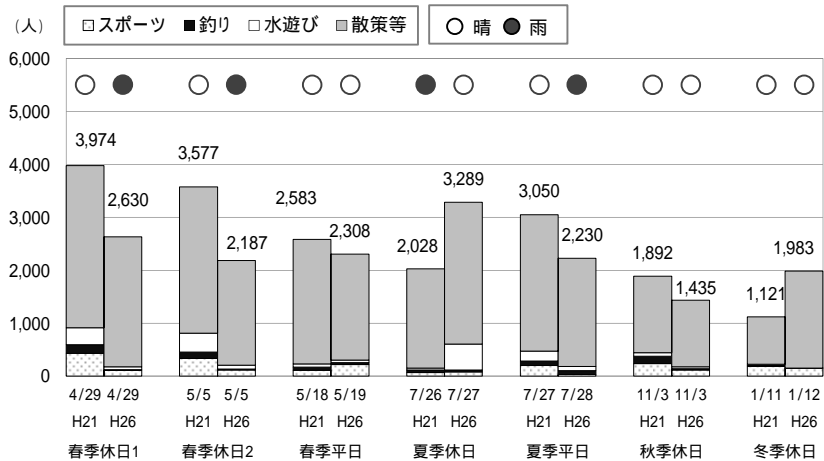


図 .102 各調査日の利用者数

表 .102 大分川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態別	スポーツ	63	36	9%	5%
	釣り	26	14	3%	2%
	水遊び	31	24	4%	3%
	散策等	618	670	84%	90%
合計	737	744			
利用場所別	水面	16	13	2%	2%
	水際	41	25	6%	3%
	高水敷	231	314	31%	42%
	堤防	450	392	61%	53%
合計	737	744			

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

103. 大野川（おおのがわ）

大野川における各調査日の利用者数をみると、夏季7月27日（日）に8,031人が河川利用しており、最も多かった。この日には、支川乙津川において、高水敷を利用した地域の夏祭り（乙津川水辺の楽校付近）や消防団の演習（高田橋）及びグラウンドで少年サッカーの試合（別保橋）が開催されていた。

利用形態別にみると、年間を通じて「散策等」が多いが、乙津川の高水敷に整備されているグラウンドを利用した「スポーツ」も盛んに行われていた。

各調査日とも利用者の多い地点は、市街地を流れる乙津川であり、主要幹線道路からのアクセスもよく、広い高水敷での散策やピクニック、堤防は通勤通学等に利用されていた。

平成26年度の大野川における年間河川空間利用者総数（推計）は約53.7万人であり、沿川市区町村人口（約47.9万人）からみた年間平均利用回数は約1.1回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約10.2万人の増加となった。

利用形態別では、「散策等」が63%と最も多く、次いで「スポーツ」の22%、「釣り」9%、「水遊び」6%であった。利用形態別では、「高水敷」が54%と最も多く、次いで「堤防」の31%、「水際」13%、「水面」2%であった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態では「釣り」が減少した。利用場所では「高水敷」で増加し、「水際」、「堤防」で減少した。

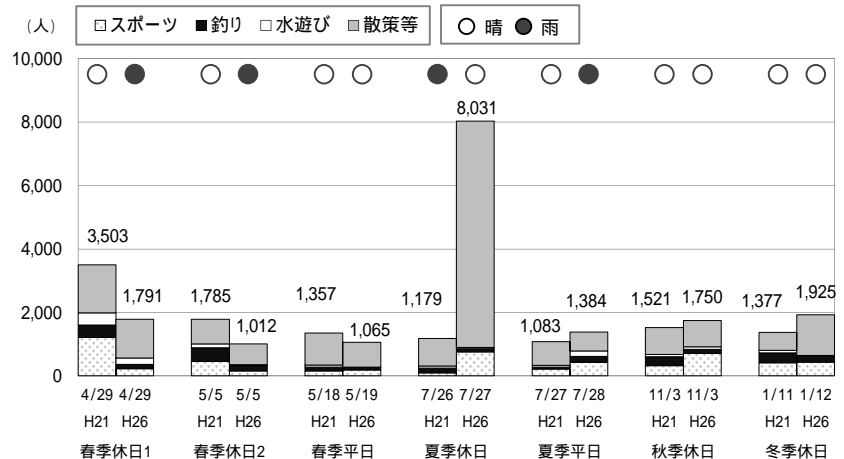


図 .103 各調査日の利用者数

表 .103 大野川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態別	スポーツ	91	121	21%	22%
	釣り	64	49	15%	9%
	水遊び	27	31	6%	6%
	散策等	254	337	58%	63%
合計	436	537			
利用場所別	水面	13	12	3%	2%
	水際	77	68	18%	13%
	高水敷	165	288	38%	54%
	堤防	180	170	41%	31%
合計	436	537			

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

104. 番匠川（ばんじょうがわ）

番匠川における各調査日の利用者数をみると、夏季7月27日(日)に4,005人が河川利用しており、最も多かった。この日には森下橋上流で利用者が多く、親水施設では子供たちが泳ぎ、親子でバーベキューをして楽しむ姿が確認された。また、本川9.8km付近の高水敷で民間イベント「番匠川河童 meeting」が開催され、300人近い来場者があった。

利用形態別で見ると、上流から下流にかけて「散策等」の利用が最も多く、次いで「水遊び」の利用となった。「散策等」の利用では「高水敷」よりも「堤防」で多く、ペットの散歩やウォーキングをする姿が確認された。

平成26年度の番匠川における年間河川空間利用者総数(推計)は約66.4万人であり、沿川市区町村人口(約5.8万人)からみた年間平均利用回数は約11.4回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数(推計)は約16.7万人の増加となった。特に「水遊び」が9万人以上の増加しており、森下橋上流の親水施設が平成21年度以降に整備されたためと予想される。

利用形態別では、「散策等」が76%と最も多く、次いで「水遊び」の20%、「スポーツ」2%、「釣り」2%であった。利用形態別では、「堤防」が61%と最も多く、次いで「高水敷」の17%、「水際」16%、「水面」6%であった。

利用状況の割合を平成21年度と比較すると、利用形態では「水遊び」が増加し、「散策等」が減少した。利用場所では「堤防」「水際」で増加し、「高水敷」で減少した。

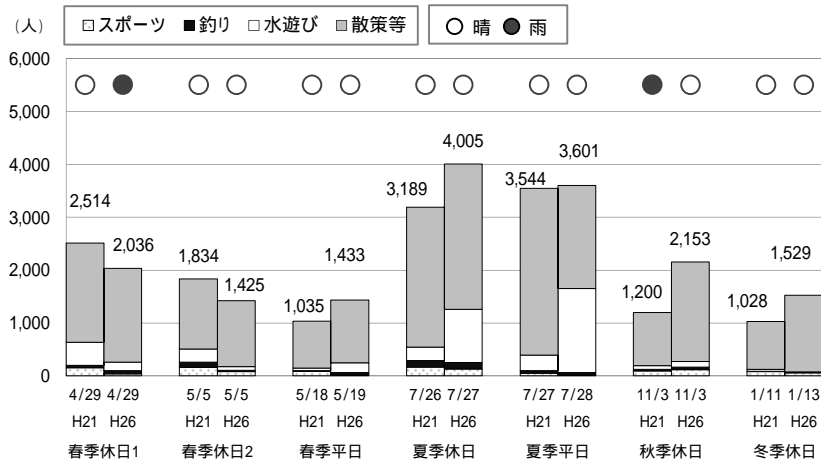


図 .104 各調査日の利用者数

表 .104 番匠川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態別	スポーツ	25	17	5%	2%
	釣り	9	13	2%	2%
	水遊び	38	130	8%	20%
	散策等	425	504	85%	76%
合計	497	664			
利用場所別	水面	15	43	3%	6%
	水際	32	103	7%	16%
	高水敷	235	115	47%	17%
	堤防	215	404	43%	61%
合計	497	664			

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

105. 五ヶ瀬川（ごかせがわ）

五ヶ瀬川における各調査日の利用者数をみると、春季4月29日（昭和の日）に2,389人が河川利用しており、最も多かった。

利用形態別にみると、春季5月19日（月）の「散策等」が最も多く、堤防及び高水敷が散歩等のコースとして多く利用されていた。

五ヶ瀬川及び大瀬川はアユ釣りの盛んな河川として有名であり、特に秋季は落ち鮎の釣りシーズンであり他の季節よりも多くの釣り客が河川を利用していた。

各調査日とも利用者が多い地点は、大瀬川左岸の0～1kmと4～7km、五ヶ瀬川両岸の0～1km、五ヶ瀬川右岸の6～7kmの区間であった。これらの区間はサッカーやグラウンドゴルフ等のできる緑地公園等があり、河口部は良好な釣り場として利用されていた。

平成26年度（2014年度）の五ヶ瀬川における年間河川空間利用者総数（推計）は約64.2万人であり、沿川市区町村人口（約11.8万人）からみた年間平均利用回数は約5.4回/人であった。

平成21年度（2009年度）と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約8.8万人の増加となった。五ヶ瀬川水系では平成17年9月の災害で河川空間が大きく変化したが、その後の激特事業やかわまちづくり等による河川整備が進み、特に延岡市街地と隣接する五ヶ瀬川や大瀬川の中下流部において、堤防や高水敷の遊歩道、緑地公園が整備されたことにより、人々の河川空間の利用が促進されたと考えられる。

利用形態別では、「散策等」が74%と最も多く、次いで「釣り」の13%、「スポーツ」9%、「水遊び」4%であった。利用形態別では、「堤防」が45%と最も多く、次いで「高水敷」の38%、「水面」6%であった。

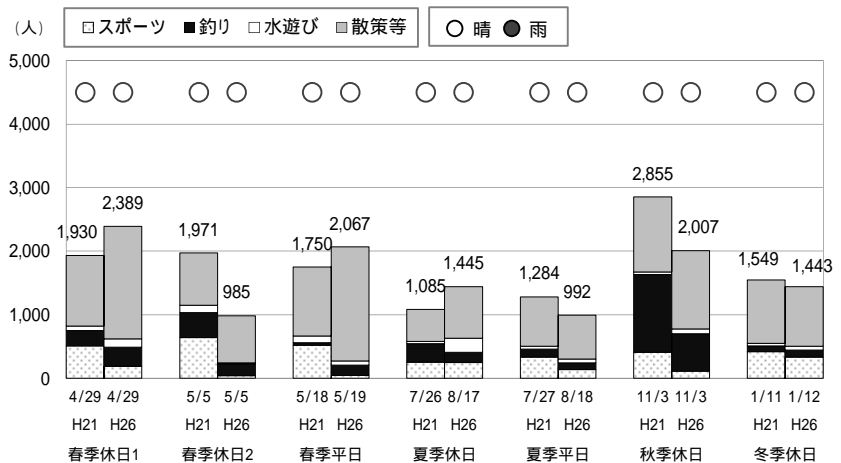


図 .105 各調査日の利用者数

表 .105 五ヶ瀬川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態別	スポーツ	125	56		
	釣り	119	82		
	水遊び	17	25		
	散策等	294	479		
合計		554	642		
利用場所別	水面	77	37		
	水際	59	71		
	高水敷	221	245		
	堤防	197	289		
合計		554	642		

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

106 . 小丸川（おまるがわ）

小丸川における各調査日の利用者数をみると、夏季 7 月 27 日（日）に 2,060 人が河川利用しており、最も多かった。

利用形態別では「スポーツ」利用が最も多く、これらのおよそ大半は持田運動広場（小丸川右岸 2.7～3.2km 付近）におけるものであり、全調査日を通して本場所で確認されたスポーツ利用者のうち、約 93%がサッカー、約 6%がグラウンドゴルフの利用者であった。

「散策等」が全区間を通して多く、次いで汽水域（小丸川 0～2km）における「釣り」の利用が多い結果となった。

平成 26 年度の小丸川における年間河川空間利用者総数（推計）は約 25.3 万人であり、沿川市区町村人口（約 2.7 万人）からみた年間平均利用回数は約 9.5 回 / 人であった。

平成 21 年度と比較して、年間河川空間利用者総数(推計)は約 7.8 万人の増加となった。これは、持田運動広場（小丸川右岸 2.7～3.2km 付近）におけるスポーツ利用者（主に少年サッカー）の増加によるところが大きく（約 4.6 万人増） これによって「高水敷」の利用者数も大きく増加していた。

利用形態別では、「散策等」が 53%と最も多く、次いで「スポーツ」の 31%、「釣り」12%、「水遊び」4%であった。利用形態別では、「堤防」が 42%と最も多く、次いで「高水敷」の 41%、「水際」15%、「水面」2%であった。

利用状況の割合を平成 21 年度と比較すると、利用形態では「スポーツ」が増加し、「釣り」、「散策等」が減少した。利用場所では「高水敷」で増加した。

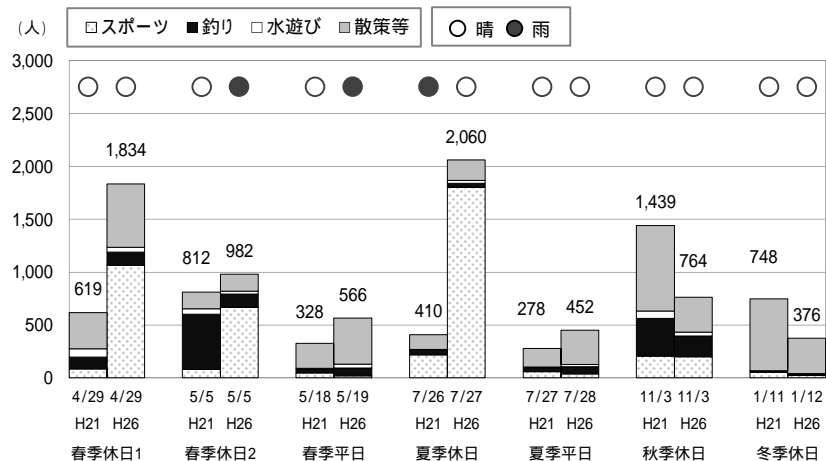


図 .106 各調査日の利用者数

表 .106 小丸川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態	スポーツ	32	78	18%	31%
	釣り	31	31	18%	12%
	水遊び	6	11	3%	4%
	散策等	106	134	61%	53%
合計	175	253			
利用場所	水面	6	5	3%	2%
	水際	31	37	18%	15%
	高水敷	61	104	35%	41%
	堤防	77	107	44%	42%
合計	175	253			

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

107. 大淀川（おおよどがわ）

大淀川における各調査日の利用者数をみると、春季4月29日（昭和の日）に10,791人が河川利用しており、最も多かった。

利用形態別にみると、「散策等」と「スポーツ」の利用が各調査日とも多かった。「堤防」ではウォーキングやランニング、「高水敷」では野球やサッカー、「水面」ではボート等、下流部を中心に幅広く利用されており、また、桜並木の整備や外灯の設備が整っていることなどにより「散策等」の利用者が高い割合を示したと考えられる。

大淀川水系の河川利用実態は下流部の利用に集中しており、特に本川 0～12km 付近においては年間を通じて高い数値であった。大淀川下流部は地方都市に位置しており、住宅や商業施設が立ち並び人口の多い箇所であるためと考えられる。また、本川下流部は市民緑地となる公園が多く、運動や散策等を目当てに訪れる利用者が多いと考えられる。

平成26年度の大淀川における年間河川空間利用者総数（推計）は約218.9万人であり、沿川市区町村人口（約59.6万人）からみた年間平均利用回数は約3.7回/人であった。

平成21年度と比較して、年間河川空間利用者総数（推計）は約80.7万人の増加となった。大淀川は平成17年の台風14号によって激甚災害の指定を受けて、広範囲で河川改修がおこなわれており、平成21年度までは沿川住民に利用されていた一部の場所が利用できない状態にあったが、平成26年度では整備も終了し、河川利用者にとって良好な環境になったと予想される。

利用形態別では、「スポーツ」、「散策等」が44%と最も多く、次いで「釣り」8%、「水遊び」4%であった。

利用形態別では、「高水敷」が61%と最も多く、次いで「堤防」の26%、「水際」11%、「水面」2%であった。

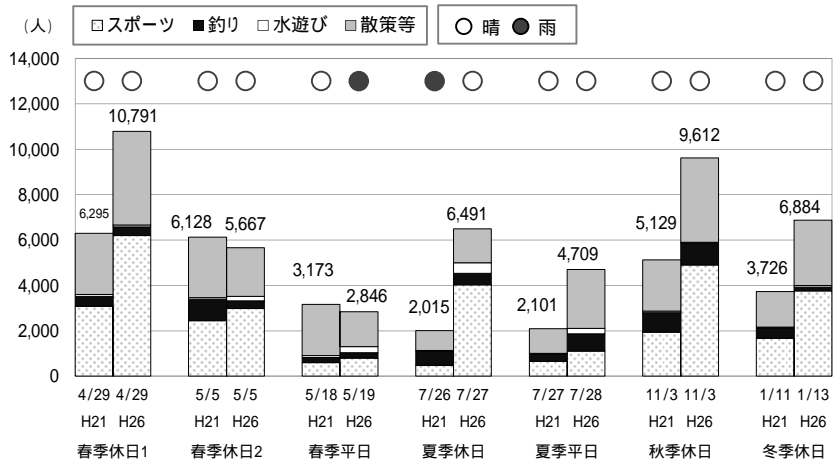


図 .107 各調査日の利用者数

表 .107 大淀川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態別	スポーツ	422	975	31%	44%
	釣り	183	176	13%	8%
	水遊び	17	79	1%	4%
	散策等	760	959	55%	44%
	合計	1,382	2,189		
利用場所別	水面	22	47	2%	2%
	水際	184	239	13%	11%
	高水敷	849	1,337	61%	61%
	堤防	327	566	24%	26%
	合計	1,382	2,189		

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

108 . 川内川 (せんだいがわ)

川内川における各調査日の利用者数をみると、春季 4 月 29 日 (昭和田) に 2,067 人が河川利用しており、最も多かった。

利用場所は「高水敷」が最も多く、高水敷で開催されたイベントによるものと考えられる。川内川流域は幹線道路が並走するため (国道 267 号、268 号等)、イベント開催時には交通アクセスが容易であり、人が集まりやすい。

河川利用施設では、川内市街部の利用が最も多く、主にこいのぼりフェスタ、木市等、各種イベントによる高水敷の散策等利用であった。次いで湯之尾地区 (かわまちづくり) が多く、こちらは散策等とスポーツの利用者がほぼ同等であり、グランドゴルフやカヌーの練習に頻繁に利用されていた。なお、釣り利用者は川内川河口に集中していた。

平成 26 年度の川内川における年間河川空間利用者総数 (推計) は約 46.8 万人であり、沿川市区町村人口 (約 17.9 万人) からみた年間平均利用回数は約 2.5 回 / 人であった。

平成 21 年度と比較して、年間河川空間利用者総数 (推計) は約 23.9 万人の減少となった。

利用形態別では、「散策等」が 71% と最も多く、次いで「スポーツ」の 13%、「釣り」8%、「水遊び」8%であった。利用形態別では、「高水敷」が 66% と最も多く、次いで「堤防」の 17%、「水際」9%、「水面」8%であった。

利用状況の割合を平成 21 年度と比較すると、利用形態ではほぼ同程度であった。利用場所では「高水敷」で増加し、「堤防」で減少した。

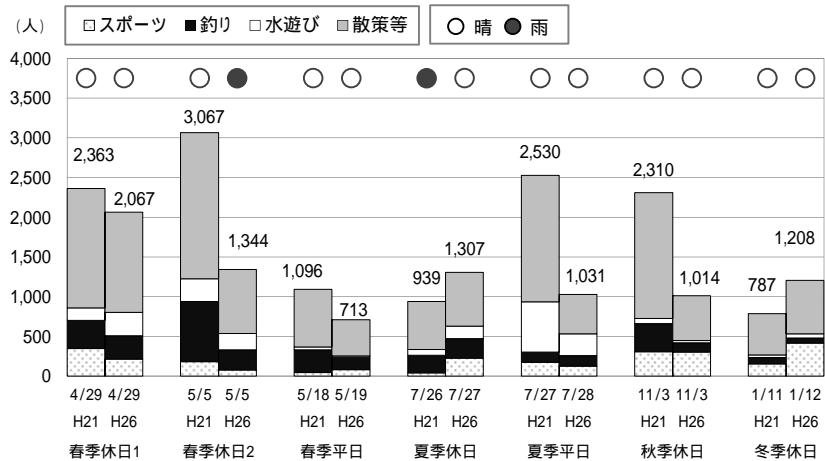


図 .108 各調査日の利用者数

表 .108 川内川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計 (千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態	スポーツ	59	61	8%	13%
	釣り	68	38	10%	8%
	水遊び	56	37	8%	8%
	散策等	524	332	74%	71%
別	合計	707	468		
利用場所	水面	56	38	8%	8%
	水際	72	43	10%	9%
	高水敷	388	306	55%	66%
	堤防	190	81	27%	17%
別	合計	707	468		

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

109. 肝属川（きもつきがわ）

肝属川における各調査日の利用者数をみると、春季 4 月 29 日（昭和の日）に 901 人が河川利用しており、最も多かった。平成 26 年度は、春季 5 月 5 日（こどもの日）が雨であったことから、例年に比べて河川の利用者数が伸びなかった。

利用形態別にみると、年間を通じて「散策等」の利用が大半を占め、「スポーツ」、「釣り」、「水遊び」での利用はほとんどみられなかった。平成 21 年度は休日に「釣り」や「水遊び」での利用者がある程度みられていたのに対して、利用形態に大きな変化がみられた。

肝属川水系は、多くの人が利用できる場所が限定されること、河川の近くに公共交通機関がなく河川へのアクセスは専ら自家用車や自転車等になることから、大きなイベントの開催時以外での利用者数は少ない。ただし、リナシティかのやに隣接する水辺プラザ周辺では、年間を通して大小多様なイベントが開催され、多くの集客がみられた。河川利用は、主に地元住民による「堤防」や「高水敷」を中心とした「散策等」であった。

平成 26 年度の肝属川における年間河川空間利用者総数（推計）は約 24.2 万人であり、沿川市区町村人口（約 12.7 万人）からみた年間平均利用回数は約 1.9 回／人であった。

平成 21 年度と比較して、年間河川空間利用者総数(推計)は約 4.5 万人の増加となった。

利用形態別では、「散策等」が 94%と最も多く、次いで「釣り」の 3%、「水遊び」2%、「スポーツ」1%であった。利用形態別では、「堤防」が 63%と最も多く、次いで「高水敷」の 32%、「水際」4%、「水面」1%であった。

利用状況の割合を平成 21 年度と比較すると、利用形態では「散策等」が増加し、「水遊び」が減少した。利用場所では「堤防」で増加し、それ以外で減少した。

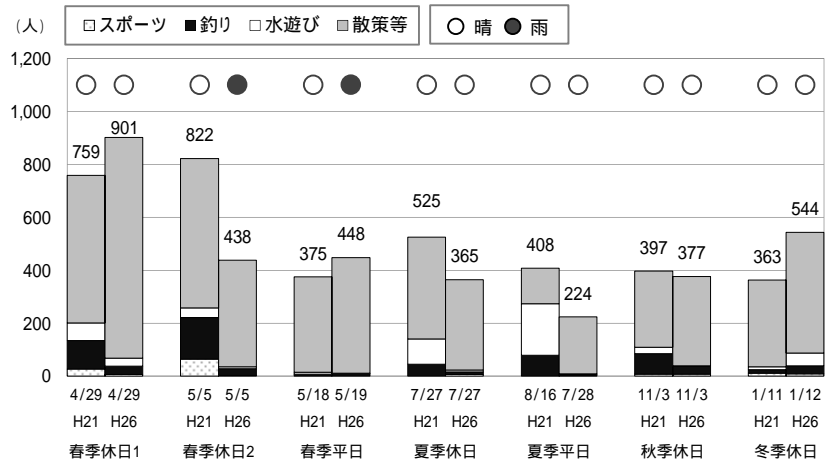


図 .109 各調査日の利用者数

表 .109 肝属川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推計(千人)		利用状況の割合	
		平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
利用形態	スポーツ	6	2	3%	1%
	釣り	13	7	7%	3%
	水遊び	21	5	10%	2%
	散策等	157	229	80%	94%
別	合計	198	242		
利用場所	水面	12	2		
	水際	22	11		4%
	高水敷	96	77		32%
	堤防	68	153	35%	63%
別	合計	198	242	48%	

表示桁数の関係で文章や表中の計算値が一致しない場合があります。

IV. 資料編

1 . 各調査実施日の利用者数一覧表	170
2 . 年間の河川利用者数一覧表	180
3 . 全国一級水系年間利用者数順位表	183

1.各調査実施日の利用者数一覧表(平成26年度)

(人)

河川名	調査日	天候	合計	利用形態別利用者数				利用場所別利用者			
				スポーツ	釣り	水遊び	散策等	水面	水際	高水敷	堤防
1 天塩川	4/29 休日		428	112	2	0	314	0	2	280	166
	5/5 休日		819	400	7	1	411	14	8	602	195
	5/18/19 平日		524	297	16	0	211	22	4	346	152
	7/27 休日		341	200	9	54	78	3	60	264	14
	7/28 平日		1,243	740	0	3	500	1	2	986	254
	11/3 休日		28	6	1	0	21	0	1	14	13
2 渚滑川	1/12 休日	調査実施せず	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4/29 休日	晴	5	0	0	0	5	0	0	4	1
	5/5 休日	晴	38	1	6	10	21	6	10	20	2
	5/19 平日	晴	1	0	0	0	1	0	0	0	1
	7/27 休日	雨	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7/28 平日	雨	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3 湧別川	11/3 休日	雨	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1/12 休日	雨	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4/29 休日	晴	691	584	0	0	107	0	0	598	93
	5/5 休日	晴	221	145	27	2	47	0	29	176	16
	5/19 平日	晴	329	211	0	0	118	0	0	295	34
	7/27 休日	雨	152	148	0	2	2	0	2	148	2
4 常呂川	7/28 平日	雨	64	45	0	0	19	0	0	59	5
	11/3 休日	雨	50	44	5	0	1	2	3	45	0
	1/12 休日	雨	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4/29 休日	晴	2,209	1,739	0	6	464	0	6	1,931	272
	5/5 休日	晴	4,289	2,485	71	33	1,700	75	29	3,617	568
	5/19 平日	晴	1,498	1,010	19	0	469	0	19	1,158	321
5 網走川	7/27 休日	雨	633	593	3	0	37	0	3	613	17
	7/28 平日	雨	1,161	894	0	2	265	0	2	1,035	124
	11/3 休日	雨	764	692	1	5	66	0	6	712	46
	1/12 休日	雨	19	1	6	0	12	0	6	1	12
	4/29 休日	晴	144	48	0	6	90	4	2	63	75
	5/5 休日	晴	1,483	1,260	69	61	93	42	88	1,308	45
6 留萌川	5/19 平日	晴	505	474	3	0	28	0	3	484	18
	7/27 休日	雨	246	6	17	70	153	2	85	122	37
	7/28 平日	雨	172	131	0	0	41	0	0	147	25
	11/3 休日	雨	89	28	12	16	33	16	12	32	29
	1/12 休日	雨	166	0	166	0	0	166	0	0	0
	4/29 休日	晴	326	49	0	0	277	0	0	93	233
7 石狩川	5/5 休日	晴	41	0	0	0	41	0	0	5	36
	5/18 平日	晴	90	6	0	0	84	0	0	7	83
	7/27 休日	雨	303	0	0	0	303	0	0	39	264
	7/28 平日	晴	342	1	2	0	339	0	2	33	307
	11/9 休日	晴	63	0	0	0	63	0	0	26	37
	1/12 休日	調査実施せず	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8 尻別川	4/29 休日		25,019	14,433	308	480	9,798	132	656	19,807	4,424
	5/5 休日		48,043	18,496	252	419	28,876	79	592	43,925	3,447
	5/19 平日		17,160	12,448	107	103	4,502	32	178	14,598	2,352
	7/27/28/3 休日		16,736	10,790	456	173	5,317	178	451	13,152	2,955
	7/28 平日		25,698	17,925	213	174	7,386	95	292	21,008	4,303
	11/3/9 休日		16,711	14,606	103	44	1,958	35	112	15,415	1,149
9 後志利別川	1/12 休日		710	207	289	25	189	286	28	284	112
	4/29 休日	晴れ	104	13	26	5	60	4	27	16	57
	5/5 休日	曇り	391	33	84	19	255	19	84	238	50
	5/19 平日	晴れ	159	8	81	0	70	0	81	41	37
	7/27 休日	曇り	1,365	1	9	2	1,353	1	10	1,331	23
	7/28 平日	晴れ	165	33	10	6	116	3	13	122	27
10 鷲川	11/3 休日	雨	23	2	0	2	19	0	2	12	9
	1/12 休日	曇り	2	0	2	0	0	1	1	0	0
	4/29 休日	晴	76	58	2	0	16	2	0	74	0
	5/5 休日	晴	33	0	6	0	27	6	0	23	4
	5/19 平日	晴	197	66	23	15	93	2	36	72	87
	7/27 休日	雨	41	13	9	2	17	6	5	26	4
11 沙流川	7/28 平日	晴	99	37	28	0	34	28	0	53	18
	11/3 休日	曇り	12	0	2	0	10	0	2	5	5
	1/12 休日	曇り	2	0	0	0	2	0	0	0	2
	4/29 休日	晴	17	0	4	0	13	0	4	11	2
	5/5 休日	晴	21	2	2	2	15	2	4	8	7
	5/19 平日	晴	25	2	3	0	20	4	1	17	3
12 釧路川	7/27 休日	曇り	1	0	0	0	1	0	0	0	1
	7/28 平日	雨	7	0	0	0	7	0	0	5	2
	11/3 休日	曇り	2	0	0	0	2	0	0	2	0
	1/12 休日	曇り	2	0	0	0	2	0	0	2	0
	4/29 休日	晴	167	104	4	0	59	0	4	141	22
	5/5 休日	晴	116	42	0	0	74	0	0	97	19
13 十勝川	5/19 平日	晴	372	210	0	5	157	0	5	269	98
	7/27 休日	晴	114	60	0	0	54	0	0	100	14
	7/28 平日	晴	201	67	0	0	134	0	0	138	63
	11/3 休日	晴	18	12	0	0	6	0	0	18	0
	1/12 休日	晴	71	0	3	0	68	0	3	59	9
	4/29 休日	晴れ	771	144	317	25	285	16	326	261	168
北海道合計	5/5 休日	晴れ	1,740	309	782	257	392	246	793	589	112
	5/19 平日	晴れ	392	115	96	13	168	6	103	204	79
	7/27 休日	曇り	1,157	717	22	75	343	69	28	929	131
	7/28 平日	曇り	713	373	11	70	259	65	16	479	153
	11/3 休日	晴れ時々曇り	410	91	86	13	220	3	96	209	102
	1/12 休日	曇り	144	43	55	5	41	1	59	61	23
北海道合計	4/29 休日	晴	9,958	5,868	213	150	3,727	65	298	8,398	1,197
	5/5 休日	晴	11,289	7,221	230	69	3,769	105	194	10,094	896
	5/19 平日	晴	7,549	5,512	75	4	1,958	17	62	6,567	903
	7/27 休日	雨	6,145	4,416	401	48	1,280	72	377	5,432	264
	7/30 平日	晴	9,295	6,854	341	104	1,996	20	425	8,281	569
	11/3 休日	雨	2,066	1,518	46	4	498	4	46	1,772	244
北海道合計	1/12 休日	晴	816	288	53	65	410	51	67	523	175
	4/29 休日		39,915	23,152	876	672	15,215	223	1,325	31,657	6,710
	5/5 休日		68,524	30,394	1,536	873	35,721	594	1,831	60,702	5,397
	5/18/19 平日		28,801	20,359	423	140	7,879	83	492	24,058	4,168
	7/27/28/3 休日		27,234	16,944	926	426	8,938	331	1,021	22,156	3,726
	7/28/30 平日		39,160	27,100	605	359	11,096	212	752	32,346	5,850
北海道合計	11/3/9 休日		20,236	16,999	256	84	2,897	60	280	18,262	1,634
	1/12 休日		1,932	539	574	95	724	505	164	930	333

1.各調査実施日の利用者数一覧表(平成26年度)

(人)

河川名	調査日	天候	合計	利用形態別利用者数				利用場所別利用者				
				スポーツ	釣り	水遊び	散策等	水面	水際	高水敷	堤防	
14 岩木川(東北)	4/29	休日	晴れ	4,938	575	82	51	4,230	35	122	3,818	963
	5/5	休日	雨	1,134	182	69	61	822	40	90	749	255
	5/19	平日	晴れ	1,056	339	18	11	688	6	23	824	203
	7/27	休日	雨	3,124	1,914	96	95	1,019	49	142	2,566	367
	7/28	平日	晴れ	1,224	388	220	83	533	64	239	687	234
	11/3	休日	雨	335	6	0	0	329	0	0	219	116
	1/12	休日	雨	144	0	0	19	125	0	19	73	52
15 高瀬川	4/29	休日	晴れ	230	0	55	135	40	16	174	0	40
	5/5	休日	曇り	568	0	57	473	38	17	513	0	38
	5/19	平日	晴れ	262	0	20	227	15	88	159	0	15
	7/27	休日	曇り後晴れ	5,377	0	50	5,149	178	1,457	3,742	0	178
	7/28	平日	晴れ	1,209	0	50	1,025	134	295	780	0	134
	11/3	休日	晴時々雨	214	0	4	155	55	23	136	0	55
	1/12	休日	晴れ	264	0	56	178	30	0	234	0	30
16 馬淵川	4/29	休日	晴	469	124	28	0	317	0	35	264	170
	5/5	休日	晴	461	94	84	3	280	0	87	260	114
	5/19	平日	晴	413	60	52	0	301	0	52	183	178
	7/27	休日	晴	653	185	4	0	464	0	4	446	203
	7/28	平日	晴	894	43	2	200	649	200	2	236	456
	11/9	休日	晴	580	168	64	0	348	0	64	360	156
	1/12	休日	晴	492	29	34	0	429	0	34	108	350
17 北上川	4/29	休日	47,705	4,249	290	356	42,810	285	362	44,451	2,607	
	5/5	休日	22,110	2,738	282	182	18,908	60	412	19,819	1,819	
	5/19	平日	7,578	1,350	444	44	5,740	131	357	4,727	2,363	
	7/27	休日	35,408	16,477	672	1,645	16,614	10,001	1,496	22,521	1,390	
	7/28	平日	10,040	1,626	816	341	7,257	358	799	6,449	2,434	
	11/3	休日	5,913	2,012	130	68	3,703	23	176	4,638	1,076	
	1/12	休日	2,524	493	4	26	2,001	8	24	1,434	1,058	
18 鳴瀬川	4/29	休日	晴	518	246	70	20	182	15	75	320	108
	5/5	休日	晴	302	17	37	20	228	26	31	90	155
	5/19	平日	晴	264	47	53	9	155	0	62	92	110
	7/27	休日	晴	1,911	1,412	125	173	201	50	248	1,505	108
	7/28	平日	晴	398	250	28	12	108	9	31	293	65
	11/3	休日	晴	140	24	4	17	95	0	21	55	64
	1/12	休日	晴	107	74	3	3	27	0	6	82	19
19 名取川	4/29	休日	晴	4,113	1,630	18	28	2,437	6	40	3,070	997
	5/5	休日	雨	2,190	614	15	58	1,503	18	55	1,607	511
	5/19	平日	晴	1,811	144	27	40	1,600	0	67	1,269	475
	7/27	休日	晴	4,542	595	114	163	3,670	109	168	3,672	593
	7/28	平日	晴	1,904	158	175	113	1,458	36	252	1,354	262
	11/3	休日	雨	1,968	722	17	42	1,187	17	42	1,459	450
	1/12	休日	晴	1,121	465	1	6	649	1	6	848	267
20 阿武隈川	4/29	休日	晴	3,306	492	636	168	2,010	570	592	640	1,504
	5/5	休日	晴	2,436	653	711	10	1,062	33	711	918	774
	5/19	平日	晴	2,625	472	275	147	1,731	15	407	680	1,523
	7/27	休日	晴	7,329	2,258	833	347	3,891	745	816	2,876	2,892
	7/28	平日	晴	2,792	636	320	119	1,717	69	370	1,375	978
	11/3	休日	晴	1,953	466	130	7	1,350	38	99	1,337	479
	1/12	休日	晴	2,056	620	22	55	1,359	11	66	999	980
21 米代川	4/29	休日	晴	1,144	26	61	20	1,037	9	72	368	695
	5/5	休日	雨	1,166	92	164	13	897	0	177	463	526
	5/19	平日	晴	686	28	27	7	624	0	34	404	248
	7/27	休日	雨	240	0	19	21	200	11	29	71	129
	7/28	平日	晴	582	129	91	17	345	40	68	266	208
	11/3	休日	雨	83	1	0	2	80	0	2	48	33
	1/12	休日	雪	91	0	0	0	91	0	0	67	24
22 雄物川	4/29	休日	晴	4,135	619	59	29	3,428	9	79	3,350	697
	5/5	休日	雨	3,256	558	18	42	2,638	27	33	2,719	477
	5/19	平日	晴	2,762	620	35	19	2,088	3	51	2,132	576
	7/27	休日	雨	2,241	439	131	35	1,636	78	88	1,935	140
	7/28	平日	晴	2,398	606	272	56	1,464	91	237	1,510	560
	11/3	休日	雨	559	236	9	1	313	1	9	492	57
	1/12	休日	雪	49	0	4	0	45	0	4	19	26
23 子吉川	4/29	休日	晴	2,043	284	99	370	1,290	229	240	1,309	265
	5/5	休日	雨	874	92	41	258	483	74	225	456	119
	5/19	平日	晴	660	108	49	195	308	148	96	290	126
	7/27	休日	雨	338	24	14	96	204	26	84	157	71
	7/28	平日	晴	566	139	142	37	248	25	154	281	106
	11/3	休日	雨	50	12	0	5	33	0	5	28	17
	1/12	休日	雪	21	0	0	2	19	0	2	10	9
24 最上川	4/29	休日	8,851	2,333	986	683	4,849	507	1,162	4,392	2,790	
	5/5	休日	7,074	1,888	297	1,010	3,879	856	451	3,781	1,986	
	5/19	平日	4,526	1,163	134	345	2,884	331	148	2,594	1,453	
	7/27	休日	5,172	1,428	492	749	2,503	836	405	2,701	1,230	
	7/28	平日	3,560	503	228	448	2,381	435	241	1,453	1,431	
	11/3	休日	2,073	287	146	698	942	647	197	847	382	
	1/12	休日	549	8	0	220	321	181	39	77	252	
25 赤川	4/29	休日	晴	4,518	2,752	360	20	1,386	24	356	3,615	523
	5/5	休日	曇	1,394	735	81	26	552	10	97	1,143	144
	5/19	平日	晴	1,190	347	7	31	805	4	34	942	210
	7/27	休日	曇時々雨	839	337	0	8	494	0	8	764	67
	7/28	平日	曇のち晴	1,252	194	0	24	1,034	0	24	934	294
	11/3	休日	曇時々雨	103	29	0	5	69	0	5	62	36
	1/12	休日	曇	11	0	0	0	11	0	0	2	9
東北合計	4/29	休日	81,970	13,330	2,744	1,880	64,016	1,705	3,309	65,597	11,359	
	5/5	休日	42,965	7,663	1,856	2,156	31,290	1,161	2,882	32,005	6,918	
	5/19	平日	23,833	4,678	1,141	1,075	16,939	726	1,490	14,137	7,480	
	7/27	休日	67,174	25,069	2,550	8,481	31,074	13,362	7,230	39,214	7,368	
	7/28	平日	26,819	4,672	2,344	2,475	17,328	1,622	3,197	14,838	7,162	
	11/3	休日	13,971	3,963	504	1,000	8,504	749	756	9,545	2,921	
1/12	休日	7,429	1,689	124	509	5,107	201	434	3,719	3,076		

1.各調査実施日の利用者数一覧表(平成26年度)

(人)

河川名	調査日	天候	合計	利用形態別利用者数				利用場所別利用者			
				スポーツ	釣り	水遊び	散策等	水面	水際	高水敷	堤防
32 相模川	4/29 休日	晴	2,237	781	322	282	852	280	324	1,274	359
	5/5 休日	晴	9,694	7,390	378	672	1,254	427	623	8,181	463
	5/19 平日	晴	1,488	453	79	211	755	162	128	876	332
	7/27 休日	雨	5,107	1,819	278	2,020	990	1,594	704	2,075	734
	7/28 平日	晴	1,934	697	124	299	814	297	126	903	608
	11/3 休日	晴	2,448	615	380	209	1,244	107	482	1,152	707
33 富士川	1/12 休日	晴	2,700	1,064	66	190	1,380	187	69	1,597	847
	5/3 休日	晴	18,220	5,967	109	786	11,358	692	203	16,094	1,231
	5/5 休日	晴	14,398	7,569	72	297	6,460	235	134	13,095	934
	5/19 平日	晴	5,165	910	28	901	3,326	893	36	3,727	509
	7/27 休日	晴	11,378	5,526	844	733	4,275	976	601	9,158	643
	7/28 平日	晴	9,909	7,493	263	450	1,703	529	184	8,808	388
関東合計	11/3 休日	晴	18,617	14,253	51	199	4,114	90	160	17,661	706
	1/12 休日	晴	5,960	3,714	17	24	2,205	0	41	5,196	723
	4/29.5/3 休日		422,770	186,990	15,574	12,699	207,507	5,799	23,247	304,632	89,092
	5/5 休日		449,946	171,870	16,460	10,197	251,419	5,880	21,767	342,693	79,606
	5/19 平日		151,502	37,631	9,196	4,829	99,847	4,135	10,336	79,341	57,690
	7/27 休日		409,344	194,822	14,029	18,199	182,293	15,151	19,840	276,163	98,190
34 荒川	7/28 平日		207,795	98,462	9,145	6,821	93,367	6,043	10,374	135,739	55,638
	11/3 休日		428,493	194,573	18,949	5,058	209,913	5,533	19,093	277,387	126,480
	1/12 休日		220,625	108,849	5,481	2,377	103,918	2,088	6,189	157,579	54,770
	4/29 休日	晴	778	338	51	28	361	34	45	612	87
	5/5 休日	曇	775	662	11	23	79	27	7	741	0
	5/19 平日	晴	110	67	8	10	25	0	18	81	11
35 阿賀野川	7/27 休日	曇	264	51	144	0	69	111	33	120	0
	7/28 平日	晴	131	72	30	5	24	6	29	96	0
	11/3 休日	雨	107	38	10	0	59	0	10	92	5
	1/12 休日	曇時々雪	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4/29 休日	晴	9,900	2,395	112	142	7,251	39	215	8,426	1,220
	5/5 休日	曇/雨	5,923	1,169	90	103	4,561	33	160	4,751	979
36 信濃川	5/19 平日	晴	3,467	310	81	77	2,999	15	143	2,357	952
	7/27 休日	曇/雨	5,063	1,338	116	109	3,500	84	141	4,434	404
	7/28 平日	晴	3,921	300	62	481	3,078	395	148	2,147	1,231
	11/3 休日	雨/曇	3,068	2,025	40	70	933	46	64	2,707	251
	1/12 休日	曇/雪	383	6	0	24	353	11	13	304	55
	4/29 休日	曇	28,687	8,259	779	830	18,819	661	948	19,284	7,794
37 関川	5/5 休日	曇	23,272	8,994	841	646	12,790	655	832	17,296	4,489
	5/19 平日	晴	16,759	3,833	812	538	11,576	539	811	11,461	3,948
	7/27 休日	晴	37,014	22,827	1,759	4,445	7,984	3,528	2,676	27,656	3,154
	7/28 平日	晴	19,350	5,794	919	544	12,093	613	850	12,728	5,159
	11/3 休日	晴	13,718	9,306	229	109	4,074	112	226	11,514	1,866
	1/12 休日	曇	2,516	519	67	19	1,911	0	86	1,441	989
38 姫川	4/29 休日	曇	732	3	18	36	675	5	49	106	572
	5/5 休日	曇時々雨	538	3	0	15	520	0	15	100	423
	5/19 平日	晴	657	19	9	54	575	8	55	109	485
	7/27 休日	曇時々雨	557	13	2	7	535	0	9	103	445
	7/28 平日	晴	715	3	5	31	676	11	25	33	646
	11/3 休日	雨時々曇	67	1	5	0	61	0	5	46	16
39 黒部川	1/12 休日	曇	54	0	0	0	54	0	0	30	24
	4/29 休日	曇	257	52	0	146	59	0	146	85	26
	5/5 休日	曇のち雨	314	210	0	22	82	4	18	230	62
	5/19 平日	晴	140	3	0	35	102	0	35	30	75
	7/27 休日	雨のち曇	122	2	0	17	103	0	17	67	38
	7/28 平日	晴	116	3	25	25	63	3	47	26	40
40 常願寺川	11/3 休日	雨	46	0	2	4	40	2	4	11	29
	1/12 休日	雪	8	0	0	0	8	0	0	7	1
	4/29 休日	晴れ	983	7	21	677	278	1	27	924	31
	5/5 休日	雨	1,544	1	56	827	660	227	18	1,270	29
	5/19 平日	晴れ	1,054	1	18	824	211	4	15	980	55
	7/27 休日	雨後晴れ	3,954	4	163	999	2,788	19	158	3,758	19
41 神通川	7/28 平日	晴	868	7	198	558	105	0	205	607	56
	11/3 休日	曇り時々雨	313	1	29	216	67	29	1	275	8
	1/12 休日	曇り時々雪	10	0	0	0	10	0	0	2	8
	4/29 休日	雨	1,504	520	9	7	968	1	15	1,224	264
	5/5 休日	雨	1,529	1,173	41	10	305	33	18	1,388	90
	5/19 平日	晴	966	156	5	51	754	5	51	637	273
42 庄川	7/27 休日	雨	1,109	520	78	4	507	80	2	895	132
	7/28 平日	晴	699	198	131	58	312	136	53	427	83
	11/3 休日	雨	392	300	7	0	85	0	7	345	40
	1/12 休日	雨	244	3	0	0	241	0	0	96	148
	4/29 休日	雨	1,265	235	103	55	872	71	87	818	289
	5/5 休日	雨	838	36	87	0	715	27	60	635	116
43 小矢部川	5/19 平日	晴	1,626	312	79	11	1,224	38	52	1,152	384
	7/27 休日	雨	2,854	234	2,040	0	580	1,804	236	587	227
	7/28 平日	晴	2,814	261	1,572	0	981	807	765	1,083	159
	11/3 休日	雨	689	30	169	0	490	100	69	292	228
	1/12 休日	雨	210	1	0	1	208	0	1	64	145
	4/29 休日	雨	2,170	744	149	14	1,263	32	131	1,930	77
44 手取川	5/5 休日	雨	1,252	370	200	12	670	19	193	965	75
	5/19 平日	晴	2,523	1,322	38	21	1,142	6	53	2,299	165
	7/27 休日	雨	4,025	866	2,203	150	806	2,061	292	1,565	107
	7/28 平日	晴	2,129	659	1,014	0	456	687	327	1,054	61
	11/3 休日	雨	646	476	26	1	143	1	26	559	60
	1/12 休日	雨	159	8	29	0	122	4	25	35	95
43 小矢部川	4/29 休日	雨	855	409	45	22	379	0	67	662	126
	5/5 休日	雨	239	27	5	0	207	0	5	158	76
	5/19 平日	晴	584	206	0	2	376	0	2	447	135
	7/27 休日	雨	529	279	40	15	195	2	53	389	85
	7/28 平日	晴	358	82	53	8	215	29	32	243	54
	11/3 休日	雨	228	8	2	1	217	2	1	108	117
44 手取川	1/12 休日	雨	179	12	7	0	160	0	7	67	105
	4/29 休日	雨	766	272	27	2	465	1	28	431	306
	5/5 休日	雨	157	21	10	6	120	5	11	67	74
	5/19 平日	晴	707	36	24	15	632	17	22	298	370
	7/27 休日	雨	1,252	97	605	71	479	502	174	463	113
	7/28 平日	晴	1,162	57	302	61	742	219	144	171	628
44 手取川	11/3 休日	雨	240	27	95	9	109	9	95	55	81
	1/12 休日	雨	56	3	0	0	53	0	0	27	29

1.各調査実施日の利用者数一覧表(平成26年度)

(人)

河川名	調査日	天候	合計	利用形態別利用者数				利用場所別利用者			
				スポーツ	釣り	水遊び	散策等	水面	水際	高水敷	堤防
55 鈴鹿川	5/3 休日	晴	4,908	2,097	5	813	1,993	565	253	3,770	320
	5/5 休日	曇	933	432	0	47	454	44	3	806	80
	5/19 平日	晴	470	217	3	10	240	6	7	408	49
	7/27 休日	晴	2,878	1,923	7	278	670	109	176	2,524	69
	7/28 平日	晴	672	221	24	160	267	116	68	433	55
	11/3 休日	晴	1,075	566	22	12	475	11	23	851	190
56 雲出川	1/12 休日	晴	258	127	0	17	114	0	17	213	28
	5/3 休日	晴	1,714	33	22	219	1,440	219	22	768	705
	5/5 休日	曇	1,387	6	72	79	1,230	79	72	297	939
	5/19 平日	晴	645	30	4	83	528	83	4	286	272
	7/27 休日	晴	770	295	193	63	219	93	163	447	67
	7/28 平日	晴	499	13	66	74	346	99	41	205	154
57 櫛田川	11/3 休日	晴	653	78	88	16	471	8	96	154	395
	1/12 休日	晴	239	62	0	0	177	0	0	115	124
	5/3 休日	晴	456	4	32	185	235	196	21	193	46
	5/5 休日	曇	307	1	12	17	277	8	21	219	59
	5/19 平日	晴	267	0	10	42	215	40	12	92	123
	7/27 休日	晴	407	7	19	221	160	158	82	137	30
58 宮川	7/28 平日	晴	103	0	0	34	69	19	15	28	41
	11/3 休日	晴	530	45	138	22	325	25	135	255	115
	1/12 休日	晴	329	3	0	10	316	10	0	285	34
	5/3 休日	晴	9,767	1,180	36	5,346	3,205	5,353	29	2,544	1,841
	5/5 休日	曇	3,160	794	188	244	1,934	264	168	1,967	761
	5/19 平日	晴	1,030	21	75	575	359	585	65	211	169
中部合計	7/27 休日	晴	2,792	589	69	175	1,959	92	152	1,479	1,069
	7/28 平日	晴	529	46	55	78	350	75	58	195	201
	11/3 休日	晴	1,645	785	49	3	808	12	40	985	608
	1/12 休日	晴	689	320	0	0	369	0	0	422	267
	4/29.5/3 休日	晴	90,336	56,586	559	8,387	24,804	6,974	1,972	70,375	11,015
	5/5 休日	晴	57,576	18,349	1,464	3,238	34,525	1,933	2,769	44,834	8,040
5/19.30 平日	晴	50,341	19,828	1,068	2,224	27,221	2,119	1,173	33,893	13,156	
7/27.8/3 休日	晴	154,517	77,704	7,855	17,640	51,318	14,786	10,709	112,395	16,627	
7/28.8/4 平日	晴	40,602	12,789	3,294	5,051	19,468	3,725	4,620	22,688	9,569	
11/3 休日	晴	105,256	47,026	3,173	2,019	53,038	1,610	3,582	83,907	16,156	
59 由良川(近畿)	1/12 休日	晴	83,311	49,083	1,115	777	32,336	380	1,512	68,779	12,640
	4/29 休日	雨時々曇り	178	0	39	0	139	0	39	139	0
	5/5 休日	曇り一時雨	532	6	33	190	303	124	99	298	11
	5/19 平日	晴れ	182	2	19	49	112	31	37	111	3
	8/31 平日	晴	1,418	273	82	255	808	185	170	867	196
	9/1 休日	曇	1,907	188	53	0	1,666	39	202	1,438	228
60 淀川	11/3 休日	曇時々雨	934	0	96	5	833	4	92	596	242
	1/12 休日	曇一時雪	843	0	0	53	790	0	0	514	329
	4/29.5/3 休日	晴	18,969	1,165	1,675	500	15,629	837	1,877	10,893	5,362
	5/5 休日	晴	102,045	15,972	3,047	14,153	68,873	1,995	17,106	69,578	13,366
	5/19 平日	晴	46,765	20,342	2,933	1,993	21,497	1,291	3,940	30,015	11,519
	7/27 休日	晴	73,735	27,860	1,877	12,289	31,709	1,052	13,550	46,319	12,814
60-1 淀川本川・桂川	7/28 平日	晴	22,847	6,386	1,844	971	13,646	465	2,644	13,268	6,470
	11/3.8 休日	晴	86,119	22,751	3,132	928	59,308	245	3,886	52,340	29,648
	1/12 休日	晴	51,947	23,497	1,167	289	26,994	107	1,389	31,633	18,818
	4/29 休日	雨	16,213	516	1,533	366	13,788	195	1,704	9,934	4,380
	5/5 休日	雨	94,240	12,764	2,502	14,007	64,967	0	16,509	65,987	11,744
	5/19 平日	晴	42,178	19,654	2,478	1,940	18,106	950	3,468	28,886	8,874
60-2 猪名川・瀬川	7/27 休日	曇	58,052	20,500	757	11,827	24,968	394	12,190	36,233	9,235
	7/28 平日	晴	18,416	5,481	1,570	774	10,591	90	2,254	11,008	5,064
	11/3 休日	晴	79,157	20,450	2,837	501	55,369	105	3,233	48,601	27,218
	1/12 休日	晴	45,954	21,067	1,139	207	23,541	0	1,346	27,880	16,728
	4/29 休日	雨後時々曇	1,501	82	6	13	1,400	9	10	742	740
	5/5 休日	薄曇時々晴	3,976	943	26	36	2,971	3	59	2,831	1,083
60-3 木津川	5/19 平日	晴時々曇	2,843	263	87	21	2,472	9	99	749	1,986
	7/27 休日	曇一時晴	9,766	5,845	62	112	3,747	45	129	6,686	2,906
	7/28 平日	晴後一時薄曇	2,902	397	66	160	2,279	38	188	1,440	1,236
	11/3 休日	晴一時曇	5,418	1,505	113	357	3,443	19	451	2,793	2,155
	1/12 休日	晴	4,697	1,604	5	46	3,042	32	19	2,804	1,842
	5/3 休日	晴	179	4	7	41	127	22	26	69	62
60-4 瀬田川	5/5 休日	曇・雨	50	1	1	12	36	10	3	25	12
	5/19 平日	晴・曇	28	1	0	5	22	0	5	9	14
	7/27 休日	晴・曇・雨	355	0	20	193	142	26	187	21	121
	7/28 平日	晴	42	0	23	8	11	18	13	0	11
	11/8 休日	晴	58	0	8	5	45	3	10	30	15
	1/12 休日	晴・雪	37	0	3	5	29	2	6	14	15
60-5 野洲川	4/29 休日	雨	806	540	66	80	120	569	116	16	105
	5/5 休日	雨	2,979	2,036	270	77	596	1,977	271	236	495
	5/19 平日	晴	972	314	187	27	444	332	187	176	277
	7/27 休日	曇	4,458	1,102	905	126	2,325	528	906	2,874	150
	7/28 平日	晴	755	295	84	11	365	294	95	247	119
	11/3 休日	晴	669	87	174	65	343	118	192	141	218
61 大和川	1/12 休日	雨	303	70	20	31	182	73	18	78	134
	4/29 休日	雨	270	23	63	0	184	42	21	132	75
	5/5 休日	雨	800	228	248	21	303	5	264	499	32
	5/19 平日	晴	744	110	181	0	453	0	181	195	368
	7/27 休日	曇	1,104	413	133	31	527	59	138	505	402
	7/28 平日	晴	732	213	101	18	400	25	94	573	40
62 円山川	11/3 休日	晴	817	709	0	0	108	0	0	775	42
	1/12 休日	雨	956	756	0	0	200	0	0	857	99
	4/29 休日	雨後時々曇り	1,073	173	99	16	785	0	115	377	581
	5/5 休日	雨一時曇り	4,809	1,403	94	18	3,294	0	112	2,444	2,253
	5/19 平日	晴時々曇り	5,546	257	157	26	5,106	16	167	2,693	2,670
	7/27 休日	曇り一時晴	5,662	1,616	203	122	3,721	17	308	1,736	3,601
62 円山川	7/28 平日	晴後一時薄曇り	3,142	132	139	157	2,714	8	288	278	2,568
	11/3 休日	晴一時曇り	6,024	1,523	228	9	4,264	0	237	2,041	3,746
	1/12 休日	晴	8,684	2,643	96	20	5,925	0	116	3,898	4,670
	4/29 休日	曇	5,460	5,256	18	25	161	10	41	5,258	151
	5/5 休日	雨	584	182	50	2	350	143	49	99	293
	5/19 平日	晴	1,021	359	24	72	566	263	56	198	504
62 円山川	7/27 休日	曇	1,653	563	56	89	945	517	83	257	796
	7/28 平日	晴	721	53	26	66	576	34	70	60	557
	11/3 休日	雨	393	12	74	46	261	7	113	35	238
	1/12 休日	雪	676	0	3	15	658	8	10	22	636

1.各調査実施日の利用者数一覧表(平成26年度)

(人)

河川名	調査日	天候	合計	利用形態別利用者数				利用場所別利用者数			
				スポーツ	釣り	水遊び	散策等	水面	水際	高水敷	堤防
63 加古川	4/29 休日	晴	7,208	5,550	31	70	1,557	20	81	6,581	526
	5/5 休日	晴	16,349	13,324	48	580	2,397	568	60	14,833	888
	5/18 平日	晴	1,554	191	105	5	1,253	0	110	1,047	397
	7/26 休日	曇	14,495	9,280	139	1,902	3,174	1,692	349	11,544	910
	7/27 平日	曇	2,749	251	353	136	2,009	9	480	1,191	1,069
	11/3 休日	曇	8,912	6,133	214	18	2,547	0	232	7,429	1,251
	1/11 休日	曇	3,714	1,643	38	40	1,993	26	52	2,960	676
64 揖保川	4/29 休日	雨	421	0	66	0	355	7	59	163	192
	5/5 休日	雨	517	6	107	12	392	24	95	349	49
	5/19 平日	晴	1,303	868	0	49	386	24	25	1,203	51
	7/27 休日	晴	8,502	116	5,132	222	3,032	5,202	152	2,924	224
	7/28 平日	晴	1,723	40	1,025	393	265	1,022	396	201	104
	11/3 休日	晴	406	98	0	0	308	0	0	207	199
	1/12 休日	晴	4,300	2,235	0	0	2,065	0	0	4,082	218
65 紀の川	4/29 休日	雨	1,503	900	85	111	407	111	85	1,259	48
	5/5 休日	雨	4,443	3,124	171	131	1,017	28	274	4,041	100
	5/19 平日	晴	1,610	381	390	30	809	244	176	1,027	163
	7/27 休日	晴	9,944	6,941	356	647	2,000	744	259	8,620	321
	7/28 平日	晴	1,982	810	306	102	764	290	118	1,279	295
	11/3 休日	晴	30,115	21,437	878	189	7,611	273	794	22,585	6,463
	1/12 休日	晴	19,287	13,646	248	36	5,357	16	288	18,454	549
66 新宮川	4/29 休日	調査実施せず	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5/5 休日	調査実施せず	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5/19 平日	調査実施せず	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7/27 休日	晴後時々曇り	48	0	0	5	43	5	0	6	37
	7/28 平日	晴後薄曇り	255	0	0	43	212	0	43	8	204
	11/3 休日	晴	96	3	2	8	83	2	8	12	74
	1/12 休日	晴	119	0	0	30	89	0	30	20	69
67 九頭竜川	4/29 休日	晴	934	30	59	11	834	35	35	277	587
	5/5 休日	晴	485	26	138	0	321	95	43	231	116
	5/19 平日	晴	1,212	215	153	20	824	50	123	474	565
	7/27 休日	晴	2,546	900	666	186	794	543	309	1,278	416
	7/28 平日	晴	1,697	99	651	31	916	450	232	466	549
	11/3 休日	晴	437	6	74	27	330	21	80	209	127
	1/12 休日	晴	225	18	0	0	207	0	0	142	83
68 北川	4/29 休日	雨後曇	4	0	0	0	4	0	0	0	4
	5/5 休日	曇時々雨	49	0	0	0	49	0	0	0	49
	5/19 平日	晴	110	0	0	0	110	0	0	0	110
	7/27 休日	曇時々雨後晴	148	0	22	0	126	22	0	0	126
	7/28 平日	晴	192	0	0	0	192	0	0	0	192
	11/3 休日	雨時々曇	6	0	0	0	6	0	0	0	6
	1/12 休日	曇時々雪	5	0	0	0	5	0	0	0	5
近畿合計	4/29.5/3 休日		35,750	13,074	2,072	733	19,871	1,020	2,332	24,947	7,451
	5/5 休日		129,813	34,043	3,688	15,086	76,996	2,977	17,838	91,873	17,125
	5/18.19 平日		59,303	22,615	3,781	2,244	30,663	1,919	4,634	36,768	15,982
	7/26.27.8/31 休日		118,151	47,549	8,533	15,711	46,352	9,979	15,180	73,551	19,441
	7/27.28.9/1 平日		37,215	7,959	4,397	1,899	22,960	2,317	4,473	18,189	12,236
11/3.8 休日		133,442	51,963	4,698	1,230	75,551	552	5,442	85,454	41,994	
1/11.12 休日		89,800	43,682	1,552	483	44,083	157	1,865	61,725	26,053	
69 千代川(中国)	4/29 休日	晴	857	319	33	8	497	0	41	671	145
	5/5 休日	晴	363	96	16	12	239	6	22	272	63
	5/19 平日	晴	549	46	23	5	475	2	26	421	100
	7/27 休日	晴	3,414	2,594	102	45	673	56	91	2,797	470
	7/28 平日	晴	583	141	88	8	346	77	19	389	98
	11/3 休日	雨	470	234	13	4	219	0	17	377	76
	1/12 休日	晴	233	34	0	0	199	0	0	158	75
70 天神川	4/29 休日	雨後曇	285	72	3	10	200	1	12	188	84
	5/5 休日	雨後曇	530	78	15	49	388	14	50	213	253
	5/19 平日	晴	378	91	3	48	236	0	51	160	167
	7/27 休日	雨後曇	321	13	69	8	231	3	74	167	77
	7/28 平日	晴	1,023	110	56	40	817	64	32	608	319
	11/3 休日	雨後晴	515	30	3	69	413	1	71	177	266
	1/12 休日	曇り時々雨か雪	205	33	0	0	172	0	0	140	65
71 日野川	4/29 休日	雨/曇	346	95	0	22	229	9	13	177	147
	5/5 休日	雨/晴	1,200	602	46	30	522	30	46	677	447
	5/19 平日	晴	156	22	12	0	122	0	12	65	79
	7/27 休日	晴	1,117	615	77	58	367	79	56	767	215
	7/28 平日	晴	1,349	69	87	106	1,087	189	4	380	776
	11/3 休日	晴	395	67	110	16	202	0	126	152	117
	1/12 休日	曇	158	5	0	81	72	53	28	18	59
72 斐伊川	4/29 休日	雨	2,541	882	304	416	939	312	408	1,057	764
	5/5 休日	雨	2,464	289	451	256	1,468	67	640	600	1,157
	5/19 平日	晴	949	313	76	40	520	31	85	416	417
	7/27 休日	晴	3,190	214	149	964	1,863	360	753	631	1,446
	7/28 平日	晴	1,161	116	179	230	636	150	259	190	562
	11/3 休日	晴	1,479	102	262	180	935	15	427	454	583
	1/12 休日	雨	162	22	33	2	105	0	35	41	86
73 江の川	4/29 休日	晴	882	234	31	79	538	35	75	456	316
	5/5 休日	晴	1,772	605	51	391	725	279	163	993	337
	5/19 平日	晴	892	174	35	38	645	19	54	372	447
	7/27 休日	晴	2,584	937	129	948	570	802	275	1,297	210
	7/28 平日	晴	1,200	287	133	179	601	117	195	527	361
	11/3 休日	晴	1,372	601	57	88	626	92	53	844	383
	1/12 休日	晴	888	231	2	15	640	5	12	607	264
74 高津川	4/29 休日	雨	33	0	0	2	31	0	2	5	26
	5/5 休日	晴	139	0	42	0	97	2	40	34	63
	5/19 平日	晴	87	0	0	23	64	1	22	11	53
	7/27 休日	晴	252	3	43	131	75	88	86	53	25
	7/28 平日	晴	91	1	41	18	31	19	40	3	29
	11/3 休日	晴	140	0	26	12	102	8	30	39	63
	1/12 休日	晴	63	1	0	0	62	0	0	39	24
75 吉井川	4/29 休日	雨	167	59	0	0	108	0	0	145	22
	5/5 休日	雨	305	113	12	14	166	11	15	242	37
	5/19 平日	晴	299	89	8	6	196	3	11	255	30
	7/27 休日	晴	2,075	837	64	410	764	185	289	1,416	185
	7/28 平日	晴	361	70	11	171	109	27	155	115	64
	11/3 休日	晴	1,433	399	558	42	434	37	563	721	112
	1/12 休日	晴	562	291	33	2	236	0	35	405	122

1.各調査実施日の利用者数一覧表(平成26年度)

(人)

河川名	調査日	天候	合計	利用形態別利用者数				利用場所別利用者				
				スポーツ	釣り	水遊び	散策等	水面	水際	高水敷	堤防	
76 旭川	4/29	休日	雨	3,176	2,266	0	10	900	2	8	2,651	515
	5/5	休日	雨	3,818	1,571	59	49	2,139	49	59	3,113	597
	5/19	平日	晴	2,397	804	58	21	1,514	18	61	1,788	530
	7/27	休日	晴	15,213	2,735	582	3,068	8,828	1,785	1,865	11,354	209
	7/28	平日	晴	904	73	235	55	541	24	266	511	103
	11/3	休日	晴	5,783	267	2,567	2,071	878	117	4,521	598	547
	1/12	休日	晴	4,635	2,584	123	152	1,776	162	113	4,009	351
	4/29	休日	雨	561	215	20	50	276	50	20	451	40
77 高梁川	5/5	休日	雨	1,069	395	220	108	346	271	57	565	176
	5/19	平日	晴	296	193	4	13	86	11	6	279	0
	7/27	休日	晴	3,773	3,424	9	78	262	51	36	3,663	23
	7/28	平日	晴	240	80	1	75	84	37	39	164	0
	11/3	休日	晴	1,363	296	795	135	137	16	914	404	29
	1/12	休日	晴	2,247	1,702	10	1	534	1	10	2,113	123
	4/29	休日	曇	1,910	803	59	91	957	26	124	1,505	255
	5/5	休日	曇	1,927	567	106	98	1,156	33	171	1,389	334
78 芦田川	5/19	平日	晴	1,679	499	88	35	1,057	11	112	1,249	307
	7/27	休日	晴	4,182	1,486	40	578	2,078	386	232	2,498	1,066
	7/28	平日	晴	3,743	1,475	69	286	1,913	208	147	2,871	517
	11/3	休日	晴	3,686	2,505	186	37	958	25	198	3,122	341
	1/12	休日	晴	2,477	1,083	66	4	1,324	8	62	2,213	194
	4/29	休日	雨	8,379	1,799	135	605	5,840	434	306	2,742	4,897
	5/5	休日	雨	17,909	2,890	192	862	13,965	775	279	5,458	11,397
	5/19	平日	晴	8,887	653	38	649	7,547	405	282	1,761	6,439
79 太田川	7/27	休日	晴	15,946	4,006	615	2,796	8,529	2,618	793	4,594	7,941
	7/28	平日	晴	17,010	595	633	3,462	12,320	2,774	1,321	1,038	11,877
	11/3	休日	晴	20,467	3,796	417	1,762	14,492	1,109	1,070	6,009	12,279
	1/12	休日	雨	12,314	2,428	142	646	9,098	384	404	4,299	7,227
	4/29	休日	雨	299	0	0	50	249	34	16	78	171
	5/5	休日	雨	413	2	0	74	337	68	6	75	264
	5/19	平日	晴	436	0	0	64	372	15	49	90	282
	7/27	休日	晴	331	0	40	78	213	70	48	108	105
80 小瀬川	7/28	平日	晴	1,664	0	33	88	1,543	116	5	20	1,523
	11/3	休日	晴	2,206	68	0	34	2,104	34	0	416	1,756
	1/12	休日	雨	581	0	3	55	523	58	0	198	325
	4/29	休日	曇	1,867	49	257	770	791	2	1,025	600	240
	5/5	休日	晴	1,244	204	138	78	824	22	194	772	256
	5/19	平日	晴	1,049	13	0	13	1,023	0	13	306	730
	7/27	休日	晴	1,399	83	166	281	869	177	270	623	329
	7/28	平日	晴	930	76	76	110	668	59	127	530	214
81 佐波川	11/3	休日	晴	801	68	29	43	661	17	55	502	227
	1/12	休日	曇	770	72	90	10	598	30	70	402	268
	4/29	休日	雨	21,303	6,793	842	2,113	11,555	905	2,050	10,726	7,622
	5/5	休日	雨	33,153	7,412	1,348	2,021	22,372	1,627	1,742	14,403	15,381
	5/19	平日	晴	18,054	2,897	345	955	13,857	516	784	7,173	9,581
	7/26,27	休日	雨	53,797	16,947	2,085	9,443	25,322	6,660	4,868	29,968	12,301
	7/27,28	平日	晴	30,259	3,093	1,642	4,828	20,696	3,861	2,609	7,346	16,443
	11/3	休日	雨	40,110	8,433	5,023	4,493	22,161	1,471	8,045	13,815	16,779
中国合計	1/12	休日	雨	25,295	8,486	17	968	15,339	701	769	14,642	9,183
	4/29	休日	雨	1,194	543	17	108	526	44	81	859	210
	5/5	休日	雨	5,003	1,850	936	319	1,898	976	279	3,039	709
	5/19	平日	晴	3,460	694	327	410	2,029	199	538	1,996	727
	7/27	休日	晴	9,668	1,928	1,152	1,471	5,117	1,687	936	6,657	388
	7/28	平日	晴	2,535	531	325	301	1,378	432	194	1,413	496
	11/3	休日	晴	5,017	2,441	277	101	2,198	168	210	3,517	1,122
	1/12	休日	晴	4,102	2,372	106	110	1,514	60	156	3,355	531
82 吉野川	4/29	休日	雨	6	0	1	2	3	2	1	2	1
	5/5	休日	晴	447	64	61	22	300	22	61	224	140
	5/19	平日	晴	251	3	5	17	226	0	22	76	153
	7/27	休日	晴	488	264	83	20	121	2	101	349	36
	7/28	平日	晴	301	1	35	9	256	14	30	123	134
	11/3	休日	晴	642	37	71	135	399	129	77	142	294
	1/12	休日	晴	1,269	717	29	84	439	66	47	922	234
	4/29	休日	雨	2,872	1,449	0	68	1,355	2	66	2,400	404
83 那賀川	5/5	休日	雨	2,043	847	0	65	1,131	0	65	1,503	475
	5/19	平日	晴	855	326	0	18	511	4	14	641	196
	7/27	休日	晴	3,752	2,801	2	7	942	2	7	3,424	319
	7/28	平日	晴	677	89	93	23	472	6	110	382	179
	11/3	休日	晴	3,342	2,386	5	30	921	0	35	2,909	398
	1/12	休日	晴	1,769	1,106	7	10	646	0	17	1,403	349
	4/29	休日	晴	5,128	2,451	24	182	2,470	18	188	2,968	1,954
	5/5	休日	雨	2,025	510	82	56	1,377	912	975	67	71
84 土器川	5/19	平日	晴	4,337	641	2	37	3,657	17	22	2,737	1,561
	7/27	休日	晴	3,505	1,097	22	67	2,319	21	68	2,275	1,142
	7/28	平日	晴	1,858	413	5	55	1,385	5	55	868	930
	11/3	休日	晴	3,027	335	21	40	2,631	7	53	1,251	1,716
	1/12	休日	晴	2,536	641	5	12	1,879	0	17	1,215	1,305
	4/29	休日	曇	520	91	7	130	292	10	127	245	138
	5/5	休日	曇	579	46	14	237	282	1	251	229	98
	5/19	平日	晴	349	47	2	34	266	0	36	167	146
85 重信川	7/20	休日	晴	516	127	41	138	210	39	168	253	56
	7/22	平日	晴	368	60	33	49	226	14	68	167	119
	11/2	休日	雨	477	30	66	60	321	25	101	210	141
	1/12	休日	曇	294	68	3	10	213	0	13	177	104
	4/29	休日	雨	1,538	1,198	3	1	336	169	1,365	4	0
	5/5	休日	雨	751	252	34	91	374	49	577	125	0
	5/19	平日	晴	711	112	219	3	377	70	419	154	68
	7/27	休日	晴	1,780	486	408	412	474	139	821	212	608
86 肱川	7/28	平日	晴	466	83	115	59	209	51	241	96	78
	11/3	休日	晴	1,021	476	43	62	440	155	761	86	19
	1/12	休日	晴	677	266	0	97	314	87	493	97	0
	4/29	休日	雨	598	6	10	114	468	329	145	118	6
	5/5	休日	雨	5,425	0	17	2,009	3,399	960	2,439	1,909	117
	5/19	平日	晴	1,277	2	14	119	1,142	575	569	116	17
	7/27	休日	晴	6,241	35	142	4,878	1,186	222	999	2,947	2,073
	7/28	平日	晴	2,301	0	73	1,327	901	584	317	1,052	348
87 物部川	11/3	休日	晴	1,692	4	87	374	1,227	646	585	399	62
	1/12	休日	晴	1,251	15	23	228	985	597	403	248	3

1.各調査実施日の利用者数一覧表(平成26年度)

(人)

河川名	調査日	天候	合計	利用形態別利用者数				利用場所別利用者				
				スポーツ	釣り	水遊び	散策等	水面	水際	高水敷	堤防	
89 渡川	4/29	休日	晴	1,134	91	215	269	559	232	252	216	434
	5/5	休日	雨	1,118	117	228	222	551	303	147	396	272
	5/19	平日	晴	908	52	32	460	364	446	46	185	231
	7/27	休日	晴	1,121	76	122	598	325	469	251	192	209
	7/28	平日	晴	935	44	54	410	427	377	87	220	251
	11/3	休日	晴	1,091	100	254	170	567	140	284	253	414
	1/12	休日	晴	656	81	49	145	381	93	101	229	233
	4/29	休日		12,989	5,829	277	874	6,009	806	2,225	6,812	3,147
	5/5	休日		17,391	3,686	1,372	3,021	9,312	3,223	4,794	7,492	1,882
	5/19	平日		12,148	1,877	601	1,098	8,572	1,311	1,666	6,072	3,099
四国合計	7/20/27	休日	27,071	6,814	1,972	7,591	10,694	2,581	3,351	16,309	4,831	
	7/22/28	平日	9,441	1,221	733	2,233	5,254	1,483	1,102	4,321	2,535	
	11/3	休日	16,309	5,809	824	972	8,704	1,270	2,106	8,767	4,166	
	1/12	休日	12,555	5,266	222	696	6,371	903	1,247	7,646	2,759	
	4/29	休日	7,020	1,320	1,350	145	4,205	123	1,372	3,695	1,830	
	5/5	休日	6,271	1,398	2,022	120	2,731	154	1,988	3,531	598	
90 遠賀川	5/19	平日	1,792	189	256	46	1,301	52	250	978	512	
	7/27	休日	9,499	1,499	813	1,657	5,530	941	1,529	5,565	1,464	
	7/28	平日	2,675	369	414	192	1,700	156	450	1,427	642	
	11/3	休日	3,590	1,194	728	43	1,625	85	686	2,386	433	
	1/12	休日	4,191	2,717	268	4	1,202	73	199	3,644	275	
	4/29	休日	1,693	27	22	656	988	8	672	335	678	
	5/5	休日	1,385	16	13	248	1,108	13	248	430	694	
	5/19	平日	1,112	7	16	72	1,017	27	61	237	787	
	7/27	休日	984	65	81	124	714	166	43	398	377	
	7/28	平日	740	14	75	170	481	56	189	169	326	
91 山国川	11/3	休日	1,884	29	30	181	1,644	2	209	304	1,369	
	1/12	休日	445	20	2	114	309	32	84	185	144	
	4/29	休日	14,330	7,221	674	516	5,919	473	717	10,831	2,309	
	5/5	休日	10,953	2,935	1,078	709	6,231	483	1,304	6,440	2,726	
	5/19	平日	6,812	865	454	408	5,085	312	550	3,406	2,544	
	7/27	休日	15,902	11,776	696	474	2,956	391	779	13,664	1,068	
	7/28	平日	6,065	1,616	469	358	3,622	385	442	3,706	1,532	
	11/3	休日	9,109	4,274	636	352	3,847	291	697	6,581	1,540	
	1/12	休日	7,591	2,772	447	301	4,071	232	516	5,012	1,831	
	4/29	休日	800	6	37	19	738	0	56	416	328	
93 矢部川	5/5	休日	778	7	158	96	517	100	154	230	294	
	5/19	平日	638	15	106	31	486	42	95	185	316	
	7/27	休日	693	10	238	181	264	149	270	182	92	
	7/28	平日	498	59	42	74	323	64	52	202	180	
	11/3	休日	1,289	24	101	176	988	194	83	663	349	
	1/12	休日	1,125	1	75	145	904	135	85	467	438	
	4/29	休日	1,456	171	4	149	1,132	95	147	134	1,080	
	5/5	休日	484	146	11	78	249	158	10	90	226	
	5/19	平日	251	24	0	63	164	82	0	35	134	
	7/28	平日	222	91	1	24	106	42	21	54	105	
94 松浦川	8/17	休日	457	154	57	89	157	209	27	112	109	
	11/3	休日	354	48	80	128	98	104	128	24	98	
	1/12	休日	343	44	70	8	221	121	0	6	216	
	4/29	休日	1,090	0	91	283	716	36	338	292	424	
	5/5	休日	287	0	34	103	150	2	135	40	110	
	5/19	平日	342	0	28	58	256	4	82	6	250	
	7/27	休日	321	0	7	64	250	0	71	0	250	
	7/28	平日	337	0	0	106	231	0	106	1	230	
	11/3	休日	260	0	0	40	220	1	39	5	215	
	1/12	休日	239	1	16	25	197	0	41	21	177	
96 嘉瀬川	4/29	休日	1,840	1,328	81	157	274	44	194	1,433	169	
	5/5	休日	1,301	110	178	181	832	98	261	628	314	
	5/19	平日	481	81	46	43	311	2	87	181	211	
	7/27	休日	735	375	47	60	253	16	91	493	135	
	7/28	平日	428	90	34	34	270	12	56	159	201	
	11/3	休日	1,153	739	48	20	346	12	56	800	285	
	1/12	休日	1,246	773	29	57	387	19	67	926	234	
	4/29	休日	558	0	53	11	494	0	64	150	344	
	5/5	休日	615	5	38	10	562	0	48	192	375	
	5/19	平日	599	13	5	5	576	0	10	177	412	
97 本明川	7/27	休日	1,285	7	33	36	1,209	30	39	1,008	208	
	7/28	平日	383	4	21	28	330	7	43	114	219	
	11/3	休日	967	84	13	20	850	2	31	571	363	
	1/12	休日	535	21	11	5	498	11	5	193	326	
	5/3	休日	3,176	165	121	209	2,681	141	189	1,325	1,521	
	5/5	休日	1,724	25	149	218	1,332	78	289	484	873	
	5/19	平日	395	8	40	18	329	7	51	124	213	
	7/27	休日	1,086	58	31	200	797	158	73	466	389	
	7/28	平日	680	35	24	33	588	25	32	209	414	
	11/3	休日	1,389	17	42	8	1,322	9	41	1,085	254	
99 白川	1/12	休日	1,157	81	48	23	1,005	5	66	753	333	
	4/29	休日	1,131	81	42	68	940	68	42	363	658	
	5/5	休日	782	6	41	37	698	0	78	289	415	
	5/19	平日	742	58	70	0	614	0	70	294	378	
	7/27	休日	1,709	148	362	0	1,199	0	362	238	1,109	
	7/28	平日	445	29	6	0	410	0	6	62	377	
	11/3	休日	890	132	91	4	663	9	86	257	538	
	1/12	休日	2,935	11	0	9	2,915	9	0	2,309	617	
	5/3	休日	2,602	833	174	197	1,398	50	321	1,953	278	
	5/5	休日	2,236	167	380	238	1,451	28	590	1,195	423	
100 緑川	5/19	平日	1,226	129	126	138	833	122	142	248	714	
	7/27	休日	2,072	414	378	261	1,019	185	454	1,056	377	
	7/28	平日	1,275	93	208	67	907	34	241	462	538	
	11/3	休日	1,427	266	127	148	886	47	228	767	385	
	1/12	休日	1,462	148	102	12	1,200	26	88	898	450	
	4/29	休日	3,523	1,090	311	182	1,940	258	374	1,950	941	
	5/5	休日	3,492	834	209	499	1,950	572	352	1,398	1,170	
	5/19	平日	2,641	618	98	247	1,678	324	107	982	1,228	
	7/27	休日	5,791	2,764	447	812	1,768	1,385	675	3,013	718	
	7/28	平日	3,268	1,018	182	562	1,506	802	297	1,266	903	
101 球磨川	11/3	休日	3,432	530	235	355	2,312	309	340	1,308	1,475	
	1/12	休日	2,415	258	60	213	1,884	114	159	1,202	940	

1.各調査実施日の利用者数一覧表(平成26年度)

(人)

河川名	調査日	天候	合計	利用形態別利用者数				利用場所別利用者				
				スポーツ	釣り	水遊び	散策等	水面	水際	高水敷	堤防	
102 大分川	4/29	休日	雨	2,830	110	11	56	2,453	24	43	1,506	1,057
	5/5	休日	雨	2,187	118	18	71	1,980	2	87	1,109	989
	5/19	平日	晴	2,308	220	37	48	2,003	13	72	810	1,413
	7/27	休日	晴	3,289	84	36	489	2,680	364	161	1,241	1,523
	7/28	平日	雨	2,230	31	77	77	2,045	49	105	952	1,124
	11/3	休日	晴	1,435	120	24	31	1,260	6	49	642	738
103 大野川	1/12	休日	晴	1,983	146	7	2	1,828	0	9	679	1,295
	4/29	休日	雨	1,791	223	142	201	1,225	63	280	545	903
	5/5	休日	雨	1,012	155	169	37	651	13	193	356	450
	5/19	平日	晴	1,065	186	83	10	786	5	88	473	499
	7/27	休日	晴	8,031	757	105	44	7,125	48	101	7,052	830
	7/28	平日	雨	1,384	430	190	171	593	69	292	592	431
104 番匠川	11/3	休日	晴	1,750	712	133	72	833	22	183	1,075	470
	1/12	休日	晴	1,925	436	204	11	1,274	0	215	912	798
	4/29	休日	雨	2,036	36	63	164	1,773	41	197	357	1,441
	5/5	休日	晴	1,425	80	27	72	1,246	35	64	327	999
	5/19	平日	晴	1,433	23	39	187	1,184	0	226	254	953
	7/27	休日	晴	4,005	130	126	1,005	2,744	806	332	1,258	1,609
105 五ヶ瀬川	7/28	平日	晴	3,601	20	45	1,586	1,950	443	1,188	447	1,523
	11/3	休日	晴	2,153	115	49	111	1,878	33	156	308	1,656
	1/13	休日	晴	1,529	54	13	5	1,457	3	18	295	1,213
	4/29	休日	曇	2,389	186	305	131	1,767	17	419	975	978
	5/5	休日	曇	985	44	185	14	742	18	181	295	491
	5/19	平日	曇	2,067	45	163	64	1,795	89	138	247	1,593
106 小丸川	8/17	休日	晴	1,445	249	161	222	813	180	203	446	616
	8/18	平日	晴	992	137	104	62	689	7	159	306	520
	11/3	休日	晴	2,007	111	589	76	1,231	322	343	318	1,024
	1/12	休日	晴	1,443	335	108	64	936	0	172	723	548
	4/29	休日	晴	1,834	1,067	123	46	598	16	153	1,106	559
	5/5	休日	雨後曇	982	665	129	26	162	19	136	679	148
107 大淀川	5/19	平日	雨後晴	566	20	74	37	435	14	97	114	341
	7/27	休日	晴	2,060	1,799	40	27	194	9	58	1,845	148
	7/28	平日	晴	452	37	70	22	323	2	90	99	261
	11/3	休日	晴	764	202	195	38	329	29	204	315	216
	1/12	休日	晴	376	22	16	3	335	0	19	49	308
	4/29	休日	晴	10,791	6,201	383	84	4,123	122	451	7,812	2,406
108 川内川	5/5	休日	晴	5,667	2,980	336	210	2,141	76	470	3,537	1,584
	5/19	平日	雨	2,846	801	230	277	1,538	81	491	1,204	1,070
	7/27	休日	晴	6,491	4,024	514	461	1,492	386	747	4,584	774
	7/28	平日	晴	4,709	1,105	762	241	2,601	116	938	2,000	1,655
	11/3	休日	晴	9,612	4,901	968	40	3,703	188	948	6,873	1,803
	1/13	休日	晴	6,884	3,757	165	73	2,889	65	235	4,808	1,776
109 肝属川	4/29	休日	曇	2,067	216	293	293	1,265	126	460	679	802
	5/5	休日	雨	1,344	78	253	206	807	181	278	458	427
	5/19	平日	晴	713	83	155	17	458	19	153	308	293
	7/27	休日	晴	1,307	227	246	159	675	134	271	607	295
	7/28	平日	晴	1,031	128	131	275	497	270	136	427	198
	11/3	休日	晴	1,014	305	116	29	564	33	112	643	226
九州合計	1/12	休日	晴	1,208	415	66	51	676	51	66	648	443
	4/29	休日	曇	901	6	32	30	833	4	62	197	638
	5/5	休日	雨のち曇	438	3	25	8	402	0	33	33	372
	5/19	平日	雨のち曇	448	0	10	1	437	0	11	11	426
	7/27	休日	晴	365	6	10	7	342	8	15	101	241
	7/28	平日	晴	224	0	5	4	215	4	5	30	185
全国合計	11/3	休日	晴	377	8	30	1	338	8	23	43	303
	1/12	休日	晴	544	9	30	49	456	10	75	56	403
	4/29.5/3	休日	晴	63,658	20,287	4,312	3,597	35,462	1,709	6,551	36,054	19,344
	5/5	平日	晴	44,348	9,772	5,453	3,181	25,942	2,030	6,899	21,741	13,678
	5/19	平日	晴	28,477	3,385	2,036	1,770	21,286	1,195	2,781	10,274	14,227
	7/27.8/17	休日	晴	67,292	24,483	4,372	6,307	32,130	5,398	6,295	43,271	12,328
7/28.8/18	平日	晴	31,874	5,369	2,916	4,151	19,438	2,710	4,854	12,742	11,568	
11/3.9	休日	晴	44,856	13,811	4,235	1,873	24,937	1,706	4,642	24,968	13,540	
全国合計	1/12	休日	晴	39,576	12,021	1,737	1,174	24,644	906	2,119	23,786	12,765
	4/29	休日	晴	818,097	339,294	29,494	32,930	416,379	20,003	45,709	585,341	167,045
	5/5	平日	晴	880,258	295,867	34,573	41,437	508,381	20,467	61,914	643,358	154,521
	5/19	平日	晴	401,379	119,536	19,809	15,974	246,061	12,637	24,758	231,630	132,354
	7/27	休日	晴	981,576	436,610	49,536	89,643	405,787	76,464	72,365	653,098	179,650
	7/28	平日	晴	455,601	168,116	29,418	29,597	228,470	24,904	34,637	266,840	129,220
11/3	休日	晴	822,325	354,789	38,283	17,139	412,114	13,251	44,460	538,209	226,402	
1/12	休日	晴	484,533	230,167	11,410	7,123	235,833	5,856	14,431	340,991	123,257	

3. 全国一級水系年間利用者数順位表

①年間利用者数順位表(平成26年度)

(人/年)

順位	総合		利用形態別内訳							
	順位	利用者数	スポーツ		釣り		水遊び		散策等	
1	荒川(関東)	25,352,188	荒川(関東)	13,152,968	利根川	1,975,782	淀川	926,766	荒川(関東)	11,644,625
2	利根川	21,642,111	利根川	8,300,541	淀川	679,395	木曽川	578,983	利根川	10,794,666
3	多摩川	17,805,502	多摩川	7,223,209	木曽川	461,519	利根川	571,123	多摩川	9,854,263
4	淀川	15,131,894	淀川	4,682,033	荒川(関東)	304,628	多摩川	480,393	淀川	8,843,701
5	木曽川	10,119,829	石狩川	3,397,985	多摩川	247,637	太田川	477,519	木曽川	6,131,161
6	信濃川	6,399,266	信濃川	2,963,254	信濃川	234,077	信濃川	259,834	鶴見川	3,968,045
7	石狩川	6,096,824	木曽川	2,948,167	神通川	206,774	荒川(関東)	249,967	太田川	3,789,972
8	太田川	5,172,203	庄内川	1,764,700	那珂川	206,250	仁淀川	218,467	信濃川	2,942,101
9	鶴見川	4,591,384	富士川	1,624,812	大淀川	175,740	高瀬川	186,028	石狩川	2,578,973
10	安倍川	2,808,791	安倍川	1,388,460	庄川	164,597	最上川	183,961	北上川	1,931,370
11	筑後川	2,807,281	大井川	1,344,966	揖保川	158,353	那珂川	174,269	筑後川	1,903,493
12	北上川	2,712,171	十勝川	1,321,056	遠賀川	144,973	天竜川	170,061	安倍川	1,244,788
13	庄内川	2,707,623	紀の川	1,136,781	筑後川	119,506	相模川	151,373	斐伊川	1,190,470
14	富士川	2,632,321	加古川	1,052,884	紀の川	104,761	番匠川	130,323	雄物川	1,151,909
15	大淀川	2,189,442	大淀川	975,337	旭川	98,402	旭川	111,585	大和川	1,136,339
16	紀の川	2,102,989	太田川	810,043	北上川	95,998	富士川	108,608	大淀川	959,124
17	十勝川	1,871,115	筑後川	699,193	太田川	94,669	鶴見川	104,730	嘉瀬川	945,948
18	大井川	1,862,414	北上川	624,346	吉野川	84,285	安倍川	103,926	庄内川	895,498
19	加古川	1,795,501	那珂川	614,006	天竜川	83,913	球磨川	102,043	阿賀野川	874,617
20	天竜川	1,535,104	天竜川	580,802	五ヶ瀬川	81,957	宮川	100,516	狩野川	871,536
21	大和川	1,499,080	鶴見川	468,188	石狩川	79,553	渡川	90,113	富士川	864,524
22	那珂川	1,408,226	芦田川	445,552	阿武隈川	75,685	筑後川	85,089	紀の川	827,772
23	斐伊川	1,361,271	矢作川	426,281	九頭竜川	74,455	大淀川	79,240	天竜川	700,328
24	雄物川	1,313,097	常呂川	413,561	安倍川	71,617	加古川	77,200	大分川	669,831
25	阿賀野川	1,264,015	常願寺川	335,049	最上川	68,473	吉野川	74,185	重信川	657,978
26	最上川	1,064,665	阿賀野川	324,010	手取川	60,082	北上川	60,457	加古川	623,850
27	嘉瀬川	1,059,514	遠賀川	319,118	十勝川	57,087	斐伊川	57,116	阿武隈川	598,875
28	狩野川	1,042,407	大和川	306,272	緑川	56,773	阿賀野川	46,914	最上川	598,045
29	遠賀川	1,000,469	吉野川	305,204	鶴見川	50,419	緑川	43,985	番匠川	503,726
30	芦田川	944,916	相模川	302,917	大野川	48,565	阿武隈川	41,527	遠賀川	495,969
31	阿武隈川	939,926	旭川	285,780	相模川	47,757	江の川	41,451	球磨川	489,987
32	旭川	905,809	土器川	236,829	球磨川	46,751	遠賀川	40,409	大井川	487,233
33	矢作川	896,622	阿武隈川	223,839	斐伊川	45,558	石狩川	40,314	石狩川	479,309
34	吉野川	886,955	最上川	214,186	大和川	42,293	山国川	40,251	十勝川	478,028
35	重信川	854,506	球磨川	210,540	加古川	41,567	庄内川	39,496	名取川	448,184
36	球磨川	849,321	揖保川	192,146	川内川	38,077	天塩川	39,129	芦田川	426,926
37	相模川	751,508	庄川	184,713	渡川	34,635	芦田川	39,040	吉野川	423,281
38	大分川	744,448	重信川	178,303	豊川	34,481	狩野川	38,094	矢作川	414,049
39	番匠川	664,412	名取川	161,161	富士川	34,376	久慈川	37,364	那珂川	413,701
40	五ヶ瀬川	642,343	豊川	153,616	芦田川	33,398	川内川	36,503	旭川	410,042
41	名取川	640,936	黒部川	144,976	久慈川	32,544	肱川	36,013	白川	396,511
42	揖保川	635,354	岩木川	142,062	松浦川	32,513	矢作川	35,680	小瀬川	385,090
43	神通川	622,696	高梁川	135,004	小丸川	30,954	紀の川	33,675	由良川	369,123
44	庄川	541,719	神通川	131,563	釧路川	30,786	揖保川	32,434	緑川	338,025
45	大野川	537,426	雄物川	129,394	由良川	29,404	大野川	31,060	大野川	336,936
46	仁淀川	537,061	大野川	120,866	狩野川	28,901	矢部川	27,329	川内川	331,988
47	常呂川	520,830	江の川	117,267	網走川	27,207	子吉川	26,259	肱川	326,690
48	緑川	500,348	狩野川	103,876	高梁川	26,838	五ヶ瀬川	25,465	仁淀川	306,370
49	常願寺川	499,331	鈴鹿川	102,379	物部川	25,935	小瀬川	25,200	神通川	282,097
50	川内川	467,645	千代川	100,581	梯川	25,879	鈴鹿川	24,689	矢部川	266,397
51	白川	447,529	赤川	97,877	白川	24,947	大分川	24,047	菊池川	263,811
52	土器川	435,679	嘉瀬川	91,769	雄物川	24,586	由良川	23,418	揖保川	252,421
53	由良川	430,651	円山川	90,372	吉井川	23,924	天神川	22,488	相模川	249,461
54	小瀬川	418,634	天塩川	84,499	矢部川	23,339	佐波川	21,292	久慈川	230,150
55	肱川	396,609	釧路川	84,210	矢作川	20,612	大井川	18,424	肝属川	229,022
56	岩木川	387,638	物部川	81,875	岩木川	20,009	吉井川	17,935	山国川	226,586
57	豊川	386,969	小丸川	77,579	阿賀野川	18,474	名取川	17,234	岩木川	212,755
58	江の川	371,346	久慈川	70,914	黒部川	17,487	日野川	17,199	天神川	205,214
59	久慈川	370,972	斐伊川	68,127	佐波川	16,360	六角川	17,031	江の川	197,071

	総合	利用形態別内訳								
		スポーツ		釣り		水遊び		散策等		
60	宮川	337.767	緑川	61.565	菊池川	15.905	物部川	16.787	九頭竜川	191.333
61	矢部川	322.296	川内川	61.077	肱川	15.788	釧路川	16.033	佐波川	189.739
62	九頭竜川	315.356	宮川	60.972	江の川	15.557	円山川	15.458	土器川	186.001
63	菊池川	305.222	網走川	59.347	名取川	14.357	十勝川	14.944	豊川	185.113
64	円山川	292.301	小矢部川	57.871	大分川	14.198	那賀川	14.598	庄川	183.961
65	山国川	280.289	五ヶ瀬川	55.612	宮川	14.184	菊池川	14.255	円山川	173.073
66	渡川	278.198	吉井川	51.915	菊川	14.011	大和川	14.176	赤川	164.982
67	赤川	274.062	鳴瀬川	45.300	常願寺川	13.875	高梁川	14.026	宮川	162.095
68	天神川	261.965	九頭竜川	39.972	円山川	13.396	豊川	13.759	雲出川	145.261
69	小丸川	253.447	湧別川	37.322	番匠川	13.235	重信川	13.253	常願寺川	143.779
70	黒部川	249.761	菊川	36.745	馬淵川	13.029	雲出川	13.238	本明川	142.410
71	佐波川	243.268	大分川	36.372	日野川	12.750	菊川	13.219	馬淵川	140.624
72	天塩川	242.340	松浦川	30.926	子吉川	12.208	岩木川	12.812	米代川	140.612
73	肝属川	242.266	馬淵川	29.060	大井川	11.791	馬淵川	12.200	関川	137.487
74	千代川	231.586	天神川	28.511	米代川	11.546	松浦川	11.894	手取川	136.174
75	手取川	227.383	日野川	26.158	千代川	11.380	嘉瀬川	11.240	小丸川	134.060
76	高梁川	224.900	米代川	24.480	仁淀川	10.774	櫛田川	11.234	渡川	131.089
77	鈴鹿川	221.263	白川	23.482	嘉瀬川	10.556	小丸川	10.854	千代川	117.153
78	高瀬川	210.376	那賀川	22.865	雲出川	10.483	九頭竜川	9.596	小矢部川	116.700
79	釧路川	208.999	渡川	22.361	赤川	9.894	手取川	9.043	天塩川	114.330
80	物部川	207.145	手取川	22.084	高瀬川	8.104	庄川	8.448	那賀川	106.588
81	馬淵川	194.913	荒川(北陸)	21.207	山国川	8.085	土器川	7.298	松浦川	103.222
82	雲出川	186.703	沙流川	21.135	那賀川	7.976	雄物川	7.208	常呂川	102.302
83	小矢部川	183.149	子吉川	19.458	鳴瀬川	7.942	姫川	7.042	日野川	96.805
84	米代川	179.569	肱川	18.118	庄内川	7.929	網走川	6.635	鈴鹿川	90.749
85	松浦川	178.555	雲出川	17.721	尻別川	7.719	常願寺川	6.628	黒部川	86.551
86	本明川	155.956	番匠川	17.128	肝属川	7.190	関川	6.171	物部川	82.548
87	吉井川	154.948	佐波川	15.877	小矢部川	6.647	鳴瀬川	5.142	尻別川	78.664
88	日野川	152.912	菊池川	11.251	櫛田川	6.146	新宮川	4.973	釧路川	77.970
89	那賀川	152.027	由良川	8.706	天神川	5.752	高津川	4.679	子吉川	64.939
90	関川	147.699	後志利別川	7.653	土器川	5.551	肝属川	4.552	六角川	64.097
91	菊川	125.773	姫川	7.572	荒川(北陸)	5.518	本明川	3.574	櫛田川	63.205
92	子吉川	122.864	小瀬川	5.643	本明川	5.104	米代川	2.931	菊川	61.798
93	網走川	115.505	山国川	5.367	重信川	4.971	白川	2.589	吉井川	61.174
94	尻別川	90.760	矢部川	5.232	天塩川	4.382	千代川	2.472	梯川	57.895
95	梯川	89.911	本明川	4.868	高津川	4.367	神通川	2.262	留萌川	56.064
96	鳴瀬川	86.042	梯川	4.145	後志利別川	4.170	梯川	1.992	高梁川	49.032
97	六角川	85.154	尻別川	3.288	六角川	3.958	小矢部川	1.931	鳴瀬川	27.658
98	櫛田川	81.722	関川	2.212	鈴鹿川	3.446	常呂川	1.785	沙流川	26.432
99	留萌川	57.269	肝属川	1.502	常呂川	3.182	赤川	1.309	北川	24.640
100	湧別川	48.637	仁淀川	1.450	小瀬川	2.701	荒川(北陸)	1.260	新宮川	23.250
101	沙流川	48.181	鷲川	1.176	関川	1.829	尻別川	1.089	姫川	22.617
102	荒川(北陸)	41.510	櫛田川	1.137	姫川	1.685	後志利別川	1.033	網走川	22.316
103	姫川	38.916	留萌川	1.073	湧別川	941	黒部川	747	高瀬川	16.244
104	新宮川	28.537	新宮川	202	鷲川	688	沙流川	321	高津川	15.758
105	北川	25.028	高津川	140	北川	388	湧別川	119	荒川(北陸)	13.525
106	高津川	24.944	六角川	68	沙流川	293	渚滑川	85	後志利別川	11.975
107	後志利別川	24.832	渚滑川	9	留萌川	132	鷲川	25	鷲川	10.803
108	鷲川	12.691	高瀬川	0	新宮川	112	留萌川	0	湧別川	10.254
109	渚滑川	415	北川	0	渚滑川	51	北川	0	渚滑川	270

②1人あたりの年間利用回数順位表(平成26年度)

(回/年・人)

	総合		利用形態別内訳							
			スポーツ		釣り		水遊び		散策等	
1	尻別川	18.1	大井川	3.2	尻別川	1.5	渡川	2.5	尻別川	15.7
2	番匠川	11.4	常呂川	3.2	小丸川	1.2	番匠川	2.2	番匠川	8.6
3	小丸川	9.5	小丸川	2.9	渡川	1.0	高瀬川	1.0	肱川	7.1
4	肱川	8.6	十勝川	2.3	五ヶ瀬川	0.7	肱川	0.8	小丸川	5.0
5	渡川	7.9	黒部川	2.1	庄川	0.5	天塩川	0.6	五ヶ瀬川	4.1
6	五ヶ瀬川	5.4	安倍川	2.0	神通川	0.5	宮川	0.5	渡川	3.7
7	太田川	4.6	加古川	2.0	那珂川	0.4	仁淀川	0.5	太田川	3.4
8	大井川	4.4	紀の川	1.9	網走川	0.4	太田川	0.4	嘉瀬川	3.4
9	常呂川	4.0	土器川	1.8	手取川	0.4	小丸川	0.4	留萌川	2.5
10	安倍川	4.0	荒川(関東)	1.8	肱川	0.3	球磨川	0.4	木曾川	2.4
11	木曾川	3.9	大淀川	1.6	大淀川	0.3	那珂川	0.3	天神川	2.3
12	嘉瀬川	3.8	多摩川	1.4	後志利別川	0.3	子吉川	0.3	小瀬川	2.2
13	大淀川	3.7	石狩川	1.4	黒部川	0.3	江の川	0.3	円山川	2.1
14	天塩川	3.7	富士川	1.3	遠賀川	0.2	相模川	0.3	雄物川	2.1
15	黒部川	3.7	天塩川	1.3	梯川	0.2	天神川	0.3	多摩川	1.9
16	円山川	3.5	湧別川	1.2	物部川	0.2	木曾川	0.2	筑後川	1.9
17	荒川(関東)	3.5	那珂川	1.2	番匠川	0.2	斐伊川	0.2	斐伊川	1.9
18	多摩川	3.5	木曾川	1.1	揖保川	0.2	五ヶ瀬川	0.2	川内川	1.9
19	紀の川	3.4	沙流川	1.1	川内川	0.2	川内川	0.2	球磨川	1.8
20	土器川	3.3	円山川	1.1	荒川(北陸)	0.2	那賀川	0.2	肝属川	1.8
21	加古川	3.3	信濃川	1.0	九頭竜川	0.2	円山川	0.2	安倍川	1.8
22	十勝川	3.3	江の川	0.9	木曾川	0.2	最上川	0.2	天塩川	1.7
23	球磨川	3.2	網走川	0.8	球磨川	0.2	山国川	0.2	由良川	1.7
24	天神川	3.0	淀川	0.8	紀の川	0.2	淀川	0.2	大淀川	1.6
25	筑後川	2.8	荒川(北陸)	0.8	円山川	0.2	旭川	0.2	荒川(関東)	1.6
26	江の川	2.7	球磨川	0.8	子吉川	0.1	姫川	0.2	北上川	1.5
27	那珂川	2.7	常願寺川	0.7	利根川	0.1	物部川	0.1	淀川	1.5
28	川内川	2.6	物部川	0.7	釧路川	0.1	安倍川	0.1	江の川	1.4
29	沙流川	2.6	太田川	0.7	松浦川	0.1	小瀬川	0.1	土器川	1.4
30	淀川	2.6	筑後川	0.7	旭川	0.1	加古川	0.1	沙流川	1.4
31	留萌川	2.5	尻別川	0.7	吉野川	0.1	大淀川	0.1	那賀川	1.4
32	石狩川	2.5	渡川	0.6	由良川	0.1	矢部川	0.1	狩野川	1.4
33	小瀬川	2.4	利根川	0.6	筑後川	0.1	新宮川	0.1	大分川	1.4
34	雄物川	2.3	庄内川	0.6	淀川	0.1	吉野川	0.1	紀の川	1.4
35	信濃川	2.2	庄川	0.6	江の川	0.1	由良川	0.1	黒部川	1.3
36	富士川	2.2	相模川	0.6	那賀川	0.1	天竜川	0.1	菊池川	1.3
37	北上川	2.1	遠賀川	0.5	矢部川	0.1	日野川	0.1	矢部川	1.2
38	斐伊川	2.1	千代川	0.5	大野川	0.1	久慈川	0.1	加古川	1.2
39	那賀川	2.0	後志利別川	0.5	安倍川	0.1	高津川	0.1	大井川	1.2
40	由良川	2.0	吉野川	0.5	十勝川	0.1	多摩川	0.1	鶴川	1.0
41	肝属川	1.9	北上川	0.5	高津川	0.1	網走川	0.1	石狩川	1.0
42	物部川	1.8	芦田川	0.5	相模川	0.1	斐伊川	0.1	本明川	1.0
43	宮川	1.8	五ヶ瀬川	0.5	太田川	0.1	富士川	0.1	名取川	1.0
44	遠賀川	1.7	岩木川	0.4	菊川	0.1	信濃川	0.1	重信川	1.0
45	庄川	1.7	旭川	0.4	久慈川	0.1	筑後川	0.1	信濃川	1.0
46	狩野川	1.7	赤川	0.4	信濃川	0.1	六角川	0.1	山国川	0.9
47	後志利別川	1.7	肱川	0.4	加古川	0.1	佐波川	0.1	宮川	0.9
48	網走川	1.6	釧路川	0.4	宮川	0.1	菊川	0.1	遠賀川	0.8
49	湧別川	1.6	名取川	0.4	北上川	0.1	釧路川	0.1	十勝川	0.8
50	大分川	1.6	天竜川	0.4	菊池川	0.1	後志利別川	0.1	手取川	0.8
51	荒川(北陸)	1.5	矢作川	0.3	日野川	0.1	遠賀川	0.1	米代川	0.8
52	利根川	1.5	川内川	0.3	斐伊川	0.1	菊池川	0.1	後志利別川	0.8
53	子吉川	1.5	宮川	0.3	阿武隈川	0.1	大野川	0.1	子吉川	0.8
54	神通川	1.5	天神川	0.3	緑川	0.1	狩野川	0.1	常呂川	0.8
55	名取川	1.5	嘉瀬川	0.3	最上川	0.1	土器川	0.1	那珂川	0.8
56	菊池川	1.5	神通川	0.3	米代川	0.1	櫛田川	0.1	阿賀野川	0.8
57	吉野川	1.4	那賀川	0.3	鶴川	0.1	紀の川	0.1	利根川	0.8
58	矢部川	1.4	番匠川	0.3	天塩川	0.1	手取川	0.1	鶴見川	0.8
59	相模川	1.4	阿賀野川	0.3	天神川	0.1	緑川	0.1	仁淀川	0.8

	総合		利用形態別内訳							
			スポーツ		釣り		水遊び		散策等	
60	手取川	1.4	重信川	0.3	佐波川	0.1	馬淵川	0.1	佐波川	0.7
61	仁淀川	1.3	揖保川	0.3	岩木川	0.1	松浦川	0.1	物部川	0.7
62	重信川	1.3	大野川	0.3	千代川	0.1	大分川	0.1	富士川	0.7
63	旭川	1.3	豊川	0.3	肝属川	0.1	北上川	0.0	大野川	0.7
64	鶴川	1.2	高梁川	0.2	豊川	0.1	荒川(北陸)	0.0	関川	0.7
65	千代川	1.2	子吉川	0.2	馬淵川	0.1	揖保川	0.0	吉野川	0.7
66	岩木川	1.2	雄物川	0.2	天竜川	0.1	鈴鹿川	0.0	白川	0.7
67	山国川	1.2	菊川	0.2	高梁川	0.0	大井川	0.0	神通川	0.7
68	高瀬川	1.1	最上川	0.2	多摩川	0.0	芦田川	0.0	赤川	0.7
69	本明川	1.1	阿武隈川	0.2	狩野川	0.0	阿賀野川	0.0	岩木川	0.6
70	大野川	1.1	小矢部川	0.2	高瀬川	0.0	利根川	0.0	千代川	0.6
71	阿賀野川	1.1	鈴鹿川	0.2	雄物川	0.0	嘉瀬川	0.0	最上川	0.6
72	常願寺川	1.1	久慈川	0.2	土器川	0.0	名取川	0.0	馬淵川	0.6
73	赤川	1.1	鳴瀬川	0.2	白川	0.0	阿武隈川	0.0	久慈川	0.6
74	最上川	1.1	狩野川	0.2	荒川(関東)	0.0	岩木川	0.0	庄川	0.6
75	米代川	1.0	姫川	0.2	赤川	0.0	肝属川	0.0	旭川	0.6
76	芦田川	1.0	日野川	0.1	嘉瀬川	0.0	荒川(関東)	0.0	新宮川	0.6
77	天竜川	1.0	米代川	0.1	本明川	0.0	関川	0.0	阿武隈川	0.6
78	釧路川	1.0	手取川	0.1	姫川	0.0	雲出川	0.0	日野川	0.5
79	久慈川	1.0	松浦川	0.1	芦田川	0.0	矢作川	0.0	梯川	0.5
80	佐波川	0.9	馬淵川	0.1	山国川	0.0	庄川	0.0	荒川(北陸)	0.5
81	揖保川	0.9	鶴川	0.1	名取川	0.0	十勝川	0.0	九頭竜川	0.5
82	鶴見川	0.9	斐伊川	0.1	石狩川	0.0	本明川	0.0	姫川	0.5
83	庄内川	0.9	九頭竜川	0.1	常願寺川	0.0	高梁川	0.0	相模川	0.5
84	阿武隈川	0.9	鶴見川	0.1	鳴瀬川	0.0	九頭竜川	0.0	芦田川	0.5
85	日野川	0.9	大分川	0.1	湧別川	0.0	豊川	0.0	松浦川	0.4
86	姫川	0.8	緑川	0.1	櫛田川	0.0	吉井川	0.0	天竜川	0.4
87	九頭竜川	0.8	大和川	0.1	大分川	0.0	重信川	0.0	緑川	0.4
88	梯川	0.8	佐波川	0.1	富士川	0.0	鶴見川	0.0	小矢部川	0.4
89	馬淵川	0.8	吉井川	0.1	吉井川	0.0	鳴瀬川	0.0	菊川	0.4
90	松浦川	0.8	菊池川	0.1	大井川	0.0	梯川	0.0	揖保川	0.4
91	菊川	0.8	留萌川	0.0	仁淀川	0.0	沙流川	0.0	釧路川	0.4
92	白川	0.8	由良川	0.0	常呂川	0.0	米代川	0.0	矢作川	0.3
93	関川	0.7	白川	0.0	雲出川	0.0	石狩川	0.0	湧別川	0.3
94	矢作川	0.7	雲出川	0.0	小矢部川	0.0	常願寺川	0.0	雲出川	0.3
95	新宮川	0.7	梯川	0.0	六角川	0.0	常呂川	0.0	常願寺川	0.3
96	豊川	0.6	本明川	0.0	矢作川	0.0	庄内川	0.0	高津川	0.3
97	緑川	0.6	小瀬川	0.0	阿賀野川	0.0	雄物川	0.0	六角川	0.3
98	小矢部川	0.6	矢部川	0.0	沙流川	0.0	千代川	0.0	櫛田川	0.3
99	高津川	0.5	山国川	0.0	小瀬川	0.0	黒部川	0.0	網走川	0.3
100	雲出川	0.4	肝属川	0.0	鶴見川	0.0	小矢部川	0.0	豊川	0.3
101	六角川	0.4	関川	0.0	大和川	0.0	神通川	0.0	庄内川	0.3
102	高梁川	0.4	櫛田川	0.0	関川	0.0	赤川	0.0	北川	0.3
103	櫛田川	0.4	新宮川	0.0	重信川	0.0	白川	0.0	大和川	0.2
104	鈴鹿川	0.4	仁淀川	0.0	鈴鹿川	0.0	湧別川	0.0	鈴鹿川	0.2
105	鳴瀬川	0.3	高津川	0.0	留萌川	0.0	渚滑川	0.0	鳴瀬川	0.1
106	大和川	0.3	六角川	0.0	北川	0.0	大和川	0.0	高梁川	0.1
107	北川	0.3	渚滑川	0.0	新宮川	0.0	鶴川	0.0	高瀬川	0.1
108	吉井川	0.2	高瀬川	0.0	庄内川	0.0	留萌川	0.0	吉井川	0.1
109	渚滑川	0.0	北川	0.0	渚滑川	0.0	北川	0.0	渚滑川	0.0

③調査対象河川区域面積あたりの利用者数順位表(平成26年度)

(万人/年・km²)

総合	利用形態別内訳									
	スポーツ		釣り		水遊び		散策等			
1	鶴見川	124.4	多摩川	26.1	梯川	1.9	相模川	4.0	鶴見川	107.5
2	多摩川	64.3	荒川(関東)	13.1	揖保川	1.6	鶴見川	2.8	多摩川	35.6
3	荒川(関東)	25.3	鶴見川	12.7	鶴見川	1.4	仁淀川	2.3	小瀬川	18.3
4	太田川	24.4	庄内川	10.6	神通川	1.4	太田川	2.3	太田川	17.9
5	相模川	20.0	加古川	9.6	庄川	1.3	子吉川	2.2	嘉瀬川	16.3
6	小瀬川	19.9	安倍川	8.7	相模川	1.3	番匠川	2.1	狩野川	13.2
7	嘉瀬川	18.3	相模川	8.1	五ヶ瀬川	1.0	多摩川	1.7	大和川	12.8
8	安倍川	17.5	大井川	6.2	子吉川	1.0	那賀川	1.5	大分川	11.9
9	大和川	16.8	土器川	5.5	旭川	1.0	小瀬川	1.2	荒川(関東)	11.6
10	加古川	16.4	紀の川	4.3	多摩川	0.9	宮川	1.1	那賀川	11.2
11	庄内川	16.3	大淀川	4.3	那賀川	0.8	山国川	1.1	白川	10.3
12	那賀川	16.0	芦田川	3.9	小丸川	0.8	旭川	1.1	重信川	9.1
13	狩野川	15.8	太田川	3.8	大淀川	0.8	渡川	0.8	本明川	8.7
14	大分川	13.2	大和川	3.4	手取川	0.8	加古川	0.7	番匠川	8.1
15	重信川	11.9	富士川	3.2	物部川	0.7	肱川	0.7	安倍川	7.8
16	白川	11.7	常願寺川	3.0	那珂川	0.7	安倍川	0.6	馬淵川	7.2
17	番匠川	10.7	矢作川	2.8	馬淵川	0.7	馬淵川	0.6	名取川	7.1
18	子吉川	10.3	旭川	2.8	白川	0.6	那珂川	0.6	関川	6.7
19	名取川	10.2	名取川	2.6	遠賀川	0.6	狩野川	0.6	相模川	6.7
20	土器川	10.0	重信川	2.5	緑川	0.5	矢部川	0.5	肱川	6.4
21	馬淵川	9.9	那賀川	2.4	九頭竜川	0.5	球磨川	0.5	山国川	6.1
22	大淀川	9.6	物部川	2.3	大和川	0.5	物部川	0.5	五ヶ瀬川	6.0
23	本明川	9.5	那珂川	2.2	松浦川	0.5	大分川	0.4	加古川	5.7
24	旭川	8.8	黒部川	2.1	安倍川	0.4	菊川	0.4	子吉川	5.5
25	大井川	8.6	信濃川	2.1	太田川	0.4	緑川	0.4	庄内川	5.4
26	芦田川	8.3	小丸川	2.1	狩野川	0.4	佐波川	0.4	矢部川	5.0
27	五ヶ瀬川	8.1	揖保川	1.9	矢部川	0.4	大淀川	0.3	土器川	4.3
28	紀の川	8.0	石狩川	1.7	大野川	0.4	芦田川	0.3	肝属川	4.3
29	肱川	7.8	木曾川	1.7	菊川	0.4	木曾川	0.3	梯川	4.2
30	山国川	7.6	豊川	1.7	紀の川	0.4	揖保川	0.3	大淀川	4.2
31	関川	7.2	子吉川	1.6	加古川	0.4	五ヶ瀬川	0.3	旭川	4.0
32	小丸川	6.8	嘉瀬川	1.6	豊川	0.4	六角川	0.3	芦田川	3.8
33	梯川	6.6	狩野川	1.6	利根川	0.3	日野川	0.3	小丸川	3.6
34	揖保川	6.4	馬淵川	1.5	本明川	0.3	関川	0.3	由良川	3.5
35	矢部川	6.0	常呂川	1.5	肱川	0.3	小丸川	0.3	木曾川	3.5
36	矢作川	6.0	庄川	1.4	荒川(関東)	0.3	高瀬川	0.3	佐波川	3.3
37	物部川	5.9	遠賀川	1.4	芦田川	0.3	天竜川	0.3	仁淀川	3.3
38	木曾川	5.8	利根川	1.3	渡川	0.3	天神川	0.3	紀の川	3.2
39	仁淀川	5.7	千代川	1.2	佐波川	0.3	名取川	0.3	大野川	3.0
40	富士川	5.2	菊川	1.1	由良川	0.3	大野川	0.3	緑川	2.9
41	那珂川	4.9	大野川	1.1	木曾川	0.3	久慈川	0.3	矢作川	2.8
42	大野川	4.7	鈴鹿川	1.1	黒部川	0.3	鈴鹿川	0.3	揖保川	2.5
43	常願寺川	4.5	球磨川	1.0	大分川	0.3	荒川(関東)	0.2	天神川	2.5
44	肝属川	4.5	天竜川	1.0	久慈川	0.2	最上川	0.2	球磨川	2.4
45	信濃川	4.5	十勝川	0.9	球磨川	0.2	庄内川	0.2	物部川	2.4
46	遠賀川	4.3	神通川	0.9	名取川	0.2	矢作川	0.2	大井川	2.3
47	緑川	4.3	赤川	0.9	日野川	0.2	由良川	0.2	遠賀川	2.1
48	佐波川	4.3	阿賀野川	0.8	山国川	0.2	本明川	0.2	阿賀野川	2.1
49	豊川	4.2	小矢部川	0.8	番匠川	0.2	富士川	0.2	信濃川	2.1
50	庄川	4.2	円山川	0.8	嘉瀬川	0.2	嘉瀬川	0.2	豊川	2.0
51	球磨川	4.2	五ヶ瀬川	0.7	川内川	0.2	江の川	0.2	雄物川	2.0
52	由良川	4.1	淀川	0.7	信濃川	0.2	新宮川	0.2	雲出川	1.9
53	神通川	4.1	宮川	0.7	宮川	0.2	重信川	0.2	北上川	1.9
54	菊川	3.8	大分川	0.6	吉井川	0.2	信濃川	0.2	神通川	1.9
55	宮川	3.7	北上川	0.6	阿武隈川	0.2	櫛田川	0.2	菊川	1.8
56	黒部川	3.7	白川	0.6	天竜川	0.1	遠賀川	0.2	宮川	1.8
57	利根川	3.5	高梁川	0.5	矢作川	0.1	姫川	0.2	利根川	1.8
58	天神川	3.2	緑川	0.5	雲出川	0.1	雲出川	0.2	手取川	1.7
59	阿賀野川	3.1	江の川	0.5	肝属川	0.1	土器川	0.2	日野川	1.7

(万人/年・km²)

	総合		利用形態別内訳							
			スポーツ		釣り		水遊び		散策等	
60	石狩川	3.1	久慈川	0.5	尻別川	0.1	松浦川	0.2	留萌川	1.7
61	手取川	2.9	吉野川	0.5	千代川	0.1	大和川	0.2	富士川	1.7
62	日野川	2.7	日野川	0.5	小瀬川	0.1	川内川	0.2	久慈川	1.6
63	北上川	2.7	阿武隈川	0.4	吉野川	0.1	豊川	0.2	小矢部川	1.6
64	千代川	2.7	松浦川	0.4	土器川	0.1	梯川	0.1	円山川	1.5
65	久慈川	2.6	肱川	0.4	常願寺川	0.1	淀川	0.1	松浦川	1.5
66	天竜川	2.5	天神川	0.4	仁淀川	0.1	円山川	0.1	那珂川	1.5
67	松浦川	2.5	吉井川	0.3	円山川	0.1	紀の川	0.1	赤川	1.4
68	小矢部川	2.5	梯川	0.3	高梁川	0.1	阿賀野川	0.1	川内川	1.4
69	円山川	2.5	本明川	0.3	淀川	0.1	手取川	0.1	庄川	1.4
70	雲出川	2.4	岩木川	0.3	榎田川	0.1	吉井川	0.1	尻別川	1.4
71	赤川	2.4	湧別川	0.3	高津川	0.1	吉野川	0.1	千代川	1.3
72	渡川	2.3	佐波川	0.3	北上川	0.1	高津川	0.1	常願寺川	1.3
73	雄物川	2.3	手取川	0.3	小矢部川	0.1	利根川	0.1	北川	1.3
74	鈴鹿川	2.3	最上川	0.3	関川	0.1	大井川	0.1	石狩川	1.3
75	淀川	2.2	番匠川	0.3	最上川	0.1	肝属川	0.1	淀川	1.3
76	九頭竜川	2.0	小瀬川	0.3	赤川	0.1	阿武隈川	0.1	黒部川	1.3
77	川内川	2.0	川内川	0.3	六角川	0.1	白川	0.1	九頭竜川	1.2
78	阿武隈川	1.9	九頭竜川	0.3	天神川	0.1	庄川	0.1	六角川	1.2
79	常呂川	1.8	鳴瀬川	0.3	釧路川	0.1	九頭竜川	0.1	阿武隈川	1.2
80	留萌川	1.7	荒川(北陸)	0.2	江の川	0.1	常願寺川	0.1	天竜川	1.1
81	江の川	1.7	雲出川	0.2	重信川	0.1	北上川	0.1	渡川	1.1
82	六角川	1.6	雄物川	0.2	富士川	0.1	高梁川	0.1	榎田川	1.0
83	尻別川	1.6	沙流川	0.2	荒川(北陸)	0.1	天塩川	0.0	鈴鹿川	0.9
84	最上川	1.4	釧路川	0.2	網走川	0.1	釧路川	0.0	江の川	0.9
85	吉野川	1.3	渡川	0.2	大井川	0.1	斐伊川	0.0	新宮川	0.9
86	十勝川	1.3	姫川	0.2	庄内川	0.0	鳴瀬川	0.0	最上川	0.8
87	北川	1.3	山国川	0.1	阿賀野川	0.0	千代川	0.0	吉野川	0.6
88	榎田川	1.3	網走川	0.1	鳴瀬川	0.0	小矢部川	0.0	斐伊川	0.6
89	新宮川	1.1	筑後川	0.1	雄物川	0.0	岩木川	0.0	姫川	0.6
90	吉井川	1.0	関川	0.1	米代川	0.0	石狩川	0.0	米代川	0.5
91	姫川	1.0	矢部川	0.1	姫川	0.0	尻別川	0.0	岩木川	0.4
92	高梁川	0.9	米代川	0.1	岩木川	0.0	筑後川	0.0	吉井川	0.4
93	岩木川	0.8	天塩川	0.1	十勝川	0.0	網走川	0.0	筑後川	0.4
94	斐伊川	0.7	由良川	0.1	石狩川	0.0	神通川	0.0	常呂川	0.4
95	米代川	0.7	尻別川	0.1	鈴鹿川	0.0	荒川(北陸)	0.0	高津川	0.3
96	高津川	0.5	斐伊川	0.0	斐伊川	0.0	雄物川	0.0	十勝川	0.3
97	筑後川	0.5	留萌川	0.0	筑後川	0.0	赤川	0.0	沙流川	0.3
98	荒川(北陸)	0.5	肝属川	0.0	北川	0.0	黒部川	0.0	高梁川	0.2
99	釧路川	0.5	榎田川	0.0	高瀬川	0.0	米代川	0.0	菊池川	0.2
100	鳴瀬川	0.5	後志利別川	0.0	常呂川	0.0	十勝川	0.0	釧路川	0.2
101	沙流川	0.5	仁淀川	0.0	菊池川	0.0	菊池川	0.0	荒川(北陸)	0.2
102	湧別川	0.4	鷓川	0.0	後志利別川	0.0	常呂川	0.0	鳴瀬川	0.2
103	高瀬川	0.3	菊池川	0.0	湧別川	0.0	沙流川	0.0	天塩川	0.1
104	網走川	0.3	新宮川	0.0	鷓川	0.0	後志利別川	0.0	鷓川	0.1
105	天塩川	0.3	高津川	0.0	天塩川	0.0	渚滑川	0.0	湧別川	0.1
106	菊池川	0.2	六角川	0.0	新宮川	0.0	湧別川	0.0	網走川	0.1
107	鷓川	0.1	渚滑川	0.0	留萌川	0.0	鷓川	0.0	後志利別川	0.0
108	後志利別川	0.1	高瀬川	0.0	沙流川	0.0	留萌川	0.0	高瀬川	0.0
109	渚滑川	0.0	北川	0.0	渚滑川	0.0	北川	0.0	渚滑川	0.0

④直轄管理区間延長あたりの利用者数順位表(平成26年度)

(万人/年・km)

	総合		利用形態別内訳							
			スポーツ		釣り		水遊び		散策等	
1	多摩川	22.7	多摩川	9.2	相模川	0.7	相模川	2.3	鶴見川	17.5
2	鶴見川	20.2	荒川(関東)	9.1	庄川	0.6	仁淀川	1.1	多摩川	12.5
3	荒川(関東)	17.6	大井川	5.4	神通川	0.4	多摩川	0.6	荒川(関東)	8.1
4	相模川	11.4	相模川	4.6	手取川	0.3	渡川	0.5	嘉瀬川	5.1
5	安倍川	8.9	安倍川	4.4	旭川	0.3	高瀬川	0.5	安倍川	3.9
6	大井川	7.5	加古川	2.5	多摩川	0.3	鶴見川	0.5	淀川	3.9
7	淀川	6.7	庄内川	2.5	淀川	0.3	宮川	0.4	相模川	3.8
8	嘉瀬川	5.7	土器川	2.3	五ヶ瀬川	0.3	淀川	0.4	太田川	3.1
9	加古川	4.3	淀川	2.1	利根川	0.3	太田川	0.4	小瀬川	2.9
10	太田川	4.3	鶴見川	2.1	小丸川	0.2	番匠川	0.4	大分川	2.5
11	土器川	4.1	紀の川	1.7	揖保川	0.2	旭川	0.4	木曾川	2.4
12	木曾川	4.0	常願寺川	1.6	梯川	0.2	安倍川	0.3	名取川	2.4
13	庄内川	3.9	富士川	1.3	安倍川	0.2	木曾川	0.2	狩野川	2.4
14	名取川	3.4	木曾川	1.2	鶴見川	0.2	小瀬川	0.2	大和川	2.4
15	小瀬川	3.1	大淀川	1.1	荒川(関東)	0.2	加古川	0.2	重信川	2.3
16	大和川	3.1	利根川	1.1	那珂川	0.2	那珂川	0.2	白川	2.3
17	紀の川	3.1	矢作川	1.0	大淀川	0.2	荒川(関東)	0.2	大井川	2.0
18	重信川	3.0	信濃川	1.0	木曾川	0.2	山国川	0.1	土器川	1.8
19	旭川	3.0	旭川	0.9	渡川	0.2	馬淵川	0.1	五ヶ瀬川	1.7
20	狩野川	2.8	芦田川	0.9	九頭竜川	0.2	矢部川	0.1	加古川	1.5
21	大分川	2.8	名取川	0.9	紀の川	0.2	狩野川	0.1	仁淀川	1.5
22	利根川	2.7	庄川	0.7	大野川	0.2	球磨川	0.1	番匠川	1.5
23	仁淀川	2.6	黒部川	0.7	白川	0.1	子吉川	0.1	馬淵川	1.4
24	白川	2.6	太田川	0.7	馬淵川	0.1	大野川	0.1	利根川	1.4
25	大淀川	2.5	大和川	0.6	遠賀川	0.1	大淀川	0.1	旭川	1.3
26	常願寺川	2.3	重信川	0.6	物部川	0.1	名取川	0.1	庄内川	1.3
27	五ヶ瀬川	2.3	那珂川	0.6	緑川	0.1	肱川	0.1	紀の川	1.2
28	富士川	2.2	小丸川	0.6	矢部川	0.1	大分川	0.1	矢部川	1.1
29	庄川	2.1	十勝川	0.5	加古川	0.1	五ヶ瀬川	0.1	大淀川	1.1
30	信濃川	2.1	嘉瀬川	0.5	豊川	0.1	富士川	0.1	阿賀野川	1.1
31	矢作川	2.1	常呂川	0.4	大和川	0.1	小丸川	0.1	小丸川	1.1
32	小丸川	2.0	石狩川	0.4	黒部川	0.1	信濃川	0.1	大野川	1.0
33	番匠川	2.0	阿賀野川	0.4	狩野川	0.1	矢作川	0.1	関川	1.0
34	馬淵川	1.9	豊川	0.4	太田川	0.1	芦田川	0.1	筑後川	1.0
35	芦田川	1.9	高梁川	0.4	名取川	0.1	緑川	0.1	矢作川	0.9
36	大野川	1.7	大野川	0.4	高梁川	0.1	久慈川	0.1	信濃川	0.9
37	阿賀野川	1.6	筑後川	0.4	信濃川	0.1	天竜川	0.1	斐伊川	0.9
38	宮川	1.5	物部川	0.3	吉野川	0.1	佐波川	0.1	芦田川	0.9
39	渡川	1.5	馬淵川	0.3	芦田川	0.1	大井川	0.1	肱川	0.8
40	那珂川	1.4	揖保川	0.3	久慈川	0.1	利根川	0.1	手取川	0.8
41	筑後川	1.4	狩野川	0.3	吉井川	0.1	土器川	0.1	雄物川	0.8
42	矢部川	1.4	神通川	0.3	常願寺川	0.1	物部川	0.1	山国川	0.8
43	手取川	1.3	宮川	0.3	宮川	0.1	最上川	0.1	本明川	0.8
44	神通川	1.3	吉野川	0.3	筑後川	0.1	吉野川	0.1	宮川	0.7
45	黒部川	1.2	天竜川	0.3	佐波川	0.1	姫川	0.1	富士川	0.7
46	関川	1.1	赤川	0.3	嘉瀬川	0.1	日野川	0.1	庄川	0.7
47	斐伊川	1.1	千代川	0.2	松浦川	0.1	嘉瀬川	0.1	渡川	0.7
48	肱川	1.0	鈴鹿川	0.2	大分川	0.1	鈴鹿川	0.1	佐波川	0.7
49	豊川	1.0	遠賀川	0.2	土器川	0.1	阿賀野川	0.1	常願寺川	0.7
50	山国川	1.0	円山川	0.2	仁淀川	0.1	庄内川	0.1	由良川	0.7
51	揖保川	1.0	球磨川	0.2	由良川	0.1	天神川	0.1	緑川	0.6
52	緑川	0.9	五ヶ瀬川	0.2	大井川	0.0	手取川	0.1	神通川	0.6
53	雄物川	0.9	北上川	0.2	矢作川	0.0	那賀川	0.1	北上川	0.6
54	佐波川	0.9	岩木川	0.2	球磨川	0.0	紀の川	0.0	梯川	0.5
55	本明川	0.9	小矢部川	0.2	子吉川	0.0	吉井川	0.0	雲出川	0.5
56	球磨川	0.8	久慈川	0.1	日野川	0.0	揖保川	0.0	天神川	0.5
57	物部川	0.8	吉井川	0.1	網走川	0.0	重信川	0.0	球磨川	0.5
58	北上川	0.8	白川	0.1	阿武隈川	0.0	雲出川	0.0	久慈川	0.5
59	梯川	0.8	大分川	0.1	肱川	0.0	櫛田川	0.0	豊川	0.5

	総合	利用形態別内訳								
		スポーツ		釣り		水遊び		散策等		
60	久慈川	0.8	手取川	0.1	番匠川	0.0	関川	0.0	九頭竜川	0.5
61	吉野川	0.8	阿武隈川	0.1	菊川	0.0	斐伊川	0.0	肝属川	0.4
62	由良川	0.8	湧別川	0.1	天竜川	0.0	筑後川	0.0	赤川	0.4
63	石狩川	0.8	渡川	0.1	雲出川	0.0	由良川	0.0	円山川	0.4
64	九頭竜川	0.7	緑川	0.1	斐伊川	0.0	高梁川	0.0	黒部川	0.4
65	遠賀川	0.7	荒川(北陸)	0.1	川内川	0.0	新宮川	0.0	那珂川	0.4
66	赤川	0.7	沙流川	0.1	円山川	0.0	円山川	0.0	揖保川	0.4
67	円山川	0.7	菊川	0.1	尻別川	0.0	菊川	0.0	那賀川	0.4
68	十勝川	0.7	九頭竜川	0.1	釧路川	0.0	豊川	0.0	遠賀川	0.4
69	天竜川	0.7	日野川	0.1	荒川(北陸)	0.0	庄川	0.0	吉野川	0.4
70	雲出川	0.7	網走川	0.1	北上川	0.0	川内川	0.0	日野川	0.3
71	高梁川	0.6	雄物川	0.1	千代川	0.0	常願寺川	0.0	物部川	0.3
72	天神川	0.6	釧路川	0.1	富士川	0.0	遠賀川	0.0	菊池川	0.3
73	千代川	0.6	那賀川	0.1	本明川	0.0	六角川	0.0	阿武隈川	0.3
74	常呂川	0.6	最上川	0.1	山国川	0.0	大和川	0.0	尻別川	0.3
75	日野川	0.5	子吉川	0.1	那賀川	0.0	江の川	0.0	石狩川	0.3
76	鈴鹿川	0.5	江の川	0.1	赤川	0.0	高津川	0.0	天竜川	0.3
77	那賀川	0.5	姫川	0.1	櫛田川	0.0	九頭竜川	0.0	小矢部川	0.3
78	高瀬川	0.5	天神川	0.1	岩木川	0.0	阿武隈川	0.0	川内川	0.3
79	阿武隈川	0.5	雲出川	0.1	最上川	0.0	松浦川	0.0	千代川	0.3
80	小矢部川	0.5	佐波川	0.1	阿賀野川	0.0	本明川	0.0	岩木川	0.3
81	岩木川	0.5	鳴瀬川	0.1	高津川	0.0	菊池川	0.0	櫛田川	0.3
82	肝属川	0.5	川内川	0.1	十勝川	0.0	北上川	0.0	子吉川	0.2
83	子吉川	0.5	斐伊川	0.1	高瀬川	0.0	梯川	0.0	鈴鹿川	0.2
84	吉井川	0.4	松浦川	0.1	小瀬川	0.0	岩木川	0.0	最上川	0.2
85	川内川	0.4	番匠川	0.1	菊池川	0.0	釧路川	0.0	姫川	0.2
86	菊池川	0.4	肱川	0.0	小矢部川	0.0	白川	0.0	米代川	0.2
87	最上川	0.4	小瀬川	0.0	重信川	0.0	天塩川	0.0	新宮川	0.2
88	尻別川	0.4	梯川	0.0	雄物川	0.0	網走川	0.0	留萌川	0.2
89	姫川	0.4	米代川	0.0	姫川	0.0	肝属川	0.0	十勝川	0.2
90	菊川	0.3	天塩川	0.0	米代川	0.0	荒川(北陸)	0.0	松浦川	0.2
91	櫛田川	0.3	本明川	0.0	肝属川	0.0	鳴瀬川	0.0	菊川	0.2
92	松浦川	0.3	矢部川	0.0	天神川	0.0	千代川	0.0	吉井川	0.2
93	米代川	0.2	山国川	0.0	関川	0.0	十勝川	0.0	北川	0.1
94	沙流川	0.2	関川	0.0	庄内川	0.0	小矢部川	0.0	高梁川	0.1
95	江の川	0.2	由良川	0.0	石狩川	0.0	石狩川	0.0	沙流川	0.1
96	新宮川	0.2	後志利別川	0.0	鳴瀬川	0.0	雄物川	0.0	江の川	0.1
97	荒川(北陸)	0.2	菊池川	0.0	江の川	0.0	神通川	0.0	六角川	0.1
98	釧路川	0.2	尻別川	0.0	鈴鹿川	0.0	尻別川	0.0	常呂川	0.1
99	留萌川	0.2	仁淀川	0.0	後志利別川	0.0	米代川	0.0	高津川	0.1
100	網走川	0.2	櫛田川	0.0	六角川	0.0	黒部川	0.0	釧路川	0.1
101	湧別川	0.2	留萌川	0.0	常呂川	0.0	赤川	0.0	荒川(北陸)	0.1
102	北川	0.2	肝属川	0.0	湧別川	0.0	後志利別川	0.0	高瀬川	0.0
103	六角川	0.1	鶴川	0.0	北川	0.0	常呂川	0.0	天塩川	0.0
104	高津川	0.1	新宮川	0.0	鶴川	0.0	沙流川	0.0	網走川	0.0
105	鳴瀬川	0.1	高津川	0.0	天塩川	0.0	湧別川	0.0	鳴瀬川	0.0
106	天塩川	0.1	六角川	0.0	沙流川	0.0	渚滑川	0.0	湧別川	0.0
107	後志利別川	0.0	渚滑川	0.0	新宮川	0.0	鶴川	0.0	鶴川	0.0
108	鶴川	0.0	高瀬川	0.0	留萌川	0.0	留萌川	0.0	後志利別川	0.0
109	渚滑川	0.0	北川	0.0	渚滑川	0.0	北川	0.0	渚滑川	0.0

参考資料

- ・「河川水辺の国勢調査」実施要領 193
- ・平成16年度版 河川水辺の国勢調査マニュアル（案）
河川空間利用実態調査編（抄） 195

＜参考＞「河川水辺の国勢調査」実施要領

国土交通省河川局治水課

第1 目的

この要領は、河川事業、河川管理を適切に推進するための河川水辺の国勢調査の実施に関し、基本的事項を定めることにより、河川水辺の国勢調査の円滑な推進を図ることを目的とする。

第2 定義

本要領において、「河川水辺の国勢調査」とは、河川を環境という観点からとらえた定期的、継続的、統一的な河川に対する基礎情報の収集整理のための調査をいう。

第3 本要領の適用範囲

本要領は、1級河川および2級河川の区間（ダムを区間を除く。）について適用する。

第4 河川水辺の国勢調査の調査項目と内容

河川水辺の国勢調査の調査項目と内容は次のとおりとする。

- (1) 河川調査
河道の瀬と淵の状況、水際部の状況、河川横断施設の状況等の河川環境からみた河川状況の調査。
- (2) 生物調査
 - ①魚介類調査
河川内の魚介類生息状況調査。
 - ②底生動物調査
河川の水域における底生動物生息状況の調査。
 - ③植物調査
河川内の植物に関する植生調査等の生育状況の調査。
 - ④鳥類調査
河川内の陸上の昆虫等の生息状況調査。
 - ⑤両生類・爬虫類・哺乳類調査
河川内の両生類、爬虫類、哺乳類の生息状況調査。
 - ⑥陸上昆虫類等調査
河川内の陸上の昆虫類等の生息状況調査。
- (3) 河川空間利用実態調査
河川空間利用者数、利用状況等河川空間の利用実態の調査。
- (4) 河川水辺総括資料作成調査
上記(1)から(3)までの調査結果をとりまとめた資料の作成。

第5 1級河川の指定区間外区間における調査の実施

地方整備局および北海道開発局（以下、「地方整備局等」という。）は、以下の各号に基づき1級河川の指定区間外区間について河川水辺の国勢調査を実施するものとする。

- (1) 河川調査および河川空間利用実態調査
河川調査および河川空間利用実態調査については、当分の間、原則として各水系について毎年実施するものとする。
- (2) 生物調査
生物調査については、以下の①から⑥により調査を実施するものとする。
 - ①各水系について、生物調査の6調査項目の全てが5ヶ年で1巡するよう実施する。
 - ②調査に関するノウハウを毎年継続的に向上させるため、地方建設局等毎に管内を5水系程度の範囲にまとめてブロック区分を行い、生物調査の6調査項目のそれぞれがブロック内のいずれかの水系で毎年実施されるよう地方整備局等管内のローテーションを組んで実施する。
 - ③各水系における各調査項目の調査は、原則として単年度で当該水系の一連の調査が完了するよう実施することを原則とするが、植物調査等調査範囲が広いもの、複数年度にまたがって調査するのが適切なもの等単年度で調査を完了できない調査項目については、複数年度にまたがって調査を実施しても良い。
 - ④各水系の調査の実施にあたっては、河川に生息する生物の生態の総合的な考察の参考とするため、植生等生物の生息が多様で、生物調査の6調査項目全ての現地調査を総合的に実施するのに適当な地点を全体調査地点として各水系毎に数地点選定する。
 - ⑤底生動物調査は、できるだけ魚介類調査と同一年度に実施する。
- (3) 河川水辺総括資料作成調査
河川水辺総括資料作成調査は、他の項目の実施状況を勘案して適宜実施するものとする。

第6 1級河川の指定区間における調査の実施

- (1) 魚介調査の実施
都道府県は、1級河川の指定区間について、本川および本川に準ずる規模の支川の区間を中心に、河川水辺の国勢調査のうち魚介類調査を以下の①②により実施するものとする。
 - ①調査は、原則として当該水系で地方整備局等が業界類調査を実施するのと同一年度に実施する。
 - ②調査は、調査時期、調査地点、調査方法等調査の基本的事項について、関係する地方整備局等と十分調整しつつ実施する。

(2) その他の生物調査項目の実施

都道府県は、1級河川の指定区間について、特に必要な場合には、関係する地方整備局等とあらかじめ調整の上、魚介類調査以外の生物調査の調査項目を実施することができるものとする。

(3) 地方整備局等による調査結果のとりまとめ

地方整備局等は、1級河川の指定区間で都道府県が行った河川水辺の国勢調査の結果を、当該水系について地方整備局等が行った調査の結果とあわせて、当該水系全体の調査結果としてとりまとめるものとする。

第7 2級河川における調査の実施

(1) 河川水辺の国勢調査水系の登録

都道府県（河川法施行令第41条に基づく指定河川については北海道開発局。）は、次の①から③のいずれかに該当する2級水系のうち河川水辺の国勢調査を実施すべき水系を選定し、「河川水辺の国勢調査水系」（以下、単に「登録水系」とする。）として河川局治水課に登録するものとする。

①流域面積がおおむね200km²以上（但し、北海道についてはおおむね500km²以上）の水系であって相当規模の河川改修事業を実施中（実施が明らかな場合を含む。）の水系であること。

②魚がのほりやすい川づくり等水系の広い区域にわたった多自然型の川づくりに取り組んでいる水系であること。

③その他、適切な河川環境管理のため動植物種の生息状況の把握等が特に必要な河川の存する水系であること。

(2) 魚介類調査の実施

登録水系においては、本川および本川に準ずる規模の支川の区間を中心に、河川水辺の国勢調査のうち魚介類調査を実施するものとする。

(3) その他の調査項目の実施

登録水系においては、当該水系の河川環境の特性に応じて、特に必要な場合には魚介類調査以外の生物調査の調査項目を実施することができるものとする。

(4) 調査の実施頻度

登録水系における調査は、当該水系で実施する各調査項目を5ヶ年に1回実施するものとする。

第8 学識経験者の助言

(1) 地方整備局等

地方整備局等は、河川調査および生物調査の実施にあたっては、第5(2)②の地方整備局等のブロック毎に当該調査に関し専門的知識を有する学識経験者等を「河川水辺の国勢調査アドバイザー」として委嘱し、調査計画、調査実施、調査成果等についての助言を得つつ実施するものとする。

(2) 都道府県

都道府県は、調査計画、調査実施、調査成果等について(1)の「河川水辺の国勢調査アドバイザー」等の助言を得つつ調査を実施するものとする。

第9 調査実施年度の作成

地方整備局等及び都道府県は、あらかじめ前年度末までに、管内の河川の生物調査について、当該年度の実施計画及び以降5ヶ年間の実施予定を作成するものとする。

第10 調査結果の報告

地方整備局等及び都道府県は、毎年度、調査結果をとりまとめて治水課担当官宛報告するものとする。なお、治水課担当官から随時調査結果の報告を求める場合があるものとする。

第11 その他

その他この要領の実施に必要な事項については、別途定める。

第12 附則

平成3年6月25日建設省河治発第38号に基づく河川水辺の国勢調査実施要領は廃止する。

第13 附則

本要領は、平成5年1月26日から施行する。

平成16年度版

河川水辺の国勢調査マニュアル(案)

(河川空間利用実態調査編)

監修●国土交通省河川局

発行●財団法人リバーフロント整備センター

1. 概要

1.1 調査目的

本調査は、河川事業、河川管理を適切に推進させるため、河川を環境という観点からとらえた基礎データの系統的な収集・整理をはかる『河川水辺の国勢調査』の一環として、河川空間の利用状況の実態を把握することを目的とする。

1.2 調査対象とする河川

全国1級水系のうち直轄管理区間（ダム区間を除く）全体を対象とする。

1.3 調査の構成

調査は「河川空間利用者数調査」と「川の通信簿」で構成される。ここで、河川空間の利用とは、レクリエーション利用ばかりでなく、生産の場、生活の場として利用を含めたものまで含めて考えるものとする。

本書では河川空間利用者数調査の調査方法および取りまとめ方法について2章～4章にまとめる。川の通信簿の実施方法については別冊「川の通信簿」実施マニュアルを参考のこと。

1.4 調査時期

利用者数調査は四季を通じてのべ7回実施し、「川の通信簿」は原則として7月から8月にかけて実施する。

河川空間利用者数調査は、台風、洪水等の異常時あるいは指示があるときは、中止するものとする。調査を中止した場合は、休日に関わるものは直近の休日、平日に関わるものは直近の平日に日延べして実施する。

なお、積雪量の多い地域において冬季の河川空間の利用者がきわめて少ないと判断される河川については、必ずしも冬季の調査を実施する必要はない。

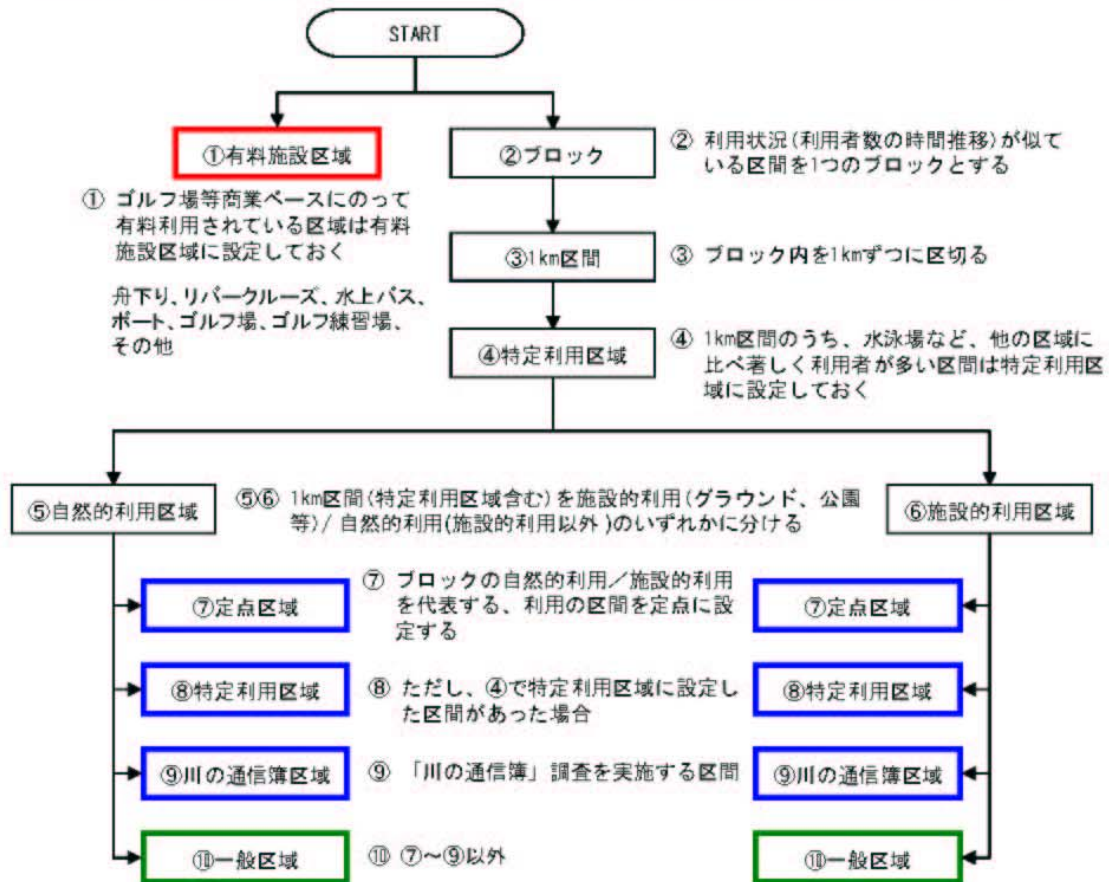
河川空間利用者数調査実施日

季節	実施日	
春季	休日	4月29日（みどりの日）
		5月5日（こどもの日）
	平日	5月の第3月曜日
夏季	休日	7月の最終日曜日
	平日	7月の最終日曜日の翌日
秋季	休日	11月3日（文化の日）
冬季	休日	1月の第2月曜日（成人の日）

2. 河川空間利用者数調査

2.1 ブロック区分及び区域区分

調査を行うにあたり、調査対象区間を有料施設区域、定点区域、特定利用区域、川の通信簿実施区域、一般区域に分ける。後述(2.2)するように区域に応じた方法で調査を実施する。



ブロック区分及び区域区分

※ブロック区分においては、『一般区域の一日利用者数は、同じブロックの定点区域での各時間帯の利用者数を元に推計する』ことを踏まえ、対象区間を適宜ブロック分割する。

※ブロック区分、区域区分においては、前回調査以降にグラウンド等集客施設整備や護岸整備等が実施され、河川利用の状況が大きく変貌した場合には適切に見直しを行うものとする。

※なお、自然的利用区域については農耕地とそれ以外の内訳が分かるようにしておく。

2.2 調査の方法

2.1で行った区分に応じて、以下の調査を行う。(図 ブロック区分及び区域区分 参照)

	: 有料施設調査
	: 定点観測調査
	: 区間観測調査

(1) 有料施設調査

商業ベースにのっている有料施設の利用者については、調査日の利用者数を施設管理者に問い合わせ、調査票1(参考資料参照)により調査する。

(2) 定点観測調査

定点観測地点では、日の出から日没までの間で2時間毎に利用者数のカウントを調査票2(参考資料参照)に従って行う。なお、利用者数が極めて少ないと考えられる時間帯は調査を省いてよい。カウントは利用場所、利用形態ごと(2.4、2.5参照)に行う。

(3) 区間観測調査

各ブロックの一般区域全体における利用者数を調査員が移動しながら観測し、調査票3(参考資料参照)に従ってカウントを行う。調査は調査日の1日の内で1回実施する。集計とりまとめは1kmピッチで行うので、調査票3は、1kmピッチでの調査を原則とする。但し、前年の調査結果等で利用者数が極端に少ないことが明白な場合は、適宜、調査区間を省く等の判断をしてよいが、集計とりまとめに影響が出ないよう事前に十分検討する。カウントは利用場所、利用形態ごと(2.4、2.5参照)に行う。

(4) イベント調査

河川の利用状況を把握するために、イベント調査を行う。(イベント調査票(調査票4))本調査は河川管理者や河川利用施設の運営主体などへの聞き取りによって行う。本調査で対象とするイベントは以下の通りとする。

開催時期	: 調査年度前年度の3月～調査年度2月
開催時間帯	: 特に定めない
開催規模	: 参加人数が概ね100人以上になるもの
種類	: 特に定めない
運営主体	: 特に定めない

調査結果をイベント調査票(調査票4)に記入する。

3. 調査成果の集計

3.1 1日の利用者数の推計

1日の集計結果は、1kmピッチ、ブロック別、河川別、水系別、そして地方整備局等の全体の集計までを行う。地方整備局集計では沿川市区町村人口等とともに各地方整備局等全体の集計を行う。

- ア. 1kmピッチでの河川利用者数の集計；項目毎：様式A-1（参考資料参照）
- イ. 1kmピッチでの河川利用者数の集計；項目合計：様式A-2（参考資料参照）
- ウ. ブロック集計：様式A-3（参考資料参照）
- エ. 河川集計：様式A-4（参考資料参照）
- オ. 水系集計：様式A-5（参考資料参照）
- カ. 地方整備局集計：様式A-6（参考資料参照）
- キ. 「川の通信簿」実施箇所利用者数水系集計：様式A-7（参考資料参照）

1日の利用者数推計にあたっての基本的考え方は次の通りである。

(1) 有料施設区域

有料施設調査結果をそのまま用いる。

(2) 定点区域

定点区域では2時間毎に利用者数を観測している。利用者の平均滞在時間を2時間と考え、各観測時刻の利用者数を合計したものを、1日の利用者数とする。

(3) 特定利用区域

(2) 定点区域に同じ。

(4) 一般区域

同じブロックに属する定点区域での1日の利用者数時間分布と、一般区域での時間分布が同一であると考え、区間観測した時刻と同時刻帯の定点観測の値の比を元に一般区域の1日の利用者数を推計する。

同時刻の利用者数が0の場合は前後の時刻の利用者数の平均値を用いる。前後の利用者数も0の場合は1日の全利用者数との比を用いて推計する。具体的には次頁を参考に係数を算出する。

<区間観測における利用者数集計例>

定点観測調査票

場所	利用形態	調査時刻							合計
		6時～ 8時	8時～ 10時	10時～ 12時	…				
高水敷	スポーツ	A ₁	A ₂	A ₃	…				ΣA _i
	散策・その他	…	…	…	…				…
水面	水上スポーツ	…	…	…	…				…
	水泳・その他	…	…	…	…				…
	釣り	…	…	…	…				…
水際	釣り	…	…	…	…				…
	水遊び・その他	…	…	…	…				…
堤防	散策・その他	…	…	…	…				…
合計		I ₁	I ₂	I ₃	…				ΣI _i

区間観測集計表

区間	区域	利用形態		区間 観測結果	観測時刻	同一時刻の 定点観測結果	定点観測での 総利用者数	係数α	区間一日 利用者数
○～○ km	自然	高水敷	スポーツ	P ₁	9:00	A ₂	ΣA _i	ΣA _i /A ₂	P ₁ ×α
			散策・その他	…					
		水面	水上スポーツ	…					
			水泳・その他						
			釣り						
		水際	釣り						
			水遊び・その他						
		堤防	散策・その他						
…									

<定点観測の利用者数が観測されない場合の係数(α)の求め方>

いま、当該時刻の定点観測利用者数をA₂、前後の時刻の利用者数を、それぞれA₁、A₃とすれば、係数(α)は、次のように求められる。

(1) A₂=0で、A₁≠0またはA₃≠0の場合 …………… $\alpha = \frac{\sum A_i}{(A_1 + A_3)/2}$

(2) A₂=0で、A₁ならびにA₃=0の場合 …………… $\alpha = \frac{\sum I_i}{I_2}$

(3) A₂=0で、A₁ならびにA₃=0、I₂=0の場合 …………… $\alpha = \frac{\sum I_i}{(I_1 + I_3)/2}$

(4) (A₁, A₂, A₃) = 0で、(I₁, I₂, I₃) = 0の場合 …… α = 1.0

3.2 年間利用者数の推計

年間7回の各調査日の結果をもとに1年間の利用者数を推計する。

- A_n : 1回目調査日(4月29日; 休日)の利用者数
- B_n : 2回目調査日(5月5日; 休日)の利用者数
- C_n : 3回目調査日(5月第3月曜日; 平日)の利用者数
- D_n : 4回目調査日(7月最終日曜日; 休日)の利用者数
- E_n : 5回目調査日(7月最終日曜日の翌日; 平日)の利用者数
- F_n : 6回目調査日(11月3日; 休日)の利用者数
- G_n : 7回目調査日(1月第2月曜日; 休日)の利用者数
- α : 観測日の天候による係数

(観測日が晴天の場合は1、雨天の場合は晴係数(2.850))

河川利用は季節により変化すると考えられるため、基本的には各季節で実施した調査日の利用者数に各季節の日数(休日、土曜日、平日の別)を乗じて年間の利用者数を算出する。

春: 3/1~5/31 92日間 夏: 6/1~8/31 92日間
秋: 9/1~11/30 91日間 冬: 12/1~2/28(29) 90(91)日間

具体的な算出方法を以下に示す。

この計算において、必要な係数は平日係数、雨係数、晴係数であり、平日係数は年度内の調査結果で決定され、後者2つは既往の調査結果からそれぞれ0.351、2.850と当面設定する。

また、季節別に休日、土曜日、平日の天候を通算で調査しておく必要があるため、調査対象河川もしくは水系ごとにあらかじめ最寄りの気象台を決めておき、この気象台の記録を使うようにする。

なお、3月1日から3月31日の休日・平日等の区分ならびに天候区分は前年度の3月のものを利用する。

(1) 平日係数

- ・平日係数は年度内の調査結果より河川ごとに算定する。
- ・平日係数の算定方法は以下のとおりである。

$$\text{平日係数} = \left(\frac{2C_n \alpha_C}{A_n \alpha_A + B_n \alpha_B} + \frac{E_n \alpha_E}{D_n \alpha_D} \right) \div 2$$

ただし、平日係数が1を超える場合は1とする。

(2) 雨係数(晴係数)

雨係数(晴係数)は、平成3年4月29日(雨天日)と5月5日(晴天日)の調査結果である、509,441人と1,452,153人の比により、雨係数は0.351、晴係数は2.850(雨係数の逆数)と当面設定する。

年間利用者数は、季節、休・平日、天候ごとに利用者数を推計したものの合計として求める。
 各観測日の利用者数を以下のようにした場合、季節、休・平日、天候に応じた利用者数は、a)～d) に示す各式で表される。

区分	季節	平日・休日	天候	日数	高水敷		水面			水際		堤防
					スポーツ	散策・その他	水上スポーツ	水泳・その他	釣り	釣り	水遊び・その他	散策・その他
観測値	春季	4/29 休日		—	A ₁	A ₂	…					
		5/5 休日		—	B ₁	B ₂	…					
		5/ 平日		—	C ₁	C ₂	…					
	夏季	7/ 休日		—	D ₁	D ₂	…					
		7/ 平日		—	E ₁	E ₂	…					
	秋季	11/3 休日		—	F ₁	F ₂	…					
	冬季	1/ 休日		—	G ₁	G ₂	…					
推計値	春季	休日	晴		a ₁	a ₂	…					
			雨		b ₁	b ₂	…					
		土曜日	晴		c ₁	c ₂	…					
			雨		d ₁	d ₂	…					
	平日	晴		e ₁	e ₂	…						
		雨		f ₁	f ₂	…						
	小計					…						
	夏季	休日	晴		g ₁	g ₂	…					
			雨		h ₁	h ₂	…					
		土曜日	晴		i ₁	i ₂	…					
			雨		j ₁	j ₂	…					
	平日	晴		k ₁	k ₂	…						
		雨		l ₁	l ₂	…						
	小計					…						
	秋季	休日	晴		m ₁	m ₂	…					
			雨		n ₁	n ₂	…					
		土曜日	晴		o ₁	o ₂	…					
			雨		p ₁	p ₂	…					
	平日	晴		q ₁	q ₂	…						
		雨		r ₁	r ₂	…						
	小計					…						
	冬季	休日	晴		s ₁	s ₂	…					
			雨		t ₁	t ₂	…					
		土曜日	晴		u ₁	u ₂	…					
雨				v ₁	v ₂	…						
平日	晴		w ₁	w ₂	…							
	雨		x ₁	x ₂	…							
小計					…							
年間合計												

a) 春季

$$\begin{aligned}a_n &= \text{春季・休日・晴の日数} \times (A_n \times \alpha_A + B_n \times \alpha_B) / 2 \\b_n &= \text{春季・休日・雨の日数} \times (A_n \times \alpha_A + B_n \times \alpha_B) \times \text{雨係数} / 2 \\c_n &= \text{春季・土曜日・晴の日数} \times (A_n \times \alpha_A + B_n \times \alpha_B + 2C_n \times \alpha_C) / 4 \\d_n &= \text{春季・土曜日・雨の日数} \times (A_n \times \alpha_A + B_n \times \alpha_B + 2C_n \times \alpha_C) \times \text{雨係数} / 4 \\e_n &= \text{春季・平日・晴の日数} \times C_n \times \alpha_C \\f_n &= \text{春季・平日・雨の日数} \times C_n \times \alpha_C \times \text{雨係数}\end{aligned}$$

b) 夏季

$$\begin{aligned}g_n &= \text{夏季・休日・晴の日数} \times D_n \times \alpha_D \\h_n &= \text{夏季・休日・雨の日数} \times D_n \times \alpha_D \times \text{雨係数} \\i_n &= \text{夏季・土曜日・晴の日数} \times (D_n \times \alpha_D + E_n \times \alpha_E) / 2 \\j_n &= \text{夏季・土曜日・雨の日数} \times (D_n \times \alpha_D + E_n \times \alpha_E) \times \text{雨係数} / 2 \\k_n &= \text{夏季・平日・晴の日数} \times E_n \times \alpha_E \\l_n &= \text{夏季・平日・雨の日数} \times E_n \times \alpha_E \times \text{雨係数}\end{aligned}$$

c) 秋季

$$\begin{aligned}m_n &= \text{秋季・休日・晴の日数} \times F_n \times \alpha_F \\n_n &= \text{秋季・休日・雨の日数} \times F_n \times \alpha_F \times \text{雨係数} \\o_n &= \text{秋季・土曜日・晴の日数} \times F_n \times \alpha_F \times (1 + \text{平日係数}) / 2 \\p_n &= \text{秋季・土曜日・雨の日数} \times F_n \times \alpha_F \times \text{雨係数} \times (1 + \text{平日係数}) / 2 \\q_n &= \text{秋季・平日・晴の日数} \times F_n \times \alpha_F \times \text{平日係数} \\r_n &= \text{秋季・平日・雨の日数} \times F_n \times \alpha_F \times \text{雨係数} \times \text{平日係数}\end{aligned}$$

d) 冬季

$$\begin{aligned}s_n &= \text{冬季・休日・晴の日数} \times G_n \times \alpha_G \\t_n &= \text{冬季・休日・雨の日数} \times G_n \times \alpha_G \times \text{雨係数} \\u_n &= \text{冬季・土曜日・晴の日数} \times G_n \times \alpha_G \times (1 + \text{平日係数}) / 2 \\v_n &= \text{冬季・土曜日・雨の日数} \times G_n \times \alpha_G \times \text{雨係数} \times (1 + \text{平日係数}) / 2 \\w_n &= \text{冬季・平日・晴の日数} \times G_n \times \alpha_G \times \text{平日係数} \\x_n &= \text{冬季・平日・雨の日数} \times G_n \times \alpha_G \times \text{雨係数} \times \text{平日係数}\end{aligned}$$

※利用者数は小数点第一位を四捨五入する。

※年間利用者数 = a) ~ d) の各式の合計

ただし、2.3 調査の留意点(1)の②~④を採用して定点および区間観測調査を行った場合は
年間利用者数 = a) ~ d) の各式の合計 + 年間イベント参加者数